

誤	正	該当項	備考																
<p>② 間接工事費 1. 共通仮設費 1-1 一般事項 (1) 工種区分 共通仮設費は、次の工種内容により表-1に掲げる区分ごとに算定するものとする。</p> <p style="text-align: center;">表1.1 工種区分</p> <table border="1" data-bbox="121 449 1234 1056"> <thead> <tr> <th>工種区分</th> <th>工種内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空港用地造成工事</td> <td>用地造成工事又は空港修繕工事にあつて、次に掲げる工事 空港土工、地盤改良工、法面工、擁壁工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、小型水路工、緑地工、消防水利施設工、柵工等の付帯施設工、プラストフェンス工、ケーブルダクト工、構造物撤去工、用地修繕工、構造物修繕工及びこれらに類する工事</td> </tr> <tr> <td>空港舗装工事</td> <td>舗装の新設、改良工事、又は空港修繕工事にあつて、次に掲げる工事 空港舗装工、舗装工、飛行場標識工、タイダウンリング・アースリング工等の付帯施設工、舗装撤去工、路面排水工、防護柵工、道路標識工、道路付属施設工、空港舗装修繕工、舗装修繕工、標識修繕工、及びこれらに類する工事</td> </tr> <tr> <td>空港維持工事</td> <td>空港維持工事にあつて、次に掲げる工事 草刈工、清掃工、標識維持工、植栽維持工、緊急補修工、除雪工及びこれらに類する工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>1) 工種区分は、工事名にとらわれることなく、工種内容によって適切に選定するものとする。 2) 2種以上の工種内容からなる工事については、その主たる工種区分を適用するものとする。 なお、「主たる工種」とは下記の(2)の1)に定める対象額の大きい方の工種をいう。</p> <p>(2) 算定方法 共通仮設費の算定は、別表第1の工種区分にしたがって所定の率計算による額と積上げ計算による額とを加算して行うものとする。</p> <p>1) 率計算による部分 下記に定める対象額ごとに求めた率に、当該対象額を乗じて得た額の範囲内とする。 対象額(P) = 直接工事費 + 支給品費 + 事業損失防止施設費 (イ) 下記に掲げる費用は対象額に含めない。 (あ) PC桁、簡易組立式橋梁、グレーチング床版、PC版、ポンプの購入費 (い) 上記(あ)を支給する場合の支給品費 (う) 鋼桁、門扉等の工場製作に係る費用のうち工場原価 (え) 大型標識柱(オーバーヘッド柱、オーバーハング柱)の製作費を含む材料費 (ロ) 直接工事費、事業損失防止施設費に含まれる資材等を支給する場合の支給品費は、対象額(P)に含める。 ただし、別途製作工事等で製作し、架設及び据付工事等を分離して発注する場合は、当該製作費は対象額(P)に含めない。</p>	工種区分	工種内容	空港用地造成工事	用地造成工事又は空港修繕工事にあつて、次に掲げる工事 空港土工、地盤改良工、法面工、擁壁工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、小型水路工、緑地工、消防水利施設工、柵工等の付帯施設工、プラストフェンス工、ケーブルダクト工、構造物撤去工、用地修繕工、構造物修繕工及びこれらに類する工事	空港舗装工事	舗装の新設、改良工事、又は空港修繕工事にあつて、次に掲げる工事 空港舗装工、舗装工、飛行場標識工、タイダウンリング・アースリング工等の付帯施設工、舗装撤去工、路面排水工、防護柵工、道路標識工、道路付属施設工、空港舗装修繕工、舗装修繕工、標識修繕工、及びこれらに類する工事	空港維持工事	空港維持工事にあつて、次に掲げる工事 草刈工、清掃工、標識維持工、植栽維持工、緊急補修工、除雪工及びこれらに類する工事	<p>② 間接工事費 1. 共通仮設費 1-1 一般事項 (1) 工種区分 共通仮設費は、次の工種内容により表-1に掲げる区分ごとに算定するものとする。</p> <p style="text-align: center;">表1.1 工種区分</p> <table border="1" data-bbox="1320 449 2433 1056"> <thead> <tr> <th>工種区分</th> <th>工種内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空港用地造成工事</td> <td>用地造成工事又は空港修繕工事にあつて、次に掲げる工事 空港土工、地盤改良工、法面工、擁壁工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、小型水路工、緑地工、消防水利施設工、柵工等の付帯施設工、プラストフェンス工、ケーブルダクト工、構造物撤去工、用地修繕工、構造物修繕工及びこれらに類する工事</td> </tr> <tr> <td>空港舗装工事</td> <td>舗装の新設、改良工事、又は空港修繕工事にあつて、次に掲げる工事 空港舗装工、舗装工、飛行場標識工、タイダウンリング・アースリング工等の付帯施設工、舗装撤去工、路面排水工、防護柵工、道路標識工、道路付属施設工、空港舗装修繕工、舗装修繕工、標識修繕工、及びこれらに類する工事</td> </tr> <tr> <td>空港維持工事</td> <td>空港維持工事にあつて、次に掲げる工事 草刈工、清掃工、標識維持工、植栽維持工、緊急補修工、除雪工及びこれらに類する工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>1) 工種区分は、工事名にとらわれることなく、工種内容によって適切に選定するものとする。 2) 2種以上の工種内容からなる工事については、その主たる工種区分を適用するものとする。 なお、「主たる工種」とは下記の(2)の1)に定める対象額の大きい方の工種をいう。</p> <p>(2) 算定方法 共通仮設費の算定は、別表第1の工種区分にしたがって所定の率計算による額と積上げ計算による額とを加算して行うものとする。</p> <p>1) 率計算による部分 下記に定める対象額ごとに求めた率に、当該対象額を乗じて得た額の範囲内とする。 対象額(P) = 直接工事費 + 支給品費 + 事業損失防止施設費 (イ) 下記に掲げる費用は対象額に含めない。 a. 簡易組立式橋梁、プレキャストPC桁、プレキャストPC床版、グレーチング床版、合成床版製品費、ポンプ、大型遊具(設計製作品)、光ケーブルの購入費 b. 上記aを支給する場合の支給品費 c. 鋼桁、門扉等の工場製作に係る費用のうち工場原価 d. 大型標識柱〔オーバーハング式(F型、T型、逆L型、WF型)、オーバーヘッド式〕の製作費を含む材料費 (ロ) 直接工事費、事業損失防止施設費に含まれる資材等を支給する場合の支給品費は、対象額(P)に含める。 ただし、別途製作工事等で製作し、架設及び据付工事等を分離して発注する場合は、当該製作費は対象額(P)に含めない。</p>	工種区分	工種内容	空港用地造成工事	用地造成工事又は空港修繕工事にあつて、次に掲げる工事 空港土工、地盤改良工、法面工、擁壁工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、小型水路工、緑地工、消防水利施設工、柵工等の付帯施設工、プラストフェンス工、ケーブルダクト工、構造物撤去工、用地修繕工、構造物修繕工及びこれらに類する工事	空港舗装工事	舗装の新設、改良工事、又は空港修繕工事にあつて、次に掲げる工事 空港舗装工、舗装工、飛行場標識工、タイダウンリング・アースリング工等の付帯施設工、舗装撤去工、路面排水工、防護柵工、道路標識工、道路付属施設工、空港舗装修繕工、舗装修繕工、標識修繕工、及びこれらに類する工事	空港維持工事	空港維持工事にあつて、次に掲げる工事 草刈工、清掃工、標識維持工、植栽維持工、緊急補修工、除雪工及びこれらに類する工事	<p>第1部 第1編 1-2-6</p>	<p>記載の修正 記載の修正</p>
工種区分	工種内容																		
空港用地造成工事	用地造成工事又は空港修繕工事にあつて、次に掲げる工事 空港土工、地盤改良工、法面工、擁壁工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、小型水路工、緑地工、消防水利施設工、柵工等の付帯施設工、プラストフェンス工、ケーブルダクト工、構造物撤去工、用地修繕工、構造物修繕工及びこれらに類する工事																		
空港舗装工事	舗装の新設、改良工事、又は空港修繕工事にあつて、次に掲げる工事 空港舗装工、舗装工、飛行場標識工、タイダウンリング・アースリング工等の付帯施設工、舗装撤去工、路面排水工、防護柵工、道路標識工、道路付属施設工、空港舗装修繕工、舗装修繕工、標識修繕工、及びこれらに類する工事																		
空港維持工事	空港維持工事にあつて、次に掲げる工事 草刈工、清掃工、標識維持工、植栽維持工、緊急補修工、除雪工及びこれらに類する工事																		
工種区分	工種内容																		
空港用地造成工事	用地造成工事又は空港修繕工事にあつて、次に掲げる工事 空港土工、地盤改良工、法面工、擁壁工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、小型水路工、緑地工、消防水利施設工、柵工等の付帯施設工、プラストフェンス工、ケーブルダクト工、構造物撤去工、用地修繕工、構造物修繕工及びこれらに類する工事																		
空港舗装工事	舗装の新設、改良工事、又は空港修繕工事にあつて、次に掲げる工事 空港舗装工、舗装工、飛行場標識工、タイダウンリング・アースリング工等の付帯施設工、舗装撤去工、路面排水工、防護柵工、道路標識工、道路付属施設工、空港舗装修繕工、舗装修繕工、標識修繕工、及びこれらに類する工事																		
空港維持工事	空港維持工事にあつて、次に掲げる工事 草刈工、清掃工、標識維持工、植栽維持工、緊急補修工、除雪工及びこれらに類する工事																		

誤					正					該当項	備考																																																																																																							
2) 積上げ計算による部分 現場条件等を適確に把握することにより必要額を適正に積上げるものとする。 3) 条件明示 安全対策上、重要な仮設物等については設計図書に条件明示し、極力指定仮設とするものとする。 4) 適用除外 この算定基準によることが困難又は不適當であると認められるものについては適用除外とすることができる。 5) 間接工事費等の項目別対象表					2) 積上げ計算による部分 現場条件等を適確に把握することにより必要額を適正に積上げるものとする。 3) 条件明示 安全対策上、重要な仮設物等については設計図書に条件明示し、極力指定仮設とするものとする。 4) 適用除外 この算定基準によることが困難又は不適當であると認められるものについては適用除外とすることができる。 5) 間接工事費等の項目別対象表					第1部 第1編 1-2-7																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">間接工事費等</th> <th>共通仮設費</th> <th>現場管理費</th> <th>一般管理費等</th> </tr> <tr> <th colspan="2">対象額</th> <th>対象額</th> <th>直接工事費+共通仮設費=純工事費</th> <th>純工事費+現場管理費=工事原価</th> </tr> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">桁等購入費</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">処分費等</td> <td colspan="3">処分費等(処分費・上下水道料金・有料道路利用料)の取扱いは、(2)6)参照</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">支給品費等</td> <td>桁等購入費</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>一般材料費</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>別途製作の製作費</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>電力</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">鋼橋門扉等工場原価</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">現場発生品</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">○は対象とする ×は対象としない</p>					間接工事費等		共通仮設費	現場管理費	一般管理費等			対象額		対象額	直接工事費+共通仮設費=純工事費	純工事費+現場管理費=工事原価	項目					桁等購入費		×	○	○	処分費等		処分費等(処分費・上下水道料金・有料道路利用料)の取扱いは、(2)6)参照			支給品費等	桁等購入費	×	○	×	一般材料費	○	○	×	別途製作の製作費	×	×	×	電力	○	○	×	鋼橋門扉等工場原価		×	×	○	現場発生品		×	×	×	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">間接工事費等</th> <th>共通仮設費</th> <th>現場管理費</th> <th>一般管理費等</th> </tr> <tr> <th colspan="2">対象額</th> <th>対象額</th> <th>直接工事費+共通仮設費=純工事費</th> <th>純工事費+現場管理費=工事原価</th> </tr> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">桁等購入費</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">処分費等</td> <td colspan="3">処分費等(投棄料・上下水道料金・有料道路利用料)の取扱いは、(2)6)参照</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">支給品費等</td> <td>桁等購入費</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>一般材料費</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>別途製作の製作費</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>電力</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">鋼橋門扉等工場原価</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">現場発生品</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">○は対象とする ×は対象としない</p>					間接工事費等		共通仮設費	現場管理費	一般管理費等	対象額		対象額	直接工事費+共通仮設費=純工事費	純工事費+現場管理費=工事原価	項目					桁等購入費		×	○	○	処分費等		処分費等(投棄料・上下水道料金・有料道路利用料)の取扱いは、(2)6)参照			支給品費等	桁等購入費	×	○	×	一般材料費	○	○	×	別途製作の製作費	×	×	×	電力	○	○	×	鋼橋門扉等工場原価		×	×	○	現場発生品		×	×
間接工事費等		共通仮設費	現場管理費	一般管理費等																																																																																																														
対象額		対象額	直接工事費+共通仮設費=純工事費	純工事費+現場管理費=工事原価																																																																																																														
項目																																																																																																																		
桁等購入費		×	○	○																																																																																																														
処分費等		処分費等(処分費・上下水道料金・有料道路利用料)の取扱いは、(2)6)参照																																																																																																																
支給品費等	桁等購入費	×	○	×																																																																																																														
	一般材料費	○	○	×																																																																																																														
	別途製作の製作費	×	×	×																																																																																																														
	電力	○	○	×																																																																																																														
鋼橋門扉等工場原価		×	×	○																																																																																																														
現場発生品		×	×	×																																																																																																														
間接工事費等		共通仮設費	現場管理費	一般管理費等																																																																																																														
対象額		対象額	直接工事費+共通仮設費=純工事費	純工事費+現場管理費=工事原価																																																																																																														
項目																																																																																																																		
桁等購入費		×	○	○																																																																																																														
処分費等		処分費等(投棄料・上下水道料金・有料道路利用料)の取扱いは、(2)6)参照																																																																																																																
支給品費等	桁等購入費	×	○	×																																																																																																														
	一般材料費	○	○	×																																																																																																														
	別途製作の製作費	×	×	×																																																																																																														
	電力	○	○	×																																																																																																														
鋼橋門扉等工場原価		×	×	○																																																																																																														
現場発生品		×	×	×																																																																																																														
(注) 1. 共通仮設費対象額とは、直接工事費+支給品費+事業損失防止施設費である。 2. 桁等購入費とは、PC桁、簡易組立式橋梁、グレーチング床版、PC版、ポンプの購入費をいう。 3. 別途製作する標識柱(F型柱、WF型柱、オーバーヘッド式)の場合の扱いは、鋼橋、門扉等工事の原価の取扱いに準ずるものとする。(t当り製作単価として取扱う場合) 4. 現場発生品とは、同一現場で発生した資材を物品管理法で規定する処理を行わず再使用する場合をいう。 5. 別途製作したものを一度現場に設置した後に発生品となり再度支給する場合の扱いは、別途製作の製作費(材料費含む)と同じ扱いとする。					(注) 1. 共通仮設費対象額とは、直接工事費+支給品費+事業損失防止施設費である。 2. 桁等購入費とは、簡易組立式橋梁、プレキャストPC桁、プレキャストPC床版、グレーチング床版、合成床版製品費、ポンプ、大型遊具(設計製作品)、光ケーブルの購入費をいう。 3. 別途製作する標識柱(オーバーハング式(F型、T型、逆L型、WF型))の場合の扱いは、鋼橋、門扉等工事の原価の取扱いに準ずるものとする。(t当り製作単価として取扱う場合) 4. 現場発生品とは、同一現場で発生した資材を物品管理法で規定する処理を行わず再使用する場合をいう。 5. 別途製作したものを一度現場に設置した後に発生品となり再度支給する場合の扱いは、別途製作の製作費(材料費含む)と同じ扱いとする。					記載の修正 記載の修正																																																																																																								

誤	正	該当項	備考																
<p>1-2 共通仮設費の率分</p> <p>(1) 共通仮設費の率分の積算 共通仮設費の率分の算定は、別表第1（第1表～第3表）の工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率を当該対象額に乗じて得た額の範囲内とする。</p> <p>(2) 共通仮設費率の補正 共通仮設費率の補正は、「1）大都市等を考慮した共通仮設費率の補正」又は「2）施工地域、工事場所を考慮した共通仮設費率の補正」により補正を行うものとする。</p> <p>1) 大都市等を考慮した共通仮設費率の補正 (イ) 大都市等を考慮した共通仮設費率の補正は、以下の工種区分及び施工地域区分の場合において別表第1（第1表、第2表）の共通仮設費率に下表の補正係数を乗じるものとする。</p> <table border="1" data-bbox="371 672 1083 903"> <thead> <tr> <th>工種区分</th> <th>施工地域区分</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">空港用地造成工事 空港舗装工事</td> <td>大都市</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>市街地</td> <td>1.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 大都市、市街地の補正の施工地域区分は以下のとおりとする。 大都市：東京国際空港をいう。 市街地：施工地域が人口集中地区（D I D）をいう。 D I Dとは、総務省統計局国勢調査による地域別人口密度が4,000人/km²以上で、その全体が5,000人以上となっている地区をいう。なお、空港では、空港全域を工事場所として扱っており、空港の一部でも人口集中地区（D I D）に該当する場合には、その空港は人口集中地区（D I D）とみなす。</p> <p>(ロ) 共通仮設費（率分）の計算 共通仮設費（率分） ＝対象額（P）×共通仮設費率（K r）×大都市等を考慮した補正係数 ただし、共通仮設費率は別表第1（第1表、第2表）による。 なお、補正係数を乗じる場合は、K rの端数処理後に係数を乗じて、小数第3位を四捨五入して2位止めとする。</p>	工種区分	施工地域区分	補正係数	空港用地造成工事 空港舗装工事	大都市	1.3	市街地	1.3	<p>1-2 共通仮設費の率分</p> <p>(1) 共通仮設費の率分の積算 共通仮設費の率分の算定は、別表第1（第1表～第3表）の工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率を当該対象額に乗じて得た額の範囲内とする。</p> <p>(2) 共通仮設費率の補正 共通仮設費率の補正は、「1）大都市等を考慮した共通仮設費率の補正」又は「2）施工地域、工事場所を考慮した共通仮設費率の補正」により補正を行うものとする。</p> <p>1) 大都市等を考慮した共通仮設費率の補正 (イ) 大都市等を考慮した共通仮設費率の補正は、以下の工種区分及び施工地域区分の場合において別表第1（第1表、第2表）の共通仮設費率に下表の補正係数を乗じるものとする。</p> <table border="1" data-bbox="1573 672 2285 903"> <thead> <tr> <th>工種区分</th> <th>施工地域区分</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">空港用地造成工事 空港舗装工事</td> <td>大都市</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>市街地</td> <td>1.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 大都市、市街地の補正の施工地域区分は以下のとおりとする。 大都市：東京国際空港をいう。 市街地：施工地域が人口集中地区（D I D）をいう。 D I Dとは、総務省統計局国勢調査による地域別人口密度が4,000人/km²以上で、その全体が5,000人以上となっている地区をいう。なお、空港では、空港全域を工事場所として扱っており、空港の一部でも人口集中地区（D I D）に該当する場合には、その空港は人口集中地区（D I D）とみなす。</p> <p>(ロ) 共通仮設費（率分）の計算 共通仮設費（率分） ＝対象額（P）×共通仮設費率（K r）×大都市等を考慮した補正係数 ただし、共通仮設費率は別表第1（第1表、第2表）による。 なお、補正係数を乗じる場合は、K rの端数処理後に係数を乗じて、小数第3位を四捨五入して2位止めとする。</p> <p>2) その他 災害の発生等により、本基準において想定している状況と実態が乖離している場合などについては、上記1)のほか、必要に応じて実態等を踏まえた補正係数を設けることができるものとする。</p>	工種区分	施工地域区分	補正係数	空港用地造成工事 空港舗装工事	大都市	1.3	市街地	1.3	<p>第1部 第1編 1-2-9</p>	<p>記載の修正</p>
工種区分	施工地域区分	補正係数																	
空港用地造成工事 空港舗装工事	大都市	1.3																	
	市街地	1.3																	
工種区分	施工地域区分	補正係数																	
空港用地造成工事 空港舗装工事	大都市	1.3																	
	市街地	1.3																	

誤	正	該当項	備考
<p>1-3 運搬費</p> <p>(1) 運搬費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>1) 建設機械器具の運搬等に要する費用</p> <p>(イ) 質量 20 t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬</p> <p>(ロ) 仮設材等（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の運搬</p> <p>(ハ) 重建設機械の分解・組立及び輸送に要する費用</p> <p>(ニ) 質量 20 t 未満の建設機械及び器材等の搬入、搬出並びに現場内小運搬 ただし、支給品及び現場発生品については、20 t 未満であっても積み上げ積算し、直接工事費に計上するものとする。</p> <p>(ホ) 建設機械の自走による運搬</p> <p>(ヘ) 建設機械等の日々回送（分解・組立、輸送）に要する費用</p> <p>(ト) 質量 20 t 以上の建設機械の現場内小運搬</p> <p>2) 鋼桁、PC 桁、門扉等工場製作品の運搬（直接工事費に計上）</p> <p>3) 1)～2) に揚げるもののほか、工事施工上必要な建設機械器具の運搬等に要する費用</p> <p>4) 建設機械等の運搬基地 運搬基地は、建設機械等の所在場所を勘案のうえ決定するものとする。</p> <p>(2) 積算方法</p> <p>1) 共通仮設費に計上される運搬費</p> <p>(イ) 共通仮設費率に含まれる運搬費</p> <p>a. 質量 20 t 未満の建設機械、及び器材等（型枠材、支保材、足場材、仮囲い、敷鉄板（敷鉄板の設置撤去費用で積上げた分は除く）、橋梁ベント、橋梁架設用タワー、橋梁用架設桁設備、排砂管、トレミー管、トンネル用スライドセントル等）の搬入、搬出並びに現場内小運搬（分解・組立を含む）</p> <p>b. 建設機械の自走による運搬（トラッククレーンラチスジブ型 25 t 吊及び油圧伸縮ジブ型 80 t 以上は、積み上げるものとする）</p> <p>c. 建設機械等（重建設機械を含む）の日々回送（分解・組立、輸送）に要する費用</p> <p>d. 質量 20 t 以上の建設機械の現場内小運搬 ただし、特殊な現場条件等により、分解・組立を必要とする場合は、別途加算できるものとする。</p> <p>e. 上記（1）1）（ハ）の中で、トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型 20～50 t 吊）・ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型 20～70 t 吊）の分解・組立及び輸送に要する費用</p> <p>(ロ) 積上げ項目による運搬費</p> <p>a. 質量 20 t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬費（運搬される建設機械の運搬中の賃料又は損料を含む。ただし、日々回送については含まない）</p> <p>b. 仮設材（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の運搬費 ただし、敷鉄板については敷鉄板設置・撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。</p> <p>c. 重建設機械の分解・組立及び輸送に要する費用（重機建設機械の輸送中の賃料・損料及び分解・組立時の賃料を含む） ただし、トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型 20～50 t 吊）・ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型 20～70 t 吊）は除く</p> <p>d. 賃料適用のトラッククレーン（油圧伸縮ジブ型 80 t 吊以上）及びクローラクレーン（油圧駆動式ウィンチ・ラチスジブ型 35 t 吊以上）の分解組立時にかかる本体賃料及び運搬中の本体賃料</p> <p>e. 建設機械の所在状況（建設機械が工事場所と異なる都道府県に所在している状況等）により、共通仮設費の積み上げ計上を必要とする質量 20t 未満の建設機械の貨物自動車等による運搬費</p> <p>f. 建設現場及び建設機械置場の状況により、共通仮設費の積み上げ計上を必要とする建設機械等の日々回送（分解・組立、輸送）に要する費用</p>	<p>1-3 運搬費</p> <p>(1) 運搬費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>1) 建設機械器具の運搬等に要する費用</p> <p>(イ) 質量 20 t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬</p> <p>(ロ) 仮設材等（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の運搬</p> <p>(ハ) 重建設機械の分解・組立及び輸送に要する費用</p> <p>(ニ) 質量 20 t 未満の建設機械の搬入、搬出並びに現場内小運搬</p> <p>(ホ) 器材等の搬入、搬出及び現場内小運搬 ただし、支給品及び現場発生品については、積み上げ積算し、直接工事費に計上するものとする。</p> <p>(ヘ) 建設機械の自走による運搬</p> <p>(ト) 建設機械等の日々回送（分解・組立、輸送）に要する費用</p> <p>(チ) 質量 20 t 以上の建設機械の現場内小運搬</p> <p>2) 鋼桁、門扉等工場製作品の運搬（直接工事費に計上）</p> <p>3) 1)～2) に揚げるもののほか、工事施工上必要な建設機械器具の運搬等に要する費用</p> <p>4) 建設機械等の運搬基地 運搬基地は、建設機械等の所在場所を勘案のうえ決定するものとする。</p> <p>(2) 積算方法</p> <p>1) 共通仮設費に計上される運搬費</p> <p>(イ) 共通仮設費率に含まれる運搬費</p> <p>a. 質量 20 t 未満の建設機械の搬入、搬出及び現場内小運搬（分解・組立を含む）</p> <p>b. 器材等（型枠材、支保材、足場材、仮囲い、敷鉄板（敷鉄板設置撤去工で積上げた分は除く）、作業車（PC 橋片持ち架設工）、橋梁ベント、橋梁架設用タワー、橋梁用架設桁設備、排砂管、トレミー管、トンネル用スライドセントル等）の搬入、搬出及び現場内小運搬</p> <p>c. 建設機械の自走による運搬（トラッククレーン油圧伸縮ジブ型 80t 以上は、積み上げるものとする）</p> <p>d. 建設機械等（重建設機械を含む）の日々回送（分解・組立、輸送）に要する費用</p> <p>e. 質量 20 t 以上の建設機械の現場内小運搬 ただし、特殊な現場条件等により、分解・組立を必要とする場合は、別途加算できるものとする。</p> <p>f. 上記（1）1）（ハ）の中で、トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型 20～50 t 吊）・ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型 20～70 t 吊）の分解・組立及び輸送に要する費用</p> <p>(ロ) 積上げ項目による運搬費</p> <p>a. 質量 20 t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬費（運搬される建設機械の運搬中の賃料又は損料を含む。ただし、日々回送については含まない）</p> <p>b. 仮設材（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の運搬費 ただし、敷鉄板については敷鉄板設置・撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。</p> <p>c. 重建設機械の分解・組立及び輸送に要する費用（重機建設機械の輸送中の賃料・損料及び分解・組立時の賃料を含む） ただし、トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型 20～50 t 吊）・ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型 20～70 t 吊）は除く</p> <p>d. 賃料適用のトラッククレーン（油圧伸縮ジブ型 80 t 吊以上）及びクローラクレーン（油圧駆動式ウィンチ・ラチスジブ型 35 t 吊以上）の分解組立時にかかる本体賃料及び運搬中の本体賃料</p> <p>e. 建設機械の所在状況（建設機械が工事場所と異なる都道府県に所在している状況等）により、共通仮設費の積み上げ計上を必要とする質量 20t 未満の建設機械の貨物自動車等による運搬費</p> <p>f. 建設現場及び建設機械置場の状況により、共通仮設費の積み上げ計上を必要とする建設機械等</p>	<p>第1部 第1編 1-2-12</p>	<p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p>

誤	正	該当項	備考
<p>2) 直接工事費に計上される運搬費 (イ) 鋼桁、門扉、PC桁等工場製作品の運搬 (ロ) 支給品及び現場発生品の運搬</p> <p>(3) 質量20t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬 1) 質量20t以上の建設機械の貨物自動車等の運搬費用 質量20t以上の建設機械の貨物自動車等の運搬は次式により行うものとする。 $U_k = A + M + K$ (又はK') ただし、U_k: 質量20t以上の建設機械の貨物自動車等の運搬費 A: 基本運賃料金(円) 表1.2によるものとする。 なお、運搬距離は運搬基地より現場までの距離とする。 また、運賃は下表に掲げてある基本運賃は、運搬割増(特大品、悪路、冬期、深夜早朝、地区等)の有無にかかわらず適用出来る。 ただし、陸上輸送以外が必要な場合は、これに要する費用を別途計上すること。 M: その他の諸料金 1) 組立・解体に要する費用 重建設機械の組立・解体に要する費用は別途加算する。 2) その他下記事項の料金を必要により計上する。 a 荷役機械使用料 b 自動車航送船使用料 c 有料道路利用料 d その他 K: 運搬される建設機械の運搬中の賃料(円) K': 運搬される建設機械の運搬中の損料(円) 運搬される建設機械(被運搬建設機械)の運搬中の賃料又は損料を計上する。 積算方法は、「2) 運搬される建設機械の運搬中の賃料および損料」による。 *建設機械運搬方法等は表1.3による。</p> <p>2) 運搬される建設機械の運搬中の賃料(K)及び損料(K') 運搬される建設機械の片道分の運搬中の賃料及び損料は次式により計上する。 運搬中の賃料=運搬される機械の供用1日当り賃料(円)×運搬に要する日数(日) $K = \text{運搬される建設機械の運搬中の供用1日当り賃料(円)} \times L / (\text{輸送速度} \times 8)$ 運搬中の損料=運搬される機械の供用1日当り損料(円)×運搬に要する日数(日) $K' = \text{運搬される建設機械の運搬中の供用1日当り損料(円)} \times L / (\text{輸送速度} \times 8)$ L: 運搬距離(km) 基地から現場までの片道距離とする。 輸送速度:(30 km/h)</p> <p>(注)1. 運搬に要する日数の端数処理は小数第2位を四捨五入し、小数第1位止めとする。 2. 運搬に要する日数は運搬状況を勘案して決定する。なお、トラックによる輸送は、時速30 km/hを標準とする。 3. 分解・組立を要する重建設機械の積算にあたっては、重建設機械分解組立(WB010350及びWB010360)により積算すること。 なお、重建設機械分解組立輸送(WB010350)については、運搬中の賃料(K)が考慮されている。</p>	<p>の日々回送(分解・組立、輸送)に要する費用 g. 上記(イ)及び(ロ)a~fにおける自動車航送船使用料に要する費用(運搬中の本体賃料・損料を含む。)</p> <p>2) 直接工事費に計上される運搬費 (イ) 鋼桁、門扉等工場製作品の運搬 (ロ) 支給品及び現場発生品の運搬</p> <p>(3) 質量20t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬 1) 質量20t以上の建設機械の貨物自動車等の運搬費用 質量20t以上の建設機械の貨物自動車等の運搬は次式により行うものとする。 $U_k = A + M + K$ (又はK') ただし、U_k: 質量20t以上の建設機械の貨物自動車等の運搬費 A: 基本運賃料金(円) 表1.2によるものとする。 なお、運搬距離は運搬基地より現場までの距離とする。 また、運賃は下表に掲げてある基本運賃は、運搬割増(特大品、悪路、冬期、深夜早朝、地区等)の有無にかかわらず適用出来る。 ただし、陸上輸送以外が必要な場合は、これに要する費用を別途計上すること。 M: その他の諸料金 1) 組立・解体に要する費用 重建設機械の組立・解体に要する費用は別途加算する。 2) その他下記事項の料金を必要により計上する。 a 荷役機械使用料 b 自動車航送船使用料 c 有料道路利用料 d その他 K: 運搬される建設機械の運搬中の賃料(円) K': 運搬される建設機械の運搬中の損料(円) 運搬される建設機械(被運搬建設機械)の運搬中の賃料又は損料を計上する。 積算方法は、「2) 運搬される建設機械の運搬中の賃料および損料」による。 *建設機械運搬方法等は表1.3による。</p> <p>2) 運搬される建設機械の運搬中の賃料(K)及び損料(K') 運搬される建設機械の片道分の運搬中の賃料及び損料は次式により計上する。 運搬中の賃料=運搬される機械の供用1日当り賃料(円)×運搬に要する日数(日) $K = \text{運搬される建設機械の運搬中の供用1日当り賃料(円)} \times L / (\text{輸送速度} \times 8)$ 運搬中の損料=運搬される機械の供用1日当り損料(円)×運搬に要する日数(日) $K' = \text{運搬される建設機械の運搬中の供用1日当り損料(円)} \times L / (\text{輸送速度} \times 8)$ L: 運搬距離(km) 基地から現場までの片道距離とする。 輸送速度:(30 km/h)</p> <p>(注)1. 運搬に要する日数の端数処理は小数第2位を四捨五入し、小数第1位止めとする。 2. 運搬に要する日数は運搬状況を勘案して決定する。なお、トラックによる輸送は、時速30 km/hを標準とする。 3. 分解・組立を要する重建設機械の積算にあたっては、重建設機械分解組立により積算すること。 なお、重建設機械分解組立輸送については、運搬中の賃料(K)が考慮されている。</p>	<p>第1部 第1編 1-2-13</p>	<p>記載の修正 記載の修正 記載の修正</p>

誤	正	該当項	備考																																																																																														
<p>4. 油圧式杭圧入引抜機(鋼矢板V L・VI L・II w・III w・IV w型用)の運搬が必要な場合は、別途考慮すること。</p> <p>表1. 3 建設機械運搬方法</p> <table border="1" data-bbox="172 298 1240 1058"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th colspan="2">車 載</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>車種</th> <th>機械質量 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路面切削機 (ホイール式・廃材積込装置付)</td> <td>切削幅 2.0m</td> <td>R</td> <td>29.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路面切削機 (クローラ式・廃材積込装置付)</td> <td>切削幅 2.0m</td> <td>R</td> <td>25.40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>除雪ドーザ (クローラ型) [普通]</td> <td>21 t</td> <td>R</td> <td>21.90</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタビライザ [路床改良用]</td> <td>処理深さ×幅 1.2×2.0m</td> <td>R</td> <td>23.50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自走式破碎機</td> <td>ジョークラッシュヤ 供給口開 450 mm 幅 925 mm</td> <td>R</td> <td>30.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用)</td> <td>鋼矢板 II・III・IV型用</td> <td>R</td> <td>29.70</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ ホイール型 排出ガス対策型 (第1次基準値)</td> <td>舗装幅 3.0~8.5m</td> <td>R</td> <td>21.00</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 車載のRはトレーラである。 2. 本表に掲載のある建設機械については、分解組立の必要はない。</p> <p>(4) 仮設材等 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) の運搬 1) 仮設材等 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) の運搬費用 仮設材等の運搬は次式により行うものとする。 $U = [E \cdot (1 + F_1 + F_2)] \cdot G + H$ U : 仮設材等の運搬費 (円/片道) E : 基本運賃 (円/t) 運搬距離は運搬基地より現場までの距離とする。なお、発地、着地とて都道府県が異なる場合は、発注機関が存在する都道府県を適用する事を原則とする。 また、運賃は下表に掲げてある基本運賃に、必要に応じ冬期割増及び深夜・早朝割増を行うものとし、車両留置料、長大品割増、休日割増、特別割増は適用しない。 F 1 : 冬期割増 F 2 : 深夜・早朝割増 G : 運搬質量 (t) H : その他の諸料金 (円) その他、下記事項の料金を必要により計上する。 a. 有料道路使用料 b. 自動車航送船利用料 c. その他</p> <p>(注) 1. 端数処理は、運賃及び料金は当該輸送トン数ごとに計算し、当該運賃又は料金の円未満の金額については切捨てる。 2. 仮設材等の運搬は、原則として往復分を計上する。</p>	機 械 名	規 格	車 載		備 考	車種	機械質量 (t)	路面切削機 (ホイール式・廃材積込装置付)	切削幅 2.0m	R	29.00		路面切削機 (クローラ式・廃材積込装置付)	切削幅 2.0m	R	25.40		除雪ドーザ (クローラ型) [普通]	21 t	R	21.90		スタビライザ [路床改良用]	処理深さ×幅 1.2×2.0m	R	23.50		自走式破碎機	ジョークラッシュヤ 供給口開 450 mm 幅 925 mm	R	30.00		油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用)	鋼矢板 II・III・IV型用	R	29.70		アスファルトフィニッシャ ホイール型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	舗装幅 3.0~8.5m	R	21.00		<p>4. 油圧式杭圧入引抜機(鋼矢板V L・VI L・II w・III w・IV w型用)の運搬が必要な場合は、別途考慮すること。</p> <p>表1. 3 建設機械運搬方法</p> <table border="1" data-bbox="1394 298 2418 1163"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th colspan="2">車 載</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>車種</th> <th>機械質量 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路面切削機 (ホイール式・廃材積込装置付)</td> <td>切削幅 2.0m</td> <td>R</td> <td>28.50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路面切削機 (クローラ式・廃材積込装置付)</td> <td>切削幅 2.0m</td> <td>R</td> <td>25.40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>除雪ドーザ (クローラ型) [普通]</td> <td>21 t</td> <td>R</td> <td>21.90</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタビライザ [路床改良用]</td> <td>深 0.6m 幅 2.0m</td> <td>R</td> <td>23.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタビライザ [路床改良用]</td> <td>深 1.2m 幅 2.0m</td> <td>R</td> <td>24.70</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自走式破碎機</td> <td>クラッシュヤ寸法 開 450 mm 幅 925 mm</td> <td>R</td> <td>30.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用)</td> <td>鋼矢板 II・III・IV型用</td> <td>R</td> <td>29.70</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ ホイール型 排出ガス対策型 (第1次基準値)</td> <td>舗装幅 3.0~8.5m</td> <td>R</td> <td>21.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ (超ロングアーム型)</td> <td>山積 0.4 m³/平積 0.3 m³</td> <td>R</td> <td>22.00</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 車載のRはトレーラである。 2. 本表に掲載のある建設機械については、分解組立の必要はない。</p> <p>(4) 仮設材等 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) の運搬 1) 仮設材等 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) の運搬費用 仮設材等の運搬は次式により行うものとする。 $U = [E \cdot (1 + F_1 + F_2)] \cdot G + H$ U : 仮設材等の運搬費 (円/片道) E : 基本運賃 (円/t) 運搬距離は運搬基地より現場までの距離とする。 また、運賃は下表に掲げてある基本運賃に、必要に応じ冬期割増及び深夜・早朝割増を行うものとし、車両留置料、長大品割増、休日割増、特別割増は適用しない。 F 1 : 冬期割増 F 2 : 深夜・早朝割増 G : 運搬質量 (t) H : その他の諸料金 (円) その他、下記事項の料金を必要により計上する。 a. 有料道路使用料 b. 自動車航送船利用料 c. その他</p> <p>(注) 1. 端数処理は、運賃及び料金は当該輸送トン数ごとに計算し、当該運賃又は料金の円未満の金額については切捨てる。 2. 仮設材等の運搬は、原則として往復分を計上する。</p>	機 械 名	規 格	車 載		備 考	車種	機械質量 (t)	路面切削機 (ホイール式・廃材積込装置付)	切削幅 2.0m	R	28.50		路面切削機 (クローラ式・廃材積込装置付)	切削幅 2.0m	R	25.40		除雪ドーザ (クローラ型) [普通]	21 t	R	21.90		スタビライザ [路床改良用]	深 0.6m 幅 2.0m	R	23.00		スタビライザ [路床改良用]	深 1.2m 幅 2.0m	R	24.70		自走式破碎機	クラッシュヤ寸法 開 450 mm 幅 925 mm	R	30.00		油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用)	鋼矢板 II・III・IV型用	R	29.70		アスファルトフィニッシャ ホイール型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	舗装幅 3.0~8.5m	R	21.00		バックホウ (超ロングアーム型)	山積 0.4 m ³ /平積 0.3 m ³	R	22.00		<p>第1部 第1編 1-2-15</p>	<p>記載の修正 記載の修正 記載の修正 記載の修正</p>
機 械 名			規 格	車 載		備 考																																																																																											
	車種	機械質量 (t)																																																																																															
路面切削機 (ホイール式・廃材積込装置付)	切削幅 2.0m	R	29.00																																																																																														
路面切削機 (クローラ式・廃材積込装置付)	切削幅 2.0m	R	25.40																																																																																														
除雪ドーザ (クローラ型) [普通]	21 t	R	21.90																																																																																														
スタビライザ [路床改良用]	処理深さ×幅 1.2×2.0m	R	23.50																																																																																														
自走式破碎機	ジョークラッシュヤ 供給口開 450 mm 幅 925 mm	R	30.00																																																																																														
油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用)	鋼矢板 II・III・IV型用	R	29.70																																																																																														
アスファルトフィニッシャ ホイール型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	舗装幅 3.0~8.5m	R	21.00																																																																																														
機 械 名	規 格	車 載		備 考																																																																																													
		車種	機械質量 (t)																																																																																														
路面切削機 (ホイール式・廃材積込装置付)	切削幅 2.0m	R	28.50																																																																																														
路面切削機 (クローラ式・廃材積込装置付)	切削幅 2.0m	R	25.40																																																																																														
除雪ドーザ (クローラ型) [普通]	21 t	R	21.90																																																																																														
スタビライザ [路床改良用]	深 0.6m 幅 2.0m	R	23.00																																																																																														
スタビライザ [路床改良用]	深 1.2m 幅 2.0m	R	24.70																																																																																														
自走式破碎機	クラッシュヤ寸法 開 450 mm 幅 925 mm	R	30.00																																																																																														
油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用)	鋼矢板 II・III・IV型用	R	29.70																																																																																														
アスファルトフィニッシャ ホイール型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	舗装幅 3.0~8.5m	R	21.00																																																																																														
バックホウ (超ロングアーム型)	山積 0.4 m ³ /平積 0.3 m ³	R	22.00																																																																																														

誤					正					該当項	備考	
基本運賃表					基本運賃表							
(単位：円/ t)					(単位：円/ t)					第1部 第1編 1-2-16		
距離 \ 製品長	12m以内	12mを超え 15m以内	15mを超え		距離 \ 製品長	12m以内	12mを超え 15m以内	15mを超え				
10 kmまで	4,350 (3,410)	4,800 (4,030)	7,010 (5,180)		10 kmまで	4,350 (3,410)	4,800 (4,030)	7,010 (5,180)				
20 "	4,660 (3,570)	5,170 (4,240)	7,470 (5,510)		20 "	4,660 (3,570)	5,170 (4,240)	7,470 (5,510)				
30 "	5,000 (3,850)	5,480 (4,510)	7,990 (5,860)		30 "	5,000 (3,850)	5,480 (4,510)	7,990 (5,860)				
40 "	5,380 (4,070)	5,900 (4,760)	8,490 (6,190)		40 "	5,380 (4,070)	5,900 (4,760)	8,490 (6,190)				
50 "	5,750 (4,420)	6,310 (5,140)	9,040 (6,630)		50 "	5,750 (4,420)	6,310 (5,140)	9,040 (6,630)				
60 "	6,120 (4,700)	6,760 (5,490)	9,590 (7,060)		60 "	6,120 (4,700)	6,760 (5,490)	9,590 (7,060)				
70 "	6,540 (5,070)	7,180 (5,890)	10,100 (7,520)		70 "	6,540 (5,070)	7,180 (5,890)	10,100 (7,520)				
80 "	6,900 (5,330)	7,570 (6,190)	10,600 (7,900)		80 "	6,900 (5,330)	7,570 (6,190)	10,600 (7,900)				
90 "	7,220 (5,610)	7,940 (6,520)	11,100 (8,310)		90 "	7,220 (5,610)	7,940 (6,520)	11,100 (8,310)				
100 "	7,620 (5,900)	8,380 (6,840)	11,700 (8,750)		100 "	7,620 (5,900)	8,380 (6,840)	11,700 (8,750)				
110 "	7,960 (6,250)	8,730 (7,200)	12,200 (9,180)		110 "	7,960 (6,250)	8,730 (7,200)	12,200 (9,180)				
120 "	8,300 (6,490)	9,080 (7,470)	12,700 (9,550)		120 "	8,300 (6,490)	9,080 (7,470)	12,700 (9,550)				
130 "	8,700 (6,780)	9,510 (7,790)	13,300 (9,940)		130 "	8,700 (6,780)	9,510 (7,790)	13,300 (9,940)				
140 "	9,040 (7,020)	9,850 (8,060)	13,800 (10,300)		140 "	9,040 (7,020)	9,850 (8,060)	13,800 (10,300)				
150 "	9,370 (7,290)	10,200 (8,360)	14,400 (10,700)		150 "	9,370 (7,290)	10,200 (8,360)	14,400 (10,700)				
160 "	9,820 (7,530)	10,600 (8,630)	14,900 (11,000)		160 "	9,820 (7,530)	10,600 (8,630)	14,900 (11,000)				
170 "	10,000 (7,790)	10,900 (8,910)	15,400 (11,400)		170 "	10,000 (7,790)	10,900 (8,910)	15,400 (11,400)				
180 "	10,300 (8,020)	11,200 (9,180)	15,800 (11,700)		180 "	10,300 (8,020)	11,200 (9,180)	15,800 (11,700)				
190 "	10,700 (8,290)	11,800 (9,470)	16,800 (12,100)		190 "	10,700 (8,290)	11,800 (9,470)	16,800 (12,100)				
200 "	11,100 (8,560)	12,100 (9,780)	17,300 (12,500)		200 "	11,100 (8,560)	12,100 (9,780)	17,300 (12,500)				
200 kmを超え 20 kmまでを増すごとに	677 (447)	802 (558)	1,080 (738)		200 kmを超え 20 kmまでを増すごとに	677 (447)	802 (558)	1,080 (738)				
(注) 1. 北海道・東北・北陸・中国・四国・九州・沖縄の地方航空局・整備局等管内は () 内の運賃を適用する。ただし、沖縄については100km以下のみ適用とし、100kmを超える場合は別途考慮する。 2. 発地・着地で都道府県が異なる場合は、発注機関の存在する都道府県を適用する。 3. 誘導車、誘導員が必要な場合については別途計上する。					(注) 1. 北海道・東北・北陸・中国・四国・九州・沖縄の地方航空局・地方整備局等管内は () 内の運賃を適用する。ただし、沖縄については100km以下のみ適用とし、100kmを超える場合は別途考慮する。 2. 発地・着地で地方整備局が異なる場合は、発注機関の存在する整備局を適用する。 3. 敷鉄板については、敷鉄板設置撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。 4. 誘導車、誘導員が必要な場合については別途計上する。							記載の修正
F 1～F 2：運賃割増率 F 1：冬期割増					F 1～F 2：運賃割増率 F 1：冬期割増							
地 域		期 間	割増率		地 域		期 間	割増率				
北海道		自11月16日 至4月15日	2割増		北海道		自11月16日 至4月15日	2割増				
青森県、秋田県、山形県、新潟県、長野県、富山県、石川県、福井県、鳥取県、島根県の全域		自12月1日 至3月31日			青森県、秋田県、山形県、新潟県、長野県、富山県、石川県、福井県、鳥取県、島根県の全域		自12月1日 至3月31日					
岩手県のうち、北上市、久慈市、遠野市、二戸市、九戸郡、二戸郡、上閉伊郡、下閉伊郡、岩手郡、和賀郡、福島県のうち、会津若松市、喜多方市、南会津郡、北会津郡、耶麻郡、大沼郡、河沼郡、岐阜県のうち、高山市、大野郡、吉城郡、益田郡、郡上郡					岩手県のうち、北上市、久慈市、遠野市、二戸市、九戸郡、二戸郡、上閉伊郡、下閉伊郡、岩手郡、和賀郡、福島県のうち、会津若松市、喜多方市、南会津郡、北会津郡、耶麻郡、大沼郡、河沼郡、岐阜県のうち、高山市、大野郡、吉城郡、益田郡、郡上郡							
F 2：深夜・早朝割増 運搬時間を「22～5時」に指定する場合					F 2：深夜・早朝割増 運搬時間を「22～5時」に指定する場合							
			3割増					3割増				

誤	正	該当項	備 考																																																					
<p>2) 仮設材等（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の積込み、取卸しに要する費用</p> <p style="text-align: center;">仮設材等（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の積込み・取卸し費</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">場 所</th> <th style="text-align: center;">作 業</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">費 用 (円/t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">基 地</td> <td style="text-align: center;">積 込 み</td> <td style="text-align: center;">750</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">1,500</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">3,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">現 場</td> <td style="text-align: center;">取 卸 し</td> <td style="text-align: center;">750</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">積 込 み</td> <td style="text-align: center;">750</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">1,500</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">基 地</td> <td style="text-align: center;">取 卸 し</td> <td style="text-align: center;">750</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 橋梁ベント、橋梁架設用タワーは率に含まれるため適用しない。</p> <p style="text-align: center;">仮設材等運搬 1t 当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">形状寸法</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">貨物自動車運賃</td> <td style="text-align: center;">t車</td> <td style="text-align: center;">式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">積込み・取卸し費用</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 積込み・取卸し費用は、現場と基地間の往路と復路の運搬回数が異なる場合があることに留意して、適切な費用を計上する。</p>	場 所	作 業	費 用 (円/t)			基 地	積 込 み	750	1,500	3,000	現 場	取 卸 し	750	積 込 み	750	1,500	基 地	取 卸 し	750	名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要	貨物自動車運賃	t車	式			積込み・取卸し費用		式			<p>2) 仮設材等（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の積込み、取卸しに要する費用</p> <p style="text-align: center;">仮設材等（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の積込み・取卸し費</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">場 所</th> <th style="text-align: center;">作 業</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">費 用 (円/t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">基 地</td> <td style="text-align: center;">積 込 み</td> <td style="text-align: center;">750</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">1,500</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">3,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">現 場</td> <td style="text-align: center;">取 卸 し</td> <td style="text-align: center;">750</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">積 込 み</td> <td style="text-align: center;">750</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">1,500</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">基 地</td> <td style="text-align: center;">取 卸 し</td> <td style="text-align: center;">750</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 橋梁ベント、橋梁架設用タワーは率に含まれるため適用しない。 2. 敷鉄板については、敷鉄板設置撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。</p>	場 所	作 業	費 用 (円/t)			基 地	積 込 み	750	1,500	3,000	現 場	取 卸 し	750	積 込 み	750	1,500	基 地	取 卸 し	750	<p>第1部 第1編 1-2-17</p>	<p style="color: red;">記載の修正</p>
場 所	作 業	費 用 (円/t)																																																						
基 地	積 込 み	750	1,500	3,000																																																				
現 場	取 卸 し	750																																																						
	積 込 み	750	1,500																																																					
基 地	取 卸 し	750																																																						
名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要																																																				
貨物自動車運賃	t車	式																																																						
積込み・取卸し費用		式																																																						
場 所	作 業	費 用 (円/t)																																																						
基 地	積 込 み	750	1,500	3,000																																																				
現 場	取 卸 し	750																																																						
	積 込 み	750	1,500																																																					
基 地	取 卸 し	750																																																						

誤		正		該当項	備考
(5) 重建設機械分解・組立 1) 適用範囲 工事現場に搬入搬出する重建設機械の分解・組立及び輸送に適用する建設機械は、次表を標準とする。		(5) 重建設機械分解・組立 1) 適用範囲 工事現場に搬入搬出する重建設機械の分解・組立及び輸送に適用する建設機械は、次表を標準とする。		第1部 第1編 1-2-18	記載の修正 記載の修正 記載の修正
表1.4 適用建設機械		表1.4 適用建設機械			
機械区分	適用建設機械	機械区分	適用建設機械		
ブルドーザ	ブルドーザ (リッパ装置付を含む) 普通 21t 級以上～63t 級以下 湿地 20t 級以上～28t 級以下	ブルドーザ	ブルドーザ (リッパ装置付を含む) 普通 21t 級以上～44t 級以下 湿地 20t 級以上～28t 級以下		
バックホウ系	バックホウ (超ロングアーム型は除く) 山積 1.0m ³ 以上～2.1m ³ 以下 (平積 0.7m ³ 以上～1.5m ³ 以下) 油圧クラムシェル・テレスコピック 平積 0.4m ³ 以上～0.6m ³ 以下	バックホウ系	バックホウ (超ロングアーム型は除く) 山積 1.0m ³ 以上～2.1m ³ 以下 (平積 0.7m ³ 以上～1.5m ³ 以下) 油圧クラムシェル・テレスコピック 平積 0.4m ³ 以上～0.6m ³ 以下		
クローラクレーン系	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型] 吊り能力 16t 以上～300t 以下 クラムシェル [油圧ロープ式・機械ロープ式] 平積 0.6m ³ 以上～3.0m ³ 以下 パイプロハンマ [クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・50～55t 吊]	クローラクレーン系	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型] 吊り能力 16t 以上～300t 以下 クラムシェル [油圧ロープ式] 平積 0.6m ³ 以上～3.0m ³ 以下 パイプロハンマ [クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・50～55t 吊]		
トラッククレーン系	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] オールテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型] 吊り能力 80t 以上～550t 以下	トラッククレーン系	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] オールテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型] 吊り能力 100t 以上～550t 以下		
クローラ式杭打機	ディーゼルハンマ (防音カバー装置を除く) 油圧ハンマ アースオーガ (二軸同軸式を含む) ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 鋼管ソイルセメント杭打機 アースオーガ併用圧入杭打機 アースオーガ中掘式 機械質量 20t 以上～150t 以下	クローラ式杭打機	ディーゼルハンマ (防音カバー装置を除く) 油圧ハンマ アースオーガ (二軸同軸式を含む) ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 鋼管ソイルセメント杭打機 アースオーガ併用圧入杭打機 アースオーガ中掘式 機械質量 20t 以上～150t 以下		
オールケーシング掘削機	オールケーシング掘削機 [クローラ式] 掘削径 2,000mm 以下 オールケーシング掘削機 [スキッド式] 掘削径 2,000mm 以下	オールケーシング掘削機	オールケーシング掘削機 [クローラ式] 掘削径 2,000mm 以下 オールケーシング掘削機 [スキッド式] 掘削径 2,000mm 以下		
地盤改良機械	中層混合処理機 機械質量 20t 以上～120t 以下 サンドパイル打機 粉体噴射攪拌機 (付属機器を除く) 深層混合処理機 ペーパードレーン打機 機械質量 20t 以上～180t 以下	地盤改良機械	中層混合処理機 機械質量 20t 以上～120t 以下 サンドパイル打機 粉体噴射攪拌機 (付属機器を除く) 深層混合処理機 プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機 機械質量 20t 以上～180t 以下		
トンネル用機械	自由断面トンネル掘削機 ドリルジャンボ コンクリート吹付機 機械質量 20t 以上～60t 以下	トンネル用機械	自由断面トンネル掘削機 ドリルジャンボ コンクリート吹付機 機械質量 20t 以上～60t 以下		

誤				正				該当項	備考
2) 施工歩掛 (イ) 使用機械の規格選定 分解・組立に使用するクレーンは、次表を標準とする。 表1.5 クレーンの規格選定				2) 施工歩掛 (イ) 使用機械の規格選定 分解・組立に使用するクレーンは、次表を標準とする。 表1.5 クレーンの規格選定				第1部 第1編 1-2-19	
機械区分		規格	分解組立用クレーン		分解組立用クレーン				
			名称	規格	名称	規格			
バックホウ系 オールケーシング掘削機 (クローラ式) トンネル用機械		表1.4参照	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)〕	25 t 吊	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)〕	25 t 吊			
ブルドーザ		21 t 級以下	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)〕	25 t 吊	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)〕	25 t 吊			
		44 t 級以下							
		63 t 級以下					50 t 吊		
地盤改良機械	中層混合処理機	質量 60 t 以下	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)〕	25 t 吊	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)〕	25 t 吊			
	サンドパイル打機 粉体噴射攪拌機 深層混合処理機 ペーパードレーン打機	質量 120 t 以下		50 t 吊					
		質量 60 t 以下							
		質量 120 t 以下							
		質量 180 t 以下							
クローラクレーン系		35 t 吊以下 (クラムシェル平積 0.6m ³ 含む)	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)〕	25 t 吊	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)〕	25 t 吊			
		80 t 吊以下 (クラムシェル平積 2.0m ³ 含む)							
		150 t 吊以下 (クラムシェル平積 3.0m ³ 含む)		50 t 吊					
		300t 吊以下							
トラッククレーン系		表1.4参照	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)〕	50 t 吊	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)〕	70 t 吊			
クローラ式杭打機		質量 60 t 以下	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)〕	50 t 吊	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)〕	50 t 吊			
		質量 100 t 以下							
		質量 150 t 以下							
オールケーシング掘削機 〔スキッド式〕		表1.4参照	クローラクレーン 〔油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)〕	60~65 t 吊	クローラクレーン 〔油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)〕	60~65 t 吊			
			クローラクレーン 〔油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第3次基準値)〕100 t 吊を使用する 場合	100 t 吊					
(注) 1. 現場条件等により、上表により難しい場合は別途考慮する。 2. ラフテレーンクレーン、クローラクレーンは、賃料とする。 ただし、オールケーシング掘削機〔スキッド式〕の分解組立用クローラクレーンは損料とする。		表1.4参照	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)〕	50 t 吊	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)〕	50 t 吊			
			ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)〕	50 t 吊	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)〕	50 t 吊			
オールケーシング掘削機 〔スキッド式〕		表1.4参照	クローラクレーン 〔油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第3次基準値)〕70 t 吊を使用する 場合	70 t 吊	クローラクレーン 〔油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第3次基準値)〕	70 t 吊			
			クローラクレーン 〔油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第3次基準値)〕100 t 吊を使用する 場合	100 t 吊	クローラクレーン 〔油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第3次基準値)〕	100 t 吊			

記載の修正

記載の修正

記載の修正

記載の修正

記載の修正

記載の修正

記載の修正

誤							正						該当項	備考
(ロ) 歩掛 分解・組立1台1回当り歩掛は、次表を標準とする。 表1.6 歩掛							(注) 1. ラフテレーンクレーン、リフターは、賃料とし、クローラクレーンは損料とする。 なお、リフター（せり上げ能力50t）の供用1日あたり賃料は224,000円を標準とする。 （オペレーター、燃料油脂費を含み、回送、運搬費は含まない。） 2. 現道上および高架下等のラフテレーンクレーンによる分解組立作業が困難な場合は、リフターを使用することができる。 3. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。 (ロ) 歩掛 分解・組立1台1回当り歩掛は、次表を標準とする。 表1.6 歩掛						第1部 第1編 1-2-20	記載の修正 記載の修正 記載の修正 記載の修正 記載の修正 記載の修正
(本体工事でクローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型排出ガス対策型(2011年規制)]100t吊を使用する場合)							(本体工事でクローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型排出ガス対策型(2011年規制)]100t吊を使用する場合)						(つづき)	
機械区分	規格区分	機械質量区分	労務歩掛 特殊作業員 (人) [分解+組立]	クレーン 運転歩掛 (日) [分解+組立]	運搬費 等率 (%)	諸雑費 率 (%)	機械区分	規格区分	労務歩掛 特殊作業員 (人) [分解+組立]	クレーン 運転歩掛 (日) [分解+組立]	運搬費 等率 (%)	諸雑費 率 (%)		
ブルドーザ	21t級以下	—	2.8	2.1	134	21	ブルドーザ	21t級以下	2.8	2.1	155	21		記載の修正
	44t級以下	—	4.6	3.4	132	21		44t級以下	4.6	3.4	153	21		記載の修正
	63t級以下	—	8.4	6.2	90	14	バックホウ系	山積1.4m ³ 以下 (油圧クラムシェル・テレスコピック 0.4m ³ 以上0.6m ³ 以下含む)	2.7	1.4	216	24		記載の修正
山積2.1m ³ 以下	—	4.5	2.3	221	25	山積2.1m ³ 以下		4.5	2.3	256	25		記載の修正	
クローラクレーン系	35t吊以下 (クラムシェル平積0.6m ³ 含む)	—	3.0	0.8	384	22	クローラクレーン系	35t吊以下 (クラムシェル平積0.6m ³ 含む)	3.0	0.8	444	22		記載の修正
	80t吊以下 (クラムシェル平積2.0m ³ 以下含む)	—	5.5	1.5	375	21		80t吊以下 (クラムシェル平積2.0m ³ 以下含む)	5.5	1.5	434	21		
	150t吊以下 (クラムシェル平積3.0m ³ 以下含む)	—	11.3	3.1	287	16		150t吊以下 (クラムシェル平積3.0m ³ 以下含む)	11.3	3.1	315	15		
	300t吊以下	—	20.5	5.7	286	16		300t吊以下	20.5	5.7	313	15		
トラッククレーン系	120t吊以下	—	4.3	1.5	439	97	トラッククレーン系	120t吊以下	4.3	1.5	394	75		記載の修正
	160t吊以下	—	5.7	1.9	454	100		160t吊以下	5.7	1.9	409	78		
	360t吊以下	—	11.7	4.0	443	97		360t吊以下	11.7	4.0	399	75		
	500t吊以下	—	20.9	7.1	446	98		500t吊以下	20.9	7.1	401	76		
クローラ式杭打機	—	60t以下	8.6	2.1	148	2	クローラ式杭打機	200t吊以上360t吊以下 (リフターを使用する場合)	11.0	2.7	392	83		記載の修正
	—	100t以下	15.5	3.7	149	2		550t吊以下 (リフターを使用する場合)	19.4	4.9	390	83		記載の修正
	—	150t以下	23.5	5.6	148	2		60t以下	8.6	2.1	163	2		記載の修正
オールケーシング掘削機 [クローラ式]	—	—	3.9	3.4	515	5	クローラ式杭打機	100t以下	15.5	3.7	164	2		記載の修正
オールケーシング掘削機 [スキッド式]	—	—	4.9	11.9 (h)	483	4		150t以下	23.5	5.6	163	2		
	(本体工事でクローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型排出ガス対策型(第3次基準値)]100t吊を使用する場合)	—	4.9	11.9 (h)	320	3		オールケーシング掘削機 [クローラ式]	—	3.9	3.4	595	5	

誤								正						該当項	備考
地盤改良機械	機械区分	規格区分	労務歩掛 特殊作業員 (人) [分解+組立]	クレーン 運転歩掛 (日) [分解+組立]	運搬費 等率 (%)	諸雑費 率 (%)	トンネル用機械	規格区分	労務歩掛 特殊作業員 (人) [分解+組立]	クレーン 運転歩掛 (日) [分解+組立]	運搬費 等率 (%)	諸雑費 率 (%)			
													中層混合処理機	—	60 t 以下
		120 t 以下	41.2	6.3	190	3	本体工事でクローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型排出ガス対策型(第3次基準値)]70 t吊を使用する場合	4.9	11.9 (h)	490	4	記載の修正			
サンドパイル打機	—	60 t 以下	16.0	2.4	191	3	本体工事でクローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型排出ガス対策型(第3次基準値)]100 t吊を使用する場合	4.9	11.9 (h)	370	3				
粉体噴射攪拌機	—	120 t 以下	41.2	6.3	190	3	本体工事でクローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型排出ガス対策型(2011年規制)]100 t吊を使用する場合	4.9	11.9 (h)	361	3				
深層混合処理機	—	180 t 以下	64.6	9.9	189	3	地盤改良機械	中層混合処理機	60 t 以下	16.0	2.4	265	4	記載の修正	
ベアトレン打機	—	—	5.4	2.0	503	8			120 t 以下	41.2	6.3	211	3	記載の修正	
トンネル用機械	—	—	5.4	2.0	503	8		サンドパイル打機	60 t 以下	16.0	2.4	213	3	記載の修正	
								粉体噴射攪拌機	120 t 以下	41.2	6.3	211	3		
								深層混合処理機	120 t 以下	41.2	6.3	211	3		
								プレファブリケートベアトレン打機	180 t 以下	64.6	9.9	210	3	記載の修正	
							トンネル用機械		5.4	2.0	582	8			

誤	正	該当項	備考
<p>1-4 準備費 (1) 準備費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>1) 準備及び後片付けに要する費用 (イ) 着手時の準備費用 (ロ) 施工期間中における準備、後片付け費用 (ハ) 完成時の後片付け費用</p> <p>2) 調査・測量、丁張等に要する費用 (イ) 工事着手前の基準測量等に要する費用 (ロ) 縦、横断面図等の照査等の費用 (ハ) 用地幅杭等の仮移設等の費用 (ニ) 丁張の設置等の費用</p> <p>3) 除草、整地、段切り、すりつけ等に要する費用</p> <p>4) 1) から3) に掲げるもののほか、工事施工上必要な準備等に要する費用</p> <p>5) 1) から3) の実施に必要な交通誘導警備員の費用については、直接工事費に積上げ計上する。</p> <p>(2) 積算方法 準備費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)の1)、2)、3) とし、積上げ計上する事項は次の各項に要する費用とする。</p> <p>1) 伐開、除根、搬出、処理等に要する費用 2) 地下埋設物(管路等)の試掘、レーダー探査等に要する費用 3) その他、現場条件等により積上げを要する費用</p> <p>1-5 事業損失防止施設費 (1) 事業損失防止施設費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>1) 工事施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の断絶等に起因する事業損失を未然に防止するための仮施設の設置費、撤去費及び当該仮施設の維持管理等に要する費用</p> <p>2) 事業損失を未然に防止するために必要な調査等に要する費用</p> <p>(2) 積算方法 事業損失防止施設費の積算は、現場条件を適確に把握することにより必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p>1-6 安全費 (1) 安全費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>1) 安全施設等に要する費用 2) 安全管理等に要する費用 3) 1) から2) に掲げるもののほか工事施工上必要な安全対策等に要する費用</p>	<p>1-4 準備費 (1) 準備費の積算 準備費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>1) 準備及び後片付けに要する費用 (イ) 着手時の準備費用 (ロ) 施工期間中における準備、後片付け費用 (ハ) 完成時の後片付け費用</p> <p>2) 調査・測量、丁張等に要する費用 (イ) 工事着手前の基準測量等に要する費用 (ロ) 縦、横断面図等の照査等の費用 (ハ) 用地幅杭等の仮移設等の費用 (ニ) 丁張の設置等の費用</p> <p>3) 除草、整地、段切り、すりつけ等に要する費用</p> <p>4) 1) から3) に掲げるもののほか、工事施工上必要な準備等に要する費用</p> <p>5) 1) から3) の実施に必要な交通誘導警備員の費用については、直接工事費に積上げ計上する。</p> <p>(2) 積算方法 準備費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)の1)、2)、3) とし、積上げ計上する事項は次の各項に要する費用とする。</p> <p>1) 伐開、除根、搬出、処理等に要する費用 2) 地下埋設物(管路等)の試掘、レーダー探査等に要する費用 3) その他、現場条件等により積上げを要する費用</p> <p>1-5 事業損失防止施設費 (1) 事業損失防止施設費の積算 事業損失防止施設費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>1) 工事施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の断絶等に起因する事業損失を未然に防止するための仮施設の設置費、撤去費及び当該仮施設の維持管理等に要する費用</p> <p>2) 事業損失を未然に防止するために必要な調査等に要する費用</p> <p>(2) 積算方法 事業損失防止施設費の積算は、現場条件を適確に把握することにより必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p>1-6 安全費 (1) 安全費の積算 安全費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>1) 安全施設等に要する費用 2) 安全管理等に要する費用 3) 1) ～2) に掲げるもののほか、工事施工上必要な安全対策等に要する費用</p>	<p>第1部 第1編 1-2-22</p>	<p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p>

誤	正	該当項	備考
<p>(2) 積算方法</p> <p>1) 安全費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)の1)、2)のうち下記項目とする。</p> <p>(イ) 工事地域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要する費用</p> <p>(ロ) 不稼働日の保安要員等の費用</p> <p>(ハ) 標示板、標識、保安燈、バリケード等の安全施設の設置、撤去、補修に要する費用及び使用期間中の損料</p> <p>(ニ) 安全用品等に要する費用</p> <p>(ホ) 安全委員会等に要する費用</p> <p>2) 上記以外で積上げ計上する項目は、次の各項に要する費用とする。</p> <p>(イ) 夜間工事における照明設備</p> <p>(ロ) 高圧作業の予防に要する費用</p> <p>(ハ) その他、現場条件等により積上げを要する費用</p> <p>(ニ) 粉塵飛散防止対策に要する費用</p> <p>1-7 役務費</p> <p>(1) 役務費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>1) 土地の借上げ等に要する費用</p> <p>2) 電力、用水等の基本料</p> <p>3) 電力設備用工事負担金</p> <p>(2) 積算方法</p> <p>1) 役務費の積算は、現場条件を適確に把握することにより必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p>1-8 技術管理費</p> <p>(1) 技術管理費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>1) 品質管理のための試験等に関する費用</p> <p>2) 出来形管理のための測量等に要する費用</p> <p>3) 工程管理のための資料の作成等に要する費用</p> <p>4) 1) から3)に掲げるもののほか、技術管理上必要な資料の作成に要する費用</p> <p>(2) 積算方法</p> <p>1) 技術管理費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は前記(1)の1)、2)、3)のうち下記項目とする。</p> <p>(イ) 品質管理基準に含まれる試験に要する費用</p> <p>(ロ) 出来形管理のための測量、図面作成、写真管理に要する費用</p> <p>(ハ) 工程管理のための資料の作成等に要する費用</p> <p>(ニ) 完成図及びマイクロフィルム、電子納品の作成に要する費用</p> <p>(ホ) 建設材料の品質記録保存に要する費用</p>	<p>(2) 積算方法</p> <p>1) 安全費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)の1)、2)のうち下記項目とする。</p> <p>(イ) 工事地域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要する費用</p> <p>(ロ) 不稼働日の保安要員等の費用</p> <p>(ハ) 標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード、架空線等事故防止対策簡易ゲート等の安全施設類の設置、撤去、補修に要する費用及び使用期間中の損料</p> <p>(ニ) 酸素欠乏症の予防に要する費用</p> <p>(ホ) 粉塵作業の予防に要する費用(ただし、「ずい道建設工事における粉塵対策に関するガイドライン」によるトンネル工事の粉塵発生源に係る各設備、「鉛等有害物を含有する塗料のかき落とし作業における労働者の健康障害防止について」に伴う各ばく露対策は、仮設工に計上する)</p> <p>(ヘ) 安全用品等に要する費用 (墜落制止用器具(フルハーネス型)を含む)</p> <p>(ト) 安全委員会等に要する費用</p> <p>2) 上記以外で積上げ計上する項目は、次の各項に要する費用とする。</p> <p>(イ) 夜間工事における照明設備</p> <p>(ロ) バリケード、転落防止柵、工事標識、照明等の現場環境改善費に要する費用(積算方法は、第7章「空港請負工事における現場環境改善費の積算」による)</p> <p>(ハ) 高圧作業の予防に要する費用</p> <p>(ニ) 河川及び海岸の工事区域に隣接して、航路がある場合の安全標識・警戒船運転に要する費用</p> <p>(ホ) 鉛等有害物を含有する塗料のかき落とし作業における呼吸用保護具(電動ファン付粉塵用呼吸用保護具等)</p> <p>(ヘ) その他、現場条件等により積上げを要する費用</p> <p>(ト) 粉塵飛散防止対策に要する費用</p> <p>1-7 役務費</p> <p>(1) 役務費の積算</p> <p>役務費として積算する内容は、次のとおりとする。</p> <p>1) 土地の借上げ等に要する費用</p> <p>2) 電力、用水等の基本料</p> <p>3) 電力設備用工事負担金</p> <p>(2) 積算方法</p> <p>1) 役務費の積算は、現場条件を適確に把握することにより必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p>1-8 技術管理費</p> <p>(1) 技術管理費として積算する内容は、次のとおりとする。</p> <p>1) 品質管理のための試験等に要する費用</p> <p>2) 出来形管理のための測量等に要する費用</p> <p>3) 工程管理のための資料の作成等に要する費用</p> <p>4) 1) から3)に掲げるもののほか、技術管理上必要な資料の作成に要する費用</p> <p>(2) 積算方法</p> <p>1) 技術管理費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は前記(1)の1)、2)、3)のうち下記項目とする。</p> <p>(イ) 品質管理基準に記載されている試験項目(必須・その他)に要する費用</p> <p>(ロ) 出来形管理のための測量、図面作成、写真管理に要する費用</p> <p>(ハ) 工程管理のための資料の作成等に要する費用</p> <p>(ニ) 完成図、マイクロフィルムの作成及び電子納品等の作成に要する費用</p> <p>(ホ) 建設材料の品質記録保存に要する費用</p>	<p>第1部 第1編 1-2-23</p>	<p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p>

誤	正	該当項	備考
<p>(へ) コンクリート中の塩化物総量規制に伴う試験に要する費用 (ト) コンクリートの単位水量測定、ひび割れ調査、テストハンマーによる強度推定調査に要する費用 (チ) 塗装膜厚施工管理に要する費用 (リ) 施工管理で使用するOA機器の費用 (ヌ) 品質証明に係る費用 (品質証明費) (ル) 建設発生土情報交換システム及び建設副産物情報交換システムの操作に要する費用</p> <p>2) 上記以外で積上げする項目は、次の各項に要する費用とする。 (イ) 特殊な品質管理に要する費用 a 土質等試験：品質管理基準に記載されている項目以外の試験 b 地質調査：平板載荷試験、ボーリング、サウンディング、その他原位置試験 c 溶接試験：放射線透過試験 (現場) (ロ) 現場条件等により積上げを要する費用 a 軟弱地盤等における計器の設置・撤去及び測定・取りまとめに要する費用 b 試験盛土等の工事に要する費用 c その他前記 a、b に含まれない項目で、特に技術的判断に必要な資料の作成に要する費用。</p> <p>(ハ) 歩掛調査及び諸経費動向調査に要する費用</p> <p>(ニ) ICT 建設機械に要する以下の費用 a 保守点検 b システム初期費 c 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 なお、システム初期費については1工事当り使用機種毎に一式計上する (施工箇所が点在する工事の場合は、箇所毎に計上するのではなく、1工事当り使用機種毎に1式計上とする)。 (ホ) その他、前記イ、ロ、ハ、ニに含まれない項目で、特に技術的判断に必要な資料の作成に要する費用</p> <p>1-9 営繕費 (1) 営繕費として積算する内容は次のとおりとする。 1) 現場事務所、試験室等の営繕 (設置・撤去、維持・修繕) に要する費用 2) 労働者宿舍の営繕 (設置・撤去、維持・修繕) に要する費用 3) 倉庫及び材料保管場の営繕 (設置・撤去、維持・修繕) に要する費用 4) 労働者の輸送に要する費用 5) 上記1)、2)、3) に係る土地・建物の借上げに要する費用 6) 監督員詰所及び火薬庫の営繕 (設置・撤去、維持・修繕) に要する費用 7) 1) から6) に掲げるもののほか工事施工上必要な営繕等に要する費用</p> <p>(2) 積算方法 1) 営繕費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記 (1) の1) から5) とし、積上げ計上する項目は次の各項に要する費用とする。 (イ) 監督員詰所及び火薬庫等の営繕 (設置・撤去、維持・修繕) に要する費用 監督員詰所及び火薬庫等の設置は、工事期間、工事場所、施工時期、工事</p>	<p>(へ) コンクリート中の塩化物総量規制に伴う試験に要する費用 (ト) コンクリートの単位水量測定、ひび割れ調査、テストハンマーによる強度推定調査に要する費用 (チ) 塗装膜厚施工管理に要する費用 (リ) 施工管理で使用するOA機器の費用 (ヌ) 品質証明に係る費用 (品質証明費) (ル) 建設発生土情報交換システム及び建設副産物情報交換システムの操作に要する費用</p> <p>2) 上記以外で積上げする項目は、次の各項に要する費用とする。 (イ) 特殊な品質管理に要する費用 a 土質等試験：品質管理基準に記載されている項目以外の試験 b 地質調査：平板載荷試験、ボーリング、サウンディング、その他原位置試験 c 溶接試験：放射線透過試験 (現場) (ロ) 現場条件等により積上げを要する費用 a 軟弱地盤等における計器の設置・撤去及び測定・取りまとめに要する費用 b 試験盛土等の工事に要する費用 c 施工前に既設構造物の配筋状況の確認を目的として特別な機器 (鉄筋探査等) を用いた調査に要する費用 d その他前記 a、b、c に含まれない項目で、特に技術的判断に必要な資料の作成に要する費用。</p> <p>(ハ) 歩掛調査及び諸経費動向調査に要する費用 調査に要する費用とし、その費用については、間接工事費、一般管理費等の対象とする。</p> <p>(ニ) ICT 建設機械に要する以下の費用 a 保守点検 b システム初期費 c 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 なお、システム初期費については1工事当り使用機種毎に一式計上する (施工箇所が点在する工事の場合は、箇所毎に計上するのではなく、1工事当り使用機種毎に1式計上とする)。 (ホ) その他、前記イ、ロ、ハ、ニに含まれない項目で、特に技術的判断に必要な資料の作成に要する費用</p> <p>1-9 営繕費 (1) 営繕費として積算する内容は次のとおりとする。 1) 現場事務所、試験室等の営繕 (設置・撤去、維持・修繕) に要する費用 2) 労働者宿舍の営繕 (設置・撤去、維持・修繕) に要する費用 3) 倉庫及び材料保管場の営繕 (設置・撤去、維持・修繕) に要する費用 4) 労働者の輸送に要する費用 5) 上記1)、2)、3) に係る土地・建物の借上げに要する費用 6) 監督員詰所及び火薬庫の営繕 (設置・撤去、維持・修繕) に要する費用 7) 1) ~6) に掲げるもののほか工事施工上必要な営繕等に要する費用</p> <p>(2) 積算方法 1) 営繕費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記 (1) の1) ~5) とし、積上げ計上する項目は次の各項に要する費用とする。 (イ) 監督員詰所及び火薬庫等の営繕 (設置・撤去、維持・修繕) に要する費用 監督員詰所及び火薬庫等の設置は、工事期間、工事場所、施工時期、工事</p>	<p>第1部 第1編 1-2-24</p>	<p>前項から移動</p> <p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p>

誤	正	該当項	備 考																																										
<p>規模、監督体制等を考慮して土地借上げ費用等を含めた必要な費用を積上げるものとする。</p> <p>(ロ) その他、現場条件等により積上げを要する費用</p> <p>(17) 雑費 (1) から (16) までに属さない諸費</p> <p>2-2 現場管理費の算定 (1) 現場管理費は、別表第2(第1表～第3表)の工種区分に従って純工事費ごとに求めた現場管理費率を、当該工事費に乗じて得た額の範囲内とする。 (2) 2種以上の工種内容からなる工事については、その主たる工種区分の現場管理費率を適用するものとし、また、工種区分は、工事名にとられることなく工種内容によって適切に選定するものとする。</p> <p>2-3 現場管理費率の補正 現場管理費率の補正は、「(1) 施工時期、工事期間等による補正」、「(2) 大都市等を考慮した現場管理費率の補正」又は「(3) 施工地域、工事場所を考慮した現場管理費率の補正」により補正を行うものとする。</p> <p>(1) 施工時期、工事期間等による補正 施工時期、工事期間等を考慮して、別表第2の工種別現場管理費率を2%の範囲内で適切に加算することができる。ただし重複する場合は、最高2%とする。</p> <p>1) 積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合 (イ) 積雪寒冷地域の範囲…国家公務員の寒冷地手当に関する法律に規定される寒冷地手当を支給する地域とする。 (ロ) 積雪寒冷地の施工期間を次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">施 工 期 間</th> <th style="text-align: center;">適 用 地 域</th> <th style="text-align: center;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">11月1日～3月31日</td> <td style="text-align: center;">北海道、青森県、秋田県</td> <td style="text-align: center;">積雪地特性を11月中の降雪が5日以上であることとした。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12月1日～3月31日</td> <td style="text-align: center;">上記以外の地域</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(ハ) 工場製作工事及び空港維持工事(除雪工事含む)は適用しない。 (ニ) 現場管理費率の補正率は次によるものとする。 補正值(%) = 冬期率 × 補正係数 冬期率 = 12月1日～3月31日(11月1日～3月31日)までの工事期間 / 工期</p> <p>ただし、工期については実際に工事を施工するために要する期間で、準備期間と後片付け期間を含めた期間とする。また、冬期工事期間に準備又は後片付けが掛かる場合は、準備期間と後片付けを含めた期間とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">補 正 係 数</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">積雪寒冷地域の区分</th> <th style="text-align: center;">補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1 級地</td> <td style="text-align: center;">1.80</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2 級地</td> <td style="text-align: center;">1.60</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3 級地</td> <td style="text-align: center;">1.40</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4 級地</td> <td style="text-align: center;">1.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 冬期率は小数第3位を四捨五入し2位止めとする。 2. 補正值は小数第3位を四捨五入し2位止めとする。</p>	施 工 期 間	適 用 地 域	備 考	11月1日～3月31日	北海道、青森県、秋田県	積雪地特性を11月中の降雪が5日以上であることとした。	12月1日～3月31日	上記以外の地域		補 正 係 数		積雪寒冷地域の区分	補正係数	1 級地	1.80	2 級地	1.60	3 級地	1.40	4 級地	1.20	<p>規模、監督体制等を考慮して土地借上げ費用等を含めた必要な費用を積上げるものとする。</p> <p>(ロ) その他、現場条件等により積上げを要する費用</p> <p>(17) 雑費 (1) から (16) までに属さない諸費用</p> <p>2-2 現場管理費の算定 (1) 現場管理費は、別表第2(第1表～第3表)の工種区分に従って純工事費ごとに求めた現場管理費率を、当該工事費に乗じて得た額の範囲内とする。 (2) 2種以上の工種内容からなる工事については、その主たる工種区分の現場管理費率を適用するものとし、また、工種区分は、工事名にとられることなく工種内容によって適切に選定するものとする。</p> <p>2-3 現場管理費率の補正 現場管理費率の補正は、「(1) 施工時期、工事期間等による補正」、「(2) 大都市等を考慮した現場管理費率の補正」又は「(3) 施工地域、工事場所を考慮した現場管理費率の補正」により補正を行うものとする。</p> <p>(1) 施工時期、工事期間等による補正 施工時期、工事期間等を考慮して、別表第2の工種別現場管理費率を2%の範囲内で適切に加算することができる。ただし重複する場合は、最高2%とする。</p> <p>1) 積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合 (イ) 積雪寒冷地域の範囲…国家公務員の寒冷地手当に関する法律に規定される寒冷地手当を支給する地域とする。 (ロ) 積雪寒冷地の施工期間を次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">施 工 期 間</th> <th style="text-align: center;">適 用 地 域</th> <th style="text-align: center;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">11月1日～3月31日</td> <td style="text-align: center;">北海道、青森県、秋田県</td> <td style="text-align: center;">積雪地特性を11月中の降雪が5日以上であることとした。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12月1日～3月31日</td> <td style="text-align: center;">上記以外の地域</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(ハ) 工場製作工事及び空港維持工事(除雪工事含む)は適用しない。 (ニ) 現場管理費率の補正率は次によるものとする。 補正值(%) = 冬期率 × 補正係数 冬期率 = 12月1日～3月31日(11月1日～3月31日)までの工事期間 / 工期</p> <p>ただし、工期については実際に工事を施工するために要する期間で、準備期間と後片付け期間を含めた期間とする。また、冬期工事期間に準備又は後片付けが掛かる場合は、準備期間と後片付けを含めた期間とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">補 正 係 数</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">積雪寒冷地域の区分</th> <th style="text-align: center;">補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1 級地</td> <td style="text-align: center;">1.80</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2 級地</td> <td style="text-align: center;">1.60</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3 級地</td> <td style="text-align: center;">1.40</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4 級地</td> <td style="text-align: center;">1.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 冬期率は小数第3位を四捨五入し2位止めとする。 2. 補正值は小数第3位を四捨五入し2位止めとする。</p>	施 工 期 間	適 用 地 域	備 考	11月1日～3月31日	北海道、青森県、秋田県	積雪地特性を11月中の降雪が5日以上であることとした。	12月1日～3月31日	上記以外の地域		補 正 係 数		積雪寒冷地域の区分	補正係数	1 級地	1.80	2 級地	1.60	3 級地	1.40	4 級地	1.20	<p>第1部 第1編 1-2-26</p>	<p style="color: red;">前項から移動</p> <p style="color: red;">記載の修正</p>
施 工 期 間	適 用 地 域	備 考																																											
11月1日～3月31日	北海道、青森県、秋田県	積雪地特性を11月中の降雪が5日以上であることとした。																																											
12月1日～3月31日	上記以外の地域																																												
補 正 係 数																																													
積雪寒冷地域の区分	補正係数																																												
1 級地	1.80																																												
2 級地	1.60																																												
3 級地	1.40																																												
4 級地	1.20																																												
施 工 期 間	適 用 地 域	備 考																																											
11月1日～3月31日	北海道、青森県、秋田県	積雪地特性を11月中の降雪が5日以上であることとした。																																											
12月1日～3月31日	上記以外の地域																																												
補 正 係 数																																													
積雪寒冷地域の区分	補正係数																																												
1 級地	1.80																																												
2 級地	1.60																																												
3 級地	1.40																																												
4 級地	1.20																																												

誤	正	該当項	備考
<p>3. 施工地域が2つ以上になる場合には、補正係数の大きい方を適用する。</p> <p>2) 緊急工事の場合 緊急工事は、2.0%の補正値を加算するものとする。</p> <p style="text-align: center;">第3章 一般管理費等</p> <p>① 一般管理費等 1. 一般管理費の項目及び内容 一般管理費は、工事の施工にあたる企業の経営管理と活動に必要な本店及び支店における経費であり、その項目及び内容は次のとおりである。</p> <p>(1) 役員報酬 取締役及び監査役に対する報酬及び役員賞与（損金算入分）</p> <p>(2) 従業員給料手当 本店及び支店の従業員に対する給料、諸手当及び賞与</p> <p>(3) 退職金 退職給与引当金繰入額並びに退職給与引当金の対象とならない役員及び従業員に対する退職金</p> <p>(4) 法定福利費 本店及び支店の従業員に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額</p> <p>(5) 福利厚生費 本店及び支店の従業員に係る慰安、娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等、福利厚生、文化活動に要する費用</p> <p>(6) 修繕維持費 建物、機械、装置等の修繕維持費、倉庫物品の管理費等</p> <p>(7) 事務用品費 事務用消耗品費、固定資産に計上しない事務用備品費、新聞、参考図書等の購入費</p> <p>(8) 通信交通費 通信費、交通費及び旅費</p> <p>(9) 動力、用水光熱費 電力、水道、ガス等の費用</p> <p>(10) 調査研究費 技術研究、開発等の費用</p> <p>(11) 広告宣伝費 広告、公告、宣伝に要する費用</p> <p>(12) 交際費 本店及び支店などへの来客等の対応に要する費用</p> <p>(13) 寄付金</p> <p>(14) 地代家賃 事務所、寮、社宅等の借地借家料</p> <p>(15) 減価償却費</p>	<p>3. 施工地域が2つ以上になる場合には、補正係数の大きい方を適用する。</p> <p>2) 緊急工事の場合 緊急工事は、2.0%の補正値を加算するものとする。</p> <p>(4) その他 災害の発生等により、本基準において想定している状況と実態が乖離している場合などについては、上記1)及び2)のほか、必要に応じて実態等を踏まえた補正係数を設定することができるものとする。</p> <p style="text-align: center;">第3章 一般管理費等</p> <p>① 一般管理費等 1. 一般管理費の項目及び内容</p> <p>(1) 役員報酬 取締役及び監査役に対する報酬及び役員賞与（損金算入分）</p> <p>(2) 従業員給料手当 本店及び支店の従業員に対する給料、諸手当及び賞与</p> <p>(3) 退職金 退職給与引当金繰入額並びに退職給与引当金の対象とならない役員及び従業員に対する退職金</p> <p>(4) 法定福利費 本店及び支店の従業員に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額</p> <p>(5) 福利厚生費 本店及び支店の従業員に係る慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等、福利厚生等、文化活動等に要する費用</p> <p>(6) 修繕維持費 建物、機械、装置等の修繕維持費、倉庫物品の管理費等</p> <p>(7) 事務用品費 事務用消耗品費、固定資産に計上しない事務用備品費、新聞、参考図書等の購入費</p> <p>(8) 通信交通費 通信費、交通費及び旅費</p> <p>(9) 動力、用水光熱費 電力、水道、ガス等の費用</p> <p>(10) 調査研究費 技術研究、開発等の費用</p> <p>(11) 広告宣伝費 広告、公告、宣伝に要する費用</p> <p>(12) 交際費 本店及び支店などへの来客等の対応に要する費用</p> <p>(13) 寄付金</p> <p>(14) 地代家賃 事務所、寮、社宅等の借地借家料</p> <p>(15) 減価償却費</p>	<p>第1部 第1編 1-3-1</p>	<p>前項から移動</p> <p>記載の修正</p>

誤	正	該当項	備考
<p>建物、車両、機械装置、事務用備品等の減価償却額</p> <p>(16) 試験研究費償却 新製品又は新技術の研究のため特別に支出した費用の償却額</p> <p>(17) 開発費償却 新技術又は新経営組織の採用、資源の開発、市場の開拓のため特別に支出した費用の償却額</p> <p>(18) 租税公課 不動産取得税、固定資産税等の租税及び道路占用料その他の公課</p> <p>(19) 保険料 火災保険及びその他の損害保険料</p> <p>(20) 契約保証費 契約の保証に必要な費用</p> <p>(21) 雑費 電算等経費、社内打ち合せ等の費用、学会及び協会活動等諸団体会費等の費用</p> <p>2. 付加利益 付加利益は、工事の施工にあたる企業が継続して経営するために必要な費用であり、その項目は次のとおりである。</p> <p>(1) 法人税、都道府県民税、市町村民税等</p> <p>(2) 株主配当金</p> <p>(3) 役員賞与金</p> <p>(4) 内部留保金</p> <p>(5) 支払利息及び割引料、支払保証料その他の営業外費用</p> <p>3. 一般管理費等の算定 一般管理費等は、1. 及び2. の額の合計額とし、別表第3の工事原価ごとに求めた一般管理費等率を、当該工事原価に乗じて得た額の範囲内とする。</p> <p>4. 一般管理費等率の補正</p> <p>(1) 前払金の保証がある工事において、以下の事項に該当する場合に補正を行う。 なお、前払金の保証がない工事は、一般管理費等の補正の対象外である。</p> <p>1) 前払金支出割合の相違による取扱い 前払金支出割合が35%以下の場合の一般管理費等率は、別表第4の前払金支出割合区分ごとに定める補正係数を前項で算定した一般管理費等率に乗じて得た率とする。</p> <p>2) 契約の保証に必要な費用の取扱い 前払金支出割合の相違による補正までを行った値に、別表第5の補正値を加算したものを一般管理費等とする。</p> <p>(2) 支給品等の取扱い 資材等を支給するときは、当該支給品費は一般管理費等算定の基礎となる工事原価に含めないものとする。</p> <p>(3) 自社製品の取扱い（プレテン桁、組立式橋梁、規格ゲート、標識等を製作専門メーカーに発注する場合）について自社製品であっても、他社製品と同様に一般管理費等の対象とする。</p>	<p>建物、車両、機械装置、事務用備品等の減価償却額</p> <p>(16) 試験研究費償却 新製品又は新技術の研究のため特別に支出した費用の償却額</p> <p>(17) 開発費償却 新技術又は新経営組織の採用、資源の開発、市場の開拓のため特別に支出した費用の償却額</p> <p>(18) 租税公課 不動産取得税、固定資産税等の租税及び道路占用料、その他の公課</p> <p>(19) 保険料 火災保険及びその他の損害保険料</p> <p>(20) 契約保証費 契約の保証に必要な費用</p> <p>(21) 雑費 電算等経費、社内打ち合せ等の費用、学会及び協会活動等諸団体会費等の費用</p> <p>2. 付加利益</p> <p>(1) 法人税、都道府県民税、市町村民税等</p> <p>(2) 株主配当金</p> <p>(3) 役員賞与（損金算入分を除く）</p> <p>(4) 内部留保金</p> <p>(5) 支払利息及び割引料、支払保証料その他の営業外費用</p> <p>3. 一般管理費等の算定 一般管理費等は、1 及び2 の額の合計額とし、別表第3の工事原価ごとに求めた一般管理費等率を当該工事原価に乗じて得た額の範囲内とする。</p> <p>4. 一般管理費等率の補正</p> <p>(1) 前払金の保証がある工事において、以下の事項に該当する場合に補正を行う。 なお、前払金の保証がない工事は、一般管理費等の補正の対象外である。</p> <p>1) 前払金支出割合の相違による取扱い 前払金支出割合が35%以下の場合の一般管理費等率は、別表第4の前払金支出割合区分ごとに定める補正係数を前項で算定した一般管理費等率に乗じて得た率とする。</p> <p>2) 契約の保証に必要な費用の取扱い 前払金支出割合の相違による補正までを行った値に、別表第5の補正値を加算したものを一般管理費等とする。</p> <p>(2) 支給品等の取扱い 資材等を支給するときは、当該支給品費は一般管理費等算定の基礎となる工事原価に含めないものとする。</p> <p>(3) 自社製品の取扱い（プレテン桁、組立式橋梁、規格ゲート、標識等を製作専門メーカーに発注する場合）について自社製品であっても、他社製品と同様に一般管理費等の対象とする。</p>	<p>第1部 第1編 1-3-2</p>	<p>前項から移動</p> <p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p>

誤				正				該当項	備考																
<p>別表第3 一般管理費等率 (1) 前払金支出割合が35%を超える場合</p> <table border="1"> <tr> <td>工事原価</td> <td>500万円以下</td> <td>500万円を超え30億円以下</td> <td>30億円を超えるもの</td> </tr> <tr> <td>一般管理費等率</td> <td>23.57%</td> <td>(2)の算定式により算出された率</td> <td>9.74%</td> </tr> </table> <p>(2) 算定式 $G_p = -4.97802 \times \text{LOG}(C_p) + 56.92101$ (%) ただし、G_p : 一般管理費等率 (%) C_p : 工事原価 (単位円) (注) G_p の値は、小数第3位を四捨五入して2位止めとする。</p>				工事原価	500万円以下	500万円を超え30億円以下	30億円を超えるもの	一般管理費等率	23.57%	(2)の算定式により算出された率	9.74%	<p>別表第3 一般管理費等率 (1) 前払金支出割合が35%を超える場合</p> <table border="1"> <tr> <td>工事原価</td> <td>500万円以下</td> <td>500万円を超え30億円以下</td> <td>30億円を超えるもの</td> </tr> <tr> <td>一般管理費等率</td> <td>23.57%</td> <td>(2)の算定式により算出された率</td> <td>9.74%</td> </tr> </table> <p>(2) 算定式 $G_p = -4.97802 \times \text{LOG}(C_p) + 56.92101$ (%) ただし、G_p : 一般管理費等率 (%) C_p : 工事原価 (単位円) (注) G_p の値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。</p>				工事原価	500万円以下	500万円を超え30億円以下	30億円を超えるもの	一般管理費等率	23.57%	(2)の算定式により算出された率	9.74%		前項から移動
工事原価	500万円以下	500万円を超え30億円以下	30億円を超えるもの																						
一般管理費等率	23.57%	(2)の算定式により算出された率	9.74%																						
工事原価	500万円以下	500万円を超え30億円以下	30億円を超えるもの																						
一般管理費等率	23.57%	(2)の算定式により算出された率	9.74%																						

誤	正	該当項	備考
<p style="text-align: center;">第8章 工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算</p> <p>① 工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算について</p> <p>受注者の責めに帰すことができないものにより請負工事の設計図書の変更に伴う工期の延長や一時中止（以下「工期延長等」という。）をした場合の増加費用等の負担については、下記により積算するものとする。</p> <p>1. 増加費用等の考え方</p> <p>1-1 増加費用の適用</p> <p>増加費用の適用は、工期延長等に伴う増加費用について受注者から請求があった場合に適用する。</p> <p>1-2 増加費用の範囲</p> <p>増加費用として積算する範囲は、下記の（1）契約後準備工着手前に中止した場合の費用、（2）準備工期間に中止した場合の費用、（3）工事施工中に中止した場合の費用（以下、これらを一括して「中止期間中の現場維持費等に要する費用」という。）とする。</p> <p>（1）契約後準備工着手前に中止した場合の費用</p> <p>1）契約後準備工着手前とは、契約締結後で、現場事務所・工事看板が未設置、材料等が未搬入の状態で測量等の準備工に着手するまでの期間をいう。</p> <p>2）一時中止に伴う増加費用は計上しない。</p> <p>（2）準備工期間に中止した場合の費用</p> <p>1）準備工期間とは、契約締結後で現場事務所・工事看板を設置し、測量等の本工事施工前の準備期間をいう。</p> <p>2）増加費用は、安全費、営繕費及び現場管理費等が想定されるので、受注者が中止期間中の工事現場の維持・管理に関する基本計画書※に基づき実施した結果、必要とされた工事現場の維持等の費用の「明細書」に基づき、費用の必要性・数量など受発注者が協議して決定する。</p> <p>※「土木請負工事の一時中止に伴う増加費用等の積算上の取扱いについて」（平成4年3月30日付け空建第43号）参照</p>	<p style="text-align: center;">第8章 工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算</p> <p>① 工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算について</p> <p>受注者の責めに帰すことができないものにより請負工事の設計図書の変更に伴う工期の延長や一時中止（以下「工期延長等」という。）をした場合の増加費用等の負担については、下記により積算するものとする。</p> <p>1. 増加費用等の考え方</p> <p>1-1 増加費用の適用</p> <p>増加費用の適用は、工期延長等に伴う増加費用について受注者から請求があった場合に適用する。</p> <p>1-2 増加費用の範囲</p> <p>増加費用として積算する範囲は、下記の（1）契約後準備工着手前に工期延長等をした場合の費用、（2）準備工期間に工期延長等をした場合の費用、（3）工事施工中に工事延長等をした場合の費用（以下、これらを一括して「工期延長等に伴う現場維持費等に要する費用」という。）とする。</p> <p>（1）契約後準備工着手前に工期延長等をした場合の費用</p> <p>1）契約後準備工着手前とは、契約締結後で、現場事務所・工事看板が未設置、材料等が未搬入の状態で測量等の準備工に着手するまでの期間をいう。</p> <p>2）一時中止に伴う増加費用は計上しない。</p> <p>（2）準備工期間に工期延長等をした場合の費用</p> <p>1）準備工期間とは、契約締結後で現場事務所・工事看板を設置し、測量等の本工事施工前の準備期間をいう。</p> <p>2）増加費用は、安全費、営繕費及び現場管理費等が想定されるので、受注者が中止期間中の工事現場の維持・管理に関する基本計画書※に基づき実施した結果、必要とされた工事現場の維持等の費用の「明細書」に基づき、費用の必要性・数量など受発注者が協議して決定する。</p> <p>※「土木請負工事の一時中止に伴う増加費用等の積算上の取扱いについて」（平成4年3月30日付け空建第43号）参照</p>	<p>第1部 第1編 第8章 1-8-1</p>	<p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p>

誤	正	該当項	備考
<p>(3) 工事施工中に中止した場合の費用</p> <p>1) 工事現場の維持に要する費用 工事現場の維持に要する費用とは、工期延長等に伴い工事現場を維持し又は工事の続行に備えて機械器具、労務者又は現場常駐の従業員（専門職種を含む。以下同じ。）を保持するために必要とされる費用等とする。</p> <p>2) 工事体制の縮小に要する費用 工事体制の縮小に要する費用とは、中止時点における工事体制から中止した工事現場の維持体制にまで体制を縮小するため、不要となった機械器具、労務者又は現場常駐の従業員の配置転換に要する費用等とする。</p> <p>3) 工事の再開準備に要する費用 工事の再開準備に要する費用とは、工事の再開予告後、工事を再開できる体制にするため、工事現場に再投入される機械器具、労務者、現場常駐の従業員の転入に要する費用等とする。</p> <p>4) 工期延長等となる場合の費用 工期延長等となる場合の費用とは、工期延長等となることにより追加で生じる社員等給与、現場事務所費用、材料の保管費用、仮設諸機材の損料等に要する費用等とする。</p> <p>5) 工期短縮を行った場合の費用 工期短縮を行った場合の費用とは、工期短縮の要因が発注者に起因する場合、自然条件（災害等含む）に起因する場合の工期短縮に要する費用等とする。なお、工期短縮の要因が受注者に起因する場合は増加費用を見込まないものとする。</p>	<p>(3) 工事施工中に工期延長等をした場合の費用</p> <p>1) 工事現場の維持に要する費用 工事現場の維持に要する費用とは、工期延長等に伴い工事現場を維持し又は工事の続行に備えて機械器具、労務者又は現場常駐の従業員（専門職種を含む。以下同じ。）を保持するために必要とされる費用等とする。</p> <p>2) 工事体制の縮小に要する費用 工事体制の縮小に要する費用とは、中止時点における工事体制から中止した工事現場の維持体制にまで体制を縮小するため、不要となった機械器具、労務者又は現場常駐の従業員の配置転換に要する費用等とする。</p> <p>3) 工事の再開準備に要する費用 工事の再開準備に要する費用とは、工事の再開予告後、工事を再開できる体制にするため、工事現場に再投入される機械器具、労務者、現場常駐の従業員の転入に要する費用等とする。</p> <p>4) 工期延長等となる場合の費用 工期延長等となる場合の費用とは、工期延長等となることにより追加で生じる社員等給与、現場事務所費用、材料の保管費用、仮設諸機材の損料等に要する費用等とする。</p> <p>5) 工期短縮を行った場合の費用 工期短縮を行った場合の費用とは、工期短縮の要因が発注者に起因する場合、自然条件（災害等含む）に起因する場合の工期短縮に要する費用等とする。なお、工期短縮の要因が受注者に起因する場合は増加費用を見込まないものとする。</p>	<p>第1部 第1編 第8章 1-8-2</p>	<p>記載の修正</p>

誤						正						該当項	備考
工種名	設定内容					工種名	設定内容					第1部 第1編 1-11-8	記載の修正
土工	土砂等発生現場	積込機種・規格	土質	DID区間の有無	作業日当り標準作業量	土工	土砂等発生現場	積込機種・規格	土質	DID区間の有無	作業日当り標準作業量		
	現場制約あり	人力	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	有り	0.3km以下	20m ³ /日	現場制約あり	人力	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	有り	0.3km以下	20m ³ /日	
					0.5km以下	18m ³ /日						0.5km以下	18m ³ /日
					1.0km以下	17m ³ /日						1.0km以下	17m ³ /日
					1.5km以下	14m ³ /日						1.5km以下	14m ³ /日
					2.0km以下	13m ³ /日						2.0km以下	13m ³ /日
					2.5km以下	11m ³ /日						2.5km以下	11m ³ /日
					3.5km以下	10m ³ /日						3.5km以下	10m ³ /日
					4.5km以下	9m ³ /日						4.5km以下	9m ³ /日
					6.0km以下	8m ³ /日						6.0km以下	8m ³ /日
					8.0km以下	7m ³ /日						8.0km以下	7m ³ /日
					10.5km以下	6m ³ /日						10.5km以下	6m ³ /日
					14.5km以下	4m ³ /日						14.5km以下	4m ³ /日
					23.0km以下	3m ³ /日						23.0km以下	3m ³ /日
					60.0km以下	2m ³ /日						60.0km以下	2m ³ /日
		軟岩	—	—	土砂÷1.22			軟岩	—	—	土砂÷1.22		
		硬岩	—	—	土砂÷1.37			硬岩	—	—	土砂÷1.37		
③ 整地						③ 整地							
	作業区分	敷均し作業内容			作業日当り標準作業量		作業区分	敷均し作業内容	障害の有無	作業日当り標準作業量			
	残土受入れ地での処理	—			434m ³ /日		残土受入れ地での処理	—	—	434m ³ /日			
	敷均し(ルーズ)	標準			760m ³ /日		敷均し(ルーズ)	標準	無し	430m ³ /日			
		標準以外			1,090m ³ /日			標準	有り	380m ³ /日			
		狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)			140m ³ /日			標準以外	無し	550m ³ /日			
		トラフィカビリティが確保出来ない場合			620m ³ /日			標準以外	有り	480m ³ /日			
④ 路体(築堤)盛土						④ 路体(築堤)盛土							
	施工幅員	施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量			施工幅員	施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量			
	2.5m未満	—	—	50m ³ /日			2.5m未満	—	—	50m ³ /日			
	2.5m以上4.0m未満	—	—	86m ³ /日			2.5m以上4.0m未満	—	—	86m ³ /日			
	4.0m以上	10,000m ³ 未満	無し	370m ³ /日			4.0m以上	10,000m ³ 未満	無し	370m ³ /日			
			有り	190m ³ /日					有り	190m ³ /日			
		10,000m ³ 以上	無し	540m ³ /日				10,000m ³ 以上	無し	540m ³ /日			
			有り	310m ³ /日					有り	310m ³ /日			
(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し・締固め作業の一層の仕上り厚は30cm以下とする。						(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し・締固め作業の一層の仕上り厚は30cm以下とする。							

誤				正				該当項	備考
工種名	設定内容			工種名	設定内容			第1部 第1編 1-11-9	記載の修正
土工	⑤ 路床盛土			土工	⑤ 路床盛土				
	平均幅員	施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量	施工幅員	施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量	
	2.5m未満	—	—	43m ³ /日	2.5m未満	—	—	43m ³ /日	
	2.5m以上 4.0m未満	—	—	78m ³ /日	2.5m以上 4.0m未満	—	—	78m ³ /日	
	4.0m以上	10,000m ³ 未満	無し	280m ³ /日	4.0m以上	10,000m ³ 未満	無し	280m ³ /日	
			有り	140m ³ /日			有り	140m ³ /日	
		10,000m ³ 以上	無し	420m ³ /日		10,000m ³ 以上	無し	420m ³ /日	
			有り	140m ³ /日			有り	140m ³ /日	
	(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し・締固め作業の一層の仕上り厚は20cm以下とする。				(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し・締固め作業の一層の仕上り厚は20cm以下とする。				
	⑥ 押土(ルーズ)				⑥ 押土(ルーズ)				
	土質	作業日当り標準作業量			土質	作業日当り標準作業量			
	土 砂	540m ³ /日			土 砂	540m ³ /日			
	岩塊・玉石	350m ³ /日			岩塊・玉石	350m ³ /日			
	破砕岩	350m ³ /日			破砕岩	350m ³ /日			
	⑦ 積込(ルーズ)				⑦ 積込(ルーズ)				
	土質	作業内容	作業日当り標準作業量		土質	作業内容	作業日当り標準作業量		
	土 砂	土量 50,000m ³ 未満	310m ³ /日		土 砂	土量 50,000m ³ 未満	310m ³ /日		
		土量 50,000m ³ 以上	520m ³ /日			土量 50,000m ³ 以上	520m ³ /日		
		平均施工幅 1m以上 2m未満	160m ³ /日			平均施工幅 1m以上 2m未満	160m ³ /日		
		1箇所 100m ³ 以下(標準)	42m ³ /日			1箇所 100m ³ 以下(標準)	42m ³ /日		
		1箇所 100m ³ 以下(標準以外)	22m ³ /日			1箇所 100m ³ 以下(標準以外)	22m ³ /日		
	岩塊・玉石、 破砕岩	土量 50,000m ³ 未満	260m ³ /日		岩塊・玉石、 破砕岩	土量 50,000m ³ 未満	260m ³ /日		
		土量 50,000m ³ 以上	440m ³ /日			土量 50,000m ³ 以上	440m ³ /日		
		平均施工幅 1m以上 2m未満	130m ³ /日			平均施工幅 1m以上 2m未満	130m ³ /日		
	⑧ 人力積込				⑧ 人力積込				
	土質	作業日当り標準作業量			土質	作業日当り標準作業量			
	土 砂	7.1m ³ /日			土 砂	7.1m ³ /日			
	岩塊・玉石	5.3m ³ /日			岩塊・玉石	5.3m ³ /日			
	軟岩	5.6m ³ /日			軟岩	5.6m ³ /日			
	中硬岩	5.0m ³ /日			中硬岩	5.0m ³ /日			
	硬岩	4.5m ³ /日			硬岩	4.5m ³ /日			
	アスファルト塊	5.6m ³ /日			アスファルト塊	5.6m ³ /日			
	コンクリート塊	5.0m ³ /日			コンクリート塊	5.0m ³ /日			
	(注) 作業日当たり標準作業量は、普通作業員1名の場合。				(注) 作業日当たり標準作業量は、普通作業員1名の場合。				
	⑨ 転石破砕				⑨ 転石破砕				
	火薬使用の有無	作業日当り標準作業量			火薬使用の有無	作業日当り標準作業量			
	有り	33m ³ /日			有り	33m ³ /日			
	無し	34m ³ /日			無し	34m ³ /日			
	(注) 上表の火薬使用無しは、大型ブレーカによる転石破砕である。				(注) 上表の火薬使用無しは、大型ブレーカによる転石破砕である。				

誤				正					該当項	備考																																																																					
工種名	設定内容			工種名	設定内容				第1部 第1編 1-11-12	記載の修正																																																																					
	床掘工	② 掘削補助機械搬入搬出作業 作業日当り標準作業量	3.3回/日		床掘工	② 掘削補助機械搬入搬出作業 作業日当り標準作業量	3.3回/日	③ 基面整正 作業日当り標準作業量			50m ² /日 (注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。																																																																				
	③ 基面整正 作業日当り標準作業量	50m ² /日 (注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。			③ 基面整正 作業日当り標準作業量	50m ² /日 (注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。																																																																									
	④ 舗装版破碎積込(小規模土工) 作業日当り標準作業量	23m ² /日		床掘工 (ICT)	① 床掘り(ICT)																																																																										
				土質	施工方法	土留方式の種類	障害の有無	作業日当り標準作業量																																																																							
				土砂	標準	無し	有り	196m ³ /日																																																																							
							無し	240m ³ /日																																																																							
						自立式	有り	196m ³ /日																																																																							
							無し	240m ³ /日																																																																							
						グラウンドアンカー式	有り	196m ³ /日																																																																							
							無し	240m ³ /日																																																																							
				切梁腹起式	有り	196m ³ /日																																																																									
					無し	240m ³ /日																																																																									
埋戻工	① 埋戻し	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工方法</th> <th>土質</th> <th>締固めの有無</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最小埋戻幅4m以上</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>270m³/日</td> </tr> <tr> <td>最大埋戻幅4m以上</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>96m³/日</td> </tr> <tr> <td>最大埋戻幅1m以上4m未満</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>61m³/日</td> </tr> <tr> <td>最大埋戻幅1m未満</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>33m³/日</td> </tr> <tr> <td>上記以外(小規模)</td> <td>土砂</td> <td>—</td> <td>40m³/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">現場制約あり</td> <td rowspan="2">土砂</td> <td>有り</td> <td>3.7m³/日</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>4.2m³/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">岩塊・玉石</td> <td>有り</td> <td>3.5m³/日</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>3.8m³/日</td> </tr> </tbody> </table> (注)「現場制約あり」の作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。		施工方法	土質	締固めの有無	作業日当り標準作業量	最小埋戻幅4m以上	—	—	270m ³ /日	最大埋戻幅4m以上	—	—	96m ³ /日	最大埋戻幅1m以上4m未満	—	—	61m ³ /日	最大埋戻幅1m未満	—	—	33m ³ /日	上記以外(小規模)	土砂	—	40m ³ /日	現場制約あり	土砂	有り	3.7m ³ /日	無し	4.2m ³ /日	岩塊・玉石	有り	3.5m ³ /日	無し	3.8m ³ /日	埋戻工	① 埋戻し	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工方法</th> <th>土質</th> <th>締固めの有無</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最小埋戻幅4m以上</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>270m³/日</td> </tr> <tr> <td>最大埋戻幅4m以上</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>96m³/日</td> </tr> <tr> <td>最大埋戻幅1m以上4m未満</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>61m³/日</td> </tr> <tr> <td>最大埋戻幅1m未満</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>33m³/日</td> </tr> <tr> <td>上記以外(小規模)</td> <td>土砂</td> <td>—</td> <td>40m³/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">現場制約あり</td> <td rowspan="2">土砂</td> <td>有り</td> <td>3.7m³/日</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>4.2m³/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">岩塊・玉石</td> <td>有り</td> <td>3.5m³/日</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>3.8m³/日</td> </tr> </tbody> </table> (注)「現場制約あり」の作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。			施工方法	土質	締固めの有無	作業日当り標準作業量	最小埋戻幅4m以上	—	—	270m ³ /日	最大埋戻幅4m以上	—	—	96m ³ /日	最大埋戻幅1m以上4m未満	—	—	61m ³ /日	最大埋戻幅1m未満	—	—	33m ³ /日	上記以外(小規模)	土砂	—	40m ³ /日	現場制約あり	土砂	有り	3.7m ³ /日	無し	4.2m ³ /日	岩塊・玉石	有り	3.5m ³ /日	無し	3.8m ³ /日	
施工方法	土質	締固めの有無	作業日当り標準作業量																																																																												
最小埋戻幅4m以上	—	—	270m ³ /日																																																																												
最大埋戻幅4m以上	—	—	96m ³ /日																																																																												
最大埋戻幅1m以上4m未満	—	—	61m ³ /日																																																																												
最大埋戻幅1m未満	—	—	33m ³ /日																																																																												
上記以外(小規模)	土砂	—	40m ³ /日																																																																												
現場制約あり	土砂	有り	3.7m ³ /日																																																																												
		無し	4.2m ³ /日																																																																												
	岩塊・玉石	有り	3.5m ³ /日																																																																												
		無し	3.8m ³ /日																																																																												
施工方法	土質	締固めの有無	作業日当り標準作業量																																																																												
最小埋戻幅4m以上	—	—	270m ³ /日																																																																												
最大埋戻幅4m以上	—	—	96m ³ /日																																																																												
最大埋戻幅1m以上4m未満	—	—	61m ³ /日																																																																												
最大埋戻幅1m未満	—	—	33m ³ /日																																																																												
上記以外(小規模)	土砂	—	40m ³ /日																																																																												
現場制約あり	土砂	有り	3.7m ³ /日																																																																												
		無し	4.2m ³ /日																																																																												
	岩塊・玉石	有り	3.5m ³ /日																																																																												
		無し	3.8m ³ /日																																																																												
	② タンパ締固め 作業日当り標準作業量	36m ³ /日			② タンパ締固め 作業日当り標準作業量	36m ³ /日																																																																									

誤			正			該当項	備考
人力運搬工 ① 人力運搬	作業日当り標準作業量		作業日当り標準作業量		第1部 第1編 1-11-12	前項より移動	
	土砂, 岩塊・玉石		土砂, 岩塊・玉石				
	換算距離	人力運搬 (積込み～運搬～取卸し)	人力運搬 (運搬～取卸し)	人力運搬 (積込み～運搬～取卸し)			人力運搬 (運搬～取卸し)
		普通作業員	普通作業員	普通作業員			普通作業員
	20m以下	5.0 m ³ /日	20 m ³ /日	5.0 m ³ /日			20 m ³ /日
	40m以下	4.3 m ³ /日	11 m ³ /日	4.3 m ³ /日			11 m ³ /日
	60m以下	3.7 m ³ /日	7.7 m ³ /日	3.7 m ³ /日			7.7 m ³ /日
	80m以下	3.2 m ³ /日	6.3 m ³ /日	3.2 m ³ /日			6.3 m ³ /日
	100m以下	2.9 m ³ /日	5.0 m ³ /日	2.9 m ³ /日			5.0 m ³ /日
	120m以下	2.5 m ³ /日	4.3 m ³ /日	2.5 m ³ /日			4.3 m ³ /日
	140m以下	2.3 m ³ /日	3.7 m ³ /日	2.3 m ³ /日			3.7 m ³ /日
	160m以下	2.2 m ³ /日	3.2 m ³ /日	2.2 m ³ /日			3.2 m ³ /日
	180m以下	2.0 m ³ /日	2.9 m ³ /日	2.0 m ³ /日			2.9 m ³ /日
	200m以下	1.9 m ³ /日	2.6 m ³ /日	1.9 m ³ /日			2.6 m ³ /日
(注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。			(注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。				

誤		正		該当項	備考																																																																
安定処理工	<p>① 安定処理 (スタビライザ)</p> <table border="1"> <tr> <th>混合回数</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>736m²/日</td> </tr> <tr> <td>2回</td> <td>643m²/日</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 固化材散布、混合、敷均し、締固めをすべて含んだ標準施工量である。 2. 上表には、100m程度の仮置場～現場までの小運搬及び現場内小運搬が含まれている。</p> <p>② 安定処理 (バックホウ)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>混合深さ</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> <tr> <td>路 床</td> <td>1m以下</td> <td>172m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">構造物基礎</td> <td>1m以下</td> <td>127m²/日</td> </tr> <tr> <td>1mを超え2m以下</td> <td>74m²/日</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 固化材散布、混合、敷均し、締固めをすべて含んだ標準施工量である。 2. 上表には、50m程度の現場内小運搬が含まれている。</p>	混合回数	作業日当り標準作業量	1回	736m ² /日	2回	643m ² /日	施工箇所	混合深さ	作業日当り標準作業量	路 床	1m以下	172m ² /日	構造物基礎	1m以下	127m ² /日	1mを超え2m以下	74m ² /日	安定処理工	<p>① 安定処理 (スタビライザ)</p> <table border="1"> <tr> <th>混合回数</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>736m²/日</td> </tr> <tr> <td>2回</td> <td>643m²/日</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 固化材散布、混合、敷均し、締固めをすべて含んだ標準施工量である。 2. 上表には、100m程度の仮置場～現場までの小運搬及び現場内小運搬が含まれている。</p> <p>② 安定処理 (バックホウ)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>混合深さ</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> <tr> <td>路 床</td> <td>1m以下</td> <td>172m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">構造物基礎</td> <td>1m以下</td> <td>127m²/日</td> </tr> <tr> <td>1mを超え2m以下</td> <td>74m²/日</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 固化材散布、混合、敷均し、締固めをすべて含んだ標準施工量である。 2. 上表には、50m程度の現場内小運搬が含まれている。</p>	混合回数	作業日当り標準作業量	1回	736m ² /日	2回	643m ² /日	施工箇所	混合深さ	作業日当り標準作業量	路 床	1m以下	172m ² /日	構造物基礎	1m以下	127m ² /日	1mを超え2m以下	74m ² /日	第1部 第1編 1-11-13																															
混合回数	作業日当り標準作業量																																																																				
1回	736m ² /日																																																																				
2回	643m ² /日																																																																				
施工箇所	混合深さ	作業日当り標準作業量																																																																			
路 床	1m以下	172m ² /日																																																																			
構造物基礎	1m以下	127m ² /日																																																																			
	1mを超え2m以下	74m ² /日																																																																			
混合回数	作業日当り標準作業量																																																																				
1回	736m ² /日																																																																				
2回	643m ² /日																																																																				
施工箇所	混合深さ	作業日当り標準作業量																																																																			
路 床	1m以下	172m ² /日																																																																			
構造物基礎	1m以下	127m ² /日																																																																			
	1mを超え2m以下	74m ² /日																																																																			
法面整形工	<p>① 法面整形</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整形箇所</th> <th>法面締固めの有無</th> <th>現場制約の有無</th> <th>土質</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">盛土部</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> <td>砂及び砂質土、粘性土</td> <td>120m²/日</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td> <td>140m²/日</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>無し</td> <td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td> <td>220m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">切土部</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td> <td>61m²/日</td> </tr> <tr> <td>軟岩Ⅰ、軟岩Ⅱ、中硬岩、硬岩</td> <td>30m²/日</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td> <td>140m²/日</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>軟岩Ⅰ</td> <td>120m²/日</td> </tr> </tbody> </table>	整形箇所	法面締固めの有無	現場制約の有無	土質	作業日当り標準作業量	盛土部	有り	有り	砂及び砂質土、粘性土	120m ² /日	無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	140m ² /日	無し	無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	220m ² /日	切土部	-	有り	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	61m ² /日	軟岩Ⅰ、軟岩Ⅱ、中硬岩、硬岩	30m ² /日	無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	140m ² /日				軟岩Ⅰ	120m ² /日	法面整形工	<p>① 法面整形</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整形箇所</th> <th>法面締固めの有無</th> <th>現場制約の有無</th> <th>土質</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">盛土部</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> <td>砂及び砂質土、粘性土</td> <td>120m²/日</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td> <td>140m²/日</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>無し</td> <td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td> <td>220m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">切土部</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td> <td>61m²/日</td> </tr> <tr> <td>軟岩Ⅰ、軟岩Ⅱ、中硬岩、硬岩</td> <td>30m²/日</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td> <td>140m²/日</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>軟岩Ⅰ</td> <td>120m²/日</td> </tr> </tbody> </table>	整形箇所	法面締固めの有無	現場制約の有無	土質	作業日当り標準作業量	盛土部	有り	有り	砂及び砂質土、粘性土	120m ² /日	無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	140m ² /日	無し	無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	220m ² /日	切土部	-	有り	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	61m ² /日	軟岩Ⅰ、軟岩Ⅱ、中硬岩、硬岩	30m ² /日	無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	140m ² /日				軟岩Ⅰ	120m ² /日		
整形箇所	法面締固めの有無	現場制約の有無	土質	作業日当り標準作業量																																																																	
盛土部	有り	有り	砂及び砂質土、粘性土	120m ² /日																																																																	
		無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	140m ² /日																																																																	
	無し	無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	220m ² /日																																																																	
切土部	-	有り	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	61m ² /日																																																																	
			軟岩Ⅰ、軟岩Ⅱ、中硬岩、硬岩	30m ² /日																																																																	
		無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	140m ² /日																																																																	
			軟岩Ⅰ	120m ² /日																																																																	
整形箇所	法面締固めの有無	現場制約の有無	土質	作業日当り標準作業量																																																																	
盛土部	有り	有り	砂及び砂質土、粘性土	120m ² /日																																																																	
		無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	140m ² /日																																																																	
	無し	無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	220m ² /日																																																																	
切土部	-	有り	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	61m ² /日																																																																	
			軟岩Ⅰ、軟岩Ⅱ、中硬岩、硬岩	30m ² /日																																																																	
		無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	140m ² /日																																																																	
			軟岩Ⅰ	120m ² /日																																																																	
法面整形工 (ICT)	<p>① 法面整形 (ICT)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整形箇所</th> <th>法面締固めの有無</th> <th>土質</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">盛土部</td> <td>有り</td> <td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td> <td>154m²/日</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td> <td>242m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">切土部</td> <td rowspan="2">-</td> <td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td> <td>154m²/日</td> </tr> <tr> <td>軟岩Ⅰ</td> <td>132m²/日</td> </tr> </tbody> </table>	整形箇所	法面締固めの有無	土質	作業日当り標準作業量	盛土部	有り	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154m ² /日	無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	242m ² /日	切土部	-	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154m ² /日	軟岩Ⅰ	132m ² /日	法面整形工 (ICT)	<p>① 法面整形 (ICT)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整形箇所</th> <th>法面締固めの有無</th> <th>土質</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">盛土部</td> <td>有り</td> <td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td> <td>154m²/日</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td> <td>242m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">切土部</td> <td rowspan="2">-</td> <td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td> <td>154m²/日</td> </tr> <tr> <td>軟岩Ⅰ</td> <td>132m²/日</td> </tr> </tbody> </table>	整形箇所	法面締固めの有無	土質	作業日当り標準作業量	盛土部	有り	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154m ² /日	無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	242m ² /日	切土部	-	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154m ² /日	軟岩Ⅰ	132m ² /日																																
整形箇所	法面締固めの有無	土質	作業日当り標準作業量																																																																		
盛土部	有り	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154m ² /日																																																																		
	無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	242m ² /日																																																																		
切土部	-	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154m ² /日																																																																		
		軟岩Ⅰ	132m ² /日																																																																		
整形箇所	法面締固めの有無	土質	作業日当り標準作業量																																																																		
盛土部	有り	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154m ² /日																																																																		
	無し	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	242m ² /日																																																																		
切土部	-	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154m ² /日																																																																		
		軟岩Ⅰ	132m ² /日																																																																		
法面工 (コンクリート法砕工 (現場打法砕工))	<p>① コンクリートポンプ車投入打設</p> <table border="1"> <tr> <th>作業日当り標準作業量 (m³/日)</th> <td>7.2</td> </tr> </table> <p>(注) 養生を含む。</p>	作業日当り標準作業量 (m ³ /日)	7.2	法面工 (コンクリート法砕工 (現場打法砕工))	<p>① コンクリートポンプ車投入打設</p> <table border="1"> <tr> <th>作業日当り標準作業量</th> <td>7.2 m³/日</td> </tr> </table> <p>(注) 養生を含む。</p>	作業日当り標準作業量	7.2 m ³ /日		記載の修正																																																												
作業日当り標準作業量 (m ³ /日)	7.2																																																																				
作業日当り標準作業量	7.2 m ³ /日																																																																				

誤		正		該当項	備考																																																					
工種名	設定内容	工種名	設定内容	第1部 第1編 1-11-15																																																						
石積(張)工	<p>① 石積(張)工</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積張の区分</th> <th>工種の区分</th> <th>石の種類</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積工</td> <td>練石</td> <td>玉石、雑割石</td> <td>19m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">張工</td> <td>練石</td> <td>玉石、雑割石</td> <td>31m²/日</td> </tr> <tr> <td>空石</td> <td>玉石</td> <td>31m²/日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 石積(張)工は、裏込・胴込C0、裏込材を施工しない場合も上表による。</p> <p>② 胴込・裏込コンクリート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積張の区分</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積工</td> <td>8.3m³/日</td> </tr> <tr> <td>張工</td> <td>9.1m³/日</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 裏込材(クラッシュラン)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積張の区分</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積工</td> <td>8.3m³/日</td> </tr> <tr> <td>張工</td> <td>11m³/日</td> </tr> </tbody> </table>	積張の区分	工種の区分			石の種類	作業日当り標準作業量	積工	練石	玉石、雑割石	19m ² /日	張工	練石	玉石、雑割石	31m ² /日	空石	玉石	31m ² /日	積張の区分	作業日当り標準作業量	積工	8.3m ³ /日	張工	9.1m ³ /日	積張の区分	作業日当り標準作業量	積工	8.3m ³ /日	張工	11m ³ /日	<p>石積(張)工</p> <p>① 石積(張)工</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積張の区分</th> <th>工種の区分</th> <th>石の種類</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積工</td> <td>練石</td> <td>玉石、雑割石</td> <td>19m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">張工</td> <td>練石</td> <td>玉石、雑割石</td> <td>31m²/日</td> </tr> <tr> <td>空石</td> <td>玉石</td> <td>31m²/日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 石積(張)工は、裏込・胴込C0、裏込材を施工しない場合も上表による。</p> <p>② 胴込・裏込コンクリート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積張の区分</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積工</td> <td>8.3m³/日</td> </tr> <tr> <td>張工</td> <td>9.1m³/日</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 裏込材(クラッシュラン)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積張の区分</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積工</td> <td>8.3m³/日</td> </tr> <tr> <td>張工</td> <td>11m³/日</td> </tr> </tbody> </table>	積張の区分	工種の区分	石の種類	作業日当り標準作業量	積工	練石	玉石、雑割石	19m ² /日	張工	練石	玉石、雑割石	31m ² /日	空石	玉石	31m ² /日	積張の区分	作業日当り標準作業量	積工	8.3m ³ /日	張工	9.1m ³ /日	積張の区分	作業日当り標準作業量	積工	8.3m ³ /日	張工	11m ³ /日
積張の区分	工種の区分	石の種類	作業日当り標準作業量																																																							
積工	練石	玉石、雑割石	19m ² /日																																																							
張工	練石	玉石、雑割石	31m ² /日																																																							
	空石	玉石	31m ² /日																																																							
積張の区分	作業日当り標準作業量																																																									
積工	8.3m ³ /日																																																									
張工	9.1m ³ /日																																																									
積張の区分	作業日当り標準作業量																																																									
積工	8.3m ³ /日																																																									
張工	11m ³ /日																																																									
積張の区分	工種の区分	石の種類	作業日当り標準作業量																																																							
積工	練石	玉石、雑割石	19m ² /日																																																							
張工	練石	玉石、雑割石	31m ² /日																																																							
	空石	玉石	31m ² /日																																																							
積張の区分	作業日当り標準作業量																																																									
積工	8.3m ³ /日																																																									
張工	9.1m ³ /日																																																									
積張の区分	作業日当り標準作業量																																																									
積工	8.3m ³ /日																																																									
張工	11m ³ /日																																																									
場所打擁壁工	<p>① 場所打擁壁工</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>作業日当り標準作業量 (m³/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小型擁壁</td> <td>0.5m以上0.6m未満</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>0.6m以上0.8m未満</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>0.8m以上1.0m以下</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重力式擁壁</td> <td>1mを超え2m未満</td> <td>5.7</td> </tr> <tr> <td>2m以上5m以下</td> <td>7.8 (7.5)</td> </tr> <tr> <td>もたれ式擁壁</td> <td>3mから8mまで</td> <td>6.3 (6.3)</td> </tr> <tr> <td>逆T型擁壁</td> <td>3mから10mまで</td> <td>5.2 (5.0)</td> </tr> <tr> <td>L型擁壁</td> <td>3mから7mまで</td> <td>4.2 (4.0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・均し型枠製作設置・撤去・均しコンクリート打設・養生 ・コンクリート打設・養生 ・型枠製作・設置、撤去 ・鉄筋加工・組立 ・足場設置・撤去 ・目地材設置 ・水抜きパイプ設置 ・吸出し防止材設置</p> <p>2. 上表の作業日当り標準作業量は、基礎材、均しコンクリート、足場の施工の有無、足場形式(枠組足場、単管足場、手摺先行型枠組足場)、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材の施工の有無にかかわらず適用出来る。 なお、手摺先行型枠組足場を使用する場合は、()書きの数値を適用する。</p> <p>3. コンクリート養生は、散水、保温を問わず適用できる。</p> <p>4. 上表の作業日当り標準作業量は、擁壁本体コンクリート換算値である。</p>	区分	作業日当り標準作業量 (m ³ /日)	小型擁壁	0.5m以上0.6m未満	1.2	0.6m以上0.8m未満	1.5	0.8m以上1.0m以下	1.6	重力式擁壁	1mを超え2m未満	5.7	2m以上5m以下	7.8 (7.5)	もたれ式擁壁	3mから8mまで	6.3 (6.3)	逆T型擁壁	3mから10mまで	5.2 (5.0)	L型擁壁	3mから7mまで	4.2 (4.0)	<p>場所打擁壁工</p> <p>① 場所打擁壁工</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>作業日当り標準作業量 (m³/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小型擁壁</td> <td>0.5m以上0.6m未満</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>0.6m以上0.8m未満</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>0.8m以上1.0m以下</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重力式擁壁</td> <td>1mを超え2m未満</td> <td>5.7</td> </tr> <tr> <td>2m以上5m以下</td> <td>7.8 (7.5)</td> </tr> <tr> <td>もたれ式擁壁</td> <td>3mから8mまで</td> <td>6.3 (6.3)</td> </tr> <tr> <td>逆T型擁壁</td> <td>3mから10mまで</td> <td>5.2 (5.0)</td> </tr> <tr> <td>L型擁壁</td> <td>3mから7mまで</td> <td>4.2 (4.0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・均し型枠製作設置・撤去・均しコンクリート打設・養生 ・コンクリート打設・養生 ・型枠製作・設置、撤去 ・鉄筋加工・組立 ・足場設置・撤去 ・目地材設置 ・水抜きパイプ設置 ・吸出し防止材設置</p> <p>2. 上表の作業日当り標準作業量は、基礎材、均しコンクリート、足場の施工の有無、足場形式(枠組足場、単管足場、手摺先行型枠組足場)、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材の施工の有無にかかわらず適用出来る。 なお、手摺先行型枠組足場を使用する場合は、()書きの数値を適用する。</p> <p>3. コンクリート養生は、散水、保温を問わず適用できる。</p> <p>4. 上表の作業日当り標準作業量は、擁壁本体コンクリート換算値である。</p>	区分	作業日当り標準作業量 (m ³ /日)	小型擁壁	0.5m以上0.6m未満	1.2	0.6m以上0.8m未満	1.5	0.8m以上1.0m以下	1.6	重力式擁壁	1mを超え2m未満	5.7	2m以上5m以下	7.8 (7.5)	もたれ式擁壁	3mから8mまで	6.3 (6.3)	逆T型擁壁	3mから10mまで	5.2 (5.0)	L型擁壁	3mから7mまで	4.2 (4.0)		記載の修正								
区分	作業日当り標準作業量 (m ³ /日)																																																									
小型擁壁	0.5m以上0.6m未満	1.2																																																								
	0.6m以上0.8m未満	1.5																																																								
	0.8m以上1.0m以下	1.6																																																								
重力式擁壁	1mを超え2m未満	5.7																																																								
	2m以上5m以下	7.8 (7.5)																																																								
もたれ式擁壁	3mから8mまで	6.3 (6.3)																																																								
逆T型擁壁	3mから10mまで	5.2 (5.0)																																																								
L型擁壁	3mから7mまで	4.2 (4.0)																																																								
区分	作業日当り標準作業量 (m ³ /日)																																																									
小型擁壁	0.5m以上0.6m未満	1.2																																																								
	0.6m以上0.8m未満	1.5																																																								
	0.8m以上1.0m以下	1.6																																																								
重力式擁壁	1mを超え2m未満	5.7																																																								
	2m以上5m以下	7.8 (7.5)																																																								
もたれ式擁壁	3mから8mまで	6.3 (6.3)																																																								
逆T型擁壁	3mから10mまで	5.2 (5.0)																																																								
L型擁壁	3mから7mまで	4.2 (4.0)																																																								

誤										正										該当項	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>工種名</p> <p>場所打擁壁工</p> <p>① コンクリート（場所打擁壁）</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">作業種別</th> <th colspan="8">作業日当り標準作業量</th> </tr> <tr> <td colspan="2">コンクリートポンプ車打設</td> <td colspan="8">80m³/日</td> </tr> </table>										作業種別		作業日当り標準作業量								コンクリートポンプ車打設		80m ³ /日								<p>工種名</p> <p>場所打擁壁工</p> <p>① コンクリート（場所打擁壁）</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">作業種別</th> <th colspan="8">作業日当り標準作業量</th> </tr> <tr> <td colspan="2">コンクリートポンプ車打設</td> <td colspan="8">80m³/日</td> </tr> </table>										作業種別		作業日当り標準作業量								コンクリートポンプ車打設		80m ³ /日								第1部 第1編 1-11-16	記載の修正																																																																																																																																																																																																																																																																														
作業種別		作業日当り標準作業量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
コンクリートポンプ車打設		80m ³ /日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
作業種別		作業日当り標準作業量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
コンクリートポンプ車打設		80m ³ /日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
<p>プレキャスト擁壁工</p> <p>① プレキャスト擁壁設置</p> <table border="1"> <tr> <th>プレキャスト擁壁高さ (m)</th> <th>0.5 以上 1.0 以下</th> <th>1.0 を超え 2.0 以下</th> <th>2.0 を超え 3.5 以下</th> <th>3.5 を超え 5.0 以下</th> <th colspan="5"></th> </tr> <tr> <td>作業日当り標準作業量</td> <td>33m/日</td> <td>26m/日</td> <td>22m/日</td> <td>17m/日</td> <td colspan="5"></td> </tr> </table> <p>(注) 運搬距離 10m程度までの現場内小運搬を含んでいるが、床掘り、埋戻し、雑工種（基礎砕石、均しコンクリート）、残土処理は含まない。</p>										プレキャスト擁壁高さ (m)	0.5 以上 1.0 以下	1.0 を超え 2.0 以下	2.0 を超え 3.5 以下	3.5 を超え 5.0 以下						作業日当り標準作業量	33m/日	26m/日	22m/日	17m/日						<p>プレキャスト擁壁工</p> <p>① プレキャスト擁壁設置</p> <table border="1"> <tr> <th>プレキャスト擁壁高さ (m)</th> <th>0.5 以上 1.0 以下</th> <th>1.0 を超え 2.0 以下</th> <th>2.0 を超え 3.5 以下</th> <th>3.5 を超え 5.0 以下</th> <th colspan="5"></th> </tr> <tr> <td>作業日当り標準作業量</td> <td>33m/日</td> <td>26m/日</td> <td>22m/日</td> <td>17m/日</td> <td colspan="5"></td> </tr> </table> <p>(注) 運搬距離 10m程度までの現場内小運搬を含んでいるが、床掘り、埋戻し、雑工種（基礎砕石、均しコンクリート）、残土処理は含まない。</p>										プレキャスト擁壁高さ (m)	0.5 以上 1.0 以下	1.0 を超え 2.0 以下	2.0 を超え 3.5 以下	3.5 を超え 5.0 以下						作業日当り標準作業量	33m/日	26m/日	22m/日	17m/日																																																																																																																																																																																																																																																																																					
プレキャスト擁壁高さ (m)	0.5 以上 1.0 以下	1.0 を超え 2.0 以下	2.0 を超え 3.5 以下	3.5 を超え 5.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
作業日当り標準作業量	33m/日	26m/日	22m/日	17m/日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
プレキャスト擁壁高さ (m)	0.5 以上 1.0 以下	1.0 を超え 2.0 以下	2.0 を超え 3.5 以下	3.5 を超え 5.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
作業日当り標準作業量	33m/日	26m/日	22m/日	17m/日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
<p>排水構造物工</p> <p>(1) ヒューム管</p> <p>① ヒューム管単体</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">管径 (mm)</th> <th>200</th> <th>250</th> <th>400</th> <th>450</th> <th>700</th> <th>800</th> <th>1,100</th> <th>1,200</th> </tr> <tr> <th>300</th> <th>350</th> <th>500</th> <th>600</th> <th>900</th> <th>1,000</th> <th>1,350</th> <th></th> </tr> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td colspan="2">50</td> <td colspan="2">25</td> <td colspan="2">17</td> <td colspan="2">14</td> </tr> </table> <p>(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。</p> <p>② ヒューム管+ヒューム管用巻きコンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">管径 (mm)</th> <th colspan="2">200</th> <th colspan="2">250</th> <th colspan="2">400</th> <th colspan="2">450</th> <th colspan="2">700</th> <th colspan="2">800</th> <th colspan="2">1,100</th> <th colspan="2">1,200</th> </tr> <tr> <th>300</th> <th>350</th> <th>500</th> <th>600</th> <th>900</th> <th>1,000</th> <th>1,350</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td rowspan="3">作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td colspan="2">90° 巻き</td> <td colspan="2">8</td> <td colspan="2">6</td> <td colspan="2">4</td> <td colspan="2">3</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">180° 巻き</td> <td colspan="2">7</td> <td colspan="2">5</td> <td colspan="2">3</td> <td colspan="2">2</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">360° 巻き</td> <td colspan="2">5</td> <td colspan="2">3</td> <td colspan="2">2</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表②の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・ヒューム管設置 ・コンクリート打設・養生 ・型枠製作・設置、撤去 ・鉄筋加工・組立 2. 上表②の作業日当り標準作業量は、基礎砕石の有無にかかわらず適用出来る。 3. コンクリート養生は、散水、保温を問わず適用する。 4. 上表②の作業日当り標準作業量は、ヒューム管設置延長換算値である。</p> <p>(2) ボックスカルバート</p> <p>① ボックスカルバート単体</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="9">PC鋼材を使用しない場合</th> </tr> <tr> <th colspan="3">1.0</th> <th colspan="3">1.5</th> <th colspan="3">2.0</th> </tr> <tr> <td>製品長 (m)</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>枠番号</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>②</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> <td>①</td> <td>② ③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>17</td> <td>11</td> <td>9</td> </tr> </table> <p>(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。</p>										管径 (mm)	200	250	400	450	700	800	1,100	1,200	300	350	500	600	900	1,000	1,350		作業日当り標準作業量 (m/日)	50		25		17		14		管径 (mm)	200		250		400		450		700		800		1,100		1,200		300	350	500	600	900	1,000	1,350									作業日当り標準作業量 (m/日)	90° 巻き		8		6		4		3								180° 巻き		7		5		3		2								360° 巻き		5		3		2		-								区分	PC鋼材を使用しない場合									1.0			1.5			2.0			製品長 (m)										枠番号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	② ③	④	作業日当り標準作業量 (m/日)	6	3	8	6	4	3	17	11	9	<p>排水構造物工</p> <p>(1) ヒューム管</p> <p>① ヒューム管単体</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">管径 (mm)</th> <th>200</th> <th>250</th> <th>400</th> <th>450</th> <th>700</th> <th>800</th> <th>1,100</th> <th>1,200</th> </tr> <tr> <th>300</th> <th>350</th> <th>500</th> <th>600</th> <th>900</th> <th>1,000</th> <th>1,350</th> <th></th> </tr> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td colspan="2">50</td> <td colspan="2">25</td> <td colspan="2">17</td> <td colspan="2">14</td> </tr> </table> <p>(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。</p> <p>② ヒューム管+ヒューム管用巻きコンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">管径 (mm)</th> <th colspan="2">200</th> <th colspan="2">250</th> <th colspan="2">400</th> <th colspan="2">450</th> <th colspan="2">700</th> <th colspan="2">800</th> <th colspan="2">1,100</th> <th colspan="2">1,200</th> </tr> <tr> <th>300</th> <th>350</th> <th>500</th> <th>600</th> <th>900</th> <th>1,000</th> <th>1,350</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td rowspan="3">作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td colspan="2">90° 巻き</td> <td colspan="2">8</td> <td colspan="2">6</td> <td colspan="2">4</td> <td colspan="2">3</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">180° 巻き</td> <td colspan="2">7</td> <td colspan="2">5</td> <td colspan="2">3</td> <td colspan="2">2</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">360° 巻き</td> <td colspan="2">5</td> <td colspan="2">3</td> <td colspan="2">2</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表②の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・ヒューム管設置 ・コンクリート打設・養生 ・型枠製作・設置、撤去 ・鉄筋加工・組立 2. 上表②の作業日当り標準作業量は、基礎砕石の有無にかかわらず適用出来る。 3. コンクリート養生は、散水、保温を問わず適用する。 4. 上表②の作業日当り標準作業量は、ヒューム管設置延長換算値である。</p> <p>(2) ボックスカルバート</p> <p>① ボックスカルバート単体</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="9">PC鋼材を使用しない場合</th> </tr> <tr> <th colspan="3">1.0</th> <th colspan="3">1.5</th> <th colspan="3">2.0</th> </tr> <tr> <td>製品長 (m)</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>枠番号</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>②</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> <td>①</td> <td>② ③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>20</td> <td>17</td> <td>12</td> </tr> </table> <p>(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。</p>										管径 (mm)	200	250	400	450	700	800	1,100	1,200	300	350	500	600	900	1,000	1,350		作業日当り標準作業量 (m/日)	50		25		17		14		管径 (mm)	200		250		400		450		700		800		1,100		1,200		300	350	500	600	900	1,000	1,350									作業日当り標準作業量 (m/日)	90° 巻き		8		6		4		3								180° 巻き		7		5		3		2								360° 巻き		5		3		2		-								区分	PC鋼材を使用しない場合									1.0			1.5			2.0			製品長 (m)										枠番号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	② ③	④	作業日当り標準作業量 (m/日)	8	5	10	7	7	5	20	17	12
管径 (mm)	200	250	400	450	700	800	1,100	1,200																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	300	350	500	600	900	1,000	1,350																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
作業日当り標準作業量 (m/日)	50		25		17		14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
管径 (mm)	200		250		400		450		700		800		1,100		1,200																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	300	350	500	600	900	1,000	1,350																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
作業日当り標準作業量 (m/日)	90° 巻き		8		6		4		3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	180° 巻き		7		5		3		2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	360° 巻き		5		3		2		-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
区分	PC鋼材を使用しない場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	1.0			1.5			2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
製品長 (m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
枠番号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	② ③	④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
作業日当り標準作業量 (m/日)	6	3	8	6	4	3	17	11	9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
管径 (mm)	200	250	400	450	700	800	1,100	1,200																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	300	350	500	600	900	1,000	1,350																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
作業日当り標準作業量 (m/日)	50		25		17		14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
管径 (mm)	200		250		400		450		700		800		1,100		1,200																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	300	350	500	600	900	1,000	1,350																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
作業日当り標準作業量 (m/日)	90° 巻き		8		6		4		3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	180° 巻き		7		5		3		2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	360° 巻き		5		3		2		-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
区分	PC鋼材を使用しない場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	1.0			1.5			2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
製品長 (m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
枠番号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	② ③	④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
作業日当り標準作業量 (m/日)	8	5	10	7	7	5	20	17	12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
<p>区分</p> <p>製品長 (m)</p> <p>1.5</p> <p>2.0</p> <p>枠番号</p> <p>② ④ ⑤ ⑥ ① ② ③ ④</p> <p>作業日当り標準作業量 (m/日)</p> <p>4 4 3 2 13 8 5</p> <p>(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。</p>										<p>区分</p> <p>製品長 (m)</p> <p>1.5</p> <p>2.0</p> <p>枠番号</p> <p>② ④ ⑤ ⑥ ① ② ③ ④</p> <p>作業日当り標準作業量 (m/日)</p> <p>5 4 4 3 15 11 8</p> <p>(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

記載の修正

誤		正		該当項	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
工種名	排水構造物工	工種名	排水構造物工	第1部 第1編 1-11-17	記載の修正																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
設定内容	<p>② ボックスカルバート+雑工種（基礎砕石・均しコンクリート）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="10">PC鋼材を使用しない場合</th> </tr> <tr> <th>製品長 (m)</th> <th colspan="3">1.0</th> <th colspan="3">1.5</th> <th colspan="4">2.0</th> </tr> <tr> <th>枠番号</th> <th>④</th><th>⑤</th><th>②</th><th>④</th><th>⑤</th><th>⑥</th><th>①</th><th>②</th><th>③</th><th>④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td>4</td><td>2</td><td>4</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>10</td><td>5</td><td>7</td><td>4</td> </tr> <tr> <th>区分</th> <th colspan="10">PC鋼材による縦連結の場合</th> </tr> <tr> <th>製品長 (m)</th> <th colspan="5">1.5</th> <th colspan="5">2.0</th> </tr> <tr> <th>枠番号</th> <th>②</th><th>④</th><th>⑤</th><th>⑥</th><th>①</th><th>②</th><th>③</th><th>④</th><th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>9</td><td>4</td><td>5</td><td>3</td><td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表②の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・均し型枠製作・設置、撤去・均しコンクリート打設・養生 ・ボックスカルバート設置 2. 上表②の作業日当り標準作業量は、ボックスカルバート設置延長換算値である。 3. 上表の枠番号①～⑥区分は、ボックスカルバート内空幅・内空高区分の図による。</p> <p>(3)暗渠排水管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">直管</th> <th colspan="3">波・網状管</th> </tr> <tr> <th>管径 (mm)</th> <th>50～150</th> <th>200～400</th> <th>50～150</th> <th>200～400</th> <th>450～600</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td>250</td> <td>125</td> <td>429</td> <td>273</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。</p>	区分	PC鋼材を使用しない場合										製品長 (m)	1.0			1.5			2.0				枠番号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④	作業日当り標準作業量 (m/日)	4	2	4	4	2	2	10	5	7	4	区分	PC鋼材による縦連結の場合										製品長 (m)	1.5					2.0					枠番号	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④			作業日当り標準作業量 (m/日)	3	3	2	1	9	4	5	3			区分	直管		波・網状管			管径 (mm)	50～150	200～400	50～150	200～400	450～600	作業日当り標準作業量 (m/日)	250	125	429	273	150	<p>② ボックスカルバート+基礎砕石</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="10">PC鋼材を使用しない場合</th> </tr> <tr> <th>製品長 (m)</th> <th colspan="3">1.0</th> <th colspan="3">1.5</th> <th colspan="4">2.0</th> </tr> <tr> <th>枠番号</th> <th>④</th><th>⑤</th><th>②</th><th>④</th><th>⑤</th><th>⑥</th><th>①</th><th>②</th><th>③</th><th>④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td>7</td><td>5</td><td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>4</td><td>17</td><td>14</td><td>14</td><td>10</td> </tr> <tr> <th>区分</th> <th colspan="10">PC鋼材による縦連結の場合</th> </tr> <tr> <th>製品長 (m)</th> <th colspan="5">1.5</th> <th colspan="5">2.0</th> </tr> <tr> <th>枠番号</th> <th>②</th><th>④</th><th>⑤</th><th>⑥</th><th>①</th><th>②</th><th>③</th><th>④</th><th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td>5</td><td>4</td><td>4</td><td>3</td><td>13</td><td>10</td><td>10</td><td>7</td><td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>③ ボックスカルバート+均しコンクリート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="10">PC鋼材を使用しない場合</th> </tr> <tr> <th>製品長 (m)</th> <th colspan="3">1.0</th> <th colspan="3">1.5</th> <th colspan="4">2.0</th> </tr> <tr> <th>枠番号</th> <th>④</th><th>⑤</th><th>②</th><th>④</th><th>⑤</th><th>⑥</th><th>①</th><th>②</th><th>③</th><th>④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td>6</td><td>4</td><td>6</td><td>5</td><td>5</td><td>4</td><td>12</td><td>10</td><td>11</td><td>8</td> </tr> <tr> <th>区分</th> <th colspan="10">PC鋼材による縦連結の場合</th> </tr> <tr> <th>製品長 (m)</th> <th colspan="5">1.5</th> <th colspan="5">2.0</th> </tr> <tr> <th>枠番号</th> <th>②</th><th>④</th><th>⑤</th><th>⑥</th><th>①</th><th>②</th><th>③</th><th>④</th><th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td>4</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>10</td><td>8</td><td>8</td><td>6</td><td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>④ ボックスカルバート+基礎砕石+均しコンクリート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="10">PC鋼材を使用しない場合</th> </tr> <tr> <th>製品長 (m)</th> <th colspan="3">1.0</th> <th colspan="3">1.5</th> <th colspan="4">2.0</th> </tr> <tr> <th>枠番号</th> <th>④</th><th>⑤</th><th>②</th><th>④</th><th>⑤</th><th>⑥</th><th>①</th><th>②</th><th>③</th><th>④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td>5</td><td>4</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>11</td><td>9</td><td>10</td><td>7</td> </tr> <tr> <th>区分</th> <th colspan="10">PC鋼材による縦連結の場合</th> </tr> <tr> <th>製品長 (m)</th> <th colspan="5">1.5</th> <th colspan="5">2.0</th> </tr> <tr> <th>枠番号</th> <th>②</th><th>④</th><th>⑤</th><th>⑥</th><th>①</th><th>②</th><th>③</th><th>④</th><th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td>4</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>9</td><td>7</td><td>8</td><td>5</td><td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表②～④の作業日当り標準作業量には、それぞれ次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・均し型枠製作・設置、撤去・均しコンクリート打設・養生 ・ボックスカルバート設置 2. 上表の枠番号①～⑥区分は、ボックスカルバート内空幅・内空高区分の図による。</p> <p>(3)暗渠排水管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">直管</th> <th colspan="3">波・網状管</th> </tr> <tr> <th>管径 (mm)</th> <th>50～150</th> <th>200～400</th> <th>50～150</th> <th>200～400</th> <th>450～600</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td>250</td> <td>125</td> <td>429</td> <td>273</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。</p>	区分	PC鋼材を使用しない場合										製品長 (m)	1.0			1.5			2.0				枠番号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④	作業日当り標準作業量 (m/日)	7	5	8	7	6	4	17	14	14	10	区分	PC鋼材による縦連結の場合										製品長 (m)	1.5					2.0					枠番号	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④			作業日当り標準作業量 (m/日)	5	4	4	3	13	10	10	7			区分	PC鋼材を使用しない場合										製品長 (m)	1.0			1.5			2.0				枠番号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④	作業日当り標準作業量 (m/日)	6	4	6	5	5	4	12	10	11	8	区分	PC鋼材による縦連結の場合										製品長 (m)	1.5					2.0					枠番号	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④			作業日当り標準作業量 (m/日)	4	3	3	3	10	8	8	6			区分	PC鋼材を使用しない場合										製品長 (m)	1.0			1.5			2.0				枠番号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④	作業日当り標準作業量 (m/日)	5	4	6	5	4	3	11	9	10	7	区分	PC鋼材による縦連結の場合										製品長 (m)	1.5					2.0					枠番号	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④			作業日当り標準作業量 (m/日)	4	3	3	2	9	7	8	5			区分	直管		波・網状管			管径 (mm)	50～150	200～400	50～150	200～400	450～600	作業日当り標準作業量 (m/日)	250	125	429	273	150	記載の修正	記載の修正	記載の修正
区分	PC鋼材を使用しない場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
製品長 (m)	1.0			1.5			2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
枠番号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
作業日当り標準作業量 (m/日)	4	2	4	4	2	2	10	5	7	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
区分	PC鋼材による縦連結の場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
製品長 (m)	1.5					2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
枠番号	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
作業日当り標準作業量 (m/日)	3	3	2	1	9	4	5	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
区分	直管		波・網状管																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
管径 (mm)	50～150	200～400	50～150	200～400	450～600																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
作業日当り標準作業量 (m/日)	250	125	429	273	150																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
区分	PC鋼材を使用しない場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
製品長 (m)	1.0			1.5			2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
枠番号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
作業日当り標準作業量 (m/日)	7	5	8	7	6	4	17	14	14	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
区分	PC鋼材による縦連結の場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
製品長 (m)	1.5					2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
枠番号	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
作業日当り標準作業量 (m/日)	5	4	4	3	13	10	10	7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
区分	PC鋼材を使用しない場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
製品長 (m)	1.0			1.5			2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
枠番号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
作業日当り標準作業量 (m/日)	6	4	6	5	5	4	12	10	11	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
区分	PC鋼材による縦連結の場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
製品長 (m)	1.5					2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
枠番号	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
作業日当り標準作業量 (m/日)	4	3	3	3	10	8	8	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
区分	PC鋼材を使用しない場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
製品長 (m)	1.0			1.5			2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
枠番号	④	⑤	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
作業日当り標準作業量 (m/日)	5	4	6	5	4	3	11	9	10	7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
区分	PC鋼材による縦連結の場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
製品長 (m)	1.5					2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
枠番号	②	④	⑤	⑥	①	②	③	④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
作業日当り標準作業量 (m/日)	4	3	3	2	9	7	8	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
区分	直管		波・網状管																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
管径 (mm)	50～150	200～400	50～150	200～400	450～600																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
作業日当り標準作業量 (m/日)	250	125	429	273	150																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

誤	正	該当項	備考																																																				
<p>(4)フィルター材</p> <table border="1" data-bbox="341 216 1255 254"> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m³/日)</td> <td>36</td> </tr> </table> <p>(5)管(函)渠型側溝</p> <p>① 管(函)渠型側溝単体</p> <table border="1" data-bbox="341 344 1255 470"> <tr> <td>内径又は内空幅 (mm)</td> <td>200以上 300以下</td> <td>300を超え 400以下</td> <td>400を超え 600以下</td> </tr> <tr> <td>製品長</td> <td colspan="2">L=2m以下</td> <td>L=2m</td> </tr> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td>33</td> <td>25</td> <td>17</td> </tr> </table> <p>(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。</p> <p>② 管(函)渠型側溝+基礎砕石</p> <table border="1" data-bbox="341 560 1255 686"> <tr> <td>内径又は内空幅 (mm)</td> <td>200以上 300以下</td> <td>300を超え 400以下</td> <td>400を超え 600以下</td> </tr> <tr> <td>製品長</td> <td colspan="2">L=2m以下</td> <td>L=2m</td> </tr> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td>29</td> <td>23</td> <td>16</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表②の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・管(函)渠型側溝設置 2. 上表②の作業日当り標準作業量は、管(函)渠型側溝設置延長換算値である。</p>	作業日当り標準作業量 (m ³ /日)	36	内径又は内空幅 (mm)	200以上 300以下	300を超え 400以下	400を超え 600以下	製品長	L=2m以下		L=2m	作業日当り標準作業量 (m/日)	33	25	17	内径又は内空幅 (mm)	200以上 300以下	300を超え 400以下	400を超え 600以下	製品長	L=2m以下		L=2m	作業日当り標準作業量 (m/日)	29	23	16	<p>(4)フィルター材</p> <table border="1" data-bbox="1537 216 2451 254"> <tr> <td>作業日当り標準作業量</td> <td>36 m³/日</td> </tr> </table> <p>(5)管(函)渠型側溝</p> <p>① 管(函)渠型側溝単体</p> <table border="1" data-bbox="1537 344 2451 470"> <tr> <td>内径又は内空幅 (mm)</td> <td>200以上 300以下</td> <td>300を超え 400以下</td> <td>400を超え 600以下</td> </tr> <tr> <td>製品長</td> <td colspan="2">L=2m以下</td> <td>L=2m</td> </tr> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td>33</td> <td>25</td> <td>17</td> </tr> </table> <p>(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。</p> <p>② 管(函)渠型側溝+基礎砕石</p> <table border="1" data-bbox="1537 560 2451 686"> <tr> <td>内径又は内空幅 (mm)</td> <td>200以上 300以下</td> <td>300を超え 400以下</td> <td>400を超え 600以下</td> </tr> <tr> <td>製品長</td> <td colspan="2">L=2m以下</td> <td>L=2m</td> </tr> <tr> <td>作業日当り標準作業量 (m/日)</td> <td>29</td> <td>23</td> <td>16</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表②の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・管(函)渠型側溝設置 2. 上表②の作業日当り標準作業量は、管(函)渠型側溝設置延長換算値である。</p>	作業日当り標準作業量	36 m ³ /日	内径又は内空幅 (mm)	200以上 300以下	300を超え 400以下	400を超え 600以下	製品長	L=2m以下		L=2m	作業日当り標準作業量 (m/日)	33	25	17	内径又は内空幅 (mm)	200以上 300以下	300を超え 400以下	400を超え 600以下	製品長	L=2m以下		L=2m	作業日当り標準作業量 (m/日)	29	23	16	<p>第1部 第1編 1-11-17</p>	<p>前項より移動 記載の修正</p>
作業日当り標準作業量 (m ³ /日)	36																																																						
内径又は内空幅 (mm)	200以上 300以下	300を超え 400以下	400を超え 600以下																																																				
製品長	L=2m以下		L=2m																																																				
作業日当り標準作業量 (m/日)	33	25	17																																																				
内径又は内空幅 (mm)	200以上 300以下	300を超え 400以下	400を超え 600以下																																																				
製品長	L=2m以下		L=2m																																																				
作業日当り標準作業量 (m/日)	29	23	16																																																				
作業日当り標準作業量	36 m ³ /日																																																						
内径又は内空幅 (mm)	200以上 300以下	300を超え 400以下	400を超え 600以下																																																				
製品長	L=2m以下		L=2m																																																				
作業日当り標準作業量 (m/日)	33	25	17																																																				
内径又は内空幅 (mm)	200以上 300以下	300を超え 400以下	400を超え 600以下																																																				
製品長	L=2m以下		L=2m																																																				
作業日当り標準作業量 (m/日)	29	23	16																																																				

誤		正		該当項	備考																																																										
排水構造物工	<p>② L形側溝+基礎碎石</p> <table border="1"> <tr> <td>製品</td> <td>長(m)</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">作業日当り標準作業量(m/日)</td> <td>29</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表②の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・L形側溝設置 2. 上表②の作業日当り標準作業量は、L形側溝設置延長換算値である。</p> <p>(9) プレキャストマンホール</p> <table border="1"> <tr> <td>製品質量(kg/基)</td> <td>2,000以下</td> <td>2,000を超え4,000以下</td> </tr> <tr> <td>作業日当り標準作業量(基/日)</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・マンホール設置 2. 作業日当り標準作業量は、基礎材の有無にかかわらず適用出来る。 3. 上表の作業日当り標準作業量は、マンホール設置数量換算値である。 4. 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。</p>	製品	長(m)	0.6	作業日当り標準作業量(m/日)		29	製品質量(kg/基)	2,000以下	2,000を超え4,000以下	作業日当り標準作業量(基/日)	4	3	排水構造物工	<p>② L形側溝+基礎碎石</p> <table border="1"> <tr> <td>製品</td> <td>長(m)</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">作業日当り標準作業量(m/日)</td> <td>29</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表②の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・L形側溝設置 2. 上表②の作業日当り標準作業量は、L形側溝設置延長換算値である。</p> <p>(9) プレキャストマンホール</p> <table border="1"> <tr> <td>製品質量(kg/基)</td> <td>2,000以下</td> <td>2,000を超え4,000以下</td> </tr> <tr> <td>作業日当り標準作業量(基/日)</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・マンホール設置 2. 作業日当り標準作業量は、基礎材の有無にかかわらず適用出来る。 3. 上表の作業日当り標準作業量は、マンホール設置数量換算値である。 4. 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。</p>	製品	長(m)	0.6	作業日当り標準作業量(m/日)		29	製品質量(kg/基)	2,000以下	2,000を超え4,000以下	作業日当り標準作業量(基/日)	4	3	第1部 第1編 1-11-19																																			
製品	長(m)	0.6																																																													
作業日当り標準作業量(m/日)		29																																																													
製品質量(kg/基)	2,000以下	2,000を超え4,000以下																																																													
作業日当り標準作業量(基/日)	4	3																																																													
製品	長(m)	0.6																																																													
作業日当り標準作業量(m/日)		29																																																													
製品質量(kg/基)	2,000以下	2,000を超え4,000以下																																																													
作業日当り標準作業量(基/日)	4	3																																																													
函渠工	<p>① 函渠工(1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内空寸法 「(幅×高さ) m」</th> <th>作業日当り標準作業量 (m³/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>幅:1.0以上2.5未満かつ高さ:1.0以上2.5未満</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>幅:2.5以上4.0以下かつ高さ:1.0以上2.5未満</td><td>3.4</td></tr> <tr><td>幅:1.0以上2.5未満かつ高さ:2.5以上4.0以下</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>幅:2.5以上4.0未満かつ高さ:2.5以上4.0以下</td><td>3.9</td></tr> <tr><td>幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:2.5以上4.0未満</td><td>5.0</td></tr> <tr><td>幅:5.5以上7.0以下かつ高さ:2.5以上4.0未満</td><td>5.9</td></tr> <tr><td>幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:4.0以上5.5未満</td><td>6.5</td></tr> <tr><td>幅:5.5以上7.0未満かつ高さ:4.0以上5.5未満</td><td>7.5</td></tr> <tr><td>幅:7.0以上8.5未満かつ高さ:4.0以上5.5以下</td><td>8.5</td></tr> <tr><td>幅:8.5以上10.0以下かつ高さ:4.0以上5.5以下</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:5.5以上7.0以下</td><td>7.2</td></tr> <tr><td>幅:5.5以上7.0以下かつ高さ:5.5以上7.0以下</td><td>8.4</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・均し型枠製作・設置、撤去・均しコンクリート打設・養生 ・コンクリート打設・養生 ・型枠製作・設置、撤去 ・鉄筋加工・組立 ・足場設置、撤去・支保設置、撤去 ・目地材設置・止水板設置 2. 上表の作業日当り標準作業量は、作業の重複を考慮した1ブロックでの値であり、工程の算出に当たっては、施工場所、ブロック数を考慮して決定するものとする。 3. 上表の作業日当り標準作業量は、基礎材敷均し・転圧、均しコンクリート、足場の施工の有無、足場形式(枠組足場又は手摺先行型枠組足場)にかかわらず適用出来る。 4. コンクリート養生は、散水、保温を問わず適用する。 5. 上表の作業日当り標準作業量は、本体コンクリート(函渠、ウイング、段落ち防止枕)換算値である。</p> <p>② 函渠工(2)</p> <table border="1"> <tr> <th>作業種別</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>102m³/日</td> </tr> </table>	内空寸法 「(幅×高さ) m」	作業日当り標準作業量 (m ³ /日)	幅:1.0以上2.5未満かつ高さ:1.0以上2.5未満	2.0	幅:2.5以上4.0以下かつ高さ:1.0以上2.5未満	3.4	幅:1.0以上2.5未満かつ高さ:2.5以上4.0以下	3.5	幅:2.5以上4.0未満かつ高さ:2.5以上4.0以下	3.9	幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:2.5以上4.0未満	5.0	幅:5.5以上7.0以下かつ高さ:2.5以上4.0未満	5.9	幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:4.0以上5.5未満	6.5	幅:5.5以上7.0未満かつ高さ:4.0以上5.5未満	7.5	幅:7.0以上8.5未満かつ高さ:4.0以上5.5以下	8.5	幅:8.5以上10.0以下かつ高さ:4.0以上5.5以下	10.0	幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:5.5以上7.0以下	7.2	幅:5.5以上7.0以下かつ高さ:5.5以上7.0以下	8.4	作業種別	作業日当り標準作業量	コンクリートポンプ車打設	102m ³ /日	函渠工(1)	<p>① 函渠</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内空寸法 「(幅×高さ) m」</th> <th>作業日当り標準作業量 (m³/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>幅:1.0以上2.5未満かつ高さ:1.0以上2.5未満</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>幅:2.5以上4.0以下かつ高さ:1.0以上2.5未満</td><td>3.4</td></tr> <tr><td>幅:1.0以上2.5未満かつ高さ:2.5以上4.0以下</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>幅:2.5以上4.0未満かつ高さ:2.5以上4.0以下</td><td>3.9</td></tr> <tr><td>幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:2.5以上4.0未満</td><td>5.0</td></tr> <tr><td>幅:5.5以上7.0以下かつ高さ:2.5以上4.0未満</td><td>5.9</td></tr> <tr><td>幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:4.0以上5.5未満</td><td>6.5</td></tr> <tr><td>幅:5.5以上7.0未満かつ高さ:4.0以上5.5未満</td><td>7.5</td></tr> <tr><td>幅:7.0以上8.5未満かつ高さ:4.0以上5.5以下</td><td>8.5</td></tr> <tr><td>幅:8.5以上10.0以下かつ高さ:4.0以上5.5以下</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:5.5以上7.0以下</td><td>7.2</td></tr> <tr><td>幅:5.5以上7.0以下かつ高さ:5.5以上7.0以下</td><td>8.4</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・均し型枠製作・設置、撤去・均しコンクリート打設・養生 ・コンクリート打設・養生 ・型枠製作・設置、撤去 ・鉄筋加工・組立 ・足場設置、撤去・支保設置、撤去 ・目地材設置・止水板設置 2. 上表の作業日当り標準作業量は、作業の重複を考慮した1ブロックでの値であり、工程の算出に当たっては、施工場所、ブロック数を考慮して決定するものとする。 3. 上表の作業日当り標準作業量は、基礎材敷均し・転圧、均しコンクリート、足場の施工の有無、足場形式(枠組足場又は手摺先行型枠組足場)にかかわらず適用出来る。 4. コンクリート養生は、散水、保温を問わず適用する。 5. 上表の作業日当り標準作業量は、本体コンクリート(函渠、ウイング、段落ち防止枕)換算値である。</p> <p>函渠工(2) ① コンクリート(場所打函渠)</p> <table border="1"> <tr> <td>作業日当り標準作業量</td> <td>102 m³/日</td> </tr> </table>	内空寸法 「(幅×高さ) m」	作業日当り標準作業量 (m ³ /日)	幅:1.0以上2.5未満かつ高さ:1.0以上2.5未満	2.0	幅:2.5以上4.0以下かつ高さ:1.0以上2.5未満	3.4	幅:1.0以上2.5未満かつ高さ:2.5以上4.0以下	3.5	幅:2.5以上4.0未満かつ高さ:2.5以上4.0以下	3.9	幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:2.5以上4.0未満	5.0	幅:5.5以上7.0以下かつ高さ:2.5以上4.0未満	5.9	幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:4.0以上5.5未満	6.5	幅:5.5以上7.0未満かつ高さ:4.0以上5.5未満	7.5	幅:7.0以上8.5未満かつ高さ:4.0以上5.5以下	8.5	幅:8.5以上10.0以下かつ高さ:4.0以上5.5以下	10.0	幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:5.5以上7.0以下	7.2	幅:5.5以上7.0以下かつ高さ:5.5以上7.0以下	8.4	作業日当り標準作業量	102 m ³ /日	記載の修正	記載の修正
内空寸法 「(幅×高さ) m」	作業日当り標準作業量 (m ³ /日)																																																														
幅:1.0以上2.5未満かつ高さ:1.0以上2.5未満	2.0																																																														
幅:2.5以上4.0以下かつ高さ:1.0以上2.5未満	3.4																																																														
幅:1.0以上2.5未満かつ高さ:2.5以上4.0以下	3.5																																																														
幅:2.5以上4.0未満かつ高さ:2.5以上4.0以下	3.9																																																														
幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:2.5以上4.0未満	5.0																																																														
幅:5.5以上7.0以下かつ高さ:2.5以上4.0未満	5.9																																																														
幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:4.0以上5.5未満	6.5																																																														
幅:5.5以上7.0未満かつ高さ:4.0以上5.5未満	7.5																																																														
幅:7.0以上8.5未満かつ高さ:4.0以上5.5以下	8.5																																																														
幅:8.5以上10.0以下かつ高さ:4.0以上5.5以下	10.0																																																														
幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:5.5以上7.0以下	7.2																																																														
幅:5.5以上7.0以下かつ高さ:5.5以上7.0以下	8.4																																																														
作業種別	作業日当り標準作業量																																																														
コンクリートポンプ車打設	102m ³ /日																																																														
内空寸法 「(幅×高さ) m」	作業日当り標準作業量 (m ³ /日)																																																														
幅:1.0以上2.5未満かつ高さ:1.0以上2.5未満	2.0																																																														
幅:2.5以上4.0以下かつ高さ:1.0以上2.5未満	3.4																																																														
幅:1.0以上2.5未満かつ高さ:2.5以上4.0以下	3.5																																																														
幅:2.5以上4.0未満かつ高さ:2.5以上4.0以下	3.9																																																														
幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:2.5以上4.0未満	5.0																																																														
幅:5.5以上7.0以下かつ高さ:2.5以上4.0未満	5.9																																																														
幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:4.0以上5.5未満	6.5																																																														
幅:5.5以上7.0未満かつ高さ:4.0以上5.5未満	7.5																																																														
幅:7.0以上8.5未満かつ高さ:4.0以上5.5以下	8.5																																																														
幅:8.5以上10.0以下かつ高さ:4.0以上5.5以下	10.0																																																														
幅:4.0以上5.5未満かつ高さ:5.5以上7.0以下	7.2																																																														
幅:5.5以上7.0以下かつ高さ:5.5以上7.0以下	8.4																																																														
作業日当り標準作業量	102 m ³ /日																																																														

誤					正					該当項	備考			
工種名 コンクリート工	① コンクリート				構造物区分	打設方法	設計日打設量区分	作業日当り標準打設量	摘要	工種名 コンクリート工	① コンクリート			
	無筋・鉄筋構造物	コンクリート	10m ³ 以上 100m ³ 未満	69m ³ /日							無筋・鉄筋構造物	コンクリート	10m ³ 以上 100m ³ 未満	69m ³ /日
		ポンプ車打設	100m ³ 以上 500m ³ 未満	280m ³ /日		ポンプ車打設	100m ³ 以上 500m ³ 未満	280m ³ /日						
		人力打設	—	4m ³ /日		人力打設	—	4m ³ /日						
	小型構造物	クレーン車打設	—	6m ³ /日		クレーン車打設	—	6m ³ /日						
		人力打設	—	5m ³ /日		人力打設	—	5m ³ /日						
	無筋・鉄筋構造物・小型構造物	バックホウ（クレーン機能付）打設	—	8m ³ /日		バックホウ（クレーン機能付）打設	—	8m ³ /日						
(注) 養生工は、現場、施工条件等により別途考慮する。					(注) 養生工は、現場、施工条件等により別途考慮する。									
	② モルタル練													
		混合比	作業日当り標準作業量											
		1 : 1	0.67 m ³ /日											
		1 : 2	0.77 m ³ /日											
		1 : 3	0.91 m ³ /日											
工種名 型枠工	① 型枠				作業名	対象構造物	作業日当り標準作業量	摘要	工種名 型枠工	① 型枠				
	型枠の製作・設置・撤去	鉄筋・無筋構造物	38m ² /日							型枠の製作・設置・撤去	鉄筋・無筋構造物	38m ² /日		
		小型構造物	15m ² /日			小型構造物	15m ² /日							
(注) 養生工は、現場、施工条件等により別途考慮する。					(注) 養生工は、現場、施工条件等により別途考慮する。									
	② 撤去しない埋設型枠													
		施工区分	作業日当り標準作業量											
		床版部	100 m ² /日											
		支承部・連結部	50 m ² /日											
工種名 仮設材設置撤去工	① 仮設材設置撤去工				工種名	作業日当り標準作業量		摘要	工種名 仮設材設置撤去工	① 仮設材設置撤去工				
			設置	撤去			設置			撤去				
	切梁・腹起し	6.1 t/日 (10.1 t/日)	10.2 t/日 (18.3 t/日)		切梁・腹起し	6.1 t/日 (10.1 t/日)	10.2 t/日 (18.3 t/日)							
	タイロッド・腹起し	2.0 t/日	4.6 t/日		タイロッド・腹起し	2.0 t/日	4.6 t/日							
	横矢板	24.8m ² /日	49.3m ² /日		横矢板	24.8m ² /日	49.3m ² /日							
	覆工板・覆工板受桁	34m ² /日	56m ² /日	設置面積 700m ² 以下	覆工板・覆工板受桁	34m ² /日	56m ² /日	設置面積 700m ² 以下						
	覆工板	119.3m ² /日	209.2m ² /日	設置面積 700m ² を超える	覆工板	119.3m ² /日	209.2m ² /日	設置面積 700m ² を超える						
	覆工板受桁	6.2 t/日	10.1 t/日	〃	覆工板受桁	6.2 t/日	10.1 t/日	〃						
(注) 1. 覆工板受桁用桁受の設置・撤去は、覆工板受桁に準ずる。 2. 切梁・腹起しで、火打ブロックを使用する場合は、()内の値とする。					(注) 1. 覆工板受桁用桁受の設置・撤去は、覆工板受桁に準ずる。 2. 切梁・腹起しで、火打ブロックを使用する場合は、()内の値とする。									

記載の修正

記載の修正

第1部
第1編
1-11-25

誤			正			該当項	備考																												
足場工	① 足場工	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手摺先行型枠組足場設置・撤去</td> <td>61 掛m^2/日</td> </tr> <tr> <td>単管足場設置・撤去</td> <td>79 掛m^2/日</td> </tr> <tr> <td>単管傾斜足場設置・撤去</td> <td>57 掛m^2/日</td> </tr> </tbody> </table>	作業種別	作業日当り標準作業量	手摺先行型枠組足場設置・撤去			61 掛 m^2 /日	単管足場設置・撤去	79 掛 m^2 /日	単管傾斜足場設置・撤去	57 掛 m^2 /日	足場工	① 足場工	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手摺先行型枠組足場設置・撤去</td> <td>61 掛m^2/日</td> </tr> <tr> <td>単管足場設置・撤去</td> <td>79 掛m^2/日</td> </tr> <tr> <td>単管傾斜足場設置・撤去</td> <td>57 掛m^2/日</td> </tr> </tbody> </table>	作業種別	作業日当り標準作業量	手摺先行型枠組足場設置・撤去	61 掛 m^2 /日	単管足場設置・撤去	79 掛 m^2 /日	単管傾斜足場設置・撤去	57 掛 m^2 /日	第1部 第1編 1-11-25	前項より移動										
作業種別	作業日当り標準作業量																																		
手摺先行型枠組足場設置・撤去	61 掛 m^2 /日																																		
単管足場設置・撤去	79 掛 m^2 /日																																		
単管傾斜足場設置・撤去	57 掛 m^2 /日																																		
作業種別	作業日当り標準作業量																																		
手摺先行型枠組足場設置・撤去	61 掛 m^2 /日																																		
単管足場設置・撤去	79 掛 m^2 /日																																		
単管傾斜足場設置・撤去	57 掛 m^2 /日																																		
支保工	① 支保工	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>支保耐力(f) kN/m^2</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">パイプサポート支保 設置撤去</td> <td>$f \leq 40$</td> <td>27 空m^3/日</td> </tr> <tr> <td>$f \leq 40$ (小規模)</td> <td>34 空m^3/日</td> </tr> <tr> <td>$40 < f \leq 60$</td> <td>15 空m^3/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">くさび結合支保設置・撤去</td> <td>$f \leq 40$</td> <td>67 空m^3/日</td> </tr> <tr> <td>$40 < f \leq 80$</td> <td>37 空m^3/日</td> </tr> </tbody> </table>	作業種別	支保耐力(f) kN/m^2	作業日当り標準作業量	パイプサポート支保 設置撤去	$f \leq 40$	27 空 m^3 /日	$f \leq 40$ (小規模)	34 空 m^3 /日	$40 < f \leq 60$	15 空 m^3 /日	くさび結合支保設置・撤去	$f \leq 40$	67 空 m^3 /日	$40 < f \leq 80$	37 空 m^3 /日	支保工	① 支保工	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>支保耐力(f) kN/m^2</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">パイプサポート支保 設置撤去</td> <td>$f \leq 40$</td> <td>27 空m^3/日</td> </tr> <tr> <td>$f \leq 40$ (小規模)</td> <td>34 空m^3/日</td> </tr> <tr> <td>$40 < f \leq 60$</td> <td>15 空m^3/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">くさび結合支保設置・撤去</td> <td>$f \leq 40$</td> <td>67 空m^3/日</td> </tr> <tr> <td>$40 < f \leq 80$</td> <td>37 空m^3/日</td> </tr> </tbody> </table>	作業種別	支保耐力(f) kN/m^2	作業日当り標準作業量	パイプサポート支保 設置撤去	$f \leq 40$	27 空 m^3 /日	$f \leq 40$ (小規模)	34 空 m^3 /日	$40 < f \leq 60$	15 空 m^3 /日	くさび結合支保設置・撤去	$f \leq 40$	67 空 m^3 /日	$40 < f \leq 80$	37 空 m^3 /日
作業種別	支保耐力(f) kN/m^2	作業日当り標準作業量																																	
パイプサポート支保 設置撤去	$f \leq 40$	27 空 m^3 /日																																	
	$f \leq 40$ (小規模)	34 空 m^3 /日																																	
	$40 < f \leq 60$	15 空 m^3 /日																																	
くさび結合支保設置・撤去	$f \leq 40$	67 空 m^3 /日																																	
	$40 < f \leq 80$	37 空 m^3 /日																																	
作業種別	支保耐力(f) kN/m^2	作業日当り標準作業量																																	
パイプサポート支保 設置撤去	$f \leq 40$	27 空 m^3 /日																																	
	$f \leq 40$ (小規模)	34 空 m^3 /日																																	
	$40 < f \leq 60$	15 空 m^3 /日																																	
くさび結合支保設置・撤去	$f \leq 40$	67 空 m^3 /日																																	
	$40 < f \leq 80$	37 空 m^3 /日																																	

誤		正		該当項	備考																																																																																										
舗装版切断工	<p>① 舗装版切断</p> <p>(1) アスファルト舗装版</p> <table border="1"> <tr> <th>アスファルト舗装版厚</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> <tr> <td>15cm以下</td> <td>230m/日</td> </tr> <tr> <td>15cmを超え30cm以下</td> <td>130m/日</td> </tr> <tr> <td>30cmを超え40cm以下</td> <td>80m/日</td> </tr> </table> <p>(2) コンクリート舗装版, コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版</p> <table border="1"> <tr> <th>コンクリート舗装版厚</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> <tr> <td>15cm以下</td> <td>150m/日</td> </tr> <tr> <td>15cmを超え30cm以下</td> <td>70m/日</td> </tr> </table> <p>(注) コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の場合, 舗装版厚はコンクリート舗装版のみの厚さである。</p>	アスファルト舗装版厚	作業日当り標準作業量	15cm以下	230m/日	15cmを超え30cm以下	130m/日	30cmを超え40cm以下	80m/日	コンクリート舗装版厚	作業日当り標準作業量	15cm以下	150m/日	15cmを超え30cm以下	70m/日	舗装版切断工	<p>① 舗装版切断</p> <p>(1) アスファルト舗装版</p> <table border="1"> <tr> <th>アスファルト舗装版厚</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> <tr> <td>15cm以下</td> <td>230m/日</td> </tr> <tr> <td>15cmを超え30cm以下</td> <td>130m/日</td> </tr> <tr> <td>30cmを超え40cm以下</td> <td>80m/日</td> </tr> </table> <p>(2) コンクリート舗装版, コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版</p> <table border="1"> <tr> <th>コンクリート舗装版厚</th> <th>作業日当り標準作業量</th> </tr> <tr> <td>15cm以下</td> <td>150m/日</td> </tr> <tr> <td>15cmを超え30cm以下</td> <td>70m/日</td> </tr> </table> <p>(注) コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の場合, 舗装版厚はコンクリート舗装版のみの厚さである。</p>	アスファルト舗装版厚	作業日当り標準作業量	15cm以下	230m/日	15cmを超え30cm以下	130m/日	30cmを超え40cm以下	80m/日	コンクリート舗装版厚	作業日当り標準作業量	15cm以下	150m/日	15cmを超え30cm以下	70m/日	第1部 第1編 1-11-30																																																															
アスファルト舗装版厚	作業日当り標準作業量																																																																																														
15cm以下	230m/日																																																																																														
15cmを超え30cm以下	130m/日																																																																																														
30cmを超え40cm以下	80m/日																																																																																														
コンクリート舗装版厚	作業日当り標準作業量																																																																																														
15cm以下	150m/日																																																																																														
15cmを超え30cm以下	70m/日																																																																																														
アスファルト舗装版厚	作業日当り標準作業量																																																																																														
15cm以下	230m/日																																																																																														
15cmを超え30cm以下	130m/日																																																																																														
30cmを超え40cm以下	80m/日																																																																																														
コンクリート舗装版厚	作業日当り標準作業量																																																																																														
15cm以下	150m/日																																																																																														
15cmを超え30cm以下	70m/日																																																																																														
道路打換え工	<p>① 道路打換え工</p> <p>作業日当り標準作業量(総施工量1,000m²未満)(m²/日)</p> <table border="1"> <tr> <th>全体掘削厚</th> <th colspan="2">40cm以下</th> <th>40cmを超え80cm以下</th> <th>80cmを超え120cm以下</th> </tr> <tr> <th>復旧層数</th> <td>2層</td> <td>3層以上5層以下</td> <td>4層以上6層以下</td> <td>5, 6層</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">歩掛区分</td> <td>コンクリート圧砕機15cm以下</td> <td rowspan="2">200</td> <td rowspan="2">160</td> <td rowspan="2">140</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機・大型ブレード15cmを超え30cm以下</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機・大型ブレード30cmを超え40cm以下</td> <td>190</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">復旧層数</th> <td>2層</td> <td>3層以上4層以下</td> <td>5層</td> </tr> <tr> <td>歩掛区分</td> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40cm以下</td> <td>360</td> <td>270</td> <td>220</td> </tr> <tr> <th colspan="2">復旧層数</th> <td>2層</td> <td>3層以上4層以下</td> <td>5層以上6層以下</td> </tr> <tr> <td>歩掛区分</td> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40cmを超え80cm以下</td> <td>260</td> <td>210</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>歩掛区分</td> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚80cmを超え120cm以下</td> <td>200</td> <td>170</td> <td>140</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 復旧層数は即日復旧を行う(路床～表層まで)の全層数とする。 2. 作業量はとりこわし～復旧までの作業量とする。</p>	全体掘削厚	40cm以下		40cmを超え80cm以下	80cmを超え120cm以下	復旧層数	2層	3層以上5層以下	4層以上6層以下	5, 6層	歩掛区分	コンクリート圧砕機15cm以下	200	160	140	コンクリート圧砕機・大型ブレード15cmを超え30cm以下	コンクリート圧砕機・大型ブレード30cmを超え40cm以下	190			復旧層数		2層	3層以上4層以下	5層	歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40cm以下	360	270	220	復旧層数		2層	3層以上4層以下	5層以上6層以下	歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40cmを超え80cm以下	260	210	170	歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚80cmを超え120cm以下	200	170	140	道路打換え工	<p>① 道路打換え工</p> <p>作業日当り標準作業量(総施工量1,000m²未満)(m²/日)</p> <table border="1"> <tr> <th>全体掘削厚</th> <th colspan="2">40cm以下</th> <th>40cmを超え80cm以下</th> <th>80cmを超え120cm以下</th> </tr> <tr> <th>復旧層数</th> <td>2層</td> <td>3層以上5層以下</td> <td>4層以上6層以下</td> <td>5, 6層</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">歩掛区分</td> <td>コンクリート圧砕機15cm以下</td> <td rowspan="2">200</td> <td rowspan="2">160</td> <td rowspan="2">140</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機・大型ブレード15cmを超え30cm以下</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機・大型ブレード30cmを超え40cm以下</td> <td>190</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">復旧層数</th> <td>2層</td> <td>3層以上4層以下</td> <td>5層</td> </tr> <tr> <td>歩掛区分</td> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40cm以下</td> <td>360</td> <td>270</td> <td>220</td> </tr> <tr> <th colspan="2">復旧層数</th> <td>2層</td> <td>3層以上4層以下</td> <td>5層以上6層以下</td> </tr> <tr> <td>歩掛区分</td> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40cmを超え80cm以下</td> <td>260</td> <td>210</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>歩掛区分</td> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚80cmを超え120cm以下</td> <td>200</td> <td>170</td> <td>140</td> </tr> </table>	全体掘削厚	40cm以下		40cmを超え80cm以下	80cmを超え120cm以下	復旧層数	2層	3層以上5層以下	4層以上6層以下	5, 6層	歩掛区分	コンクリート圧砕機15cm以下	200	160	140	コンクリート圧砕機・大型ブレード15cmを超え30cm以下	コンクリート圧砕機・大型ブレード30cmを超え40cm以下	190			復旧層数		2層	3層以上4層以下	5層	歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40cm以下	360	270	220	復旧層数		2層	3層以上4層以下	5層以上6層以下	歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40cmを超え80cm以下	260	210	170	歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚80cmを超え120cm以下	200	170	140		記載の修正
全体掘削厚	40cm以下		40cmを超え80cm以下	80cmを超え120cm以下																																																																																											
復旧層数	2層	3層以上5層以下	4層以上6層以下	5, 6層																																																																																											
歩掛区分	コンクリート圧砕機15cm以下	200	160	140																																																																																											
	コンクリート圧砕機・大型ブレード15cmを超え30cm以下																																																																																														
	コンクリート圧砕機・大型ブレード30cmを超え40cm以下	190																																																																																													
復旧層数		2層	3層以上4層以下	5層																																																																																											
歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40cm以下	360	270	220																																																																																											
復旧層数		2層	3層以上4層以下	5層以上6層以下																																																																																											
歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40cmを超え80cm以下	260	210	170																																																																																											
歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚80cmを超え120cm以下	200	170	140																																																																																											
全体掘削厚	40cm以下		40cmを超え80cm以下	80cmを超え120cm以下																																																																																											
復旧層数	2層	3層以上5層以下	4層以上6層以下	5, 6層																																																																																											
歩掛区分	コンクリート圧砕機15cm以下	200	160	140																																																																																											
	コンクリート圧砕機・大型ブレード15cmを超え30cm以下																																																																																														
	コンクリート圧砕機・大型ブレード30cmを超え40cm以下	190																																																																																													
復旧層数		2層	3層以上4層以下	5層																																																																																											
歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40cm以下	360	270	220																																																																																											
復旧層数		2層	3層以上4層以下	5層以上6層以下																																																																																											
歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40cmを超え80cm以下	260	210	170																																																																																											
歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚80cmを超え120cm以下	200	170	140																																																																																											

誤				正				該当項	備考																																																																																																																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>工種名</th> <th colspan="3">設定内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">道路打換え工</td> <td colspan="3">作業日当り標準作業量（総施工量 1,000m²以上）（m²/日）</td> </tr> <tr> <td>全体掘削厚</td> <td>40 cm以下</td> <td>40 cmを超え 80 cm以下</td> <td>80 cmを超え 120 cm以下</td> </tr> <tr> <td>復旧層数</td> <td>2層</td> <td>3層以上 5層以下</td> <td>4層以上 6層以下</td> <td>5, 6層</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">歩掛区分</td> <td>コンクリート圧砕機 15 cm以下</td> <td>220</td> <td>180</td> <td rowspan="3">150</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機・大型ブレード 15 cmを超え 30 cm以下</td> <td>210</td> <td rowspan="2">170</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機・大型ブレード 30 cmを超え 40 cm以下</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>復旧層数</td> <td>2層</td> <td>3層以上 4層以下</td> <td>5層</td> </tr> <tr> <td>歩掛区分</td> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cm以下</td> <td>380</td> <td>300</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>復旧層数</td> <td>2層</td> <td>3層以上 4層以下</td> <td>5層以上 6層以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">歩掛区分</td> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cmを超え 80 cm以下</td> <td>270</td> <td>230</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 80 cmを超え 120 cm以下</td> <td>210</td> <td colspan="2">170</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 復旧層数は即日復旧を行う（路床～表層まで）の全層数とする。 2. 作業量はとりこわし～復旧までの作業量とする。</p> <p>(参考) 各作業単独の場合の作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業名</th> <th>舗装版厚さ</th> <th>掘削深さ 又は総施工量</th> <th>作業日当り 標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">直接掘削積込</td> <td rowspan="3">-</td> <td>40cm 以下</td> <td>606m²/日</td> </tr> <tr> <td>40cm を超え 80cm 以下</td> <td>368m²/日</td> </tr> <tr> <td>80cm を超え 120cm 以下</td> <td>258m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">とりこわし掘削積込</td> <td rowspan="3">15cm 以下</td> <td>40cm 以下</td> <td>379m²/日</td> </tr> <tr> <td>40cm を超え 80cm 以下</td> <td>311m²/日</td> </tr> <tr> <td>80cm を超え 120cm 以下</td> <td>263m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">15cm を超え 30cm 以下</td> <td>40cm 以下</td> <td>356m²/日</td> </tr> <tr> <td>40cm を超え 80cm 以下</td> <td>296m²/日</td> </tr> <tr> <td>80cm を超え 120cm 以下</td> <td>253m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">30cm を超え 40cm 以下</td> <td>40cm 以下</td> <td>318m²/日</td> </tr> <tr> <td>40cm を超え 80cm 以下</td> <td>270m²/日</td> </tr> <tr> <td>80cm を超え 120cm 以下</td> <td>233m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">不陸整正 (路床又は路盤の補足材料敷均し転圧)</td> <td>1,000m²未満</td> <td>1,724m²/日</td> </tr> <tr> <td>1,000m²以上</td> <td>2,000m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">路盤の敷均し転圧</td> <td>1,000m²未満</td> <td>1,724m²/日・層</td> </tr> <tr> <td>1,000m²以上</td> <td>2,000m²/日・層</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">舗装の敷均し転圧</td> <td>1,000m²未満</td> <td>1,351m²/日・層</td> </tr> <tr> <td>1,000m²以上</td> <td>2,000m²/日・層</td> </tr> </tbody> </table>				工種名	設定内容			道路打換え工	作業日当り標準作業量（総施工量 1,000m ² 以上）（m ² /日）			全体掘削厚	40 cm以下	40 cmを超え 80 cm以下	80 cmを超え 120 cm以下	復旧層数	2層	3層以上 5層以下	4層以上 6層以下	5, 6層	歩掛区分	コンクリート圧砕機 15 cm以下	220	180	150	コンクリート圧砕機・大型ブレード 15 cmを超え 30 cm以下	210	170	コンクリート圧砕機・大型ブレード 30 cmを超え 40 cm以下	200	復旧層数	2層	3層以上 4層以下	5層	歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cm以下	380	300	240	復旧層数	2層	3層以上 4層以下	5層以上 6層以下	歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cmを超え 80 cm以下	270	230	180	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 80 cmを超え 120 cm以下	210	170		作業名	舗装版厚さ	掘削深さ 又は総施工量	作業日当り 標準作業量	直接掘削積込	-	40cm 以下	606m ² /日	40cm を超え 80cm 以下	368m ² /日	80cm を超え 120cm 以下	258m ² /日	とりこわし掘削積込	15cm 以下	40cm 以下	379m ² /日	40cm を超え 80cm 以下	311m ² /日	80cm を超え 120cm 以下	263m ² /日	15cm を超え 30cm 以下	40cm 以下	356m ² /日	40cm を超え 80cm 以下	296m ² /日	80cm を超え 120cm 以下	253m ² /日	30cm を超え 40cm 以下	40cm 以下	318m ² /日	40cm を超え 80cm 以下	270m ² /日	80cm を超え 120cm 以下	233m ² /日	不陸整正 (路床又は路盤の補足材料敷均し転圧)	1,000m ² 未満	1,724m ² /日	1,000m ² 以上	2,000m ² /日	路盤の敷均し転圧	1,000m ² 未満	1,724m ² /日・層	1,000m ² 以上	2,000m ² /日・層	舗装の敷均し転圧	1,000m ² 未満	1,351m ² /日・層	1,000m ² 以上	2,000m ² /日・層	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工種名</th> <th colspan="3">設定内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">道路打換え工</td> <td colspan="3">作業日当り標準作業量（総施工量 1,000m²以上）（m²/日）</td> </tr> <tr> <td>全体掘削厚</td> <td>40 cm以下</td> <td>40 cmを超え 80 cm以下</td> <td>80 cmを超え 120 cm以下</td> </tr> <tr> <td>復旧層数</td> <td>2層</td> <td>3層以上 5層以下</td> <td>4層以上 6層以下</td> <td>5, 6層</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">歩掛区分</td> <td>コンクリート圧砕機 15 cm以下</td> <td>220</td> <td>180</td> <td rowspan="3">150</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機・大型ブレード 15 cmを超え 30 cm以下</td> <td>210</td> <td rowspan="2">170</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機・大型ブレード 30 cmを超え 40 cm以下</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>復旧層数</td> <td>2層</td> <td>3層以上 4層以下</td> <td>5層</td> </tr> <tr> <td>歩掛区分</td> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cm以下</td> <td>380</td> <td>300</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>復旧層数</td> <td>2層</td> <td>3層以上 4層以下</td> <td>5層以上 6層以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">歩掛区分</td> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cmを超え 80 cm以下</td> <td>270</td> <td>230</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 80 cmを超え 120 cm以下</td> <td>210</td> <td colspan="2">170</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 復旧層数は即日復旧を行う（路床～表層まで）の全層数とする。 2. 作業量はとりこわし～復旧までの作業量とする。</p> <p>(参考) 各作業単独の場合の作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業名</th> <th>舗装版厚さ</th> <th>掘削深さ 又は総施工量</th> <th>作業日当り 標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">直接掘削積込</td> <td rowspan="3">-</td> <td>40cm 以下</td> <td>606m²/日</td> </tr> <tr> <td>40cm を超え 80cm 以下</td> <td>368m²/日</td> </tr> <tr> <td>80cm を超え 120cm 以下</td> <td>258m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">とりこわし掘削積込</td> <td rowspan="3">15cm 以下</td> <td>40cm 以下</td> <td>379m²/日</td> </tr> <tr> <td>40cm を超え 80cm 以下</td> <td>311m²/日</td> </tr> <tr> <td>80cm を超え 120cm 以下</td> <td>263m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">15cm を超え 30cm 以下</td> <td>40cm 以下</td> <td>356m²/日</td> </tr> <tr> <td>40cm を超え 80cm 以下</td> <td>296m²/日</td> </tr> <tr> <td>80cm を超え 120cm 以下</td> <td>253m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">30cm を超え 40cm 以下</td> <td>40cm 以下</td> <td>318m²/日</td> </tr> <tr> <td>40cm を超え 80cm 以下</td> <td>270m²/日</td> </tr> <tr> <td>80cm を超え 120cm 以下</td> <td>233m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">不陸整正 (路床又は路盤の補足材料敷均し転圧)</td> <td>1,000m²未満</td> <td>1,724m²/日</td> </tr> <tr> <td>1,000m²以上</td> <td>2,000m²/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">路盤の敷均し転圧</td> <td>1,000m²未満</td> <td>1,724m²/日・層</td> </tr> <tr> <td>1,000m²以上</td> <td>2,000m²/日・層</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">舗装の敷均し転圧</td> <td>1,000m²未満</td> <td>1,351m²/日・層</td> </tr> <tr> <td>1,000m²以上</td> <td>2,000m²/日・層</td> </tr> </tbody> </table>				工種名	設定内容			道路打換え工	作業日当り標準作業量（総施工量 1,000m ² 以上）（m ² /日）			全体掘削厚	40 cm以下	40 cmを超え 80 cm以下	80 cmを超え 120 cm以下	復旧層数	2層	3層以上 5層以下	4層以上 6層以下	5, 6層	歩掛区分	コンクリート圧砕機 15 cm以下	220	180	150	コンクリート圧砕機・大型ブレード 15 cmを超え 30 cm以下	210	170	コンクリート圧砕機・大型ブレード 30 cmを超え 40 cm以下	200	復旧層数	2層	3層以上 4層以下	5層	歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cm以下	380	300	240	復旧層数	2層	3層以上 4層以下	5層以上 6層以下	歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cmを超え 80 cm以下	270	230	180	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 80 cmを超え 120 cm以下	210	170		作業名	舗装版厚さ	掘削深さ 又は総施工量	作業日当り 標準作業量	直接掘削積込	-	40cm 以下	606m ² /日	40cm を超え 80cm 以下	368m ² /日	80cm を超え 120cm 以下	258m ² /日	とりこわし掘削積込	15cm 以下	40cm 以下	379m ² /日	40cm を超え 80cm 以下	311m ² /日	80cm を超え 120cm 以下	263m ² /日	15cm を超え 30cm 以下	40cm 以下	356m ² /日	40cm を超え 80cm 以下	296m ² /日	80cm を超え 120cm 以下	253m ² /日	30cm を超え 40cm 以下	40cm 以下	318m ² /日	40cm を超え 80cm 以下	270m ² /日	80cm を超え 120cm 以下	233m ² /日	不陸整正 (路床又は路盤の補足材料敷均し転圧)	1,000m ² 未満	1,724m ² /日	1,000m ² 以上	2,000m ² /日	路盤の敷均し転圧	1,000m ² 未満	1,724m ² /日・層	1,000m ² 以上	2,000m ² /日・層	舗装の敷均し転圧	1,000m ² 未満	1,351m ² /日・層	1,000m ² 以上	2,000m ² /日・層	第1部 第1編 1-11-31	記載の修正
工種名	設定内容																																																																																																																																																																																																												
道路打換え工	作業日当り標準作業量（総施工量 1,000m ² 以上）（m ² /日）																																																																																																																																																																																																												
	全体掘削厚	40 cm以下	40 cmを超え 80 cm以下	80 cmを超え 120 cm以下																																																																																																																																																																																																									
	復旧層数	2層	3層以上 5層以下	4層以上 6層以下	5, 6層																																																																																																																																																																																																								
	歩掛区分	コンクリート圧砕機 15 cm以下	220	180	150																																																																																																																																																																																																								
		コンクリート圧砕機・大型ブレード 15 cmを超え 30 cm以下	210	170																																																																																																																																																																																																									
		コンクリート圧砕機・大型ブレード 30 cmを超え 40 cm以下	200																																																																																																																																																																																																										
	復旧層数	2層	3層以上 4層以下	5層																																																																																																																																																																																																									
	歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cm以下	380	300	240																																																																																																																																																																																																								
	復旧層数	2層	3層以上 4層以下	5層以上 6層以下																																																																																																																																																																																																									
	歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cmを超え 80 cm以下	270	230	180																																																																																																																																																																																																								
バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 80 cmを超え 120 cm以下		210	170																																																																																																																																																																																																										
作業名	舗装版厚さ	掘削深さ 又は総施工量	作業日当り 標準作業量																																																																																																																																																																																																										
直接掘削積込	-	40cm 以下	606m ² /日																																																																																																																																																																																																										
		40cm を超え 80cm 以下	368m ² /日																																																																																																																																																																																																										
		80cm を超え 120cm 以下	258m ² /日																																																																																																																																																																																																										
とりこわし掘削積込	15cm 以下	40cm 以下	379m ² /日																																																																																																																																																																																																										
		40cm を超え 80cm 以下	311m ² /日																																																																																																																																																																																																										
		80cm を超え 120cm 以下	263m ² /日																																																																																																																																																																																																										
	15cm を超え 30cm 以下	40cm 以下	356m ² /日																																																																																																																																																																																																										
		40cm を超え 80cm 以下	296m ² /日																																																																																																																																																																																																										
		80cm を超え 120cm 以下	253m ² /日																																																																																																																																																																																																										
	30cm を超え 40cm 以下	40cm 以下	318m ² /日																																																																																																																																																																																																										
		40cm を超え 80cm 以下	270m ² /日																																																																																																																																																																																																										
		80cm を超え 120cm 以下	233m ² /日																																																																																																																																																																																																										
不陸整正 (路床又は路盤の補足材料敷均し転圧)	1,000m ² 未満	1,724m ² /日																																																																																																																																																																																																											
	1,000m ² 以上	2,000m ² /日																																																																																																																																																																																																											
路盤の敷均し転圧	1,000m ² 未満	1,724m ² /日・層																																																																																																																																																																																																											
	1,000m ² 以上	2,000m ² /日・層																																																																																																																																																																																																											
舗装の敷均し転圧	1,000m ² 未満	1,351m ² /日・層																																																																																																																																																																																																											
	1,000m ² 以上	2,000m ² /日・層																																																																																																																																																																																																											
工種名	設定内容																																																																																																																																																																																																												
道路打換え工	作業日当り標準作業量（総施工量 1,000m ² 以上）（m ² /日）																																																																																																																																																																																																												
	全体掘削厚	40 cm以下	40 cmを超え 80 cm以下	80 cmを超え 120 cm以下																																																																																																																																																																																																									
	復旧層数	2層	3層以上 5層以下	4層以上 6層以下	5, 6層																																																																																																																																																																																																								
	歩掛区分	コンクリート圧砕機 15 cm以下	220	180	150																																																																																																																																																																																																								
		コンクリート圧砕機・大型ブレード 15 cmを超え 30 cm以下	210	170																																																																																																																																																																																																									
		コンクリート圧砕機・大型ブレード 30 cmを超え 40 cm以下	200																																																																																																																																																																																																										
	復旧層数	2層	3層以上 4層以下	5層																																																																																																																																																																																																									
	歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cm以下	380	300	240																																																																																																																																																																																																								
	復旧層数	2層	3層以上 4層以下	5層以上 6層以下																																																																																																																																																																																																									
	歩掛区分	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cmを超え 80 cm以下	270	230	180																																																																																																																																																																																																								
バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 80 cmを超え 120 cm以下		210	170																																																																																																																																																																																																										
作業名	舗装版厚さ	掘削深さ 又は総施工量	作業日当り 標準作業量																																																																																																																																																																																																										
直接掘削積込	-	40cm 以下	606m ² /日																																																																																																																																																																																																										
		40cm を超え 80cm 以下	368m ² /日																																																																																																																																																																																																										
		80cm を超え 120cm 以下	258m ² /日																																																																																																																																																																																																										
とりこわし掘削積込	15cm 以下	40cm 以下	379m ² /日																																																																																																																																																																																																										
		40cm を超え 80cm 以下	311m ² /日																																																																																																																																																																																																										
		80cm を超え 120cm 以下	263m ² /日																																																																																																																																																																																																										
	15cm を超え 30cm 以下	40cm 以下	356m ² /日																																																																																																																																																																																																										
		40cm を超え 80cm 以下	296m ² /日																																																																																																																																																																																																										
		80cm を超え 120cm 以下	253m ² /日																																																																																																																																																																																																										
	30cm を超え 40cm 以下	40cm 以下	318m ² /日																																																																																																																																																																																																										
		40cm を超え 80cm 以下	270m ² /日																																																																																																																																																																																																										
		80cm を超え 120cm 以下	233m ² /日																																																																																																																																																																																																										
不陸整正 (路床又は路盤の補足材料敷均し転圧)	1,000m ² 未満	1,724m ² /日																																																																																																																																																																																																											
	1,000m ² 以上	2,000m ² /日																																																																																																																																																																																																											
路盤の敷均し転圧	1,000m ² 未満	1,724m ² /日・層																																																																																																																																																																																																											
	1,000m ² 以上	2,000m ² /日・層																																																																																																																																																																																																											
舗装の敷均し転圧	1,000m ² 未満	1,351m ² /日・層																																																																																																																																																																																																											
	1,000m ² 以上	2,000m ² /日・層																																																																																																																																																																																																											

誤	正	該当項	備考
<p>②-1 土工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>施工パッケージによる土工に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 掘削</p> <p>(1) 土砂、岩塊・玉石、軟岩、硬岩の掘削</p> <p>(2) 掘削深さが5m以内のバックホウ掘削の場合</p> <p>(3) 陸上掘削でクラムシェルによる水中掘削積込を行う場合</p> <p>(4) 破砕片除去を伴う際は、掘削面と機械基面の高低差が5mまでの場合</p> <p>(5) 軟岩、硬岩の床掘りの場合（軟岩の場合、施工数量が5,000m³未満）</p> <p>1-1-2 土砂等運搬</p> <p>(1) 自工区内の土砂等の運搬</p> <p>(2) 土取場（仮置場）から採取する土砂等の運搬</p> <p>(3) 構造物築造のために行う作業土工で生じた残土の処分場又は他工区までの運搬</p> <p>(4) 掘削工で生じた残土の処分場又は他工区までの運搬</p> <p>1-1-3 整地</p> <p>(1) 構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地（仮置場）、土取場での整地</p> <p>1-1-4 路体（築堤）盛土</p> <p>(1) 自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路体（築堤）盛土</p> <p>(2) 他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路体（築堤）盛土</p> <p>(3) 土取場（仮置場）で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路体（築堤）盛土</p> <p>(4) 購入土を使用した路体（築堤）盛土</p> <p>1-1-5 路床盛土</p> <p>(1) 自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路床盛土</p> <p>(2) 他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土</p> <p>(3) 土取場（仮置場）で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土</p> <p>(4) 購入土を使用した路床盛土</p> <p>(5) 空港土木工事における遮断層、凍上抑制層</p> <p>1-1-6 押土（ルーズ）</p> <p>(1) 運搬距離60m以下の押土による土砂等の運搬作業の場合</p> <p>(2) 運搬距離30m以下の岩掘削後の集積用押土の場合</p> <p>1-1-7 積込（ルーズ）</p> <p>(1) 土取場（仮置場）から採取する場合の土砂等の積込み</p> <p>(2) 仮置きされた土砂等の積込み</p> <p>(3) 破砕片除去の場合</p> <p>1-1-8 人力積込</p> <p>(1) 仮置きされた土砂等の人力による積込み</p> <p>1-1-9 転石破砕</p> <p>(1) 道路、河川工事等の岩掘削に伴う転石破砕</p> <p>1-1-10 土材料</p> <p>(1) 道路土工、河川土工等における土材料（現場渡し単価又は土場渡し単価）を購入する場合</p> <p>(2) 空港土木工事における遮断層、凍上抑制層における材料（現場渡し単価又は工場渡し単価）を購入する場合</p> <p>1-1-11 残土等処分</p> <p>(1) 残土運搬された土砂等の残土の処分場での処分</p> <p>(2) 泥水運搬された汚泥、泥水等の受入れ地での処分</p>	<p>②-1 土工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>施工パッケージによる土工に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 掘削</p> <p>(1) 土砂、岩塊・玉石、軟岩、硬岩の掘削</p> <p>(2) 掘削深さが5m以内のバックホウ掘削の場合</p> <p>(3) 陸上掘削でクラムシェルによる水中掘削積込を行う場合</p> <p>(4) 破砕片除去を伴う際は、掘削面と機械基面の高低差が5mまでの場合</p> <p>(5) 軟岩、硬岩の床掘りの場合（軟岩の場合、施工数量が5,000m³未満）</p> <p>1-1-2 土砂等運搬</p> <p>(1) 自工区内の土砂等の運搬</p> <p>(2) 土取場（仮置場）から採取する土砂等の運搬</p> <p>(3) 構造物築造のために行う作業土工で生じた残土の処分場又は他工区までの運搬</p> <p>(4) 掘削工で生じた残土の処分場又は他工区までの運搬</p> <p>1-1-3 整地</p> <p>(1) 構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地（仮置場）、土取場での整地</p> <p>(2) 作業区分「残土受入れ地での処理」は施工場所が残土処理場の場合に適用する。</p> <p>1-1-4 路体（築堤）盛土</p> <p>(1) 自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路体（築堤）盛土</p> <p>(2) 他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路体（築堤）盛土</p> <p>(3) 土取場（仮置場）で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路体（築堤）盛土</p> <p>(4) 購入土を使用した路体（築堤）盛土</p> <p>1-1-5 路床盛土</p> <p>(1) 自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路床盛土</p> <p>(2) 他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土</p> <p>(3) 土取場（仮置場）で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土</p> <p>(4) 購入土を使用した路床盛土</p> <p>(5) 空港土木工事における遮断層、凍上抑制層</p> <p>1-1-6 押土（ルーズ）</p> <p>(1) 運搬距離60m以下の押土による土砂等の運搬作業の場合</p> <p>(2) 運搬距離30m以下の岩掘削後の集積用押土の場合</p> <p>1-1-7 積込（ルーズ）</p> <p>(1) 土取場（仮置場）から採取する場合の土砂等の積込み</p> <p>(2) 仮置きされた土砂等の積込み</p> <p>(3) 破砕片除去の場合</p> <p>1-1-8 人力積込</p> <p>(1) 仮置きされた土砂等の人力による積込み</p> <p>1-1-9 転石破砕</p> <p>(1) 道路、河川工事等の岩掘削に伴う転石破砕</p> <p>1-1-10 土材料</p> <p>(1) 道路土工、河川土工等における土材料（現場渡し単価又は土場渡し単価）を購入する場合</p> <p>(2) 空港土木工事における遮断層、凍上抑制層における材料（現場渡し単価又は工場渡し単価）を購入する場合</p> <p>1-1-11 残土等処分</p> <p>(1) 残土運搬された土砂等の残土の処分場での処分</p> <p>(2) 泥水運搬された汚泥、泥水等の受入れ地での処分</p>	<p>第1部 第2編 2-1-4</p>	<p>記載の修正</p>

誤

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。
表3. 3 掘削 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	施工方法																水中掘削	現場制約あり
		オープンカット				片切掘削				小規模				その他					
		普通土 30,000 m ³ 未満 又は 湿地 軟弱土	普通土 30,000 m ³ 以上	5,000 m ³ 未満	5,000 m ³ 以上 10,000 m ³ 未満	10,000 m ³ 以上 50,000 m ³ 以上	-	-	-	-	小規模 (標準)	小規模 (標準 以外)	-	-	-	-	-		
機械	K1	ブルドーザ【湿地・排出ガス対策型(第1次基準値)】20t級																○	
		ブルドーザ【普通・排出ガス対策型(第1次基準値)】32t級																○	
		バックホウ(クローラ型)【標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)】山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)																	
		バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)】山積 1.4m ³ (平積 1.0m ³)																	
機械	K2	バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)																	
		小型バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積 0.13m ³ (平積 0.10m ³)																	
		クラムシェル【油圧ロープ式・クローラ型】平積 0.8m ³																○	
労務	R1	運転手(特殊)																○	○
		普通作業員																○	
材料	Z1	軽油 1.2号 バトルール給油																○	○
市場単価	S																	-	-

項目	代表機材規格	施工方法																水中掘削	現場制約あり
		オープンカット				片切掘削				小規模				その他					
		5,000m ³ 未満	5,000m ³ 以上	5,000m ³ 未満	5,000m ³ 以上	-	-	-	-	有り 50,000m ³ 未満	有り 50,000m ³ 以上	有り 50,000m ³ 未満	有り 50,000m ³ 以上	無し	有り 50,000m ³ 未満	有り 50,000m ³ 以上	無し		
機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)																○	
		ブルドーザ【リッパ装置付・排出ガス対策型(第2次基準値)】32t級																	
		空気圧縮機【可搬式・エンジン駆動・スクウェア型】排出ガス対策型(第1次基準値)吐出量5.0m ³ /min 吐出圧力0.7MPa																	
		大型ブレーカ【油圧式】質量1,300kg級																○	
機械	K2	さく岩機【コンクリートブレーカ】20kg級																○	
		ブルドーザ【湿地・排出ガス対策型(第1次基準値)】20t級																○	
		バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)																	
		バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)】山積 1.4m ³ (平積 1.0m ³)																	
労務	R1	特殊作業員																○	○
		運転手(特殊)																○	○
		普通作業員																○	
材料	Z1	軽油 1.2号 バトルール給油																○	○
市場単価	S																	-	-

項目	代表機材規格	施工方法																水中掘削	現場制約あり
		オープンカット				片切掘削				小規模				その他					
		無し	有り 50,000m ³ 未満	有り 50,000m ³ 以上	-	無し	有り 50,000m ³ 未満	有り 50,000m ³ 以上	無し	有り 50,000m ³ 未満	有り 50,000m ³ 以上	無し	有り 50,000m ³ 未満	有り 50,000m ³ 以上	無し	有り 50,000m ³ 未満	有り 50,000m ³ 以上		
機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)】山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)																○	
		空気圧縮機【可搬式・エンジン駆動・スクウェア型】排出ガス対策型(第1次基準値)吐出量5.0m ³ /min 吐出圧力0.7MPa																	
		大型ブレーカ【油圧式】質量1,300kg級																○	
		ブルドーザ【リッパ装置付・排出ガス対策型(第1次基準値)】32t級																	
機械	K2	さく岩機【コンクリートブレーカ】20kg級																○	
		ブルドーザ【湿地・排出ガス対策型(第1次基準値)】20t級																○	
		バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)																	
		バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)】山積 1.4m ³ (平積 1.0m ³)																	
労務	R1	特殊作業員																○	○
		運転手(特殊)																○	○
		さく岩工																○	○
		普通作業員																○	
材料	Z1	軽油 1.2号 バトルール給油																○	○
市場単価	S																	-	-

正

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。
表3. 3 掘削 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	施工方法																水中掘削	現場制約あり
		オープンカット				片切掘削				小規模				その他					
		普通土 30,000 m ³ 未満 又は 湿地 軟弱土	普通土 30,000 m ³ 以上	5,000 m ³ 未満	5,000 m ³ 以上 10,000 m ³ 未満	10,000 m ³ 以上 50,000 m ³ 未満	-	-	-	-	小規模 (標準)	小規模 (標準 以外)	-	-	-	-	-		
機械	K1	ブルドーザ【湿地・排出ガス対策型(第3次基準値)】20t級																○	
		ブルドーザ【普通・排出ガス対策型(CO11年規制)】32t級																○	
		バックホウ(クローラ型)【標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)】山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)																	
		バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)】山積 1.4m ³ (平積 1.0m ³)																	
機械	K2	バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)																	
		小型バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積 0.13m ³ (平積 0.10m ³)																	
		クラムシェル【油圧ロープ式・クローラ型】平積 0.8m ³																○	
労務	R1	運転手(特殊)																○	○
		普通作業員																○	
材料	Z1	軽油 1.2号 バトルール給油																○	○
市場単価	S																	-	-

項目	代表機材規格	施工方法																水中掘削	現場制約あり
		オープンカット				片切掘削				小規模				その他					
		5,000m ³ 未満	5,000m ³ 以上	5,000m ³ 未満	5,000m ³ 以上	-	-	-	-	有り 50,000m ³ 未満	有り 50,000m ³ 以上	有り 50,000m ³ 未満	有り 50,000m ³ 以上	無し	有り 50,000m ³ 未満	有り 50,000m ³ 以上	無し		
機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)																○	
		ブルドーザ【リッパ装置付・排出ガス対策型(第2次基準値)】32t級																	
		空気圧縮機【可搬式・エンジン駆動・スクウェア型】排出ガス対策型(第1次基準値)吐出量5.0m ³ /min 吐出圧力0.7MPa																	
		大型ブレーカ【油圧式】質量1,300kg級																○	
機械	K2	さく岩機【コンクリートブレーカ】20kg級																○	
		ブルドーザ【湿地・排出ガス対策型(第3次基準値)】20t級																○	
		バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)																	
		バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)】山積 1.4m ³ (平積 1.0m ³)																	
労務	R1	特殊作業員																○	○
		運転手(特殊)																○	○
		普通作業員																○	
材料	Z1	軽油 1.2号 バトルール給油																○	○
市場単価	S																	-	-

項目	代表機材規格	施工方法																水中掘削	現場制約あり
		オープンカット				片切掘削				小規模				その他					
		無し	有り 50,000m ³ 未満	有り 50,000m ³ 以上	-	無し	有り 50,000m ³ 未満	有り 50,000m ³ 以上	無し	有り 50,000m ³ 未満	有り 50,000m ³ 以上	無し	有り 50,000m ³ 未満	有り 50,000m ³ 以上	無し	有り 50,000m ³ 未満	有り 50,000m ³ 以上		
機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)】山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)																○	
		空気圧縮機【可搬式・エンジン駆動・スクウェア型】排出ガス対策型(第1次基準値)吐出量5.0m ³ /min 吐出圧力0.7MPa																	
		大型ブレーカ【油圧式】質量1,300kg級																○	
		ブルドーザ【リッパ装置付・排出ガス対策型(第1次基準値)】32t級																	
機械	K2	さく岩機【コンクリートブレーカ】20kg級																○	
		ブルドーザ【湿地・排出ガス対策型(第3次基準値)】20t級																○	
		バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)																	
		バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)】山積 1.4m ³ (平積 1.0m ³)																	
労務	R1	特殊作業員																○	○
		運転手(特殊)																○	○
		さく岩工																○	○
		普通作業員																○	
材料	Z1	軽油 1.2号 バトルール給油																○	○
市場単価	S																	-	-

第1部
第2編
2-1-16

備考

記載の修正

誤	正	該当項	備考																			
<p>3-3 整地</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.20 整地 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" data-bbox="246 380 1169 600"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>敷均し作業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残土受入れ地での処理</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">敷均し(ルーズ)</td> <td>標準</td> </tr> <tr> <td>標準以外</td> </tr> <tr> <td>狭小幅員(幅2.5m以上4m未満) トラフィカビリティが確保できない場合</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地(仮置場)、土取場での整地、締固めを行わない場合の土の敷均し等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 作業区分で残土受入れ地での処理を選択した場合の土量は地山の土量とする。</p> <p>3. 作業区分で敷均し(ルーズ)を選択した場合の土量は敷均し後の土量とする。なお、敷均しのためのため、変化率C=1.0とする。</p> <p>4. 敷均し作業内容における標準以外とは、1工事当りの全体盛土量が10,000m³以上の場合である。</p> <p>5. 幅2.5m未満の狭隘箇所での作業は「第1章③-2埋戻工(現場制約あり)」による。</p>	作業区分	敷均し作業内容	残土受入れ地での処理	—	敷均し(ルーズ)	標準	標準以外	狭小幅員(幅2.5m以上4m未満) トラフィカビリティが確保できない場合	<p>3-3 整地</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.20 整地 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" data-bbox="1442 380 2377 600"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>施工数量</th> <th>障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残土受入れ地での処理</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">敷均し(ルーズ)</td> <td>標準 (10,000m³未満)</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>標準以外 (10,000m³以上)</td> <td>無し 有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地(仮置場)、土取場での整地、締固めを行わない場合の土の敷均し等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 作業区分で残土受入れ地での処理を選択した場合の土量は地山の土量とする。</p> <p>3. 作業区分で敷均し(ルーズ)を選択した場合の土量は敷均し後の土量とする。なお、敷均しのためのため、変化率C=1.0とする。</p> <p>4. 施工数量は、1工事当りの整地(敷均し(ルーズ))の土量とする。</p> <p>5. 障害の有無 ①無し：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合(例えば、バイパス工事など、工事をするうえでの障害が少ない工事) ②有り：作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合(例えば、現道上の工事、一車線程度の現道拡幅工事等の交通規制を伴う工事、現場が不連続、構造物等の障害)</p> <p>6. 幅2.5m未満の狭隘箇所での作業は「第1章③-2埋戻工(現場制約あり)」による。</p>	作業区分	施工数量	障害の有無	残土受入れ地での処理	—	—	敷均し(ルーズ)	標準 (10,000m ³ 未満)	無し 有り	標準以外 (10,000m ³ 以上)	無し 有り	<p>第1部 第2編 2-1-23</p>	<p>記載の修正</p> <p>記載の修正 記載の修正</p>
作業区分	敷均し作業内容																					
残土受入れ地での処理	—																					
敷均し(ルーズ)	標準																					
	標準以外																					
	狭小幅員(幅2.5m以上4m未満) トラフィカビリティが確保できない場合																					
作業区分	施工数量	障害の有無																				
残土受入れ地での処理	—	—																				
敷均し(ルーズ)	標準 (10,000m ³ 未満)	無し 有り																				
	標準以外 (10,000m ³ 以上)	無し 有り																				

誤				正				該当項	備考	
<p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 21 整地 代表機労材規格一覧</p>				<p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 21 整地 代表機労材規格一覧</p>				第1部 第2編 2-1-23		
作業区分	項目	代表機労材規格	備考	作業区分	項目	代表機労材規格	備考			
残土 受入れ地 での処理	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	賃料	残土 受入れ地 での処理	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	賃料	
		K2	-				K2	-		
		K3	-				K3	-		
	労務	R1	運転手(特殊)		残土 受入れ地 での処理	労務	R1	運転手(特殊)		
		R2	-				R2	-		
		R3	-				R3	-		
		R4	-				R4	-		
	材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		残土 受入れ地 での処理	材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		
		Z2	-				Z2	-		
		Z3	-				Z3	-		
		Z4	-				Z4	-		
	市場単価	S	-		市場単価	S	-			
	敷均し (ルーズ)	機械	K1	ブルドーザ[普通・排出ガス対策型(第1次基準値)]15t級	敷均し作業内容が標準の場合	敷均し (ルーズ)	機械	K1	バックホウ(クローラ型[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(2011年規制)]山積0.8m ³ (平積0.6m ³))	賃料
ブルドーザ[普通・排出ガス対策型(第1次基準値)]21t級				敷均し作業内容が標準以外の場合	K2				-	
ブルドーザ[普通・排出ガス対策型(第1次基準値)]3t級				敷均し作業内容が狭小幅員 (幅2.5m以上4m未満)の場合	K3				-	
ブルドーザ[湿地・排出ガス対策型(第1次基準値)]16t級				敷均し作業内容がトラフィカビリティが確保できない場合	R1				運転手(特殊)	
労務		R1	普通作業員		敷均し (ルーズ)	労務	R2			
		R2	運転手(特殊)				R3	-		
		R3	-				R4	-		
		R4	-				Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		
材料		Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		敷均し (ルーズ)	材料	Z2	-		
		Z2	-				Z3	-		
		Z3	-				Z4	-		
		Z4	-				市場単価	S	-	
市場単価		S	-		市場単価	S	-			

記載の修正

記載の修正

誤	正	該当項	備 考																																																																						
<p>3-6 押土 (ルーズ) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.26 押土(ルーズ) 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">土質</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">土砂</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">岩塊・玉石</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">破碎岩</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、ルーズな状態の土砂、岩塊・玉石、破碎岩の集積押土や押土による運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 2. 土量は地山土量とする。</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.27 押土 (ルーズ) 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20 t 級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	土質	土砂	岩塊・玉石	破碎岩	項目	代表機労材規格	備考	機械	K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20 t 級		K2 -		K3 -		労務	R1 運転手 (特殊)		R2 -		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油 1.2号 パトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>3-6 押土 (ルーズ) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.26 押土(ルーズ) 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">土質</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">土砂</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">岩塊・玉石</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">破碎岩</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、ルーズな状態の土砂、岩塊・玉石、破碎岩の集積押土や押土による運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 2. 土量は地山土量とする。</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.27 押土 (ルーズ) 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 20 t 級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	土質	土砂	岩塊・玉石	破碎岩	項目	代表機労材規格	備考	機械	K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 20 t 級		K2 -		K3 -		労務	R1 運転手 (特殊)		R2 -		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油 1.2号 パトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>第1部 第2編 2-1-28</p>	<p>記載の修正</p>
土質																																																																									
土砂																																																																									
岩塊・玉石																																																																									
破碎岩																																																																									
項目	代表機労材規格	備考																																																																							
機械	K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20 t 級																																																																								
	K2 -																																																																								
	K3 -																																																																								
労務	R1 運転手 (特殊)																																																																								
	R2 -																																																																								
	R3 -																																																																								
	R4 -																																																																								
材料	Z1 軽油 1.2号 パトロール給油																																																																								
	Z2 -																																																																								
	Z3 -																																																																								
	Z4 -																																																																								
市場単価	S -																																																																								
土質																																																																									
土砂																																																																									
岩塊・玉石																																																																									
破碎岩																																																																									
項目	代表機労材規格	備考																																																																							
機械	K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 20 t 級																																																																								
	K2 -																																																																								
	K3 -																																																																								
労務	R1 運転手 (特殊)																																																																								
	R2 -																																																																								
	R3 -																																																																								
	R4 -																																																																								
材料	Z1 軽油 1.2号 パトロール給油																																																																								
	Z2 -																																																																								
	Z3 -																																																																								
	Z4 -																																																																								
市場単価	S -																																																																								

誤	正	該当項	備考																																																																				
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 掘削（ICT）※ [ICT建機使用割合 100%]</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 掘削（ICT）※ [ICT建機使用割合 100%] 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" data-bbox="222 499 1190 1157"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>施工方法</th> <th>障害の有無</th> <th>施工数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">土砂</td> <td rowspan="6">オープンカット</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>5,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>5,000m³以上10,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>10,000m³以上50,000m³未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>50,000m³以上</td> </tr> <tr> <td>5,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>5,000m³以上10,000m³未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>10,000m³以上50,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>50,000m³以上</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">岩塊・玉石</td> <td rowspan="6">オープンカット</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>5,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>5,000m³以上10,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>10,000m³以上50,000m³未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>50,000m³以上</td> </tr> <tr> <td>5,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>5,000m³以上10,000m³未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>10,000m³以上50,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>50,000m³以上</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、土砂、岩塊・玉石の掘削積込（片切掘削は掘削のみ）の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>2. 上表は、同一の施工箇所において、3D-MG又はMCバックホウ（以下「ICT建機」という。）のみで施工する（ICT建機使用割合100%）場合である。 なお、施工数量は、1工事当りの全体掘削土量により判定し、「第2編第1章土工②-1 3-1 掘削（注）6. 施工数量、破砕片除去数量」によるものとする。また、該当する施工箇所におけるICT建機による施工の掘削土量をその箇所の掘削土量とし、これを合計したものを全体掘削土量とする。</p> <p>3. 土砂、岩塊・玉石の掘削積込、又は土砂の片切掘削について、同一の施工箇所においてICT建機と通常建機（ICT建機を使用しない通常機種のバックホウ）を組合せて施工する（ICT建機使用割合100%以外）場合は、該当する箇所における掘削土をICT建機使用割合に応じてICT建機による施工分と通常建機による施工分に分割し、ICT建機による施工分に上表を適用する。また、通常建機による施工分は、「第2編第1章土工②-1 3-1 掘削」により別途計上する。 なお、施工数量は、1工事当りの全体掘削土量により判定し、「第2編第1章土工②-1 3-1 掘削（注）6. 施工数量、破砕片除去数量」によるものとする。また、該当する施工箇所におけるICT建機による施工分と通常建機による施工分を合計した掘削土量をその箇所の掘削土量とし、これを合計したものを全体掘削土量とする。</p> <p>4. 土量は、地山土量とする。</p> <p>5. 施工方法は、掘削箇所の地形により「オープンカット」、「片切り」に区分する。区分については、「第2編第1章土工②-1 土工」の図3.1、図3.2、図3.3を参照のこと。</p>	土質	施工方法	障害の有無	施工数量	土砂	オープンカット	無し	5,000m ³ 未満	5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満	10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満	有り	50,000m ³ 以上	5,000m ³ 未満	5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満	有り	10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満	50,000m ³ 以上	—	—	岩塊・玉石	オープンカット	無し	5,000m ³ 未満	5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満	10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満	有り	50,000m ³ 以上	5,000m ³ 未満	5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満	有り	10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満	50,000m ³ 以上	—	—	<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 掘削（ICT）※ [ICT建機使用割合 100%]</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 掘削（ICT）※ [ICT建機使用割合 100%] 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" data-bbox="1427 499 2395 1157"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>施工方法</th> <th>障害の有無</th> <th>施工数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">土砂</td> <td rowspan="6">オープンカット</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>5,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>5,000m³以上10,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>10,000m³以上50,000m³未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>50,000m³以上</td> </tr> <tr> <td>5,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>5,000m³以上10,000m³未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>10,000m³以上50,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>50,000m³以上</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">岩塊・玉石</td> <td rowspan="6">オープンカット</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>5,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>5,000m³以上10,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>10,000m³以上50,000m³未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>50,000m³以上</td> </tr> <tr> <td>5,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>5,000m³以上10,000m³未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>10,000m³以上50,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>50,000m³以上</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、土砂、岩塊・玉石の掘削積込（片切掘削は掘削のみ）の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む、クレーン作業は含まない。</p> <p>2. 上表は、同一の施工箇所において、3D-MG又はMCバックホウ（以下「ICT建機」という。）のみで施工する（ICT建機使用割合100%）場合である。 なお、施工数量は、1工事当りの全体掘削土量により判定し、「第2編第1章土工②-1 3-1 掘削（注）6. 施工数量、破砕片除去数量」によるものとする。また、該当する施工箇所におけるICT建機による施工の掘削土量をその箇所の掘削土量とし、これを合計したものを全体掘削土量とする。</p> <p>3. 土砂、岩塊・玉石の掘削積込、又は土砂の片切掘削について、同一の施工箇所においてICT建機と通常建機（ICT建機を使用しない通常機種のバックホウ）を組合せて施工する（ICT建機使用割合100%以外）場合は、該当する箇所における掘削土をICT建機使用割合に応じてICT建機による施工分と通常建機による施工分に分割し、ICT建機による施工分に上表を適用する。また、通常建機による施工分は、「第2編第1章土工②-1 3-1 掘削」により別途計上する。 なお、施工数量は、1工事当りの全体掘削土量により判定し、「第2編第1章土工②-1 3-1 掘削（注）6. 施工数量、破砕片除去数量」によるものとする。また、該当する施工箇所におけるICT建機による施工分と通常建機による施工分を合計した掘削土量をその箇所の掘削土量とし、これを合計したものを全体掘削土量とする。</p> <p>4. 土量は、地山土量とする。</p> <p>5. 施工方法は、掘削箇所の地形により「オープンカット」、「片切り」に区分する。区分については、「第2編第1章土工②-1 土工」の図3.1、図3.2、図3.3を参照のこと。</p>	土質	施工方法	障害の有無	施工数量	土砂	オープンカット	無し	5,000m ³ 未満	5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満	10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満	有り	50,000m ³ 以上	5,000m ³ 未満	5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満	有り	10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満	50,000m ³ 以上	—	—	岩塊・玉石	オープンカット	無し	5,000m ³ 未満	5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満	10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満	有り	50,000m ³ 以上	5,000m ³ 未満	5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満	有り	10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満	50,000m ³ 以上	—	—	<p>第1部 第2編 2-1-34</p>	<p>記載の修正</p>
土質	施工方法	障害の有無	施工数量																																																																				
土砂	オープンカット	無し	5,000m ³ 未満																																																																				
			5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満																																																																				
			10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満																																																																				
		有り	50,000m ³ 以上																																																																				
			5,000m ³ 未満																																																																				
			5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満																																																																				
有り	10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満																																																																						
	50,000m ³ 以上																																																																						
	—	—																																																																					
岩塊・玉石	オープンカット	無し	5,000m ³ 未満																																																																				
			5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満																																																																				
			10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満																																																																				
		有り	50,000m ³ 以上																																																																				
			5,000m ³ 未満																																																																				
			5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満																																																																				
有り	10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満																																																																						
	50,000m ³ 以上																																																																						
	—	—																																																																					
土質	施工方法	障害の有無	施工数量																																																																				
土砂	オープンカット	無し	5,000m ³ 未満																																																																				
			5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満																																																																				
			10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満																																																																				
		有り	50,000m ³ 以上																																																																				
			5,000m ³ 未満																																																																				
			5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満																																																																				
有り	10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満																																																																						
	50,000m ³ 以上																																																																						
	—	—																																																																					
岩塊・玉石	オープンカット	無し	5,000m ³ 未満																																																																				
			5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満																																																																				
			10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満																																																																				
		有り	50,000m ³ 以上																																																																				
			5,000m ³ 未満																																																																				
			5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満																																																																				
有り	10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満																																																																						
	50,000m ³ 以上																																																																						
	—	—																																																																					

誤	正	該当項	備考																																																																																								
<p>6. 障害の有無</p> <p>①無し：構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されず、連続掘削作業が出来る場合</p> <p>②有り：掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり（例えば作業障害が多い場合）連続掘削作業が出来ない場合。掘削深さ 5m以内で掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削（溝掘り、基礎掘削）を行う場合</p> <p>7. ICT建機使用割合は、上記（注）2. 又は3. の1工事当りの全体掘削土量に対する1工事当りのICT建機による掘削土量の割合である。</p> <p>（2）代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3. 2 掘削（ICT）※ [ICT建機使用割合 100%] 代表機材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="160 680 1255 1793"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ（クローラ型）[標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）] 山積 0.8m³（平積 0.6m³）吊能力 2.9t ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m³未満の場合 ・「片切掘削」の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 1.4m³（平積 1.0m³） 「オープンカット」で施工数量 50,000m³以上の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">K 2</td> <td>ICT建設機械経費加算額（バックホウ（ICT施工対応型）） ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m³未満の場合 ・「片切掘削」の場合</td> </tr> <tr> <td>ICT建設機械経費加算額（バックホウ） ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m³以上の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td>片切掘削の場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）1. ICT建設機械経費加算額（バックホウ（ICT施工対応型））は、地上の基準局・管理局の賃貸費用である。</p> <p>2. ICT建設機械経費損料加算額（バックホウ）は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用である。</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）] 山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ）吊能力 2.9t ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m ³ 未満の場合 ・「片切掘削」の場合		バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 1.4m ³ （平積 1.0m ³ ） 「オープンカット」で施工数量 50,000m ³ 以上の場合	K 2	ICT建設機械経費加算額（バックホウ（ICT施工対応型）） ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m ³ 未満の場合 ・「片切掘削」の場合	ICT建設機械経費加算額（バックホウ） ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m ³ 以上の場合	K 3	—		労務	R 1	運転手（特殊）		R 2	普通作業員	片切掘削の場合	R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 パトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>6. 障害の有無</p> <p>①無し：構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されず、連続掘削作業が出来る場合</p> <p>②有り：掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり（例えば作業障害が多い場合）連続掘削作業が出来ない場合。掘削深さ 5m以内で掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削（溝掘り、基礎掘削）を行う場合</p> <p>7. ICT建機使用割合は、上記（注）2. 又は3. の1工事当りの全体掘削土量に対する1工事当りのICT建機による掘削土量の割合である。</p> <p>（2）代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3. 2 掘削（ICT）※ [ICT建機使用割合 100%] 代表機材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="1365 680 2460 1793"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ（クローラ型）[標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）] 山積 0.8m³（平積 0.6m³）吊能力 2.9t ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m³未満の場合 ・「片切掘削」の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（2014年規制）] 山積 1.4m³（平積 1.0m³） 「オープンカット」で施工数量 50,000m³以上の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">K 2</td> <td>ICT建設機械経費加算額（バックホウ（ICT施工対応型）） ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m³未満の場合 ・「片切掘削」の場合</td> </tr> <tr> <td>ICT建設機械経費加算額（バックホウ） ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m³以上の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td>片切掘削の場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）1. ICT建設機械経費加算額（バックホウ（ICT施工対応型））は、地上の基準局・管理局の賃貸費用である。</p> <p>2. ICT建設機械経費損料加算額（バックホウ）は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用である。</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）] 山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ）吊能力 2.9t ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m ³ 未満の場合 ・「片切掘削」の場合		バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（2014年規制）] 山積 1.4m ³ （平積 1.0m ³ ） 「オープンカット」で施工数量 50,000m ³ 以上の場合	K 2	ICT建設機械経費加算額（バックホウ（ICT施工対応型）） ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m ³ 未満の場合 ・「片切掘削」の場合	ICT建設機械経費加算額（バックホウ） ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m ³ 以上の場合	K 3	—		労務	R 1	運転手（特殊）		R 2	普通作業員	片切掘削の場合	R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 パトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>第1部 第2編 2-1-35</p>	<p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																																									
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）] 山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ）吊能力 2.9t ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m ³ 未満の場合 ・「片切掘削」の場合																																																																																									
		バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 1.4m ³ （平積 1.0m ³ ） 「オープンカット」で施工数量 50,000m ³ 以上の場合																																																																																									
	K 2	ICT建設機械経費加算額（バックホウ（ICT施工対応型）） ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m ³ 未満の場合 ・「片切掘削」の場合																																																																																									
		ICT建設機械経費加算額（バックホウ） ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m ³ 以上の場合																																																																																									
K 3	—																																																																																										
労務	R 1	運転手（特殊）																																																																																									
	R 2	普通作業員	片切掘削の場合																																																																																								
	R 3	—																																																																																									
	R 4	—																																																																																									
材料	Z 1	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																									
	Z 2	—																																																																																									
	Z 3	—																																																																																									
	Z 4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
項目	代表機材規格	備考																																																																																									
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）] 山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ）吊能力 2.9t ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m ³ 未満の場合 ・「片切掘削」の場合																																																																																									
		バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（2014年規制）] 山積 1.4m ³ （平積 1.0m ³ ） 「オープンカット」で施工数量 50,000m ³ 以上の場合																																																																																									
	K 2	ICT建設機械経費加算額（バックホウ（ICT施工対応型）） ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m ³ 未満の場合 ・「片切掘削」の場合																																																																																									
		ICT建設機械経費加算額（バックホウ） ・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m ³ 以上の場合																																																																																									
K 3	—																																																																																										
労務	R 1	運転手（特殊）																																																																																									
	R 2	普通作業員	片切掘削の場合																																																																																								
	R 3	—																																																																																									
	R 4	—																																																																																									
材料	Z 1	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																									
	Z 2	—																																																																																									
	Z 3	—																																																																																									
	Z 4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									

誤	正	該当項	備考
<p>4. ICT建設機械経費加算額</p> <p>4-1 ICT建設機械経費賃料加算額 地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。</p> <p>(1) ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型）） 13,000 円/日</p> <p>(2) ICT建設機械経費賃料加算額（ブルドーザ（ICT施工対応型）） 13,000 円/日</p> <p>4-2 ICT建設機械経費損料加算額 建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。</p> <p>(1) ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ） 41,000 円/日</p> <p>5. その他ICT建設機械経費等 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。</p> <p>5-1 保守点検 ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。</p> <p>(1) 掘削（ICT）※ [ICT建機使用割合 100%]</p> $\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役(円)} \times 0.05(\text{人/日}) \times \frac{\text{施工数量(m3)}}{\text{作業日当り標準作業量(m3/日)}} \times \frac{100}{100}$ <p>(注) 施工数量はICT建機により施工する掘削土量とする。作業日当り標準作業量は「第11章 作業日当り標準作業量」の標準作業量による。</p> <p>(2) 路体（築堤）盛土（ICT），路床盛土（ICT）</p> $\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役(円)} \times 0.07(\text{人/日}) \times \frac{\text{施工数量(m3)}}{\text{作業日当り標準作業量(m3/日)}}$ <p>(注) 作業日当り標準作業量は「第11章 作業日当り標準作業量」のICT標準作業量による。</p> <p>5-2 システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。</p> <p>(1) 掘削（ICT）※ [ICT建機使用割合 100%] 対象機械：バックホウ 598,000 円/式</p>	<p>4. ICT建設機械経費加算額</p> <p>4-1 ICT建設機械経費賃料加算額 地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。</p> <p>(3) ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型）） 13,000 円/日</p> <p>(4) ICT建設機械経費賃料加算額（ブルドーザ（ICT施工対応型）） 13,000 円/日</p> <p>4-2 ICT建設機械経費損料加算額 建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。</p> <p>(2) ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ） 41,000 円/日</p> <p>5. その他ICT建設機械経費等 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。</p> <p>5-1 保守点検 ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。</p> <p>(1) 掘削（ICT）※ [ICT建機使用割合 100%]</p> $\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役(円)} \times 0.05(\text{人/日}) \times \frac{\text{施工数量(m3)}}{\text{作業日当り標準作業量(m3/日)}} \times \frac{100}{100}$ <p>(注) 施工数量はICT建機により施工する掘削土量とする。作業日当り標準作業量は「第11章 作業日当り標準作業量」の標準作業量による。</p> <p>(2) 路体（築堤）盛土（ICT），路床盛土（ICT）</p> $\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役(円)} \times 0.07(\text{人/日}) \times \frac{\text{施工数量(m3)}}{\text{作業日当り標準作業量(m3/日)}}$ <p>(注) 作業日当り標準作業量は「第11章 作業日当り標準作業量」のICT標準作業量による。</p> <p>(3) 床掘工（ICT）</p> $\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役(円)} \times 0.05(\text{人/日}) \times \frac{\text{施工数量(m3)}}{\text{作業日当り標準作業量(m3/日)}} \times \frac{100}{100}$ <p>(注) 施工数量はICT建機により施工する掘削土量とする。作業日当り標準作業量は「第11章 作業日当り標準作業量」の標準作業量による。</p> <p>5-2 システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。</p> <p>(1) 掘削（ICT）※ [ICT建機使用割合 100%] 対象機械：バックホウ 598,000 円/式</p>	<p>第1部 第2編 2-1-40</p>	<p>記載の追加</p>

誤	正	該当項	備考
<p>(2) 路体(築堤)盛土(ICT), 路床盛土(ICT) 対象機械:ブルドーザ 548,000円/式</p> <p>5-3 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。</p>	<p>(2) 路体(築堤)盛土(ICT), 路床盛土(ICT) 対象機械:ブルドーザ 548,000円/式</p> <p>(3) 掘削(床掘)(ICT) 対象機械:バックホウ 598,000円/式</p> <p>5-3 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。</p>	<p>第1部 第2編 2-1-40</p>	<p>前項より移動 記載の追加</p>

誤	正	該当項	備考														
	<p>③-2 床掘工 (ICT)</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、ICT施工において、3次元マシンガイダンス (バックホウ) 技術及び3次元マシンコントロール (ックホウ) 技術を使用して、構造物の築造又は撤去を目的とした、平均施工幅2m以上の土砂の掘削等である床掘りに適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 床掘り (ICT)</p> <p>(1) 3D-MG又はMCバックホウによる作業土工 (床掘り) (ICT) のうち、土砂におけるバックホウ掘りの場合</p> <p>(2) 3D-MG又はMCバックホウによる作業土工 (床掘り) (ICT) における、床付面の基面整正の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 床掘り (ICT)</p> <p>(1) 3D-MG又はMCバックホウ以外による作業土工 (床掘り)</p> <p>2. 施工概要</p> <p>2-1 施工フロー</p> <div data-bbox="1576 852 2184 1058" data-label="Diagram"> <pre> graph LR A[機械搬入] --> B[床掘作業] B --> C[埋戻し作業] C --> D[土砂等運搬] style B stroke:#f00,stroke-width:2px </pre> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 埋戻しは「第Ⅱ編第1章③-2埋戻工」による。</p> <p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 床掘り</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 床掘り (ICT) 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" data-bbox="1605 1423 2220 1749"> <thead> <tr> <th>土留方式の種類</th> <th>障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">無し</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">自立式</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">グラントアンカー式</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">切梁腹起式</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table>	土留方式の種類	障害の有無	無し	無し	有り	自立式	無し	有り	グラントアンカー式	無し	有り	切梁腹起式	無し	有り	<p>第1部 第2編</p>	<p>記載の追加</p>
土留方式の種類	障害の有無																
無し	無し																
	有り																
自立式	無し																
	有り																
グラントアンカー式	無し																
	有り																
切梁腹起式	無し																
	有り																

誤	正	該当項	備考																																												
	<p>(注) 1. 上表は、構造物の築造又は撤去を目的とした土砂の掘削等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料を含む）を含み、クレーン作業は含まない。</p> <p>2. 基面整正を行う場合は、「第1章土工③-1床掘工」により別途計上する。</p> <p>3. 障害の有無 有り：①床掘作業において、障害物等により施工条件に制限がある場合（たとえば作業障害が多い場合） ②土留・仮締切工の中に切梁・腹起し又は基礎杭等の障害がある場合 無し：①構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されないオープン掘削の場合 ②構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない矢板のみの土留・仮締め切り工法掘削の場合 ③土留・仮締切工の中に切梁・腹起し又は基礎杭等の障害がない場合</p> <p>4. 掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業を行う場合は、障害の有無で「有り」を適用する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.2 床掘り（ICT）代表機材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="1374 898 2451 1398"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積0.8m³（平積0.6m³） 吊能力2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型））</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型））は、地上の基準局・管理局の賃貸費用である。</p> <p>3-2 基面整正</p> <p>「第1章土工③-1床掘工」により別途計上する。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ） 吊能力2.9t	賃料	K2	ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型））	賃料	K3	—		労務	R1	運転手（特殊）		R2	普通作業員		R3	—		R4	—		材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>第1部 第2編</p>	<p>記載の追加</p>
項目	代表機材規格		備考																																												
機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ） 吊能力2.9t	賃料																																												
	K2	ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型））	賃料																																												
	K3	—																																													
労務	R1	運転手（特殊）																																													
	R2	普通作業員																																													
	R3	—																																													
	R4	—																																													
材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油																																													
	Z2	—																																													
	Z3	—																																													
	Z4	—																																													
市場単価	S	—																																													

誤	正	該当項	備考																																																
<p>3. 施工パッケージ 3-1 安定処理 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3. 1 安定処理 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" data-bbox="186 447 1231 779"> <thead> <tr> <th>使用機種</th> <th>施工箇所</th> <th>混合深さ</th> <th>固化材 100m²当り 使用量</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">スタビライザ</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="2">0.6m以下</td> <td rowspan="4">(実数入力)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>2回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">0.6mを超え1m以下</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>2回</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">バックホウ</td> <td>路床</td> <td>1m以下</td> <td rowspan="3">(実数入力)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">構造物基礎</td> <td>1m以下</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>1mを超え2m以下</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、地盤表層部もしくは路床、構造物基礎の改良材散布混合、敷均し・締固め、養生中の飛散防止(シート掛け)、現場内小運搬(スタビライザは100m程度の仮置場～現場、バックホウは50m程度の現場内小運搬)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. スタビライザ施工の混合回数は、消石灰・セメント系は1回、生石灰は2回を標準とする。 ただし、土質状態により、これにより難しい場合は、別途考慮する。 3. 条件区分の「固化材 100m²当り使用量」は、実数量(材料ロスを含んだ数量)とする。</p>	使用機種	施工箇所	混合深さ	固化材 100m ² 当り 使用量		スタビライザ	-	0.6m以下	(実数入力)	1回	2回	0.6mを超え1m以下	1回	2回	バックホウ	路床	1m以下	(実数入力)	-	構造物基礎	1m以下	-	1mを超え2m以下	-	<p>3. 施工パッケージ 3-1 安定処理 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3. 1 安定処理 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" data-bbox="1389 447 2433 779"> <thead> <tr> <th>使用機種</th> <th>施工箇所</th> <th>混合深さ</th> <th>固化材 100m²当り 使用量</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">スタビライザ</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="2">0.6m以下</td> <td rowspan="4">(実数入力)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>2回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">0.6mを超え1m以下</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>2回</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">バックホウ</td> <td>路床</td> <td>1m以下</td> <td rowspan="3">(実数入力)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">構造物基礎</td> <td>1m以下</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>1mを超え2m以下</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、地盤表層部もしくは路床、構造物基礎の改良材散布混合、敷均し・締固め、養生中の飛散防止(シート掛け)、現場内小運搬(スタビライザは100m程度の仮置場～現場、バックホウの現場内小運搬(固化材の荷卸を含む))等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. スタビライザ施工の混合回数は、消石灰・セメント系は1回、生石灰は2回を標準とする。 ただし、土質状態により、これにより難しい場合は、別途考慮する。 3. 条件区分の「固化材 100m²当り使用量」は、実数量(材料ロスを含んだ数量)とする。</p>	使用機種	施工箇所	混合深さ	固化材 100m ² 当り 使用量		スタビライザ	-	0.6m以下	(実数入力)	1回	2回	0.6mを超え1m以下	1回	2回	バックホウ	路床	1m以下	(実数入力)	-	構造物基礎	1m以下	-	1mを超え2m以下	-	<p>第1部 第2編 2-1-57</p>	<p style="color: red;">記載の修正</p>
使用機種	施工箇所	混合深さ	固化材 100m ² 当り 使用量																																																
スタビライザ	-	0.6m以下	(実数入力)	1回																																															
				2回																																															
		0.6mを超え1m以下		1回																																															
				2回																																															
バックホウ	路床	1m以下	(実数入力)	-																																															
	構造物基礎	1m以下		-																																															
		1mを超え2m以下		-																																															
使用機種	施工箇所	混合深さ	固化材 100m ² 当り 使用量																																																
スタビライザ	-	0.6m以下	(実数入力)	1回																																															
				2回																																															
		0.6mを超え1m以下		1回																																															
				2回																																															
バックホウ	路床	1m以下	(実数入力)	-																																															
	構造物基礎	1m以下		-																																															
		1mを超え2m以下		-																																															

誤					正					該当項	備考			
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。					(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。					第1部 第2編 2-1-58				
表3.2 安定処理 代表機材規格一覧					表3.2 安定処理 代表機材規格一覧									
使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格		備考	使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格		備考			
スタビライザ	-	機械	K1	スタビライザ [路床改良用 ・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ0.6m×幅2.0m	混合深さ0.6m以下 の場合	スタビライザ	-	K1	スタビライザ [路床改良用 ・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ0.6m×幅2.0m	混合深さ0.6m以下 の場合	K1	スタビライザ [路床改良用 ・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ1.2m×幅2.0m	混合深さ0.6mを超え 1m以下の場合	
				スタビライザ [路床改良用 ・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ1.2m×幅2.0m	混合深さ0.6mを超え 1m以下の場合				スタビライザ [路床改良用 ・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ1.2m×幅2.0m	混合深さ0.6mを超え 1m以下の場合				
			K2	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 吊能力2.9t	賃料			K2	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 吊能力2.9t	賃料	K2	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 吊能力2.9t	賃料	
		K3	ブルドーザ湿地 [低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 7t級	賃料	K3	ブルドーザ湿地 [低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 7t級	賃料	K3	ブルドーザ湿地 [低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 7t級	賃料				
		労務	R1	運転手 (特殊)			R1	運転手 (特殊)				R1	運転手 (特殊)	
			R2	普通作業員			R2	普通作業員				R2	普通作業員	
			R3	土木一般世話役			R3	土木一般世話役				R3	土木一般世話役	
			R4	-			R4	-				R4	-	
		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tパック			Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tパック				Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tパック	
			Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			Z2	軽油 1.2号 パトロール給油				Z2	軽油 1.2号 パトロール給油	
			Z3	-			Z3	-				Z3	-	
			Z4	-			Z4	-				Z4	-	
		市場単価	S	-			市場単価	S	-			市場単価	S	-
		バックホウ	路床	機械	K1	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 吊能力2.9t	賃料	バックホウ	路床	K1	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 吊能力2.9t	賃料	K1	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 吊能力2.9t
タイヤローラ [普通型・低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量8~20t	賃料					K2	タイヤローラ [普通型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量8~20t				賃料			
K3						K3	振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量3~4t			賃料				
労務	R1			運転手 (特殊)			R1	運転手 (特殊)				R1	運転手 (特殊)	
	R2			普通作業員			R2	普通作業員				R2	普通作業員	
	R3			土木一般世話役			R3	土木一般世話役				R3	土木一般世話役	
	R4			-			R4	-				R4	-	
材料	Z1		セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tパック			Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tパック				Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tパック		
	Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			Z2	軽油 1.2号 パトロール給油				Z2	軽油 1.2号 パトロール給油		
	Z3		-			Z3	-				Z3	-		
	Z4		-			Z4	-				Z4	-		
市場単価	S		-			市場単価	S	-			市場単価	S	-	
バックホウ	構造物基礎		機械	K1	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料	バックホウ	構造物基礎	K1	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料	K1	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料
					K2	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式・超低騒音型] 運転質量0.8~1.1t				賃料	K2		振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式・超低騒音型] 運転質量0.8~1.1t	賃料
		K3		-		K3			-					
		労務	R1	土木一般世話役			R1	土木一般世話役				R1	土木一般世話役	
			R2	運転手 (特殊)			R2	運転手 (特殊)				R2	運転手 (特殊)	
			R3	特殊作業員			R3	特殊作業員				R3	特殊作業員	
			R4	普通作業員			R4	普通作業員				R4	普通作業員	
	材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tパック			Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tパック				Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tパック		
		Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			Z2	軽油 1.2号 パトロール給油				Z2	軽油 1.2号 パトロール給油		
		Z3	-			Z3	-				Z3	-		
		Z4	-			Z4	-				Z4	-		
	市場単価	S	-			市場単価	S	-			市場単価	S	-	

記載の修正
 記載の修正
 記載の修正

誤	正	該当項	備考																																																																																																																
<p>4. 施工パッケージ</p> <p>4-1 法面整形 (ICT)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4. 1 法面整形 (ICT) 積算条件区分一覧 (積算単位：m2)</p> <table border="1" data-bbox="219 499 1199 737"> <thead> <tr> <th>整形箇所</th> <th>法面締固めの有無</th> <th>土質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">盛土部</td> <td>有り</td> <td>レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">切土部</td> <td rowspan="2">—</td> <td>レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土</td> </tr> <tr> <td>軟岩 I</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、切土法面の表層部を削取りながらの法面整形又は盛土法面の表層部を削取りながらの法面整形及び築立てながらの法面 (土羽) 整形、土羽土の現場内小運搬 (20m 程度) の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。</p> <p>2. 残土の積込み、工区外の運搬、並びに法面保護工は含まない。</p> <p>3. 土羽土の搬入等は含まない。</p> <p>(2) 代表機労材規格</p> <p>下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表4. 2 法面整形 (ICT) 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="219 1228 1199 1881"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・ クレーン機能付き・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m³(平積0.6m³) 吊能力2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>ICT建設機械経費賃料加算額 (バックホウ(ICT施工対応型))</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ICT建設機械経費賃料加算額 (バックホウ (ICT施工対応型)) は、地上の基準局・管理局の賃貸費用である。</p>	整形箇所	法面締固めの有無	土質	盛土部	有り	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土	無し	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土	切土部	—	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土	軟岩 I	項目	代表機労材規格		備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・ クレーン機能付き・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料	K2	ICT建設機械経費賃料加算額 (バックホウ(ICT施工対応型))	賃料	K3	—		労務	R1	運転手(特殊)		R2	土木一般世話役		R3	普通作業員		R4	—		材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>4. 施工パッケージ</p> <p>4-1 法面整形 (ICT)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4. 1 法面整形 (ICT) 積算条件区分一覧 (積算単位：m2)</p> <table border="1" data-bbox="1421 499 2401 737"> <thead> <tr> <th>整形箇所</th> <th>法面締固めの有無</th> <th>土質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">盛土部</td> <td>有り</td> <td>レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">切土部</td> <td rowspan="2">—</td> <td>レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土</td> </tr> <tr> <td>軟岩 I</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、切土法面の表層部を削取りながらの法面整形又は盛土法面の表層部を削取りながらの法面整形及び築立てながらの法面 (土羽) 整形、土羽土の現場内小運搬 (20m 程度) の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む、クレーン作業は含まない。</p> <p>2. 残土の積込み、工区外の運搬、並びに法面保護工は含まない。</p> <p>3. 土羽土の搬入等は含まない。</p> <p>(2) 代表機労材規格</p> <p>下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表4. 2 法面整形 (ICT) 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="1421 1228 2401 1881"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・ クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積0.8m³(平積0.6m³) 吊能力2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>ICT建設機械経費賃料加算額 (バックホウ(ICT施工対応型))</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ICT建設機械経費賃料加算額 (バックホウ (ICT施工対応型)) は、地上の基準局・管理局の賃貸費用である。</p>	整形箇所	法面締固めの有無	土質	盛土部	有り	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土	無し	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土	切土部	—	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土	軟岩 I	項目	代表機労材規格		備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・ クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料	K2	ICT建設機械経費賃料加算額 (バックホウ(ICT施工対応型))	賃料	K3	—		労務	R1	運転手(特殊)		R2	土木一般世話役		R3	普通作業員		R4	—		材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>第1部 第2編 2-2-8</p>	<p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p>
整形箇所	法面締固めの有無	土質																																																																																																																	
盛土部	有り	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土																																																																																																																	
	無し	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土																																																																																																																	
切土部	—	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土																																																																																																																	
		軟岩 I																																																																																																																	
項目	代表機労材規格		備考																																																																																																																
機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・ クレーン機能付き・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料																																																																																																																
	K2	ICT建設機械経費賃料加算額 (バックホウ(ICT施工対応型))	賃料																																																																																																																
	K3	—																																																																																																																	
労務	R1	運転手(特殊)																																																																																																																	
	R2	土木一般世話役																																																																																																																	
	R3	普通作業員																																																																																																																	
	R4	—																																																																																																																	
材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																																																	
	Z2	—																																																																																																																	
	Z3	—																																																																																																																	
	Z4	—																																																																																																																	
市場単価	S	—																																																																																																																	
整形箇所	法面締固めの有無	土質																																																																																																																	
盛土部	有り	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土																																																																																																																	
	無し	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土																																																																																																																	
切土部	—	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土																																																																																																																	
		軟岩 I																																																																																																																	
項目	代表機労材規格		備考																																																																																																																
機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・ クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料																																																																																																																
	K2	ICT建設機械経費賃料加算額 (バックホウ(ICT施工対応型))	賃料																																																																																																																
	K3	—																																																																																																																	
労務	R1	運転手(特殊)																																																																																																																	
	R2	土木一般世話役																																																																																																																	
	R3	普通作業員																																																																																																																	
	R4	—																																																																																																																	
材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																																																	
	Z2	—																																																																																																																	
	Z3	—																																																																																																																	
	Z4	—																																																																																																																	
市場単価	S	—																																																																																																																	

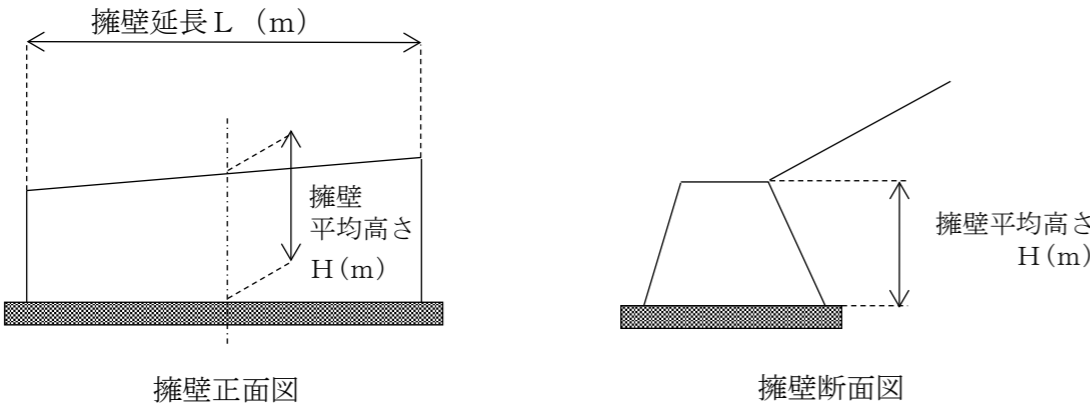
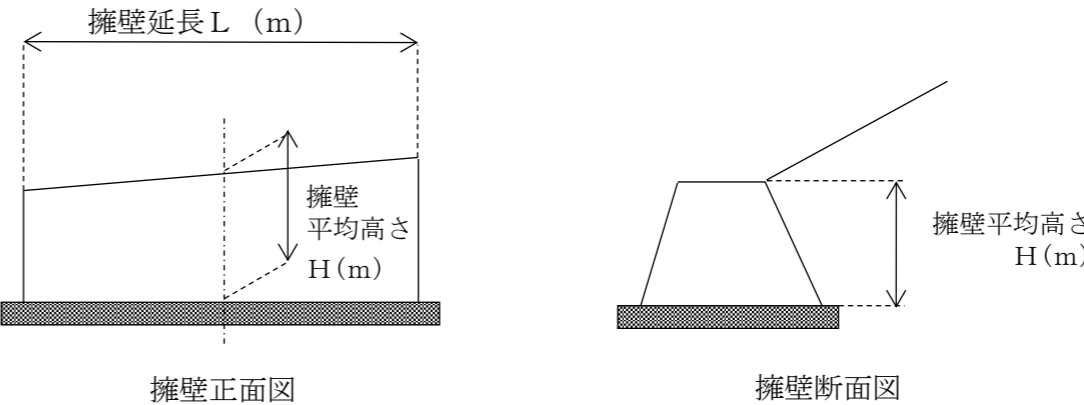
誤	正	該当項	備考																																																																																																																		
<p>3. 施工パッケージ 3-1 コンクリートブロック積 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.1 コンクリートブロック積 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th style="text-align: center;">鉄筋規格</th> <th style="text-align: center;">鉄筋 10m² 当り使用量</th> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(表3.2)</td> <td style="text-align: center;">0.1t 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.1t を超え 0.2t 以下</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、間知ブロック (勾配 1 割未満・ブロック質量 150kg/個以上 450kg/個以下) の設置、鉄筋 (加工・組立)、目地材の設置、調整コンクリートの打設 (材料費を含む)、現場内小運搬 (50m まで) の他、水抜きパイプ (水抜き孔用吸出し防止材を含む)、等その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、目地材料費は含まない。 2. 鉄筋の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.03) 3. 現場条件により足場が必要な場合は別途計上する。 4. 目地材料費は必要量を別途計上する。 5. 裏込材投入転圧又は胴込材投入転圧は、「3-10 胴込・裏込材 (碎石)」より計上する。 6. 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図 (4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート) 参照)</p> <p style="text-align: center;">表3.2 鉄筋規格</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th style="text-align: center;">積算条件</th> <th style="text-align: center;">区 分</th> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">鉄筋規格</td> <td style="text-align: center;">SD295 D13</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SD295 D16</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SD345 D13</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SD345 D16~25</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">鉄筋コンクリート用棒鋼 各種</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">不要</td> </tr> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 コンクリートブロック積 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td style="text-align: center;">K1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) 吊能力 2.9t</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K2</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td style="text-align: center;">R1</td> <td style="text-align: center;">運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R2</td> <td style="text-align: center;">ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R3</td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R4</td> <td style="text-align: center;">土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">Z1</td> <td style="text-align: center;">間知ブロック 高 250×幅 400×控 350 滑面</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z2</td> <td style="text-align: center;">鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16</td> <td style="text-align: center;">鉄筋規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z3</td> <td style="text-align: center;">軽油 1.2 号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z4</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	鉄筋規格	鉄筋 10m ² 当り使用量	(表3.2)	0.1t 以下	0.1t を超え 0.2t 以下	積算条件	区 分	鉄筋規格	SD295 D13	SD295 D16	SD345 D13	SD345 D16~25	鉄筋コンクリート用棒鋼 各種	不要	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	賃料	K2	-		K3	-		労務	R1	運転手 (特殊)		R2	ブロック工		R3	普通作業員		R4	土木一般世話役		材料	Z1	間知ブロック 高 250×幅 400×控 350 滑面		Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16	鉄筋規格「不要」の場合を除く	Z3	軽油 1.2 号 パトロール給油		Z4	-		市場単価	S	-		<p>3. 施工パッケージ 3-1 コンクリートブロック積 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.1 コンクリートブロック積 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th style="text-align: center;">鉄筋規格</th> <th style="text-align: center;">鉄筋 10m² 当り使用量</th> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(表3.2)</td> <td style="text-align: center;">0.1t 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.1t を超え 0.2t 以下</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、間知ブロック (勾配 1 割未満・ブロック質量 150kg/個以上 450kg/個以下) の設置、鉄筋 (加工・組立)、目地材の設置、調整コンクリートの打設 (材料費を含む)、現場内小運搬 (50m まで) の他、水抜きパイプ (水抜き孔用吸出し防止材を含む)、等その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、目地材料費は含まない。 2. 鉄筋の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.03) 3. 現場条件により足場が必要な場合は別途計上する。 4. 目地材料費は材料ロスを含んだ必要量を別途計上する。 5. 裏込材投入転圧又は胴込材投入転圧は、「3-10 胴込・裏込材 (碎石)」より計上する。 6. 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図 (4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート) 参照)</p> <p style="text-align: center;">表3.2 鉄筋規格</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th style="text-align: center;">積算条件</th> <th style="text-align: center;">区 分</th> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">鉄筋規格</td> <td style="text-align: center;">SD295 D13</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SD295 D16</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SD345 D13</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SD345 D16~25</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">鉄筋コンクリート用棒鋼 各種</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">不要</td> </tr> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 コンクリートブロック積 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td style="text-align: center;">K1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) 吊能力 2.9t</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K2</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td style="text-align: center;">R1</td> <td style="text-align: center;">運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R2</td> <td style="text-align: center;">ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R3</td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R4</td> <td style="text-align: center;">土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">Z1</td> <td style="text-align: center;">間知ブロック 高 250×幅 400×控 350 滑面</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z2</td> <td style="text-align: center;">鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16</td> <td style="text-align: center;">鉄筋規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z3</td> <td style="text-align: center;">軽油 1.2 号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z4</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	鉄筋規格	鉄筋 10m ² 当り使用量	(表3.2)	0.1t 以下	0.1t を超え 0.2t 以下	積算条件	区 分	鉄筋規格	SD295 D13	SD295 D16	SD345 D13	SD345 D16~25	鉄筋コンクリート用棒鋼 各種	不要	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	賃料	K2	-		K3	-		労務	R1	運転手 (特殊)		R2	ブロック工		R3	普通作業員		R4	土木一般世話役		材料	Z1	間知ブロック 高 250×幅 400×控 350 滑面		Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16	鉄筋規格「不要」の場合を除く	Z3	軽油 1.2 号 パトロール給油		Z4	-		市場単価	S	-		<p>第1部 第2編 2-2-17</p>	<p style="color: red;">記載の修正</p>
鉄筋規格	鉄筋 10m ² 当り使用量																																																																																																																				
(表3.2)	0.1t 以下																																																																																																																				
	0.1t を超え 0.2t 以下																																																																																																																				
積算条件	区 分																																																																																																																				
鉄筋規格	SD295 D13																																																																																																																				
	SD295 D16																																																																																																																				
	SD345 D13																																																																																																																				
	SD345 D16~25																																																																																																																				
	鉄筋コンクリート用棒鋼 各種																																																																																																																				
	不要																																																																																																																				
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																			
機械	K1	バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	賃料																																																																																																																		
	K2	-																																																																																																																			
	K3	-																																																																																																																			
労務	R1	運転手 (特殊)																																																																																																																			
	R2	ブロック工																																																																																																																			
	R3	普通作業員																																																																																																																			
	R4	土木一般世話役																																																																																																																			
材料	Z1	間知ブロック 高 250×幅 400×控 350 滑面																																																																																																																			
	Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16	鉄筋規格「不要」の場合を除く																																																																																																																		
	Z3	軽油 1.2 号 パトロール給油																																																																																																																			
	Z4	-																																																																																																																			
市場単価	S	-																																																																																																																			
鉄筋規格	鉄筋 10m ² 当り使用量																																																																																																																				
(表3.2)	0.1t 以下																																																																																																																				
	0.1t を超え 0.2t 以下																																																																																																																				
積算条件	区 分																																																																																																																				
鉄筋規格	SD295 D13																																																																																																																				
	SD295 D16																																																																																																																				
	SD345 D13																																																																																																																				
	SD345 D16~25																																																																																																																				
	鉄筋コンクリート用棒鋼 各種																																																																																																																				
	不要																																																																																																																				
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																			
機械	K1	バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	賃料																																																																																																																		
	K2	-																																																																																																																			
	K3	-																																																																																																																			
労務	R1	運転手 (特殊)																																																																																																																			
	R2	ブロック工																																																																																																																			
	R3	普通作業員																																																																																																																			
	R4	土木一般世話役																																																																																																																			
材料	Z1	間知ブロック 高 250×幅 400×控 350 滑面																																																																																																																			
	Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16	鉄筋規格「不要」の場合を除く																																																																																																																		
	Z3	軽油 1.2 号 パトロール給油																																																																																																																			
	Z4	-																																																																																																																			
市場単価	S	-																																																																																																																			

誤	正	該当項	備考																																																																																												
<p>3-2 大型ブロック積 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.4 大型ブロック積 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" data-bbox="439 394 976 516"> <tr><td>水抜きパイプの有無</td></tr> <tr><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、大型ブロック（勾配1割未満、ブロック質量4,600kg/個以下、控え長500mm以上）の設置、鉄筋（加工・組立）、目地材の設置、調整コンクリートの打設（材料費を含む）、現場内小運搬（50mまで）の他、水抜きパイプ（水抜き孔用吸出し防止材を含む）等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、鉄筋材料費及び目地材料費は含まない。 2. 鉄筋材料費は必要量を別途計上する。 3. 裏込材投入転圧又は胴込材投入転圧は、「3-10 胴込・裏込材（碎石）」より計上する。 4. 現場条件により足場が必要な場合は別途計上する。 5. 目地材料費は、実数量（材料ロスを含んだ数量）を別途計上する。 6. 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図（4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート）参照)</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p>表3.5 大型ブロック積 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="178 1262 1237 1808"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）]25t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>大型ブロック 控え 500mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	水抜きパイプの有無	有り	無し	項目	代表機労材規格	備考	機械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）]25t吊	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	ブロック工		R3	土木一般世話役		R4	特殊作業員		材料	Z1	大型ブロック 控え 500mm		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>3-2 大型ブロック積 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.4 大型ブロック積 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" data-bbox="1644 394 2181 516"> <tr><td>水抜きパイプの有無</td></tr> <tr><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、大型ブロック（勾配1割未満、ブロック質量4,600kg/個以下、控え長500mm以上）の設置、鉄筋（加工・組立）、目地材の設置、調整コンクリートの打設（材料費を含む）、現場内小運搬（50mまで）の他、水抜きパイプ（水抜き孔用吸出し防止材を含む）等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、鉄筋材料費及び目地材料費は含まない。 2. 鉄筋材料費は材料ロスを含んだ必要量を別途計上する。 3. 裏込材投入転圧又は胴込材投入転圧は、「3-10 胴込・裏込材（碎石）」より計上する。 4. 現場条件により足場が必要な場合は別途計上する。 5. 目地材料費は、材料ロスを含んだ必要量を別途計上する。 6. 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図（4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート）参照)</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p>表3.5 大型ブロック積 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="1386 1262 2445 1808"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）]25t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>大型ブロック 控え 500mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	水抜きパイプの有無	有り	無し	項目	代表機労材規格	備考	機械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）]25t吊	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	ブロック工		R3	土木一般世話役		R4	特殊作業員		材料	Z1	大型ブロック 控え 500mm		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>第1部 第2編 2-2-18</p>	<p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p>
水抜きパイプの有無																																																																																															
有り																																																																																															
無し																																																																																															
項目	代表機労材規格	備考																																																																																													
機械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）]25t吊	賃料																																																																																												
	K2	—																																																																																													
	K3	—																																																																																													
労務	R1	普通作業員																																																																																													
	R2	ブロック工																																																																																													
	R3	土木一般世話役																																																																																													
	R4	特殊作業員																																																																																													
材料	Z1	大型ブロック 控え 500mm																																																																																													
	Z2	—																																																																																													
	Z3	—																																																																																													
	Z4	—																																																																																													
市場単価	S	—																																																																																													
水抜きパイプの有無																																																																																															
有り																																																																																															
無し																																																																																															
項目	代表機労材規格	備考																																																																																													
機械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）]25t吊	賃料																																																																																												
	K2	—																																																																																													
	K3	—																																																																																													
労務	R1	普通作業員																																																																																													
	R2	ブロック工																																																																																													
	R3	土木一般世話役																																																																																													
	R4	特殊作業員																																																																																													
材料	Z1	大型ブロック 控え 500mm																																																																																													
	Z2	—																																																																																													
	Z3	—																																																																																													
	Z4	—																																																																																													
市場単価	S	—																																																																																													

誤	正	該当項	備考																																																																		
<p>3. 施工パッケージ 3-1 小型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 小型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>擁壁平均高さ</th> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表3.2)</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表3.3)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、小型擁壁(擁壁平均高さ0.5m以上1.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭)、特殊養生(ジェットヒータ))、コンクリートバケットへのコンクリート積込及び玉掛作業を行う機械付補助労務、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事中水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 2. コンクリート打設に使用するバケットの容量は0.3m³を標準とする。 3. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.06) 4. 化粧型枠については加算費用を、「3章②型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、3-8ペーラインコンクリート(材料費)により別途計上すること。 6. 足場が必要な場合は別途計上すること。 7. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。 8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配或いは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 擁壁平均高さ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">擁壁平均高さ</td> <td style="text-align: center;">0.5m以上0.6m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.6m以上0.8m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.8m以上1.0m以下</td> </tr> </tbody> </table>	擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	(表3.2)	(表3.3)	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無	有り	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無	有り	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無	有り	有り	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無	積算条件	区分	擁壁平均高さ	0.5m以上0.6m未満	0.6m以上0.8m未満	0.8m以上1.0m以下	<p>3. 施工パッケージ 3-1 小型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 小型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>擁壁平均高さ</th> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表3.2)</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表3.3)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、小型擁壁(擁壁平均高さ0.5m以上1.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、目地材(ひび割れ誘発目地除く)、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭)、特殊養生(ジェットヒータ))、コンクリートバケットへのコンクリート積込及び玉掛作業を行う機械付補助労務、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事中水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 2. コンクリート打設に使用するバケットの容量は0.3m³を標準とする。 3. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.06) 4. 化粧型枠については加算費用を、「3章②型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、3-8ペーラインコンクリート(材料費)により別途計上すること。 6. 足場が必要な場合は別途計上すること。 7. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。 8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配或いは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 擁壁平均高さ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">擁壁平均高さ</td> <td style="text-align: center;">0.5m以上0.6m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.6m以上0.8m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.8m以上1.0m以下</td> </tr> </tbody> </table>	擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	(表3.2)	(表3.3)	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無	有り	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無	有り	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無	有り	有り	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無	積算条件	区分	擁壁平均高さ	0.5m以上0.6m未満	0.6m以上0.8m未満	0.8m以上1.0m以下	<p>第1部 第2編 2-2-39</p>	<p style="color: red;">記載の修正</p>
擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類																																																																	
(表3.2)	(表3.3)	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)																																																																	
				特殊養生(ジェットヒータ)																																																																	
				養生工無																																																																	
			有り	一般養生・特殊養生(練炭)																																																																	
				特殊養生(ジェットヒータ)																																																																	
				養生工無																																																																	
		有り	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)																																																																
					特殊養生(ジェットヒータ)																																																																
					養生工無																																																																
			有り	有り	一般養生・特殊養生(練炭)																																																																
					特殊養生(ジェットヒータ)																																																																
					養生工無																																																																
積算条件	区分																																																																				
擁壁平均高さ	0.5m以上0.6m未満																																																																				
	0.6m以上0.8m未満																																																																				
	0.8m以上1.0m以下																																																																				
擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類																																																																	
(表3.2)	(表3.3)	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)																																																																	
				特殊養生(ジェットヒータ)																																																																	
				養生工無																																																																	
			有り	一般養生・特殊養生(練炭)																																																																	
				特殊養生(ジェットヒータ)																																																																	
				養生工無																																																																	
		有り	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)																																																																
					特殊養生(ジェットヒータ)																																																																
					養生工無																																																																
			有り	有り	一般養生・特殊養生(練炭)																																																																
					特殊養生(ジェットヒータ)																																																																
					養生工無																																																																
積算条件	区分																																																																				
擁壁平均高さ	0.5m以上0.6m未満																																																																				
	0.6m以上0.8m未満																																																																				
	0.8m以上1.0m以下																																																																				

誤						正						該当項	備考
3-2 重力式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.5 重力式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m ³)						3-2 重力式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.5 重力式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m ³)						第1部 第2編 2-2-41	
擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分		
1.0mを超え 2m未満	(表3.3)	無し	無し	一般養生	(表3.6)	1.0mを超え 2m未満	(表3.3)	無し	無し	一般養生	(表3.6)	圧送管延長 距離区分	
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)						特殊養生(練炭・ジェットヒータ)			
				養生工無						養生工無			
			有り	一般養生					一般養生				
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)					特殊養生(練炭・ジェットヒータ)				
				養生工無					養生工無				
		有り	無し	一般養生				一般養生					
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)					
				養生工無				養生工無					
			有り	一般養生				一般養生					
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)					
				養生工無				養生工無					
2.0m以上 5.0m以下	(表3.3)	無し	無し	一般養生	(表3.6)	2.0m以上 5.0m以下	(表3.3)	無し	無し	一般養生	(表3.6)	圧送管延長 距離区分	
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)						特殊養生(練炭・ジェットヒータ)			
				仮囲い内ジェットヒータ養生						仮囲い内ジェットヒータ養生			
			養生工無	養生工無									
			有り	一般養生					一般養生				
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)					特殊養生(練炭・ジェットヒータ)				
		仮囲い内ジェットヒータ養生		仮囲い内ジェットヒータ養生									
		有り	無し	一般養生				一般養生					
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)					
				仮囲い内ジェットヒータ養生				仮囲い内ジェットヒータ養生					
			有り	一般養生				一般養生					
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)					
仮囲い内ジェットヒータ養生	仮囲い内ジェットヒータ養生												
(注) 1. 上表は、重力式擁壁(擁壁平均高さ1.0mを超え5.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、一般足場(擁壁平均高さが2m未満の場合)、手摺先行型枠組足場(擁壁平均高さが2m以上の場合)、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートバイブレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。						(注) 1. 上表は、重力式擁壁(擁壁平均高さ1.0mを超え5.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、一般足場(擁壁平均高さが2m未満の場合)、手摺先行型枠組足場(擁壁平均高さが2m以上の場合)、目地材(ひび割れ誘発目地除く)、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートバイブレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。						記載の修正	
2. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.04) 3. 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「3章②型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、3-8ペーラインコンクリート(材料費)により別途計上すること。 6. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。 7. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配或いは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 8. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。 9. 擁壁平均高さが1.0mを超え2.0m未満で、「仮囲い内ジェットヒータ養生」が必要な場合には別途考慮すること。						2. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.04) 3. 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「3章②型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、3-8ペーラインコンクリート(材料費)により別途計上すること。 6. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。							

誤	正	該当項	備考																																																																																																																																														
<p style="text-align: center;">表3.6 圧送管延長距離区分</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">圧送管延長距離区分</td> <td style="text-align: center;">延長無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90m以上 180m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">180m以上 280m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 重力式擁壁 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>擁壁平均高さ</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">1.0mを超え 2.0m未満</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">2.0m以上 5.0m以下</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 油だき・熱風・直火型 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 とび工</td> <td>一般、特殊養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	圧送管延長距離区分	延長無し	90m未満	90m以上 180m未満	180m以上 280m以下	擁壁平均高さ	項目	代表機材規格	備考	1.0mを超え 2.0m未満	機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 型わく工		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 軽油 1.2号 パトロール給油		Z3 -		Z4 -		市場単価	S	-		2.0m以上 5.0m以下	機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 油だき・熱風・直火型 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	労務	R1 普通作業員		R2 型わく工		R3 土木一般世話役		R4 とび工	一般、特殊養生の場合	材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 軽油 1.2号 パトロール給油		Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	Z4 -		市場単価	S	-		<p>7. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配或いは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p>8. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。</p> <p>9. 擁壁平均高さが1.0mを超え2.0m未満で、「仮囲い内ジェットヒータ養生」が必要な場合には別途考慮すること。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 圧送管延長距離区分</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">圧送管延長距離区分</td> <td style="text-align: center;">延長無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90m以上 180m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">180m以上 280m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 重力式擁壁 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>擁壁平均高さ</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">1.0mを超え 2.0m未満</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">2.0m以上 5.0m以下</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 油だき・熱風・直火型 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 とび工</td> <td>一般、特殊養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	圧送管延長距離区分	延長無し	90m未満	90m以上 180m未満	180m以上 280m以下	擁壁平均高さ	項目	代表機材規格	備考	1.0mを超え 2.0m未満	機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 型わく工		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 軽油 1.2号 パトロール給油		Z3 -		Z4 -		市場単価	S	-		2.0m以上 5.0m以下	機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 油だき・熱風・直火型 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	労務	R1 普通作業員		R2 型わく工		R3 土木一般世話役		R4 とび工	一般、特殊養生の場合	材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 軽油 1.2号 パトロール給油		Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	Z4 -		市場単価	S	-		<p>第1部 第2編 2-2-42</p>	<p style="color: red;">前項から移動</p>
積算条件	区分																																																																																																																																																
圧送管延長距離区分	延長無し																																																																																																																																																
	90m未満																																																																																																																																																
	90m以上 180m未満																																																																																																																																																
	180m以上 280m以下																																																																																																																																																
擁壁平均高さ	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																														
1.0mを超え 2.0m未満	機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																																																																																																															
		K2 -																																																																																																																																															
		K3 -																																																																																																																																															
	労務	R1 普通作業員																																																																																																																																															
		R2 型わく工																																																																																																																																															
		R3 土木一般世話役																																																																																																																																															
		R4 特殊作業員																																																																																																																																															
	材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																																																															
		Z2 軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																																																																															
		Z3 -																																																																																																																																															
Z4 -																																																																																																																																																	
市場単価	S	-																																																																																																																																															
2.0m以上 5.0m以下	機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																																																																																																															
		K2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 油だき・熱風・直火型 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																																																																																														
		K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																																																														
	労務	R1 普通作業員																																																																																																																																															
		R2 型わく工																																																																																																																																															
		R3 土木一般世話役																																																																																																																																															
		R4 とび工	一般、特殊養生の場合																																																																																																																																														
	材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																																																															
		Z2 軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																																																																															
		Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																																																														
Z4 -																																																																																																																																																	
市場単価	S	-																																																																																																																																															
積算条件	区分																																																																																																																																																
圧送管延長距離区分	延長無し																																																																																																																																																
	90m未満																																																																																																																																																
	90m以上 180m未満																																																																																																																																																
	180m以上 280m以下																																																																																																																																																
擁壁平均高さ	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																														
1.0mを超え 2.0m未満	機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																																																																																																															
		K2 -																																																																																																																																															
		K3 -																																																																																																																																															
	労務	R1 普通作業員																																																																																																																																															
		R2 型わく工																																																																																																																																															
		R3 土木一般世話役																																																																																																																																															
		R4 特殊作業員																																																																																																																																															
	材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																																																															
		Z2 軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																																																																															
		Z3 -																																																																																																																																															
Z4 -																																																																																																																																																	
市場単価	S	-																																																																																																																																															
2.0m以上 5.0m以下	機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																																																																																																															
		K2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 油だき・熱風・直火型 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																																																																																														
		K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																																																														
	労務	R1 普通作業員																																																																																																																																															
		R2 型わく工																																																																																																																																															
		R3 土木一般世話役																																																																																																																																															
		R4 とび工	一般、特殊養生の場合																																																																																																																																														
	材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																																																															
		Z2 軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																																																																															
		Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																																																														
Z4 -																																																																																																																																																	
市場単価	S	-																																																																																																																																															

誤	正	該当項	備考																																																				
<p>[参考図] 擁壁高さが変化する場合の擁壁平均高さH (m) $H = A / L$ (m) A = 正面図での擁壁面積 (m²) L = 擁壁延長 (m)</p>  <p>擁壁正面図 擁壁断面図</p> <p>3-3 もたれ式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.8 もたれ式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" data-bbox="133 1029 1291 1680"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">(表3.3)</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12">(表3.6)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、もたれ式擁壁(擁壁平均高さ3.0m以上8.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、足場工、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p>	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表3.3)	無し	無し	一般養生	(表3.6)	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	有り	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	養生工無	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	有り	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	養生工無	<p>[参考図] 擁壁高さが変化する場合の擁壁平均高さH (m) $H = A / L$ (m) A = 正面図での擁壁面積 (m²) L = 擁壁延長 (m)</p>  <p>擁壁正面図 擁壁断面図</p> <p>3-3 もたれ式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.8 もたれ式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" data-bbox="1335 1029 2493 1680"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">(表3.3)</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12">(表3.6)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、もたれ式擁壁(擁壁平均高さ3.0m以上8.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、足場工、目地材(ひび割れ誘発目地除く)、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p>	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表3.3)	無し	無し	一般養生	(表3.6)	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	有り	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	養生工無	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	有り	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	養生工無	<p>第1部 第2編 2-2-43</p>	<p>記載の修正</p>
コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																			
(表3.3)	無し	無し	一般養生	(表3.6)																																																			
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																				
			仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				
		養生工無																																																					
		有り	一般養生																																																				
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																				
	仮囲い内ジェットヒータ養生																																																						
	有り	無し	養生工無																																																				
			一般養生																																																				
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																				
		有り	仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				
			養生工無																																																				
養生工無																																																							
コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																			
(表3.3)	無し	無し	一般養生	(表3.6)																																																			
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																				
			仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				
		養生工無																																																					
		有り	一般養生																																																				
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																				
	仮囲い内ジェットヒータ養生																																																						
	有り	無し	養生工無																																																				
			一般養生																																																				
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																				
		有り	仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				
			養生工無																																																				
養生工無																																																							

誤						正						該当項	備考																																										
3-4 逆T型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.10 逆T型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m ³)						3-4 逆T型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.10 逆T型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m ³)						第1部 第2編 2-2-45																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">(表3.3)</td> <td rowspan="12">(表3.11)</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12">(表3.6)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table>	コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表3.3)	(表3.11)	無し	無し	一般養生			(表3.6)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">(表3.3)</td> <td rowspan="12">(表3.11)</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12">(表3.6)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table>	コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表3.3)	(表3.11)	無し	無し	一般養生	(表3.6)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生
コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																		
(表3.3)	(表3.11)	無し	無し	一般養生	(表3.6)																																																		
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																			
			有り	一般養生																																																			
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																			
		有り	無し	一般養生																																																			
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																			
			有り	一般養生																																																			
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																			
コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																		
(表3.3)	(表3.11)	無し	無し	一般養生	(表3.6)																																																		
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																			
			有り	一般養生																																																			
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																			
		有り	無し	一般養生																																																			
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																			
			有り	一般養生																																																			
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																			
(注) 1. 上表は、逆T型擁壁(擁壁平均高さ3.0m以上10.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事中水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 2. コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03とする。 3. 設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「3章②型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、3-8ペーラインコンクリート(材料費)により別途計上すること。 6. ガス圧接が必要な場合は別途計上する。 7. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。 8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配或いは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 9. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。						(注) 1. 上表は、逆T型擁壁(擁壁平均高さ3.0m以上10.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材(ひび割れ誘発目地除く)、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事中水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 2. コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03とする。 3. 設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「3章②型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、3-8ペーラインコンクリート(材料費)により別途計上すること。 6. ガス圧接が必要な場合は別途計上する。 7. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。 8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配或いは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 9. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。																																																	
												記載の修正																																											

誤						正						該当項	備考																																										
3-5 L型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.13 L型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m ³)						3-5 L型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.13 L型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m ³)						第1部 第2編 2-2-47																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">(表3.3)</td> <td rowspan="12">(表3.11)</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12">(表3.6)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table>	コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表3.3)	(表3.11)	無し	無し	一般養生			(表3.6)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">(表3.3)</td> <td rowspan="12">(表3.11)</td> <td rowspan="12">無し</td> <td rowspan="6">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12">(表3.6)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table>	コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表3.3)	(表3.11)	無し	無し	一般養生	(表3.6)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生
コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																		
(表3.3)	(表3.11)	無し	無し	一般養生	(表3.6)																																																		
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																			
			有り	一般養生																																																			
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																			
		有り	無し	一般養生																																																			
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																			
			有り	一般養生																																																			
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																			
コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																		
(表3.3)	(表3.11)	無し	無し	一般養生	(表3.6)																																																		
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																			
				有り		一般養生																																																	
						特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																	
						仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																	
			有り	無し		一般養生																																																	
						特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																	
						仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																	
				有り		一般養生																																																	
						特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																	
						仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																	
(注) 1. 上表は、L型擁壁(擁壁平均高さ3.0m以上7.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 2. コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03とする。 3. 設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「3章②型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、3-8ペーラインコンクリート(材料費)により別途計上すること。 6. ガス圧接が必要な場合は別途計上する。 7. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。 8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配或いは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 9. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。						(注) 1. 上表は、L型擁壁(擁壁平均高さ3.0m以上7.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材(ひび割れ誘発目地除く)、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 2. コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03とする。 3. 設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「3章②型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、3-8ペーラインコンクリート(材料費)により別途計上すること。 6. ガス圧接が必要な場合は別途計上する。 7. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。 8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配或いは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 9. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。																																																	

記載の修正

誤					正					該当項	備考
据付・撤去	製品長	内空幅・内空高(m)	基礎材種別	PC 鋼材による縦締め	据付・撤去	製品長	内空幅・内空高(m)	基礎材種別	PC 鋼材による縦締め	第1部 第2編 2-2-59	
	1.0m/個	1.25m < B ≤ 2.5m 1.25m < H ≤ 2.5m 2.5m < B ≤ 3.75m 1.25m ≤ H ≤ 2.5m	(表3.8)	-		1.0m/個	1.25m < B ≤ 2.5m 1.25m < H ≤ 2.5m 2.5m < B ≤ 3.75m 1.25m ≤ H ≤ 2.5m	(表3.8)	-		
	1.5m/個	1.25m < B ≤ 2.5m 0m < H ≤ 1.25m 1.25m < B ≤ 2.5m 1.25m < H ≤ 2.5m 2.5m < B ≤ 3.75m 1.25m ≤ H ≤ 2.5m 2.5m ≤ B ≤ 3.75m 2.5m < H ≤ 3.75m	(表3.8)	(表3.9)		1.5m/個	1.25m < B ≤ 2.5m 0m < H ≤ 1.25m 1.25m < B ≤ 2.5m 1.25m < H ≤ 2.5m 2.5m < B ≤ 3.75m 1.25m ≤ H ≤ 2.5m 2.5m ≤ B ≤ 3.75m 2.5m < H ≤ 3.75m	(表3.8)	(表3.9)		
	2.0m/個	0m < B ≤ 1.25m 0m < H ≤ 1.25m 1.25m < B ≤ 2.5m 0m < H ≤ 1.25m 0m < B ≤ 1.25m 1.25m < H ≤ 2.5m 1.25m < B ≤ 2.5m 1.25m < H ≤ 2.5m	(表3.8)	(表3.9)		2.0m/個	0m < B ≤ 1.25m 0m < H ≤ 1.25m 1.25m < B ≤ 2.5m 0m < H ≤ 1.25m 0m < B ≤ 1.25m 1.25m < H ≤ 2.5m 1.25m < B ≤ 2.5m 1.25m < H ≤ 2.5m	(表3.8)	(表3.9)		
<p>(注) 1. 上表は、ボックスカルバートの設置、PC鋼材による縦締め、基礎材、均しコンクリート、型枠（剥離材塗布及びケレン作業を含む）、養生、敷モルタル、目地モルタル、グラウト、運搬距離30m程度までの現場内小運搬、レバーブロック、油圧ジャッキ（ポンプを含む）、グラウトポンプ、ミキサーの損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、PC鋼材材料費、定着金具材料費は含まない。</p> <p>2. 対象としている製品は、1ブロックを1部材で構成するボックスカルバートである。</p> <p>3. 内空断面が台形タイプの場合やインバート形状の場合の内空高、内空幅は最大値とする。</p> <p>4. PC鋼材、定着金具は、必要数量を別途計上する。</p> <p>5. 縦締めは、直線部にのみ適用する。</p> <p>6. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> <p>7. 基礎砕石、均しコンクリートの材料は、種別・規格にかかわらず適用出来る。</p> <p>8. 撤去作業の場合、基礎砕石は含まない。</p> <p>9. 製品長が1個あたり1.0mの場合、PC鋼材による縦締めの費用は含まない。</p> <p>10. 基面整正は含まない。</p>					<p>(注) 1. 上表は、現場内小運搬（運搬車から直接据え付ける場合も含む）、ボックスカルバートの設置、PC鋼材による縦締め、基礎砕石、均しコンクリート、型枠（剥離材塗布及びケレン作業を含む）、養生、敷モルタル、目地モルタル、グラウト材、レバーブロック、油圧ジャッキ（ポンプを含む）、グラウトポンプ、ハンドミキサーの損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、PC鋼材材料費、定着金具材料費は含まない。</p> <p>2. 対象としている製品は、1ブロックを1部材で構成するボックスカルバートである。</p> <p>3. PC鋼材を使用しない場合において、高力ボルト連結、ボンド連結等による施工にも適用できる。</p> <p>4. 内空断面が台形タイプの場合やインバート形状の場合の内空高、内空幅は最大値とする。</p> <p>5. PC鋼材、定着金具の材料費は、必要数量を別途計上する。</p> <p>6. 製品表とは、一連のボックスカルバートの標準的な1部材の有効長であり、有効長未満の部材及び短尺、片斜切、横孔等の特殊加工部材が含まれる場合も適用できる。</p> <p>7. 縦締めは、直線部にのみ適用する。</p> <p>8. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> <p>9. 基礎砕石、均しコンクリートの材料は、種別・規格にかかわらず適用出来る。</p> <p>10. 撤去作業の場合、基礎砕石は含まない。</p> <p>11. 製品長が1個あたり1.0mの場合、PC鋼材による縦締めの費用は含まない。</p> <p>12. 床掘り、基面整正、埋戻し、残土処理は含まない。</p>					記載の修正	記載の修正
表3.8 基礎材種別		表3.9 PC鋼材による縦締め		表3.8 基礎材種別		表3.9 PC鋼材による縦締め					
積算条件	区分	積算条件	区分	積算条件	区分	積算条件	区分				
基礎材種別	基礎砕石+均しコンクリート 基礎砕石 均しコンクリート 無し	PC鋼材による縦締め	無し 有り	基礎材種別	基礎砕石+均しコンクリート 基礎砕石 均しコンクリート 無し	PC鋼材による縦締め	無し 有り				

誤			正			該当項	備考
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。			(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。			第1部 第2編 2-2-61	記載の修正 記載の修正
表3. 10 ボックスカルバート 代表機材規格一覧			表3. 10 ボックスカルバート 代表機材規格一覧				
項目	代表機材規格		項目	代表機材規格			
機械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊	機械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ 低騒音型 ・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊	・賃料 ・内空高2.5m以下の場合	
	K2	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]45t吊		K2	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ 低騒音型 ・排出ガス対策型(第1次基準値)]50t吊	・賃料 ・内空高2.5mを超える場合	
	K3	—		K3	—		
労務	R1	普通作業員	労務	R1	普通作業員		
	R2	土木一般世話役		R2	土木一般世話役		
	R3	特殊作業員		R3	特殊作業員		
	R4	—		R4	—		
材料	Z1	ボックスカルバート RC B1,500×H1,500×L1,000 T-25 土被り0.2~3.0m	材料	Z1	ボックスカルバート RC B1,500×H1,500×L1,000 T-25 土被り0.2~3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m、1.25m≤H≤2.5mの場合	
		ボックスカルバート RC B3,000×H2,000×L1,000 T-25 土被り0.2~3.0m			ボックスカルバート RC B3,000×H2,000×L1,000 T-25 土被り0.2~3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m、1.25m<H≤2.5mの場合	
		ボックスカルバート RC B1,500×H1,000×L1,500 T-25 土被り0.2~3.0m			ボックスカルバート RC B3,000×H2,000×L1,000 T-25 土被り0.2~3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m、1.25m<H≤2.5mの場合	
		ボックスカルバート RC B1,500×H1,500×L1,500 T-25 土被り0.2~3.0m			ボックスカルバート RC B1,500×H1,000×L1,500 T-25 土被り0.2~3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m、0m<H≤1.25mの場合	
		ボックスカルバート RC B3,000×H2,000×L1,500 T-25 土被り0.2~3.0m			ボックスカルバート RC B1,500×H1,500×L1,500 T-25 土被り0.2~3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m、1.25m<H≤2.5mの場合	
		ボックスカルバート RC B3,000×H3,000×L1,500 T-25 土被り0.2~3.0m			ボックスカルバート RC B3,000×H2,000×L1,500 T-25 土被り0.2~3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m、1.25m≤H≤2.5mの場合	
		ボックスカルバート RC B600×H600×L2,000 T-25 土被り0.2~3.0m			ボックスカルバート RC B3,000×H3,000×L1,500 T-25 土被り0.2~3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m、0m<H≤1.25mの場合	
		ボックスカルバート RC B1,500×H1,000×L2,000 T-25 土被り0.2~3.0m			ボックスカルバート RC B600×H600×L2,000 T-25 土被り0.2~3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m、0m<H≤1.25mの場合	
		ボックスカルバート RC B1,000×H1,500×L2,000 T-25 土被り0.2~3.0m			ボックスカルバート RC B1,500×H1,000×L2,000 T-25 土被り0.2~3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m、1.25m<H≤2.5mの場合	
		ボックスカルバート RC B1,500×H1,500×L2,000 T-25 土被り0.2~3.0m			ボックスカルバート RC B1,000×H1,500×L2,000 T-25 土被り0.2~3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m、1.25m<H≤2.5mの場合	
		—			ボックスカルバート RC B1,500×H1,500×L2,000 T-25 土被り0.2~3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m、1.25m<H≤2.5mの場合	
		—			—		
		—			—		
		—			—		
市場単価	S	—	市場単価	S	—		

誤	正	該当項	備 考																																										
<p>⑦ 殻運搬（施工パッケージ）</p> <p>1. 適用範囲 構造物撤去工における殻運搬に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 (1) 既設コンクリート構造物のとりこわしにより発生した殻（鉄筋・無筋）の運搬の場合 (2) コンクリート舗装版、アスファルト舗装版、コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の破碎作業により発生した殻の運搬の場合 (3) バックホウを用いて行う平均施工幅1m未満の舗装版破碎（舗装厚5cm以内）により発生した殻の運搬の場合 (4) モルタルの吹付法面のとりこわし作業により発生した殻の運搬の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲 (1) 路面切削作業で発生したアスファルト殻の運搬 (2) 電線共同溝におけるアスファルト舗装版の破碎作業により発生した殻の運搬 (3) 自動車専用道路を利用する場合 (4) 運搬距離が60kmを超える場合 (5) 既設コンクリート構造物のとりこわしにより発生した殻（鉄筋・無筋）を人力で積み込む場合</p> <p>2. 施工パッケージ</p> <p>2-1 殻運搬 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 殻運搬 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">殻発生作業</th> <th style="width: 15%;">積込工法区分</th> <th style="width: 10%;">DID区間の有無</th> <th style="width: 60%;">運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13" style="text-align: center;">コンクリート (無筋) 構造物とりこわし</td> <td rowspan="13" style="text-align: center;">機械積込</td> <td rowspan="13" style="text-align: center;">無し</td> <td>1.6km以下</td> </tr> <tr><td>3.3km以下</td></tr> <tr><td>5.7km以下</td></tr> <tr><td>8.0km以下</td></tr> <tr><td>10.9km以下</td></tr> <tr><td>14.4km以下</td></tr> <tr><td>18.5km以下</td></tr> <tr><td>23.2km以下</td></tr> <tr><td>28.4km以下</td></tr> <tr><td>34.3km以下</td></tr> <tr><td>41.3km以下</td></tr> <tr><td>49.4km以下</td></tr> <tr><td>58.8km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table>	殻発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離	コンクリート (無筋) 構造物とりこわし	機械積込	無し	1.6km以下	3.3km以下	5.7km以下	8.0km以下	10.9km以下	14.4km以下	18.5km以下	23.2km以下	28.4km以下	34.3km以下	41.3km以下	49.4km以下	58.8km以下	60.0km以下	<p>⑦ 殻運搬（施工パッケージ）</p> <p>1. 適用範囲 構造物撤去工における殻運搬に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 (1) 既設コンクリート構造物のとりこわしにより発生した殻（鉄筋・無筋）の運搬の場合 (2) コンクリート舗装版、アスファルト舗装版、コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の破碎作業により発生した殻の運搬の場合 (3) バックホウを用いて行う平均施工幅1m未満の舗装版破碎（舗装厚5cm以内）により発生した殻の運搬の場合 (4) モルタルの吹付法面のとりこわし作業により発生した殻の運搬の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲 (1) 路面切削作業で発生したアスファルト殻の運搬 (2) 電線共同溝におけるアスファルト舗装版の破碎作業により発生した殻の運搬 (3) 自動車専用道路を利用する場合 (4) 運搬距離が60kmを超える場合 (5) 既設コンクリート構造物のとりこわし等により発生した殻（鉄筋・無筋）を人力で積み込む場合</p> <p>2. 施工パッケージ</p> <p>2-1 殻運搬 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 殻運搬 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">殻発生作業</th> <th style="width: 15%;">積込工法区分</th> <th style="width: 10%;">DID区間の有無</th> <th style="width: 60%;">運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13" style="text-align: center;">コンクリート (無筋) 構造物とりこわし</td> <td rowspan="13" style="text-align: center;">機械積込</td> <td rowspan="13" style="text-align: center;">無し</td> <td>1.6km以下</td> </tr> <tr><td>3.3km以下</td></tr> <tr><td>5.7km以下</td></tr> <tr><td>8.0km以下</td></tr> <tr><td>10.9km以下</td></tr> <tr><td>14.4km以下</td></tr> <tr><td>18.5km以下</td></tr> <tr><td>23.2km以下</td></tr> <tr><td>28.4km以下</td></tr> <tr><td>34.3km以下</td></tr> <tr><td>41.3km以下</td></tr> <tr><td>49.4km以下</td></tr> <tr><td>58.8km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table>	殻発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離	コンクリート (無筋) 構造物とりこわし	機械積込	無し	1.6km以下	3.3km以下	5.7km以下	8.0km以下	10.9km以下	14.4km以下	18.5km以下	23.2km以下	28.4km以下	34.3km以下	41.3km以下	49.4km以下	58.8km以下	60.0km以下	<p>第1部 第2編 2-2-80</p>	<p>記載の修正</p>
殻発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離																																										
コンクリート (無筋) 構造物とりこわし	機械積込	無し	1.6km以下																																										
			3.3km以下																																										
			5.7km以下																																										
			8.0km以下																																										
			10.9km以下																																										
			14.4km以下																																										
			18.5km以下																																										
			23.2km以下																																										
			28.4km以下																																										
			34.3km以下																																										
			41.3km以下																																										
			49.4km以下																																										
			58.8km以下																																										
60.0km以下																																													
殻発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離																																										
コンクリート (無筋) 構造物とりこわし	機械積込	無し	1.6km以下																																										
			3.3km以下																																										
			5.7km以下																																										
			8.0km以下																																										
			10.9km以下																																										
			14.4km以下																																										
			18.5km以下																																										
			23.2km以下																																										
			28.4km以下																																										
			34.3km以下																																										
			41.3km以下																																										
			49.4km以下																																										
			58.8km以下																																										
60.0km以下																																													

誤		正		該当項	備考
<p>(1) 無筋・鉄筋構造物</p>		<p>(1) 無筋・鉄筋構造物</p>		<p>第1部 第2編 2-3-3</p>	<p>記載の修正</p>
<p>図3.2 コンクリート打設工法の選定（無筋・鉄筋構造物）</p>		<p>図3.2 コンクリート打設工法の選定（無筋・鉄筋構造物）</p>			
<p>(2) 小型構造物</p>		<p>(2) 小型構造物</p>			<p>記載の修正</p>
<p>図3.3 コンクリート打設工法の選定（小型構造物）</p>		<p>図3.3 コンクリート打設工法の選定（小型構造物）</p>			

誤			正			該当項	備考
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。			(2) 代表機材規格 下表機材は、当該パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。			第1部 第2編 2-3-7	記載の修正
表4.5 コンクリート 代表機材規格一覧			表4.5 コンクリート 代表機材規格一覧				
項目	代表機材規格	備考	項目	代表機材規格	備考		
機械	K1	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合		
		バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	・賃料 ・無筋・鉄筋構造物バックホウ打設の場合、 又は小型構造物バックホウ打設の場合	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	・賃料 ・無筋・鉄筋構造物バックホウ打設の場合、 又は小型構造物バックホウ打設の場合		
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]16t吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約17m以下、 水平打設距離約17m以下の場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]16t吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約17m以下、 水平打設距離約17m以下の場合		
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]20t吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約25m以下、 水平打設距離約18m以下の場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]20t吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約25m以下、 水平打設距離約18m以下の場合		
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約25m以下、 水平打設距離約20m以下の場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約25m以下、 水平打設距離約20m以下の場合		
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]35t吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約28m以下、 水平打設距離約20m以下の場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]35t吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約28m以下、 水平打設距離約20m以下の場合		
		クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型]50t吊	・賃料 ・小型構造物で、水平打設距離約30m以下の場合	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型]50t吊	・賃料 ・小型構造物で、水平打設距離約30m以下の場合		
K2	業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h(30,100kcal/h) 油種 灯油	無筋・鉄筋構造物で、特殊養生(練炭、ジェットヒータ)の場合、又は小型構造物で、特殊養生(ジェットヒータ)の場合	K2	業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h(30,100kcal/h) 油種 灯油	無筋・鉄筋構造物で、特殊養生(練炭、ジェットヒータ)の場合、又は小型構造物で、特殊養生(ジェットヒータ)の場合		
K3	—	—	K3	—	—		
労務	R1	普通作業員	R1	普通作業員	—		
	R2	特殊作業員	R2	特殊作業員	—		
	R3	土木一般世話役	R3	土木一般世話役	—		
	R4	運転手(特殊)	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合、無筋・鉄筋構造物バックホウ打設の場合、又は小型構造物バックホウ打設の場合	R4	運転手(特殊)	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合、無筋・鉄筋構造物バックホウ打設の場合、又は小型構造物バックホウ打設の場合	
材料	Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C55%	—	Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C55%	—	
	Z2	軽油 1.2号 パトロール給油	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合、無筋・鉄筋構造物バックホウ打設の場合、小型構造物バックホウ打設の場合、又は小型構造物で、水平打設距離約30m以下の場合	Z2	軽油 1.2号 パトロール給油	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合、無筋・鉄筋構造物バックホウ打設の場合、小型構造物バックホウ打設の場合、又は小型構造物で、水平打設距離約30m以下の場合	
	Z3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	無筋・鉄筋構造物で、特殊養生(練炭、ジェットヒータ)の場合、又は小型構造物で、特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	無筋・鉄筋構造物で、特殊養生(練炭、ジェットヒータ)の場合、又は小型構造物で、特殊養生(ジェットヒータ)の場合	
	Z4	—	—	Z4	—	—	
	市場単価	S	—	市場単価	S	—	

誤	正	該当項	備 考																																																																																							
<p>5. 施工歩掛</p> <p>5-1 圧送管組立、撤去</p> <p>5-1-1 適用範囲</p> <p>本歩掛は、表5. 1に示す施工パッケージ以外で、コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超える場合の、超えた部分の圧送管延長分の組立・撤去到適用する。</p> <p style="text-align: center;">表5. 1 本歩掛が適用できない施工パッケージ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">・函渠（1）</td> <td style="width: 33%;">・重力式擁壁</td> <td style="width: 33%;">・もたれ式擁壁</td> </tr> <tr> <td>・逆T型擁壁</td> <td>・L型擁壁</td> <td>・コンクリート</td> </tr> </table> <p>5-1-2 圧送管組立、撤去歩掛</p> <p>コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超える場合は、超えた部分の圧送管延長分について、次表の労務を、組立・撤去歩掛として計上する。 なお、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表5. 2 圧送管組立、撤去歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">名 称</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 25%;">組 立 労 務</th> <th style="width: 20%;">撤 去 労 務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.26</td> <td style="text-align: center;">0.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 圧送管の固定足場(受枠)を必要とする場合は、別途計上する。</p> <p>5-2 養生工</p> <p>5-2-1 適用範囲</p> <p>本歩掛は、表5. 3に示す施工パッケージ以外の養生工に適用する。</p> <p style="text-align: center;">表5. 3 本歩掛が適用できない施工パッケージ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">・ヒューム管（B形管）</td> <td style="width: 33%;">・函渠（1）</td> <td style="width: 33%;">・現場打基礎コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・天端コンクリート</td> <td>・小型擁壁（B）</td> <td>・重力式擁壁</td> </tr> <tr> <td>・もたれ式擁壁</td> <td>・逆T型擁壁</td> <td>・L型擁壁</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>5-2-2 一般養生工</p> <p>一般養生工における歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5. 4 養生歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">名 称</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 15%;">無筋構造物</th> <th style="width: 15%;">鉄筋構造物</th> <th style="width: 15%;">小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.31</td> <td style="text-align: center;">0.16</td> <td style="text-align: center;">0.64</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">16</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、シート、養生マット、角材、パイプ、散水等に使用する機械の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	・函渠（1）	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁	・コンクリート	名 称	単 位	組 立 労 務	撤 去 労 務	普通作業員	人	0.26	0.2	・ヒューム管（B形管）	・函渠（1）	・現場打基礎コンクリート	・天端コンクリート	・小型擁壁（B）	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁	・コンクリート			名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	普通作業員	人	0.31	0.16	0.64	諸 雑 費 率	%	12	25	16	<p>5. 施工歩掛</p> <p>5-1 圧送管組立、撤去</p> <p>5-1-1 適用範囲</p> <p>本歩掛は、表5. 1に示す施工パッケージ以外で、コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超える場合の、超えた部分の圧送管延長分の組立・撤去到適用する。</p> <p style="text-align: center;">表5. 1 本歩掛が適用できない施工パッケージ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">・函渠（1）</td> <td style="width: 33%;">・重力式擁壁</td> <td style="width: 33%;">・もたれ式擁壁</td> </tr> <tr> <td>・逆T型擁壁</td> <td>・L型擁壁</td> <td>・コンクリート</td> </tr> </table> <p>5-1-2 圧送管組立、撤去歩掛</p> <p>コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超える場合は、超えた部分の圧送管延長分について、次表の労務を、組立・撤去歩掛として計上する。 なお、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表5. 2 圧送管組立、撤去歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">名 称</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 25%;">組 立 労 務</th> <th style="width: 20%;">撤 去 労 務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.26</td> <td style="text-align: center;">0.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 圧送管の固定足場(受枠)を必要とする場合は、別途計上する。</p> <p>5-2 養生工</p> <p>5-2-1 適用範囲</p> <p>本歩掛は、表5. 3に示す施工パッケージ以外の養生工に適用する。</p> <p style="text-align: center;">表5. 3 本歩掛が適用できない施工パッケージ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">・ヒューム管（B形管）</td> <td style="width: 33%;">・函渠（1）</td> <td style="width: 33%;">・現場打基礎コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・天端コンクリート</td> <td>・小型擁壁</td> <td>・重力式擁壁</td> </tr> <tr> <td>・もたれ式擁壁</td> <td>・逆T型擁壁</td> <td>・L型擁壁</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>5-2-2 一般養生工</p> <p>一般養生工における歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5. 4 養生歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">名 称</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 15%;">無筋構造物</th> <th style="width: 15%;">鉄筋構造物</th> <th style="width: 15%;">小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.08</td> <td style="text-align: center;">0.05</td> <td style="text-align: center;">0.18</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.25</td> <td style="text-align: center;">0.13</td> <td style="text-align: center;">0.52</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: center;">13</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、シート、養生マット、角材、パイプ、散水等に使用する機械の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	・函渠（1）	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁	・コンクリート	名 称	単 位	組 立 労 務	撤 去 労 務	普通作業員	人	0.26	0.2	・ヒューム管（B形管）	・函渠（1）	・現場打基礎コンクリート	・天端コンクリート	・小型擁壁	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁	・コンクリート			名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	土木一般世話役	人	0.08	0.05	0.18	普通作業員	〃	0.25	0.13	0.52	諸 雑 費 率	%	10	21	13	<p>第1部 第2編 2-3-8</p>	<p>記載の修正</p>
・函渠（1）	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁																																																																																								
・逆T型擁壁	・L型擁壁	・コンクリート																																																																																								
名 称	単 位	組 立 労 務	撤 去 労 務																																																																																							
普通作業員	人	0.26	0.2																																																																																							
・ヒューム管（B形管）	・函渠（1）	・現場打基礎コンクリート																																																																																								
・天端コンクリート	・小型擁壁（B）	・重力式擁壁																																																																																								
・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁																																																																																								
・コンクリート																																																																																										
名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																																																						
普通作業員	人	0.31	0.16	0.64																																																																																						
諸 雑 費 率	%	12	25	16																																																																																						
・函渠（1）	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁																																																																																								
・逆T型擁壁	・L型擁壁	・コンクリート																																																																																								
名 称	単 位	組 立 労 務	撤 去 労 務																																																																																							
普通作業員	人	0.26	0.2																																																																																							
・ヒューム管（B形管）	・函渠（1）	・現場打基礎コンクリート																																																																																								
・天端コンクリート	・小型擁壁	・重力式擁壁																																																																																								
・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁																																																																																								
・コンクリート																																																																																										
名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																																																						
土木一般世話役	人	0.08	0.05	0.18																																																																																						
普通作業員	〃	0.25	0.13	0.52																																																																																						
諸 雑 費 率	%	10	21	13																																																																																						

誤	正	該当項	備考																																																																																																																
<p>5-3 養生工（特殊養生）</p> <p>5-3-1 適用範囲 本歩掛は、表5.5に示す施工パッケージ以外の河川、海岸、道路工事等における寒中コンクリートの養生に適用する。なお、養生方法は給熱養生を標準とし、異形ブロック製作における養生は、適用しない。</p> <p>表5.5 本歩掛が適用できない施工パッケージ</p> <table border="1" data-bbox="222 451 1196 573"> <tr> <td>・ヒューム管（B形管）</td> <td>・函渠（1）</td> <td>・現場打基礎コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・天端コンクリート</td> <td>・小型擁壁（B）</td> <td>・重力式擁壁</td> </tr> <tr> <td>・もたれ式擁壁</td> <td>・逆T型擁壁</td> <td>・L型擁壁</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>5-3-2 特殊養生工</p> <p>5-3-2-1 特殊養生工（練炭養生） 空港整備工事等における寒中コンクリートの養生に適用するものとし、養生方法は給熱養生を標準とする。 練炭による特殊養生歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表5.6 特殊養生歩掛（練炭養生） (10m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="186 898 1228 997"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> <th>小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.88</td> <td>0.54</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、練炭、コンロ、シート、養生マット、角材、パイプ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 養生のための足場は、別途計上する。</p> <p>5-3-2-2 特殊養生工（ジェットヒータ養生）</p> <p>(1) 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表5.7 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="305 1297 1107 1451"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]</td> <td>[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 施工歩掛 ジェットヒータによる特殊養生歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表5.8 特殊養生歩掛（ジェットヒータ養生） (10m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="178 1591 1237 1766"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> <th>小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.74</td> <td>0.43</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 運転</td> <td>日</td> <td>1.6</td> <td>1.8</td> <td>7.8</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td>13</td> <td>28</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ジェットヒータは賃料とする。 2. 諸雑費は、電力に関する経費、シート、養生マット、角材、パイプ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 養生のための足場は、別途計上する。</p>	・ヒューム管（B形管）	・函渠（1）	・現場打基礎コンクリート	・天端コンクリート	・小型擁壁（B）	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁	・コンクリート			名称	単位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	普通作業員	人	0.88	0.54	1.6	諸雑費率	%	25	25	32	機械名	規格	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	名称	単位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	普通作業員	人	0.74	0.43	2.4	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 運転	日	1.6	1.8	7.8	諸雑費率	%	13	28	33	<p>5-3 養生工（特殊養生）</p> <p>5-3-1 適用範囲 本歩掛は、表5.5に示す施工パッケージ以外の河川、海岸、道路工事等における寒中コンクリートの養生に適用する。なお、養生方法は給熱養生を標準とし、異形ブロック製作における養生は、適用しない。</p> <p>表5.5 本歩掛が適用できない施工パッケージ</p> <table border="1" data-bbox="1424 451 2398 573"> <tr> <td>・ヒューム管（B形管）</td> <td>・函渠（1）</td> <td>・現場打基礎コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・天端コンクリート</td> <td>・小型擁壁</td> <td>・重力式擁壁</td> </tr> <tr> <td>・もたれ式擁壁</td> <td>・逆T型擁壁</td> <td>・L型擁壁</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>5-3-2 特殊養生工</p> <p>5-3-2-1 特殊養生工（練炭養生） 空港整備工事等における寒中コンクリートの養生に適用するものとし、養生方法は給熱養生を標準とする。 練炭による特殊養生歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表5.6 特殊養生歩掛（練炭養生） (10m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="1389 898 2430 1031"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> <th>小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>0.25</td> <td>0.15</td> <td>0.46</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>0.72</td> <td>0.44</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、練炭、コンロ、シート、養生マット、角材、パイプ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 養生のための足場は、別途計上する。</p> <p>5-3-2-2 特殊養生工（ジェットヒータ養生）</p> <p>(1) 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表5.7 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="1507 1329 2309 1482"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]</td> <td>[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 施工歩掛 ジェットヒータによる特殊養生歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表5.8 特殊養生歩掛（ジェットヒータ養生） (10m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="1380 1623 2439 1822"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> <th>小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>0.21</td> <td>0.12</td> <td>0.69</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>0.6</td> <td>0.35</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 運転</td> <td>日</td> <td>1.6</td> <td>1.8</td> <td>7.8</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td>11</td> <td>22</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ジェットヒータは賃料とする。 2. 諸雑費は、電力に関する経費、シート、養生マット、角材、パイプ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 養生のための足場は、別途計上する。</p>	・ヒューム管（B形管）	・函渠（1）	・現場打基礎コンクリート	・天端コンクリート	・小型擁壁	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁	・コンクリート			名称	単位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	土木一般世話役	人	0.25	0.15	0.46	普通作業員	〃	0.72	0.44	1.3	諸雑費率	%	19	20	26	機械名	規格	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	名称	単位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	土木一般世話役	人	0.21	0.12	0.69	普通作業員	〃	0.6	0.35	2.0	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 運転	日	1.6	1.8	7.8	諸雑費率	%	11	22	28	<p>第1部 第2編 2-3-9</p>	<p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p>
・ヒューム管（B形管）	・函渠（1）	・現場打基礎コンクリート																																																																																																																	
・天端コンクリート	・小型擁壁（B）	・重力式擁壁																																																																																																																	
・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁																																																																																																																	
・コンクリート																																																																																																																			
名称	単位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																																																																															
普通作業員	人	0.88	0.54	1.6																																																																																																															
諸雑費率	%	25	25	32																																																																																																															
機械名	規格																																																																																																																		
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油																																																																																																																		
名称	単位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																																																																															
普通作業員	人	0.74	0.43	2.4																																																																																																															
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 運転	日	1.6	1.8	7.8																																																																																																															
諸雑費率	%	13	28	33																																																																																																															
・ヒューム管（B形管）	・函渠（1）	・現場打基礎コンクリート																																																																																																																	
・天端コンクリート	・小型擁壁	・重力式擁壁																																																																																																																	
・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁																																																																																																																	
・コンクリート																																																																																																																			
名称	単位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																																																																															
土木一般世話役	人	0.25	0.15	0.46																																																																																																															
普通作業員	〃	0.72	0.44	1.3																																																																																																															
諸雑費率	%	19	20	26																																																																																																															
機械名	規格																																																																																																																		
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油																																																																																																																		
名称	単位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																																																																															
土木一般世話役	人	0.21	0.12	0.69																																																																																																															
普通作業員	〃	0.6	0.35	2.0																																																																																																															
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 運転	日	1.6	1.8	7.8																																																																																																															
諸雑費率	%	11	22	28																																																																																																															

誤	正	該当項	備 考																																																																																																																																																																																																																									
<p>(3) 運転時間 ジェットヒータによる特殊養生に要する施工機械運転日当り運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 5. 9 施工機械運転日当り運転時間 (h/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">無筋構造物</th> <th style="width: 20%;">鉄筋構造物</th> <th style="width: 30%;">小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 運転</td> <td style="text-align: center;">18.5</td> <td style="text-align: center;">15.2</td> <td style="text-align: center;">20.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ジェットヒータの運転時間当り燃料消費量は、灯油 3.6 ℓ/h とする。</p> <p>6. 単価表 (1) 圧送管組立、撤去費 10m³ 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 40%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">0.46×L/B</td> <td>表 5. 2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. Lは、コンクリートポンプ車から作業範囲 30m を超えた部分の圧送管延長とする。 2. Bは、コンクリートの標準日打設とする。 3. 設計日打設量が 10m³以上 100m³未満の場合は、標準日打設量を 69m³とする。 4. 設計日打設量が 100m³以上 500m³未満の場合は、標準日打設量を 280m³とする。</p> <p>(2) 養生工 (一般養生) 10m³ 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 40%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td></td> <td style="text-align: center;">表 5. 4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 養生工 (特殊養生・練炭) 10m³ 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 40%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td></td> <td style="text-align: center;">表 5. 6</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 養生工 (特殊養生・ジェットヒータ) 10m³ 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 40%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td></td> <td style="text-align: center;">表 5. 8</td> </tr> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]</td> <td>[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油</td> <td style="text-align: center;">日</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">機 械 名</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 20%;">適用単価表</th> <th style="width: 40%;">指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]</td> <td>[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油</td> <td style="text-align: center;">機-16</td> <td>燃料消費量→表 5. 9 機械賃料数量→1.20</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 運転	18.5	15.2	20.1	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人	0.46×L/B	表 5. 2	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表 5. 4	諸 雑 費		式	1	"	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表 5. 6	諸 雑 費		式	1	"	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表 5. 8	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	日		"	諸 雑 費		式	1	"	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	機-16	燃料消費量→表 5. 9 機械賃料数量→1.20	<p>(3) 運転時間 ジェットヒータによる特殊養生に要する施工機械運転日当り運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 5. 9 施工機械運転日当り運転時間 (h/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">無筋構造物</th> <th style="width: 20%;">鉄筋構造物</th> <th style="width: 30%;">小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 運転</td> <td style="text-align: center;">18.5</td> <td style="text-align: center;">15.2</td> <td style="text-align: center;">20.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ジェットヒータの運転時間当り燃料消費量は、灯油 3.6 ℓ/h とする。</p> <p>6. 単価表 (1) 圧送管組立、撤去費 10m³ 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 40%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">0.46×L/B</td> <td>表 5. 2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. Lは、コンクリートポンプ車から作業範囲 30m を超えた部分の圧送管延長とする。 2. Bは、コンクリートの標準日打設とする。 3. 設計日打設量が 10m³以上 100m³未満の場合は、標準日打設量を 69m³とする。 4. 設計日打設量が 100m³以上 500m³未満の場合は、標準日打設量を 280m³とする。</p> <p>(2) 養生工 (一般養生) 10m³ 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 40%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td></td> <td style="text-align: center;">表 5. 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 養生工 (特殊養生・練炭) 10m³ 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 40%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td></td> <td style="text-align: center;">表 5. 6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 養生工 (特殊養生・ジェットヒータ) 10m³ 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 40%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td></td> <td style="text-align: center;">表 5. 8</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]</td> <td>[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油</td> <td style="text-align: center;">日</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">機 械 名</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 20%;">適用単価表</th> <th style="width: 40%;">指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]</td> <td>[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油</td> <td style="text-align: center;">機-16</td> <td>燃料消費量→表 5. 9 機械賃料数量→1.20</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 運転	18.5	15.2	20.1	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人	0.46×L/B	表 5. 2	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表 5. 4	普通作業員		"		"	諸 雑 費		式	1	"	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表 5. 6	普通作業員		"		"	諸 雑 費		式	1	"	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表 5. 8	普通作業員		"		"	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	日		"	諸 雑 費		式	1	"	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	機-16	燃料消費量→表 5. 9 機械賃料数量→1.20	<p>第 1 部 第 2 編 2-3-10</p>	<p style="color: red;">記載の修正</p> <p style="color: red;">記載の修正</p> <p style="color: red;">記載の修正</p>
名 称	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																																																																																																																																																																																									
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 運転	18.5	15.2	20.1																																																																																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																								
普通作業員		人	0.46×L/B	表 5. 2																																																																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																								
普通作業員		人		表 5. 4																																																																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	"																																																																																																																																																																																																																								
計																																																																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																								
普通作業員		人		表 5. 6																																																																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	"																																																																																																																																																																																																																								
計																																																																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																								
普通作業員		人		表 5. 8																																																																																																																																																																																																																								
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	日		"																																																																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	"																																																																																																																																																																																																																								
計																																																																																																																																																																																																																												
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																																																																																																																																																									
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	機-16	燃料消費量→表 5. 9 機械賃料数量→1.20																																																																																																																																																																																																																									
名 称	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																																																																																																																																																																																									
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 運転	18.5	15.2	20.1																																																																																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																								
普通作業員		人	0.46×L/B	表 5. 2																																																																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																								
土木一般世話役		人		表 5. 4																																																																																																																																																																																																																								
普通作業員		"		"																																																																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	"																																																																																																																																																																																																																								
計																																																																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																								
土木一般世話役		人		表 5. 6																																																																																																																																																																																																																								
普通作業員		"		"																																																																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	"																																																																																																																																																																																																																								
計																																																																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																								
土木一般世話役		人		表 5. 8																																																																																																																																																																																																																								
普通作業員		"		"																																																																																																																																																																																																																								
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	日		"																																																																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	"																																																																																																																																																																																																																								
計																																																																																																																																																																																																																												
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																																																																																																																																																									
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	機-16	燃料消費量→表 5. 9 機械賃料数量→1.20																																																																																																																																																																																																																									

誤				正				該当項	備考				
<p>2. 舗装版種別でコンクリート+アスファルト（カバー）舗装版を選択した場合、コンクリート舗装版厚の選択肢は、コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版のうちのコンクリート舗装版のみの厚さとする。</p> <p>3. 舗装版切断時に発生する濁水処理費及び濁水処理に運搬が必要な場合は別途計上する。</p> <p>(2)代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p>				<p>2. 舗装版種別でコンクリート+アスファルト（カバー）舗装版を選択した場合、コンクリート舗装版厚の選択肢は、コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版のうちのコンクリート舗装版のみの厚さとする。</p> <p>3. 舗装版切断時に発生する濁水処理費及び濁水処理に運搬が必要な場合は別途計上する。</p> <p>(2)代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p>				第1部 第3編 3-1-16					
表3. 2 舗装版切断 代表機材規格一覧				表3. 2 舗装版切断 代表機材規格一覧									
舗装版種別	項目	代表機材規格	備考	舗装版種別	項目	代表機材規格	備考						
アスファルト 舗装版	機械	コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深 20cm 級 ブレード径 56cm	舗装版厚が 15cm 以下の場合	機械	K1	コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深 20cm 級 ブレード径 ϕ 56cm	舗装版厚が 15cm 以下の場合	記載の修正	記載の修正				
		コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 30cm 級 ブレード径 75cm	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合			コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 30cm 級 ブレード径 ϕ 75cm	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合						
		コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 40cm 級 ブレード径 96cm	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合			コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 40cm 級 ブレード径 ϕ 96cm	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合						
		K2 -				K2 -							
	K3 -				K3 -								
		R1 土木一般世話役				R1 土木一般世話役							
			R2 特殊作業員							R2 特殊作業員			
				R3 普通作業員								R3 普通作業員	
	R4 -						R4 -						
	コンクリート 舗装版	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 15cm 以下の場合	材料	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ			舗装版厚が 15cm 以下の場合			
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合			コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ			舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合			
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合			コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ			舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合			
			ガソリン レギュラー スタンド	舗装版厚が 15cm 以下の場合			ガソリン レギュラー スタンド			舗装版厚が 15cm 以下の場合			
		Z2	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合		Z2	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ			舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合			
コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ			舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ			舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合						
Z3		コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合	Z3		コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合						
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合			コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合						
Z4		ガソリン レギュラー スタンド	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合	Z4		ガソリン レギュラー スタンド	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合						
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合			コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合						
市場単価	S -			市場単価	S -								
コンクリート + アスファルト (カバー) 舗装版	機械	コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深 20cm 級 ブレード径 56cm	全体厚が 15cm 以下の場合	機械	K1	コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深 20cm 級 ブレード径 ϕ 56cm	全体厚が 15cm 以下の場合						
		コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 30cm 級 ブレード径 75cm	全体厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合			コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 30cm 級 ブレード径 ϕ 75cm	全体厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合						
		コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 40cm 級 ブレード径 96cm	全体厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合			コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 40cm 級 ブレード径 ϕ 96cm	全体厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合						
		K2 -				K2 -							
	K3 -				K3 -								
		R1 土木一般世話役				R1 土木一般世話役							
			R2 特殊作業員					R2 特殊作業員					
				R3 普通作業員						R3 普通作業員			
	R4 -						R4 -						
	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 15cm 以下の場合	材料	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 15cm 以下の場合						
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合			コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合						
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ	全体厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合			コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ	全体厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合						
		ガソリン レギュラー スタンド	舗装版厚が 15cm 以下の場合			ガソリン レギュラー スタンド	舗装版厚が 15cm 以下の場合						
		Z2	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ		舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合	Z2	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合					
コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ			舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合		コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ		舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合						
Z3		コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合		Z3	コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合						
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合			コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合						
Z4		ガソリン レギュラー スタンド	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合		Z4	ガソリン レギュラー スタンド	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合						
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合			コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合						
市場単価	S -			市場単価	S -								

誤	正	該当項	備考																																																																																																																																																																
<p>5. 単価表</p> <p>(1) 路面切削 100m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1人×100/D</td> <td>表4. 1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1人×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5人×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>路面切削機運転</td> <td>ホイール式(又はクローラ式) 2m級廃材積込装置付</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>路面清掃車運転</td> <td>ブラシ式 1.5m³ 四輪式</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4. 4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D : 日当り施工量</p> <p>(2) 廃材運搬 100m³当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>[オンロード・ディーゼル] 10 t 積級</td> <td>日</td> <td></td> <td>表 4. 3</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路面切削機</td> <td>ホイール式 2m級 廃材積込装置付</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 193 機械損料数量→1.43</td> </tr> <tr> <td>路面切断機</td> <td>クローラ式 2m級 廃材積込装置付</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 287 機械損料数量→1.43</td> </tr> <tr> <td>路面清掃車</td> <td>ブラシ式 1.5m³ 四輪式</td> <td>機-19</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 74 機械損料数量→1.80</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>[オンロード・ディーゼル] 10 t 積級</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 57 機械損料数量→1.00</td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人	1人×100/D	表4. 1	特殊作業員		〃	1人×100/D	〃	普通作業員		〃	5人×100/D	〃	路面切削機運転	ホイール式(又はクローラ式) 2m級廃材積込装置付	日	100/D	〃	路面清掃車運転	ブラシ式 1.5m ³ 四輪式	〃	100/D	〃	諸雑費		式	1	表4. 4	計					名称	規格	単位	数量	摘要	ダンプトラック運転	[オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	日		表 4. 3	諸雑費		式	1		計					機械名	規格	適用単価表	指定事項	路面切削機	ホイール式 2m級 廃材積込装置付	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 193 機械損料数量→1.43	路面切断機	クローラ式 2m級 廃材積込装置付	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 287 機械損料数量→1.43	路面清掃車	ブラシ式 1.5m ³ 四輪式	機-19	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 74 機械損料数量→1.80	ダンプトラック	[オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 57 機械損料数量→1.00	<p>5. 単価表</p> <p>(1) 路面切削 100m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1人×100/D</td> <td>表4. 1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1人×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5人×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>路面切削機運転</td> <td>ホイール式(第3次基準) 2m級廃材積込装置付 クローラ式 2m級廃材積込装置付</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>路面清掃車運転</td> <td>ブラシ式 1.5m³ 四輪式</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4. 4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D : 日当り施工量</p> <p>(2) 廃材運搬 100m³当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>[オンロード・ディーゼル] 10 t 積級</td> <td>日</td> <td></td> <td>表 4. 3</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路面切削機</td> <td>ホイール式(3次基準値) 2m級 廃材積込装置付</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 193 機械損料数量→1.43</td> </tr> <tr> <td>路面切断機</td> <td>クローラ式 2m級 廃材積込装置付</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 287 機械損料数量→1.43</td> </tr> <tr> <td>路面清掃車</td> <td>ブラシ式 1.5m³ 四輪式</td> <td>機-19</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 74 機械損料数量→1.80</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>[オンロード・ディーゼル] 10 t 積級</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 57 機械損料数量→1.00</td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人	1人×100/D	表4. 1	特殊作業員		〃	1人×100/D	〃	普通作業員		〃	5人×100/D	〃	路面切削機運転	ホイール式(第3次基準) 2m級廃材積込装置付 クローラ式 2m級廃材積込装置付	日	100/D	〃	路面清掃車運転	ブラシ式 1.5m ³ 四輪式	〃	100/D	〃	諸雑費		式	1	表4. 4	計					名称	規格	単位	数量	摘要	ダンプトラック運転	[オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	日		表 4. 3	諸雑費		式	1		計					機械名	規格	適用単価表	指定事項	路面切削機	ホイール式(3次基準値) 2m級 廃材積込装置付	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 193 機械損料数量→1.43	路面切断機	クローラ式 2m級 廃材積込装置付	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 287 機械損料数量→1.43	路面清掃車	ブラシ式 1.5m ³ 四輪式	機-19	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 74 機械損料数量→1.80	ダンプトラック	[オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 57 機械損料数量→1.00	<p>第1部 第3編 3-1-33</p>	<p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p>
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																															
土木一般世話役		人	1人×100/D	表4. 1																																																																																																																																																															
特殊作業員		〃	1人×100/D	〃																																																																																																																																																															
普通作業員		〃	5人×100/D	〃																																																																																																																																																															
路面切削機運転	ホイール式(又はクローラ式) 2m級廃材積込装置付	日	100/D	〃																																																																																																																																																															
路面清掃車運転	ブラシ式 1.5m ³ 四輪式	〃	100/D	〃																																																																																																																																																															
諸雑費		式	1	表4. 4																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																			
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																															
ダンプトラック運転	[オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	日		表 4. 3																																																																																																																																																															
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																			
機械名	規格	適用単価表	指定事項																																																																																																																																																																
路面切削機	ホイール式 2m級 廃材積込装置付	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 193 機械損料数量→1.43																																																																																																																																																																
路面切断機	クローラ式 2m級 廃材積込装置付	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 287 機械損料数量→1.43																																																																																																																																																																
路面清掃車	ブラシ式 1.5m ³ 四輪式	機-19	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 74 機械損料数量→1.80																																																																																																																																																																
ダンプトラック	[オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 57 機械損料数量→1.00																																																																																																																																																																
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																															
土木一般世話役		人	1人×100/D	表4. 1																																																																																																																																																															
特殊作業員		〃	1人×100/D	〃																																																																																																																																																															
普通作業員		〃	5人×100/D	〃																																																																																																																																																															
路面切削機運転	ホイール式(第3次基準) 2m級廃材積込装置付 クローラ式 2m級廃材積込装置付	日	100/D	〃																																																																																																																																																															
路面清掃車運転	ブラシ式 1.5m ³ 四輪式	〃	100/D	〃																																																																																																																																																															
諸雑費		式	1	表4. 4																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																			
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																															
ダンプトラック運転	[オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	日		表 4. 3																																																																																																																																																															
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																			
機械名	規格	適用単価表	指定事項																																																																																																																																																																
路面切削機	ホイール式(3次基準値) 2m級 廃材積込装置付	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 193 機械損料数量→1.43																																																																																																																																																																
路面切断機	クローラ式 2m級 廃材積込装置付	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 287 機械損料数量→1.43																																																																																																																																																																
路面清掃車	ブラシ式 1.5m ³ 四輪式	機-19	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 74 機械損料数量→1.80																																																																																																																																																																
ダンプトラック	[オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 57 機械損料数量→1.00																																																																																																																																																																

誤					正					該当項	備考
(9) インナーバイブレータ運転1時間当り					(9) インナーバイブレータ運転1時間当り					第1部 第3編 3-2-32	
名称	形状寸法	単位	数量	摘要	名称	形状寸法	単位	数量	摘要		
			3.5~8.5m					3.5~8.5m			
主燃料	軽油	ℓ			主燃料	軽油	ℓ				
運転手(特殊)		人			運転手(特殊)		人				
損料		h	1		損料		h	1			
諸雑費		式	1		諸雑費		式	1			
(10) 振動目地切機運転1日当り					(10) 振動目地切機運転1日当り						
運転2時間					運転2時間						
名称	形状寸法	単位	数量	摘要	名称	形状寸法	単位	数量	摘要		
			3.5~8.5m					3.5~8.5m			
主燃料	ガソリン	ℓ			主燃料	ガソリン	ℓ				
特殊作業員		人	0.5		特殊作業員		人	0.5			
損料		日	1		損料		日	1			
諸雑費		式	1		諸雑費		式	1			
(11) トラック(クレーン付)運転1時間当り					(11) トラック(クレーン付)運転1時間当り						
名称	形状寸法	単位	数量	摘要	名称	形状寸法	単位	数量	摘要		
			4t積 2t吊					4t積 2t吊			
主燃料	軽油	ℓ			主燃料	軽油	ℓ				
運転手(特殊)		人			運転手(特殊)		人				
損料		h	1		損料		h	1			
諸雑費		式	1		諸雑費		式	1			
(12) アスファルトディストリビュータ(自走式)運転1日当り					(12) アスファルトディストリビュータ運転1日当り						
運転4.3時間					運転4.3時間						
名称	形状寸法	単位	数量	摘要	名称	形状寸法	単位	数量	摘要		
			2,000~3,000ℓ		主燃料	軽油	ℓ		ディストリビュータ自走式 (トラック架装式) +トラック(普通型)		
主燃料	軽油	ℓ			運転手(一般)		人	1			
運転手(一般)		人	1		損料	ディストリビュータ 自走式(トラック架装式) タンク容量2,000~3,000ℓ	日	1			
損料		日	1		損料	トラック(普通型)4~4.5t積	h	4.3			
諸雑費		式	1		諸雑費		式	1			
(注) ディストリビュータの運転日当り運転時間(T)は、4.3h/日とする。					(注) ディストリビュータの運転日当り運転時間(T)は、4.3h/日とする。						

記載の修正

誤				正				該当項	備考			
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。				(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。				第1部 第3編 3-2-37				
表3.4 プライムコート(アスファルト舗装工) 代表機労材規格				表3.4 プライムコート(アスファルト舗装工) 代表機労材規格								
施工機械	項目	代表機労材規格		備考	施工機械	項目	代表機労材規格			備考		
アスファルト ディストリビュータ 砂計上有り	機械	K1	ディストリビュータ 自走式 タンク容量 2,000~3,000ℓ			機械	K1			ディストリビュータ 自走式 タンク容量 2,000~3,000ℓ		
		K2	-				K2			トラック(普通型)4~4.5t積		
		K3	-				K3			-		
	労務	R1	普通作業員			労務	R1			普通作業員		
		R2	運転手(一般)				R2			運転手(一般)		
		R3	-				R3			-		
		R4	-				R4			-		
	材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			材料	Z1			軽油 1.2号 パトロール給油		
		Z2	-				Z2			-		
		Z3	-				Z3	-				
		Z4	-				Z4	-				
	市場単価	S	-			市場単価	S	-				
	アスファルト ディストリビュータ 砂計上無し	機械	K1	ディストリビュータ 自走式 タンク容量 2,000~3,000ℓ			機械	K1	ディストリビュータ 自走式 タンク容量 2,000~3,000ℓ			
K2			-			K2		トラック(普通型)4~4.5t積				
K3			-			K3		-				
労務		R1	運転手(一般)			労務	R1	運転手(一般)				
		R2	-				R2	-				
		R3	-				R3	-				
		R4	-				R4	-				
材料		Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油				
		Z2	-				Z2	-				
		Z3	-				Z3	-				
		Z4	-				Z4	-				
市場単価		S	-			市場単価	S	-				
アスファルトスプレヤ +トラック		機械	K1	トラック 普通型 2t積			機械	K1	トラック 普通型 2t積			
	K2		アスファルトスプレヤ 手押し式 散布能力 250/min			K2		アスファルトスプレヤ 手押し式 散布能力 250/min				
	K3		-			K3		-				
	労務	R1	普通作業員			労務	R1	普通作業員				
		R2	特殊作業員				R2	特殊作業員				
		R3	運転手(一般)				R3	運転手(一般)				
		R4	-				R4	-				
	材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油				
		Z2	ガソリン レギュラー				Z2	ガソリン レギュラー				
		Z3	-				Z3	-				
		Z4	-				Z4	-				
	市場単価	S	-			市場単価	S	-				

記載の修正

記載の修正

誤				正				該当項	備考																																																																																																																																																																												
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.6 タックコート 代表機材規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工機械</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">アスファルト ディストリビュータ</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>ディストリビュータ 自走式 タンク容量 2,000~3,000ℓ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手 (一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="13">アスファルトスプレヤ +トラック</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>トラック 普通型 2t積</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>アスファルトスプレヤ 手押し式 散布能力 25ℓ/min</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手 (一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>ガソリン レギュラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				施工機械	項目	代表機材規格	備考	アスファルト ディストリビュータ	機械	K1	ディストリビュータ 自走式 タンク容量 2,000~3,000ℓ		K2	-		K3	-		労務	R1	運転手 (一般)		R2	-		R3	-		R4	-		材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		Z2	-		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		アスファルトスプレヤ +トラック	機械	K1	トラック 普通型 2t積		K2	アスファルトスプレヤ 手押し式 散布能力 25ℓ/min		K3	-		労務	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	運転手 (一般)		R4	-		材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		Z2	ガソリン レギュラー		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.6 タックコート 代表機材規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工機械</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">アスファルト ディストリビュータ</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>ディストリビュータ 自走式 タンク容量 2,000~3,000ℓ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>トラック(普通型)4~4.5t積</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手 (一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="13">アスファルトスプレヤ +トラック</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>トラック 普通型 2t積</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>アスファルトスプレヤ 手押し式 散布能力 25ℓ/min</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手 (一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>ガソリン レギュラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				施工機械	項目	代表機材規格	備考	アスファルト ディストリビュータ	機械	K1	ディストリビュータ 自走式 タンク容量 2,000~3,000ℓ		K2	トラック(普通型)4~4.5t積		K3	-		労務	R1	運転手 (一般)		R2	-		R3	-		R4	-		材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		Z2	-		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		アスファルトスプレヤ +トラック	機械	K1	トラック 普通型 2t積		K2	アスファルトスプレヤ 手押し式 散布能力 25ℓ/min		K3	-		労務	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	運転手 (一般)		R4	-		材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		Z2	ガソリン レギュラー		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		第1部 第3編 3-2-39	記載の修正
施工機械	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																		
アスファルト ディストリビュータ	機械	K1	ディストリビュータ 自走式 タンク容量 2,000~3,000ℓ																																																																																																																																																																																		
		K2	-																																																																																																																																																																																		
		K3	-																																																																																																																																																																																		
	労務	R1	運転手 (一般)																																																																																																																																																																																		
		R2	-																																																																																																																																																																																		
		R3	-																																																																																																																																																																																		
		R4	-																																																																																																																																																																																		
	材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																																																																																																																		
		Z2	-																																																																																																																																																																																		
		Z3	-																																																																																																																																																																																		
		Z4	-																																																																																																																																																																																		
	市場単価	S	-																																																																																																																																																																																		
	アスファルトスプレヤ +トラック	機械	K1	トラック 普通型 2t積																																																																																																																																																																																	
K2			アスファルトスプレヤ 手押し式 散布能力 25ℓ/min																																																																																																																																																																																		
K3			-																																																																																																																																																																																		
労務		R1	普通作業員																																																																																																																																																																																		
		R2	特殊作業員																																																																																																																																																																																		
		R3	運転手 (一般)																																																																																																																																																																																		
		R4	-																																																																																																																																																																																		
材料		Z1	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																																																																																																																		
		Z2	ガソリン レギュラー																																																																																																																																																																																		
		Z3	-																																																																																																																																																																																		
		Z4	-																																																																																																																																																																																		
市場単価		S	-																																																																																																																																																																																		
施工機械		項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																	
アスファルト ディストリビュータ	機械	K1	ディストリビュータ 自走式 タンク容量 2,000~3,000ℓ																																																																																																																																																																																		
		K2	トラック(普通型)4~4.5t積																																																																																																																																																																																		
		K3	-																																																																																																																																																																																		
	労務	R1	運転手 (一般)																																																																																																																																																																																		
		R2	-																																																																																																																																																																																		
		R3	-																																																																																																																																																																																		
		R4	-																																																																																																																																																																																		
	材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																																																																																																																		
		Z2	-																																																																																																																																																																																		
		Z3	-																																																																																																																																																																																		
		Z4	-																																																																																																																																																																																		
	市場単価	S	-																																																																																																																																																																																		
	アスファルトスプレヤ +トラック	機械	K1	トラック 普通型 2t積																																																																																																																																																																																	
K2			アスファルトスプレヤ 手押し式 散布能力 25ℓ/min																																																																																																																																																																																		
K3			-																																																																																																																																																																																		
労務		R1	普通作業員																																																																																																																																																																																		
		R2	特殊作業員																																																																																																																																																																																		
		R3	運転手 (一般)																																																																																																																																																																																		
		R4	-																																																																																																																																																																																		
材料		Z1	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																																																																																																																		
		Z2	ガソリン レギュラー																																																																																																																																																																																		
		Z3	-																																																																																																																																																																																		
		Z4	-																																																																																																																																																																																		
市場単価		S	-																																																																																																																																																																																		
<p>(3) 単価表 1) 既設アスファルト舗装 アスファルトディストリビュータ 1,000m²当り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>瀝青材料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>345</td> <td>0.3ℓ/m² × (1+ロス率) ×1,000m² = 345ℓ</td> </tr> <tr> <td>タックコート</td> <td></td> <td>m²</td> <td>1,000</td> <td>施工パッケージ単価</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>瀝青材料の2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 新設 アスファルトディストリビュータ 1,000m²当り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>瀝青材料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>230</td> <td>0.2ℓ/m² × (1+ロス率) ×1,000m² = 230ℓ</td> </tr> <tr> <td>タックコート</td> <td></td> <td>m²</td> <td>1,000</td> <td>施工パッケージ単価</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>瀝青材料の2%</td> </tr> </tbody> </table>				名称	形状寸法	単位	数量	摘要	瀝青材料		ℓ	345	0.3ℓ/m ² × (1+ロス率) ×1,000m ² = 345ℓ	タックコート		m ²	1,000	施工パッケージ単価	諸雑費		式	1	瀝青材料の2%	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	瀝青材料		ℓ	230	0.2ℓ/m ² × (1+ロス率) ×1,000m ² = 230ℓ	タックコート		m ²	1,000	施工パッケージ単価	諸雑費		式	1	瀝青材料の2%	<p>(3) 単価表 1) 既設アスファルト舗装 アスファルトディストリビュータ 1,000m²当り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>瀝青材料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>345</td> <td>0.3ℓ/m² × (1+ロス率) ×1,000m² = 345ℓ</td> </tr> <tr> <td>タックコート</td> <td></td> <td>m²</td> <td>1,000</td> <td>施工パッケージ単価</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>瀝青材料の2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 新設 アスファルトディストリビュータ 1,000m²当り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>瀝青材料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>230</td> <td>0.2ℓ/m² × (1+ロス率) ×1,000m² = 230ℓ</td> </tr> <tr> <td>タックコート</td> <td></td> <td>m²</td> <td>1,000</td> <td>施工パッケージ単価</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>瀝青材料の2%</td> </tr> </tbody> </table>				名称	形状寸法	単位	数量	摘要	瀝青材料		ℓ	345	0.3ℓ/m ² × (1+ロス率) ×1,000m ² = 345ℓ	タックコート		m ²	1,000	施工パッケージ単価	諸雑費		式	1	瀝青材料の2%	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	瀝青材料		ℓ	230	0.2ℓ/m ² × (1+ロス率) ×1,000m ² = 230ℓ	タックコート		m ²	1,000	施工パッケージ単価	諸雑費		式	1	瀝青材料の2%																																																																																														
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																	
瀝青材料		ℓ	345	0.3ℓ/m ² × (1+ロス率) ×1,000m ² = 345ℓ																																																																																																																																																																																	
タックコート		m ²	1,000	施工パッケージ単価																																																																																																																																																																																	
諸雑費		式	1	瀝青材料の2%																																																																																																																																																																																	
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																	
瀝青材料		ℓ	230	0.2ℓ/m ² × (1+ロス率) ×1,000m ² = 230ℓ																																																																																																																																																																																	
タックコート		m ²	1,000	施工パッケージ単価																																																																																																																																																																																	
諸雑費		式	1	瀝青材料の2%																																																																																																																																																																																	
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																	
瀝青材料		ℓ	345	0.3ℓ/m ² × (1+ロス率) ×1,000m ² = 345ℓ																																																																																																																																																																																	
タックコート		m ²	1,000	施工パッケージ単価																																																																																																																																																																																	
諸雑費		式	1	瀝青材料の2%																																																																																																																																																																																	
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																	
瀝青材料		ℓ	230	0.2ℓ/m ² × (1+ロス率) ×1,000m ² = 230ℓ																																																																																																																																																																																	
タックコート		m ²	1,000	施工パッケージ単価																																																																																																																																																																																	
諸雑費		式	1	瀝青材料の2%																																																																																																																																																																																	

誤					正					該当項	備考						
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3.15 上層路盤(車道・路肩部) 代表機材規格一覧					(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3.15 上層路盤(車道・路肩部) 代表機材規格一覧					第1部 第3編 3-3-9							
材料	平均幅員	項目	代表機材規格		備考	材料	平均幅員	項目	代表機材規格		備考						
瀝青安定 処理材	1.4m未 満	機械	K1	振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t		1.4m未 満	機械	K1	振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t		1.4m未 満	機械	K1	振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t			
			K2	振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60kg				K2	振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60kg				K2	振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60kg			
			K3	-				K3	-				K3	-			
		労務	R1	特殊作業員			1.4m未 満	労務	R1	特殊作業員			1.4m未 満	労務	R1	特殊作業員	
			R2	普通作業員					R2	普通作業員					R2	普通作業員	
			R3	土木一般世話役					R3	土木一般世話役					R3	土木一般世話役	
			R4	-					R4	-					R4	-	
		材料	Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)			1.4m未 満	材料	Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)			1.4m未 満	材料	Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)	
			Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合				Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合				Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合
			Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合				Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合				Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合
			Z4	軽油 1.2号 パトロール給油					Z4	軽油 1.2号 パトロール給油					Z4	軽油 1.2号 パトロール給油	
		市場単価	S	-			市場単価	S	-			市場単価	S	-			
		1.4m以 上3.0m 以下	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 舗装幅1.4~3.0m	賃料	1.4m以 上3.0m 以下	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型(2014年規制)] 舗装幅1.4~3.0m	賃料	1.4m以 上3.0m 以下	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型(2014年規制)] 舗装幅1.4~3.0m	賃料	
				K2	振動ローラ [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料				K2	振動ローラ [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量 3~4t			賃料		K2	振動ローラ [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量 3~4t
	K3			タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料				K3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料				K3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料
	労務		R1	普通作業員			1.4m以 上3.0m 以下	労務	R1	普通作業員			1.4m以 上3.0m 以下	労務	R1	普通作業員	
			R2	特殊作業員					R2	特殊作業員					R2	特殊作業員	
			R3	運転手(特殊)					R3	運転手(特殊)					R3	運転手(特殊)	
			R4	土木一般世話役					R4	土木一般世話役					R4	土木一般世話役	
	材料		Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)			1.4m以 上3.0m 以下	材料	Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)			1.4m以 上3.0m 以下	材料	Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)	
			Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合				Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合				Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合
			Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合				Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合				Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合
			Z4	軽油 1.2号 パトロール給油					Z4	軽油 1.2号 パトロール給油					Z4	軽油 1.2号 パトロール給油	
	市場単価		S	-			市場単価	S	-			市場単価	S	-			
	3.0mを 超え		機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型(2011年規制)] 舗装幅2.3~6.0m	賃料	3.0mを 超え	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型(2014年規制)] 舗装幅2.3~6.0m	賃料	3.0mを 超え	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型(2014年規制)] 舗装幅2.3~6.0m	賃料	
		K2		ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅2.1m	賃料				K2	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅2.1m	賃料				K2	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅2.1m	賃料
		K3		タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型(2011年規制)] 運転質量 13t	賃料				K3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型(2011年規制)] 運転質量 13t	賃料				K3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型(2011年規制)] 運転質量 13t	賃料
労務		R1	普通作業員			3.0mを 超え	労務	R1	普通作業員			3.0mを 超え	労務	R1	普通作業員		
		R2	特殊作業員					R2	特殊作業員					R2	特殊作業員		
		R3	運転手(特殊)					R3	運転手(特殊)					R3	運転手(特殊)		
		R4	土木一般世話役					R4	土木一般世話役					R4	土木一般世話役		
材料		Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)			3.0mを 超え	材料	Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)			3.0mを 超え	材料	Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)		
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合				Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合				Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	
		Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合				Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合				Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	
	Z4	軽油 1.2号 パトロール給油			Z4			軽油 1.2号 パトロール給油			Z4			軽油 1.2号 パトロール給油			
市場単価	S	-			市場単価	S	-			市場単価	S	-					

記載の修正

記載の修正

誤				正				該当項	備考	
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。				(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。				第1部 第3編 3-3-23		
表3.4 基層(車道・路肩部) 中間層(車道・路肩部) 代表機材規格一覧				表3.4 基層(車道・路肩部) 中間層(車道・路肩部) 代表機材規格一覧						
平均幅員	項目	代表機材規格		備考	平均幅員	項目	代表機材規格		備考	
1.4m未満	機械	K1	振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t			機械	K1	振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t		
		K2	振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60kg				K2	振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60kg		
		K3	-				K3	-		
	労務	R1	特殊作業員			労務	R1	特殊作業員		
		R2	普通作業員				R2	普通作業員		
		R3	土木一般世話役				R3	土木一般世話役		
		R4	-				R4	-		
	材料	Z1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)		標準締固め後密度 2.35 t/m ³	材料	Z1	再生粗粒度アスコン (20)		標準締固め後密度 2.35 t/m ³
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)		標準締固め後密度 2.30 t/m ³			細粒度アスコン (13)		標準締固め後密度 2.30 t/m ³
			アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)		標準締固め後密度 1.94 t/m ³			開粒度アスコン (13)		標準締固め後密度 1.94 t/m ³
			再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)		標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50 t/m ³ 未満)			再生粗粒度アスコン (20)		標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50 t/m ³ 未満)
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		プライムコートの場合	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		プライムコートの場合	
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用		タックコートの場合		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用		タックコートの場合	
		Z3	ガソリン レギュラー スタンド			Z3	ガソリン レギュラー スタンド			
Z4		軽油 1.2号 パトロール給油			Z4	軽油 1.2号 パトロール給油				
市場単価	S	-			市場単価	S	-			
1.4m以上 3.0m以下	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 舗装幅1.4~3.0m		賃料	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・ 低騒音型 ・排出ガス対策型 (2014年規制)] 舗装幅1.4~3.0m		賃料
		K2	振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t		賃料		K2	振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t		賃料
		K3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t		賃料		K3	タイヤローラ [普通型・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t		賃料
	労務	R1	普通作業員			労務	R1	普通作業員		
		R2	特殊作業員				R2	特殊作業員		
		R3	運転手(特殊)				R3	運転手(特殊)		
		R4	土木一般世話役				R4	土木一般世話役		
	材料	Z1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)		標準締固め後密度 2.35 t/m ³	材料	Z1	再生粗粒度アスコン (20)		標準締固め後密度 2.35 t/m ³
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)		標準締固め後密度 2.30 t/m ³			細粒度アスコン (13)		標準締固め後密度 2.30 t/m ³
			アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)		標準締固め後密度 1.94 t/m ³			開粒度アスコン (13)		標準締固め後密度 1.94 t/m ³
			再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)		標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50 t/m ³ 未満)			再生粗粒度アスコン (20)		標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50 t/m ³ 未満)
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		プライムコートの場合	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		プライムコートの場合	
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用		タックコートの場合		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用		タックコートの場合	
		Z3	軽油 1.2号 パトロール給油			Z3	軽油 1.2号 パトロール給油			
Z4		-			Z4	-				
市場単価	S	-			市場単価	S	-			

記載の修正

記載の修正

記載の修正

誤				正				該当項	備考	
平均幅員	項目	代表機材規格	備考	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	第1部 第3編 3-3-24	記載の修正	
3.0mを 超え	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 舗装幅2.3~6.0m	賃料	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・ 低騒音型 ・排出ガス対策型 (2014年規制)] 舗装幅2.3~6.0m			賃料
		K2	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅2.1m	賃料		K2	ロードローラ [マカダム・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅2.1m			賃料
		K3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t	賃料		K3	タイヤローラ [普通型・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t			賃料
	労務	R1	普通作業員		労務	R1	普通作業員			
		R2	特殊作業員			R2	特殊作業員			
		R3	運転手 (特殊)			R3	運転手 (特殊)			
		R4	土木一般世話役			R4	土木一般世話役			
	材料	Z1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.35 t/m ³	材料	Z1	再生粗粒度 アスコン (20)			標準締固め後密度 2.35 t/m ³
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.30 t/m ³			細粒度 アスコン (13)			標準締固め後密度 2.30 t/m ³
			アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 1.94 t/m ³			開粒度 アスコン (13)			標準締固め後密度 1.94 t/m ³
			再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50 t/m ³ 未満)			再生粗粒度 アスコン (20)			標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50 t/m ³ 未満)
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合			
		Z3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	軽油 1.2号 バトロール給油				
		Z4	-		Z4	-				
		市場単価	S	-		市場単価	S			-

記載の修正

誤				正				該当項	備考	
表3.5 表層(車道・路肩部)代表機労材規格一覧				表3.5 表層(車道・路肩部)代表機労材規格一覧						
平均幅員	項目	代表機労材規格		備考	平均幅員	項目	代表機労材規格		備考	
1.4m未満	機械	K1	振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t			機械	K1	振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t		
		K2	振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60kg				K2	振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60kg		
		K3	-				K3	-		
	労務	R1	特殊作業員			労務	R1	特殊作業員		
		R2	普通作業員				R2	普通作業員		
		R3	土木一般世話役				R3	土木一般世話役		
		R4	-				R4	-		
	材料	Z1	アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)		標準締固め後密度 2.35 t/m ³	材料	Z1	密粒度アスコン (20)		標準締固め後密度 2.35 t/m ³
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)		標準締固め後密度 2.30 t/m ³			細粒度アスコン (13)		標準締固め後密度 2.30 t/m ³
			アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)		標準締固め後密度 1.94 t/m ³			開粒度アスコン (13)		標準締固め後密度 1.94 t/m ³
			アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)		標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50 t/m ³ 未満)			密粒度アスコン (20)		標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50 t/m ³ 未満)
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		プライムコートの場合	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		プライムコートの場合	
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用		タックコートの場合		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用		タックコートの場合	
		Z3	ガソリン レギュラー スタンド			Z3	ガソリン レギュラー スタンド			
Z4		軽油 1.2号 パトロール給油			Z4	軽油 1.2号 パトロール給油				
市場単価	S	-			市場単価	S	-			
1.4m以上 3.0m以下	機械	K1	アスファルトフィニッシャ [ホイール型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 舗装幅 1.4~3.0m		賃料	機械	K1	アスファルトフィニッシャ [ホイール型・ 低騒音型 ・排出ガス対策型 (2014年規制)] 舗装幅 1.4~3.0m		賃料
		K2	振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t		賃料		K2	振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t		賃料
		K3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t		賃料		K3	タイヤローラ [普通型・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t		賃料
	労務	R1	普通作業員			労務	R1	普通作業員		
		R2	特殊作業員				R2	特殊作業員		
		R3	運転手(特殊)				R3	運転手(特殊)		
		R4	土木一般世話役				R4	土木一般世話役		
	材料	Z1	アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)		標準締固め後密度 2.35 t/m ³	材料	Z1	密粒度アスコン (20)		標準締固め後密度 2.35 t/m ³
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)		標準締固め後密度 2.30 t/m ³			細粒度アスコン (13)		標準締固め後密度 2.30 t/m ³
			アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)		標準締固め後密度 1.94 t/m ³			開粒度アスコン (13)		標準締固め後密度 1.94 t/m ³
			アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)		標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50 t/m ³ 未満)			密粒度アスコン (20)		標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50 t/m ³ 未満)
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		プライムコートの場合	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		プライムコートの場合	
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用		タックコートの場合		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用		タックコートの場合	
		Z3	軽油 1.2号 パトロール給油			Z3	軽油 1.2号 パトロール給油			
Z4		-			Z4	-				
市場単価	S	-			市場単価	S	-			

第1部
第3編
3-3-25

記載の修正

記載の修正

記載の修正

誤				正				該当項	備考
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。				(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。				第1部 第3編 3-3-28	
表3.8 基層(歩道部)中間層(歩道部)代表機材規格一覧				表3.8 基層(歩道部)中間層(歩道部)代表機材規格一覧					
平均幅員	項目	代表機材規格	備考	平均幅員	項目	代表機材規格	備考		
1.4m未満	機械	K1	振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t		1.4m未満	機械	K1	振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t	
		K2	振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60kg				K2	振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60kg	
		K3	-				K3	-	
	労務	R1	特殊作業員		1.4m未満	労務	R1	特殊作業員	
		R2	普通作業員				R2	普通作業員	
		R3	土木一般世話役				R3	土木一般世話役	
		R4	-				R4	-	
	材料	Z1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20 t/m ³	1.4m未満	材料	Z1	再生粗粒度アスコン (20)	標準締固め後密度 2.20 t/m ³
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15 t/m ³				細粒度アスコン (13)	標準締固め後密度 2.15 t/m ³
			再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種(1.90以上2.40t/m ³ 未満)				再生粗粒度アスコン (20)	標準締固め後密度 各種(1.90以上2.40t/m ³ 未満)
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	1.4m未満	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	
		Z3	ガソリン レギュラー スタンド		1.4m未満	Z3	ガソリン レギュラー スタンド		
	Z4	軽油 1.2号 パトロール給油		1.4m未満	Z4	軽油 1.2号 パトロール給油			
市場単価	S	-		市場単価	S	-			
1.4m以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャ [クローラ型] 舗装幅 1.4~3.0m		1.4m以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャ [クローラ型] 舗装幅 1.4~3.0m	
		K2	振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料			K2	振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運 転質量 3~4t	賃料
		K3	-				K3	-	
	労務	R1	普通作業員		1.4m以上	労務	R1	普通作業員	
		R2	特殊作業員				R2	特殊作業員	
		R3	運転手(特殊)				R3	運転手(特殊)	
		R4	土木一般世話役				R4	土木一般世話役	
	材料	Z1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20 t/m ³	1.4m以上	材料	Z1	再生粗粒度アスコン (20)	標準締固め後密度 2.20 t/m ³
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15 t/m ³				細粒度アスコン (13)	標準締固め後密度 2.15 t/m ³
			再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種(1.90以上2.40t/m ³ 未満)				再生粗粒度アスコン (20)	標準締固め後密度 各種(1.90以上2.40t/m ³ 未満)
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	1.4m以上	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	
		Z3	軽油 1.2号 パトロール給油		1.4m以上	Z3	軽油 1.2号 パトロール給油		
	Z4	-		1.4m以上	Z4	-			
市場単価	S	-		市場単価	S	-			

記載の修正

記載の修正

記載の修正

誤				正				該当項	備考
表3.9 表層(歩道部) 代表機材規格一覧				表3.9 表層(歩道部) 代表機材規格一覧					
平均幅員	項目	代表機材規格	備考	平均幅員	項目	代表機材規格	備考		
1.4m未満	機械	K1	振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t		機械	K1	振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t		
		K2	振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60kg			K2	振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60kg		
		K3	-			K3	-		
	労務	R1	特殊作業員		労務	R1	特殊作業員		
		R2	普通作業員			R2	普通作業員		
		R3	土木一般世話役			R3	土木一般世話役		
		R4	-			R4	-		
	材料	Z1	再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.20 t/m ³	材料	Z1	再生密粒度 7スコン (13)	標準締固め後密度 2.20 t/m ³	
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15 t/m ³			細粒度 7スコン (13)	標準締固め後密度 2.15 t/m ³	
			再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.40 t/m ³ 未満)			再生密粒度 7スコン (13)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.40 t/m ³ 未満)	
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合		
		Z3	ガソリン レギュラー スタンド		Z3	ガソリン レギュラー スタンド			
		Z4	軽油 1.2号 パトロール給油		Z4	軽油 1.2号 パトロール給油			
	市場単価	S	-		市場単価	S	-		
1.4m以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャ [クローラ型] 舗装幅 1.4~3.0m		機械	K1	アスファルトフィニッシャ [クローラ型] 舗装幅 1.4~3.0m		
		K2	振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量3 ~4 t	賃料		K2	振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量3~4 t	賃料	
		K3	-			K3	-		
	労務	R1	普通作業員		労務	R1	普通作業員		
		R2	特殊作業員			R2	特殊作業員		
		R3	運転手(特殊)			R3	運転手(特殊)		
		R4	土木一般世話役			R4	土木一般世話役		
	材料	Z1	再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.20 t/m ³	材料	Z1	再生密粒度 7スコン (13)	標準締固め後密度 2.20 t/m ³	
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15 t/m ³			細粒度 7スコン (13)	標準締固め後密度 2.15 t/m ³	
			再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.40 t/m ³ 未満)			再生密粒度 7スコン (13)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.40 t/m ³ 未満)	
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合		
		Z3	軽油 1.2号 パトロール給油		Z3	軽油 1.2号 パトロール給油			
		Z4	-		Z4	-			
	市場単価	S	-		市場単価	S	-		

第1部
第3編
3-3-29

記載の修正

記載の修正

記載の修正

誤	正	該当項	備考																																																																																																						
<p>3-3 アスカーブ (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 アスカーブ 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">断面積</th> <th style="width: 50%;">材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>125cm²以上 140cm²未満</td><td rowspan="10" style="text-align: center;">(表3.11)</td></tr> <tr><td>140cm²以上 155cm²未満</td></tr> <tr><td>155cm²以上 175cm²未満</td></tr> <tr><td>175cm²以上 195cm²未満</td></tr> <tr><td>195cm²以上 215cm²未満</td></tr> <tr><td>215cm²以上 235cm²未満</td></tr> <tr><td>235cm²以上 255cm²未満</td></tr> <tr><td>255cm²以上 280cm²未満</td></tr> <tr><td>280cm²以上 300cm²未満</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、アスカーブ設置の他、瀝青材、瀝青材の散布及び加熱燃料等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. アスファルト混合物の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.09）</p> <p style="text-align: center;">表3.11 材料</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">材料</td> <td>細粒度アスファルト混合物(13)</td> </tr> <tr> <td>細粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>再生細粒度アスファルト混合物(13)</td> </tr> <tr> <td>再生細粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>各種（締固め後密度 2.10 t/m³）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.12 アスカーブ 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">代表機労材規格</th> <th style="width: 80%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む</td> </tr> <tr> <td>K2 アスファルトカーバ [ガソリンエンジン駆動式]能力 4.0~4.5m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手（一般）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 再生アスファルト混合物 再生細粒度 AS 混合物 (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	断面積	材料	125cm ² 以上 140cm ² 未満	(表3.11)	140cm ² 以上 155cm ² 未満	155cm ² 以上 175cm ² 未満	175cm ² 以上 195cm ² 未満	195cm ² 以上 215cm ² 未満	215cm ² 以上 235cm ² 未満	235cm ² 以上 255cm ² 未満	255cm ² 以上 280cm ² 未満	280cm ² 以上 300cm ² 未満	積算条件	区分	材料	細粒度アスファルト混合物(13)	細粒度アスファルト混合物(13F)	再生細粒度アスファルト混合物(13)	再生細粒度アスファルト混合物(13F)	各種（締固め後密度 2.10 t/m ³ ）	項目	代表機労材規格	備考	機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む	K2 アスファルトカーバ [ガソリンエンジン駆動式]能力 4.0~4.5m ³ /h		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 土木一般世話役		R3 特殊作業員		R4 運転手（一般）		材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生細粒度 AS 混合物 (13)		Z2 軽油 1.2号 パトロール給油		Z3 ガソリン レギュラー スタンド		Z4 -		市場単価	S -		<p>3-3 アスカーブ (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 アスカーブ 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">断面積</th> <th style="width: 50%;">材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>125cm²以上 140cm²未満</td><td rowspan="10" style="text-align: center;">(表3.11)</td></tr> <tr><td>140cm²以上 155cm²未満</td></tr> <tr><td>155cm²以上 175cm²未満</td></tr> <tr><td>175cm²以上 195cm²未満</td></tr> <tr><td>195cm²以上 215cm²未満</td></tr> <tr><td>215cm²以上 235cm²未満</td></tr> <tr><td>235cm²以上 255cm²未満</td></tr> <tr><td>255cm²以上 280cm²未満</td></tr> <tr><td>280cm²以上 300cm²未満</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、アスカーブ設置の他、瀝青材、瀝青材の散布及び加熱燃料等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. アスファルト混合物の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.09）</p> <p style="text-align: center;">表3.11 材料</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">材料</td> <td>細粒度アスコン(13)</td> </tr> <tr> <td>細粒度アスコン(13F)</td> </tr> <tr> <td>再生細粒度アスコン(13)</td> </tr> <tr> <td>再生細粒度アスコン(13F)</td> </tr> <tr> <td>各種（締固め後密度 2.10 t/m³）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.12 アスカーブ 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">代表機労材規格</th> <th style="width: 80%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む</td> </tr> <tr> <td>K2 アスファルトカーバ [ガソリンエンジン駆動式]能力 4.0~4.5m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手（一般）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 再生細粒度アスコン (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	断面積	材料	125cm ² 以上 140cm ² 未満	(表3.11)	140cm ² 以上 155cm ² 未満	155cm ² 以上 175cm ² 未満	175cm ² 以上 195cm ² 未満	195cm ² 以上 215cm ² 未満	215cm ² 以上 235cm ² 未満	235cm ² 以上 255cm ² 未満	255cm ² 以上 280cm ² 未満	280cm ² 以上 300cm ² 未満	積算条件	区分	材料	細粒度アスコン(13)	細粒度アスコン(13F)	再生細粒度アスコン(13)	再生細粒度アスコン(13F)	各種（締固め後密度 2.10 t/m ³ ）	項目	代表機労材規格	備考	機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む	K2 アスファルトカーバ [ガソリンエンジン駆動式]能力 4.0~4.5m ³ /h		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 土木一般世話役		R3 特殊作業員		R4 運転手（一般）		材料	Z1 再生細粒度アスコン (13)		Z2 軽油 1.2号 パトロール給油		Z3 ガソリン レギュラー スタンド		Z4 -		市場単価	S -		<p>第1部 第3編 3-3-30</p>	<p style="color: red;">記載の修正</p> <p style="color: red;">記載の修正</p>
断面積	材料																																																																																																								
125cm ² 以上 140cm ² 未満	(表3.11)																																																																																																								
140cm ² 以上 155cm ² 未満																																																																																																									
155cm ² 以上 175cm ² 未満																																																																																																									
175cm ² 以上 195cm ² 未満																																																																																																									
195cm ² 以上 215cm ² 未満																																																																																																									
215cm ² 以上 235cm ² 未満																																																																																																									
235cm ² 以上 255cm ² 未満																																																																																																									
255cm ² 以上 280cm ² 未満																																																																																																									
280cm ² 以上 300cm ² 未満																																																																																																									
積算条件		区分																																																																																																							
材料	細粒度アスファルト混合物(13)																																																																																																								
	細粒度アスファルト混合物(13F)																																																																																																								
	再生細粒度アスファルト混合物(13)																																																																																																								
	再生細粒度アスファルト混合物(13F)																																																																																																								
	各種（締固め後密度 2.10 t/m ³ ）																																																																																																								
項目	代表機労材規格	備考																																																																																																							
機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む																																																																																																							
	K2 アスファルトカーバ [ガソリンエンジン駆動式]能力 4.0~4.5m ³ /h																																																																																																								
	K3 -																																																																																																								
労務	R1 普通作業員																																																																																																								
	R2 土木一般世話役																																																																																																								
	R3 特殊作業員																																																																																																								
	R4 運転手（一般）																																																																																																								
材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生細粒度 AS 混合物 (13)																																																																																																								
	Z2 軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																																								
	Z3 ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																								
	Z4 -																																																																																																								
市場単価	S -																																																																																																								
断面積	材料																																																																																																								
125cm ² 以上 140cm ² 未満	(表3.11)																																																																																																								
140cm ² 以上 155cm ² 未満																																																																																																									
155cm ² 以上 175cm ² 未満																																																																																																									
175cm ² 以上 195cm ² 未満																																																																																																									
195cm ² 以上 215cm ² 未満																																																																																																									
215cm ² 以上 235cm ² 未満																																																																																																									
235cm ² 以上 255cm ² 未満																																																																																																									
255cm ² 以上 280cm ² 未満																																																																																																									
280cm ² 以上 300cm ² 未満																																																																																																									
積算条件		区分																																																																																																							
材料	細粒度アスコン(13)																																																																																																								
	細粒度アスコン(13F)																																																																																																								
	再生細粒度アスコン(13)																																																																																																								
	再生細粒度アスコン(13F)																																																																																																								
	各種（締固め後密度 2.10 t/m ³ ）																																																																																																								
項目	代表機労材規格	備考																																																																																																							
機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む																																																																																																							
	K2 アスファルトカーバ [ガソリンエンジン駆動式]能力 4.0~4.5m ³ /h																																																																																																								
	K3 -																																																																																																								
労務	R1 普通作業員																																																																																																								
	R2 土木一般世話役																																																																																																								
	R3 特殊作業員																																																																																																								
	R4 運転手（一般）																																																																																																								
材料	Z1 再生細粒度アスコン (13)																																																																																																								
	Z2 軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																																								
	Z3 ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																								
	Z4 -																																																																																																								
市場単価	S -																																																																																																								

誤	正	該当項	備考																																																																																																																														
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3. 2 フィルター層 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積0.28m³(平積0.20m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ〔(舗装用) 搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)〕 運転質量3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>砂 再生砂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 透水性アスファルト舗装 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3. 3 透水性アスファルト舗装 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>1層当り平均仕上り厚</th> <th>材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4m未満</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">実数入力</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表3. 4)</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上2.4m未満</td> </tr> <tr> <td>2.4m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 表層(歩道部)の透水性アスファルト混合物敷均し・締固めの他、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、その施工に要する全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。なお、平均幅員が2.4m以上の場合、振動ローラ(ハンドガイド式)の運転経費を含む。 2. アスファルト混合物の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.10) 3. すりつけに使用する混合物は、実状に応じて別途計上する。 4. 幅員に関わらず機械施工が困難な場合は平均幅員1.4m未満を適用する。</p> <p style="text-align: center;">表3. 4 材料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>アスファルト混合物</th> <th>締固め後密度(t/m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">材料</td> <td>開粒度アスコン(13)</td> <td>2.05</td> </tr> <tr> <td>各種(1.90以上2.00t/m³未満)</td> <td>1.90以上2.00未満</td> </tr> <tr> <td>各種(2.00以上2.10t/m³未満)</td> <td>2.00以上2.10未満</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積0.28m ³ (平積0.20m ³)	賃料	K2	振動ローラ〔(舗装用) 搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)〕 運転質量3~4t	賃料	K3	—		労務	R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	運転手(特殊)		R4	土木一般世話役		材料	Z1	砂 再生砂		Z2	軽油 1.2号 パトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		平均幅員	1層当り平均仕上り厚	材料	1.4m未満	実数入力	(表3. 4)	1.4m以上2.4m未満	2.4m以上	積算条件	アスファルト混合物	締固め後密度(t/m ³)	材料	開粒度アスコン(13)	2.05	各種(1.90以上2.00t/m ³ 未満)	1.90以上2.00未満	各種(2.00以上2.10t/m ³ 未満)	2.00以上2.10未満	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3. 2 フィルター層 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積0.28m³(平積0.20m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ〔(舗装用) 搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)〕 運転質量3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>砂 再生砂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 透水性アスファルト舗装 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3. 3 透水性アスファルト舗装 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>1層当り平均仕上り厚</th> <th>材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4m未満</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">実数入力</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表3. 4)</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上2.4m未満</td> </tr> <tr> <td>2.4m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 表層(歩道部)の透水性アスファルト混合物敷均し・締固めの他、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、その施工に要する全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。なお、平均幅員が2.4m以上の場合、振動ローラ(ハンドガイド式)の運転経費を含む。 2. アスファルト混合物の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.10) 3. すりつけに使用する混合物は、実状に応じて別途計上する。 4. 幅員に関わらず機械施工が困難な場合は平均幅員1.4m未満を適用する。</p> <p style="text-align: center;">表3. 4 材料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">積算条件</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">区 分</th> </tr> <tr> <th>アスファルト混合物</th> <th>締固め後密度(t/m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">材料</td> <td>開粒度アスコン(13)</td> <td>2.05</td> </tr> <tr> <td>各種(1.90以上2.00t/m³未満)</td> <td>1.90以上2.00未満</td> </tr> <tr> <td>各種(2.00以上2.10t/m³未満)</td> <td>2.00以上2.10未満</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積0.28m ³ (平積0.20m ³)	賃料	K2	振動ローラ〔(舗装用) 搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)〕 運転質量3~4t	賃料	K3	—		労務	R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	運転手(特殊)		R4	土木一般世話役		材料	Z1	砂 再生砂		Z2	軽油 1.2号 パトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		平均幅員	1層当り平均仕上り厚	材料	1.4m未満	実数入力	(表3. 4)	1.4m以上2.4m未満	2.4m以上	積算条件	区 分		アスファルト混合物	締固め後密度(t/m ³)	材料	開粒度アスコン(13)	2.05	各種(1.90以上2.00t/m ³ 未満)	1.90以上2.00未満	各種(2.00以上2.10t/m ³ 未満)	2.00以上2.10未満	<p>第1部 第3編 3-3-32</p>	<p>記載の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																														
機械	K1	バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積0.28m ³ (平積0.20m ³)	賃料																																																																																																																														
	K2	振動ローラ〔(舗装用) 搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)〕 運転質量3~4t	賃料																																																																																																																														
	K3	—																																																																																																																															
労務	R1	特殊作業員																																																																																																																															
	R2	普通作業員																																																																																																																															
	R3	運転手(特殊)																																																																																																																															
	R4	土木一般世話役																																																																																																																															
材料	Z1	砂 再生砂																																																																																																																															
	Z2	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																																																															
	Z3	—																																																																																																																															
	Z4	—																																																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																																																															
平均幅員	1層当り平均仕上り厚	材料																																																																																																																															
1.4m未満	実数入力	(表3. 4)																																																																																																																															
1.4m以上2.4m未満																																																																																																																																	
2.4m以上																																																																																																																																	
積算条件	アスファルト混合物	締固め後密度(t/m ³)																																																																																																																															
材料	開粒度アスコン(13)	2.05																																																																																																																															
	各種(1.90以上2.00t/m ³ 未満)	1.90以上2.00未満																																																																																																																															
	各種(2.00以上2.10t/m ³ 未満)	2.00以上2.10未満																																																																																																																															
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																														
機械	K1	バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積0.28m ³ (平積0.20m ³)	賃料																																																																																																																														
	K2	振動ローラ〔(舗装用) 搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)〕 運転質量3~4t	賃料																																																																																																																														
	K3	—																																																																																																																															
労務	R1	特殊作業員																																																																																																																															
	R2	普通作業員																																																																																																																															
	R3	運転手(特殊)																																																																																																																															
	R4	土木一般世話役																																																																																																																															
材料	Z1	砂 再生砂																																																																																																																															
	Z2	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																																																															
	Z3	—																																																																																																																															
	Z4	—																																																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																																																															
平均幅員	1層当り平均仕上り厚	材料																																																																																																																															
1.4m未満	実数入力	(表3. 4)																																																																																																																															
1.4m以上2.4m未満																																																																																																																																	
2.4m以上																																																																																																																																	
積算条件	区 分																																																																																																																																
	アスファルト混合物	締固め後密度(t/m ³)																																																																																																																															
材料	開粒度アスコン(13)	2.05																																																																																																																															
	各種(1.90以上2.00t/m ³ 未満)	1.90以上2.00未満																																																																																																																															
	各種(2.00以上2.10t/m ³ 未満)	2.00以上2.10未満																																																																																																																															

誤				正				該当項	備考		
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3.5 透水性アスファルト舗装 代表機材規格一覧				(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3.5 透水性アスファルト舗装 代表機材規格一覧				第1部 第3編 3-3-33			
平均幅員	項目	代表機材規格	備考	平均幅員	項目	代表機材規格	備考				
1.4m未満	機械	K1	振動ローラ[ハンドガイド型] 運転質量0.5~0.6t		1.4m未満	機械	K1			振動ローラ[ハンドガイド型] 運転質量0.5~0.6t	
		K2	振動コンパクト[前進型] 機械質量40~60kg				K2			振動コンパクト[前進型] 機械質量40~60kg	
		K3	—				K3			—	
	労務	R1	普通作業員		1.4m未満	労務	R1			普通作業員	
		R2	特殊作業員				R2			特殊作業員	
		R3	土木一般世話役				R3			土木一般世話役	
		R4	—				R4			—	
	材料	Z1	アスファルト混合物 開粒度AS混合物(13)		1.4m未満	材料	Z1			開粒度アスコン(13)	
		Z2	ガソリンレギュラー スタンド				Z2			ガソリンレギュラー スタンド	
		Z3	軽油 1.2号 パトロール給油				Z3			軽油 1.2号 パトロール給油	
		Z4	—				Z4	—			
	市場単価	S	—		市場単価	S	—				
	1.4m以上 2.4m未満	機械	K1	アスファルトフィニッシャー[ホイール型 ・排出ガス対策型(第3次基準値)]舗装幅1.4~3.0m		1.4m以上 2.4m未満	機械	K1	アスファルトフィニッシャー[ホイール型 ・排出ガス対策型(第3次基準値)]舗装幅1.4~3.0m		
K2			振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型(第1次基準値)]運転質量3~4t		K2			振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型(第1次基準値)]運転質量3~4t			
K3			—		K3			—			
労務		R1	普通作業員		1.4m以上 2.4m未満	労務	R1	普通作業員			
		R2	特殊作業員				R2	特殊作業員			
		R3	運転手(特殊)				R3	運転手(特殊)			
		R4	土木一般世話役				R4	土木一般世話役			
材料		Z1	アスファルト混合物 開粒度AS混合物(13)		1.4m以上 2.4m未満	材料	Z1	開粒度アスコン(13)			
		Z2	軽油 1.2号 パトロール給油				Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			
		Z3	—				Z3	—			
		Z4	—				Z4	—			
市場単価		S	—		市場単価	S	—				
2.4m以上		機械	K1	アスファルトフィニッシャー[ホイール型 ・排出ガス対策型(第3次基準値)]舗装幅2.4~6.0m		2.4m以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャー[ホイール型 ・排出ガス対策型(第3次基準値)]舗装幅2.3~6.0m		
	K2		バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型 ・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m ³ (平積0.20m ³)	賃料	K2			バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型 ・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m ³ (平積0.20m ³)	賃料		
	K3		振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型(第3次基準値)]運転質量3~4t	賃料	K3			振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型(第3次基準値)]運転質量3~4t	賃料		
	労務	R1	普通作業員		2.4m以上	労務	R1	普通作業員			
		R2	特殊作業員				R2	特殊作業員			
		R3	運転手(特殊)				R3	運転手(特殊)			
		R4	土木一般世話役				R4	土木一般世話役			
	材料	Z1	アスファルト混合物 開粒度AS混合物(13)		2.4m以上	材料	Z1	開粒度アスコン(13)			
		Z2	軽油 1.2号 パトロール給油				Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			
		Z3	—				Z3	—			
		Z4	—				Z4	—			
	市場単価	S	—		市場単価	S	—				

記載の修正

記載の修正

記載の修正

記載の修正

誤	正	該当項	備 考																																																																																																																																																																																																										
<p>(5) 機械運転単価表</p> <p>1) 路面清掃車運転1時間当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th></th> <th>ホッパ容量 2.5~3.1m³四輪式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手(一般)</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td></td> <td>h</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2) アスファルトディストリビュータ (自走式) 運転1日当り</p> <p style="text-align: right;">運転 4.3 時間</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th></th> <th>タンク容量 2,000~3,000ℓ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手(一般)</td> <td></td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td></td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ディストリビュータの運転日当り運転時間 (T) は、4.3h/日とする。</p> <p>3) ダンプトラック運転1時間当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th></th> <th>オンロード・ディーゼル 2t 積級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手(一般)</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td></td> <td>h</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤ損耗費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要		ホッパ容量 2.5~3.1m ³ 四輪式	主燃料	軽油	ℓ				運転手(一般)		人				損料		h	1			諸雑費		式	1			名称	形状寸法	単位	数量		摘要		タンク容量 2,000~3,000ℓ	主燃料	軽油	ℓ				運転手(一般)		人	1			損料		日	1			諸雑費		式	1			名称	形状寸法	単位	数量		摘要		オンロード・ディーゼル 2t 積級	主燃料	軽油	ℓ				運転手(一般)		人				損料		h	1			タイヤ損耗費		〃	1			諸雑費		式	1			<p>(5) 機械運転単価表</p> <p>1) 路面清掃車運転1時間当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th></th> <th>ホッパ容量 2.5~3.1m³四輪式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手(一般)</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td></td> <td>h</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2) アスファルトディストリビュータ運転1日当り</p> <p style="text-align: right;">運転 4.3 時間</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主 燃 料</td> <td>軽 油</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>ディストリビュータ 自走式(トラック架装式) +トラック(普通型)</td> </tr> <tr> <td>運 転 手 (一 般)</td> <td></td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損 料</td> <td>ディストリビュータ 自走式(トラック架装式) タンク容量 2,000~3,000ℓ</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損 料</td> <td>トラック(普通型)4~4.5t 積</td> <td>h</td> <td>4.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ディストリビュータの運転日当り運転時間 (T) は、4.3h/日とする。</p> <p>3) ダンプトラック運転1時間当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th></th> <th>オンロード・ディーゼル 2t 積級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手(一般)</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td></td> <td>h</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤ損耗費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要		ホッパ容量 2.5~3.1m ³ 四輪式	主燃料	軽油	ℓ				運転手(一般)		人				損料		h	1			諸雑費		式	1			名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	主 燃 料	軽 油	ℓ		ディストリビュータ 自走式(トラック架装式) +トラック(普通型)	運 転 手 (一 般)		人	1		損 料	ディストリビュータ 自走式(トラック架装式) タンク容量 2,000~3,000ℓ	日	1		損 料	トラック(普通型)4~4.5t 積	h	4.3		諸 雑 費		式	1		名称	形状寸法	単位	数量		摘要		オンロード・ディーゼル 2t 積級	主燃料	軽油	ℓ				運転手(一般)		人				損料		h	1			タイヤ損耗費		〃	1			諸雑費		式	1			<p>参考 資料 参-3-24</p>	<p>記載の修正</p>
名称				形状寸法	単位		数量		摘要																																																																																																																																																																																																				
		ホッパ容量 2.5~3.1m ³ 四輪式																																																																																																																																																																																																											
主燃料	軽油	ℓ																																																																																																																																																																																																											
運転手(一般)		人																																																																																																																																																																																																											
損料		h	1																																																																																																																																																																																																										
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																																										
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																																																																																																																																								
				タンク容量 2,000~3,000ℓ																																																																																																																																																																																																									
主燃料	軽油	ℓ																																																																																																																																																																																																											
運転手(一般)		人	1																																																																																																																																																																																																										
損料		日	1																																																																																																																																																																																																										
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																																										
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																																																																																																																																								
				オンロード・ディーゼル 2t 積級																																																																																																																																																																																																									
主燃料	軽油	ℓ																																																																																																																																																																																																											
運転手(一般)		人																																																																																																																																																																																																											
損料		h	1																																																																																																																																																																																																										
タイヤ損耗費		〃	1																																																																																																																																																																																																										
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																																										
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																																																																																																																																								
				ホッパ容量 2.5~3.1m ³ 四輪式																																																																																																																																																																																																									
主燃料	軽油	ℓ																																																																																																																																																																																																											
運転手(一般)		人																																																																																																																																																																																																											
損料		h	1																																																																																																																																																																																																										
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																																										
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																									
主 燃 料	軽 油	ℓ		ディストリビュータ 自走式(トラック架装式) +トラック(普通型)																																																																																																																																																																																																									
運 転 手 (一 般)		人	1																																																																																																																																																																																																										
損 料	ディストリビュータ 自走式(トラック架装式) タンク容量 2,000~3,000ℓ	日	1																																																																																																																																																																																																										
損 料	トラック(普通型)4~4.5t 積	h	4.3																																																																																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																										
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																																																																																																																																								
				オンロード・ディーゼル 2t 積級																																																																																																																																																																																																									
主燃料	軽油	ℓ																																																																																																																																																																																																											
運転手(一般)		人																																																																																																																																																																																																											
損料		h	1																																																																																																																																																																																																										
タイヤ損耗費		〃	1																																																																																																																																																																																																										
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																																										

誤	正	該当項	備考																																																																																																																																
<p>3. 機種を選定 切削オーバーレイ工に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路面切削</td> <td>路面切削機</td> <td>排出ガス対策型(第3次基準値) ホイール式・廃材積込装置付・切削幅 2.0m×切削深23cm</td> <td>台</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃材運搬</td> <td>ダンプトラック</td> <td>オンロード・ディーゼル 10t積級</td> <td>〃</td> <td>必要数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路面清掃</td> <td>路面清掃車</td> <td>ブラシ・四輪式ホッパ容量2.5~3.1m³</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>瀝青材料散布</td> <td>ディストリビュータ</td> <td>自走式・タンク容量 2,000~3,000ℓ</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合材敷均し</td> <td>アスファルト フィニッシャ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) ホイール型 舗装幅3.0~8.5m</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">合材締固め</td> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) マカダム・運転質量10~12t・締固め幅2.1m</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 普通型 運転質量8~20t</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振動ローラ (舗装用)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 搭乗・タンデム式・運転質量6~7.5t</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラは賃料とする。</p> <p>4. 編成人員 切削オーバーレイ工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り編成人員</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: right;">(人)</th> </tr> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">5.4</td> <td style="text-align: center;">7.2</td> </tr> </tbody> </table>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要	路面切削	路面切削機	排出ガス対策型(第3次基準値) ホイール式・廃材積込装置付・切削幅 2.0m×切削深23cm	台	2		廃材運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積級	〃	必要数		路面清掃	路面清掃車	ブラシ・四輪式ホッパ容量2.5~3.1m ³	〃	1		瀝青材料散布	ディストリビュータ	自走式・タンク容量 2,000~3,000ℓ	〃	1		合材敷均し	アスファルト フィニッシャ	排出ガス対策型(第2次基準値) ホイール型 舗装幅3.0~8.5m	〃	2		合材締固め	ロードローラ	排出ガス対策型(第2次基準値) マカダム・運転質量10~12t・締固め幅2.1m	〃	2		タイヤローラ	排出ガス対策型(第2次基準値) 普通型 運転質量8~20t	〃	1		振動ローラ (舗装用)	排出ガス対策型(第2次基準値) 搭乗・タンデム式・運転質量6~7.5t	〃	1		(人)			土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	1.5	5.4	7.2	<p>3. 機種を選定 切削オーバーレイ工に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路面切削</td> <td>路面切削機</td> <td>排出ガス対策型(第3次基準値) ホイール式・廃材積込装置付・切削幅 2.0m×切削深23cm</td> <td>台</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃材運搬</td> <td>ダンプトラック</td> <td>オンロード・ディーゼル 10t積級</td> <td>〃</td> <td>必要数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路面清掃</td> <td>路面清掃車</td> <td>ブラシ・四輪式ホッパ容量2.5~3.1m³</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>瀝青材料散布</td> <td>ディストリビュータ</td> <td>自走式(トラック架装式)・ タンク容量 2,000~3,000ℓ</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>瀝青材料散布</td> <td>トラック(普通型)</td> <td>4~4.5t積</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合材敷均し</td> <td>アスファルト フィニッシャ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) ホイール型 舗装幅3.0~8.5m</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">合材締固め</td> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) マカダム・運転質量10~12t・締固め幅2.1m</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 普通型 運転質量8~20t</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振動ローラ (舗装用)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 搭乗・タンデム式・運転質量6~7.5t</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラは賃料とする。</p> <p>4. 編成人員 切削オーバーレイ工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り編成人員</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: right;">(人)</th> </tr> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">5.4</td> <td style="text-align: center;">7.2</td> </tr> </tbody> </table>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要	路面切削	路面切削機	排出ガス対策型(第3次基準値) ホイール式・廃材積込装置付・切削幅 2.0m×切削深23cm	台	2		廃材運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積級	〃	必要数		路面清掃	路面清掃車	ブラシ・四輪式ホッパ容量2.5~3.1m ³	〃	1		瀝青材料散布	ディストリビュータ	自走式(トラック架装式)・ タンク容量 2,000~3,000ℓ	〃	1		瀝青材料散布	トラック(普通型)	4~4.5t積	〃	1		合材敷均し	アスファルト フィニッシャ	排出ガス対策型(第2次基準値) ホイール型 舗装幅3.0~8.5m	〃	2		合材締固め	ロードローラ	排出ガス対策型(第2次基準値) マカダム・運転質量10~12t・締固め幅2.1m	〃	2		タイヤローラ	排出ガス対策型(第2次基準値) 普通型 運転質量8~20t	〃	1		振動ローラ (舗装用)	排出ガス対策型(第2次基準値) 搭乗・タンデム式・運転質量6~7.5t	〃	1		(人)			土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	1.5	5.4	7.2	<p>参考 資料 参-4-2</p> <p style="color: red;">記載の修正</p> <p style="color: red;">記載の修正</p>	
作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																														
路面切削	路面切削機	排出ガス対策型(第3次基準値) ホイール式・廃材積込装置付・切削幅 2.0m×切削深23cm	台	2																																																																																																																															
廃材運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積級	〃	必要数																																																																																																																															
路面清掃	路面清掃車	ブラシ・四輪式ホッパ容量2.5~3.1m ³	〃	1																																																																																																																															
瀝青材料散布	ディストリビュータ	自走式・タンク容量 2,000~3,000ℓ	〃	1																																																																																																																															
合材敷均し	アスファルト フィニッシャ	排出ガス対策型(第2次基準値) ホイール型 舗装幅3.0~8.5m	〃	2																																																																																																																															
合材締固め	ロードローラ	排出ガス対策型(第2次基準値) マカダム・運転質量10~12t・締固め幅2.1m	〃	2																																																																																																																															
	タイヤローラ	排出ガス対策型(第2次基準値) 普通型 運転質量8~20t	〃	1																																																																																																																															
	振動ローラ (舗装用)	排出ガス対策型(第2次基準値) 搭乗・タンデム式・運転質量6~7.5t	〃	1																																																																																																																															
(人)																																																																																																																																			
土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																																																																																	
1.5	5.4	7.2																																																																																																																																	
作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																														
路面切削	路面切削機	排出ガス対策型(第3次基準値) ホイール式・廃材積込装置付・切削幅 2.0m×切削深23cm	台	2																																																																																																																															
廃材運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積級	〃	必要数																																																																																																																															
路面清掃	路面清掃車	ブラシ・四輪式ホッパ容量2.5~3.1m ³	〃	1																																																																																																																															
瀝青材料散布	ディストリビュータ	自走式(トラック架装式)・ タンク容量 2,000~3,000ℓ	〃	1																																																																																																																															
瀝青材料散布	トラック(普通型)	4~4.5t積	〃	1																																																																																																																															
合材敷均し	アスファルト フィニッシャ	排出ガス対策型(第2次基準値) ホイール型 舗装幅3.0~8.5m	〃	2																																																																																																																															
合材締固め	ロードローラ	排出ガス対策型(第2次基準値) マカダム・運転質量10~12t・締固め幅2.1m	〃	2																																																																																																																															
	タイヤローラ	排出ガス対策型(第2次基準値) 普通型 運転質量8~20t	〃	1																																																																																																																															
	振動ローラ (舗装用)	排出ガス対策型(第2次基準値) 搭乗・タンデム式・運転質量6~7.5t	〃	1																																																																																																																															
(人)																																																																																																																																			
土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																																																																																	
1.5	5.4	7.2																																																																																																																																	

誤					正					該当項	備考
7. 単価表					7. 単価表					参考資料 参-4-5	記載の修正
(1) 切削オーバーレイ工(1) 100m ² 当り単価表					(1) 切削オーバーレイ工(1) 100m ² 当り単価表						
名称	形状寸法	単位	数量	摘要	名称	形状寸法	単位	数量	摘要		
土木一般世話役		人	1.5×100/D	表4. 1、 表5. 1	土木一般世話役		人	1.5×100/D	表4. 1、 表5. 1		
特殊作業員		〃	5.4×100/D	〃	特殊作業員		〃	5.4×100/D	〃		
普通作業員		〃	7.2×100/D	〃	普通作業員		〃	7.2×100/D	〃		
路面切削機運転	排出ガス対策型(第3次基準値)・ ホイール式・廃材積込装置付・切削幅 2.0m×切削深23cm	日	2×100/(D×α)	表3. 1、 表5. 1 機械損料	路面切削機運転	排出ガス対策型(第3次基準値)・ ホイール式・廃材積込装置付・切削幅 2.0m×切削深23cm	日	2×100/(D×α)	表3. 1、 表5. 1 機械損料		
路面清掃車運転	ブラシ・四輪式 ホoppa容量2.5~3.1m ³	〃	1×100/(D×α)	〃 機械損料	路面清掃車運転	ブラシ・四輪式 ホoppa容量2.5~3.1m ³	〃	1×100/(D×α)	〃 機械損料		
ディストリビュータ運転	自走式・タンク容量 2,000~3,000ℓ	〃	1×100/(D×α)	〃 機械損料	ディストリビュータ運転	自走式(トラック架装式)・ タンク容量2,000~3,000ℓ	〃	1×100/(D×α)	〃 機械損料		
アスファルト フィニッシャ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・ ホイール型 舗装幅3.0~8.5m	〃	2×100/(D×α)	〃 機械損料	アスファルト フィニッシャ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・ ホイール型 舗装幅3.0~8.5m	〃	2×100/(D×α)	〃 機械損料		
ロードローラ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・ マカダム・運転質量10~12t・ 締固め幅2.1m	〃	2×100/(D×α)	〃 賃料	ロードローラ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・ マカダム・運転質量10~12t・ 締固め幅2.1m	〃	2×100/(D×α)	〃 賃料		
タイヤローラ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・ 普通型 運転質量8~20t	〃	1×100/(D×α)	〃 賃料	タイヤローラ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・ 普通型 運転質量8~20t	〃	1×100/(D×α)	〃 賃料		
振動ローラ(舗装用) 運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・ 搭乗・タンデム式・運転質量6~7.5t	〃	1×100/(D×α)	〃 賃料	振動ローラ(舗装用) 運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・ 搭乗・タンデム式・運転質量6~7.5t	〃	1×100/(D×α)	〃 賃料		
諸雑費		式	1	表6. 1	諸雑費		式	1	表6. 1		
計					計						
(注) 1. D:日当り施工量。 2. 機械運転数量については、1日の作業時間による能力を考慮してDに下記αを乗じる。 $\alpha = A \div \text{標準作業時間 (8h)}$ (A:作業時間(h) ※拘束時間から休憩時間(1時間)を減じた時間) αの値は、小数第4位を四捨五入して小数第3位止めとする。 3. 労務 ^{※1} については、「第1編総則第6章時間的制約を受ける空港土木工事の積算」により労務費を補正するが、機械付労務 ^{※2} については、機械運転数量を補正しているため労務費は補正をしない。					(注) 1. D:日当り施工量。 2. 機械運転数量については、1日の作業時間による能力を考慮してDに下記αを乗じる。 $\alpha = A \div \text{標準作業時間 (8h)}$ (A:作業時間(h) ※拘束時間から休憩時間(1時間)を減じた時間) αの値は、小数第4位を四捨五入して小数第3位止めとする。 3. 労務 ^{※1} については、「第1編総則第6章時間的制約を受ける空港土木工事の積算」により労務費を補正するが、機械付労務 ^{※2} については、機械運転数量を補正しているため労務費は補正をしない。						
※1 土木一般世話役・特殊作業員・普通作業員 ※2 運転手(特殊・一般)					※1 土木一般世話役・特殊作業員・普通作業員 ※2 運転手(特殊・一般)						

誤	正	該当項	備考																																																																																																																																																																																														
<p>2) 路面清掃車 運転1日当り単価表 ブラシ・四輪式ホoppa容量 2.5~3.1m³</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td>$\alpha \times 74$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手</td> <td>(一般)</td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>運転</td> <td>h</td> <td>$\alpha \times 5.7$</td> <td>(9)欄</td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>供用</td> <td>日</td> <td>1.70</td> <td>(11)欄</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. $\alpha = A \div$標準作業時間(8h) (A:作業時間(h) ※拘束時間から休憩時間(1時間)を減じた時間) αの値は、小数第4位を四捨五入して小数第3位止めとする。</p> <p>2. 機械付労務の労務費については補正しない。</p> <p>3. 主燃料の数量の端数処理は、小数第1位を四捨五入して整数止めとする。</p> <p>4. 損料(運転)の数量の端数処理は、小数第2位を四捨五入して小数第1位止めとする。</p> <p>3) ディストリビュータ 運転1日当り単価表 自走式・タンク容量 2,000~3,000ℓ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td>$\alpha \times 19$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手</td> <td>(一般)</td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>運転</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>(9)欄</td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>供用</td> <td>〃</td> <td>1.50</td> <td>(11)欄</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. $\alpha = A \div$標準作業時間(8h) (A:作業時間(h) ※拘束時間から休憩時間(1時間)を減じた時間) αの値は、小数第4位を四捨五入して小数第3位止めとする。</p> <p>2. 機械付労務の労務費については補正しない。</p> <p>3. 主燃料の数量の端数処理は、小数第1位を四捨五入して整数止めとする。</p> <p>4. 損料(運転)の数量の端数処理は、小数第2位を四捨五入して小数第1位止めとする。</p> <p>4) アスファルトフィニッシャ 運転1日当り単価表 排出ガス対策型(第2次基準値)ホイール型 舗装幅 3.0~8.5m</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td>$\alpha \times 101$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手</td> <td>(特殊)</td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>運転</td> <td>h</td> <td>$\alpha \times 5.6$</td> <td>(9)欄</td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>供用</td> <td>日</td> <td>1.75</td> <td>(11)欄</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. $\alpha = A \div$標準作業時間(8h) (A:作業時間(h) ※拘束時間から休憩時間(1時間)を減じた時間) αの値は、小数第4位を四捨五入して小数第3位止めとする。</p> <p>2. 機械付労務の労務費については補正しない。</p> <p>3. 主燃料の数量の端数処理は、小数第1位を四捨五入して整数止めとする。</p> <p>4. 損料(運転)の数量の端数処理は、小数第2位を四捨五入して小数第1位止めとする。</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	主燃料	軽油	ℓ	$\alpha \times 74$		運転手	(一般)	人	1		損料	運転	h	$\alpha \times 5.7$	(9)欄	損料	供用	日	1.70	(11)欄	諸雑費		式	1		名称	形状寸法	単位	数量	摘要	主燃料	軽油	ℓ	$\alpha \times 19$		運転手	(一般)	人	1		損料	運転	日	1	(9)欄	損料	供用	〃	1.50	(11)欄	諸雑費		式	1		名称	形状寸法	単位	数量	摘要	主燃料	軽油	ℓ	$\alpha \times 101$		運転手	(特殊)	人	1		損料	運転	h	$\alpha \times 5.6$	(9)欄	損料	供用	日	1.75	(11)欄	諸雑費		式	1		<p>2) 路面清掃車 運転1日当り単価表 ブラシ・四輪式ホoppa容量 2.5~3.1m³</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td>$\alpha \times 74$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手</td> <td>(一般)</td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>運転</td> <td>h</td> <td>$\alpha \times 5.7$</td> <td>(9)欄</td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>供用</td> <td>日</td> <td>1.70</td> <td>(11)欄</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. $\alpha = A \div$標準作業時間(8h) (A:作業時間(h) ※拘束時間から休憩時間(1時間)を減じた時間) αの値は、小数第4位を四捨五入して小数第3位止めとする。</p> <p>2. 機械付労務の労務費については補正しない。</p> <p>3. 主燃料の数量の端数処理は、小数第1位を四捨五入して整数止めとする。</p> <p>4. 損料(運転)の数量の端数処理は、小数第2位を四捨五入して小数第1位止めとする。</p> <p>3) ディストリビュータ 運転1日当り単価表 自走式(トラック架装式)・タンク容量 2,000~3,000ℓ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td>$\alpha \times 28$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手</td> <td>(一般)</td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料(ディストリビュータ)</td> <td>運転</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>(9)欄</td> </tr> <tr> <td>損料(ディストリビュータ)</td> <td>供用</td> <td>〃</td> <td>1.50</td> <td>(11)欄</td> </tr> <tr> <td>損料(トラック(普通型))4~4.5t積</td> <td>運転</td> <td>h</td> <td>$\alpha \times 4.30$</td> <td>(9)欄</td> </tr> <tr> <td>損料(トラック(普通型))4~4.5t積</td> <td>供用</td> <td>日</td> <td>1.13</td> <td>(11)欄</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. $\alpha = A \div$標準作業時間(8h) (A:作業時間(h) ※拘束時間から休憩時間(1時間)を減じた時間) αの値は、小数第4位を四捨五入して小数第3位止めとする。</p> <p>2. 機械付労務の労務費については補正しない。</p> <p>3. 主燃料の数量の端数処理は、小数第1位を四捨五入して整数止めとする。</p> <p>4. 損料(運転)の数量の端数処理は、小数第2位を四捨五入して小数第1位止めとする。</p> <p>4) アスファルトフィニッシャ 運転1日当り単価表 排出ガス対策型(第2次基準値)ホイール型 舗装幅 3.0~8.5m</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td>$\alpha \times 101$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手</td> <td>(特殊)</td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>運転</td> <td>h</td> <td>$\alpha \times 5.6$</td> <td>(9)欄</td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>供用</td> <td>日</td> <td>1.75</td> <td>(11)欄</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. $\alpha = A \div$標準作業時間(8h) (A:作業時間(h) ※拘束時間から休憩時間(1時間)を減じた時間) αの値は、小数第4位を四捨五入して小数第3位止めとする。</p> <p>2. 機械付労務の労務費については補正しない。</p> <p>3. 主燃料の数量の端数処理は、小数第1位を四捨五入して整数止めとする。</p> <p>4. 損料(運転)の数量の端数処理は、小数第2位を四捨五入して小数第1位止めとする。</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	主燃料	軽油	ℓ	$\alpha \times 74$		運転手	(一般)	人	1		損料	運転	h	$\alpha \times 5.7$	(9)欄	損料	供用	日	1.70	(11)欄	諸雑費		式	1		名称	形状寸法	単位	数量	摘要	主燃料	軽油	ℓ	$\alpha \times 28$		運転手	(一般)	人	1		損料(ディストリビュータ)	運転	日	1	(9)欄	損料(ディストリビュータ)	供用	〃	1.50	(11)欄	損料(トラック(普通型))4~4.5t積	運転	h	$\alpha \times 4.30$	(9)欄	損料(トラック(普通型))4~4.5t積	供用	日	1.13	(11)欄	諸雑費		式	1		名称	形状寸法	単位	数量	摘要	主燃料	軽油	ℓ	$\alpha \times 101$		運転手	(特殊)	人	1		損料	運転	h	$\alpha \times 5.6$	(9)欄	損料	供用	日	1.75	(11)欄	諸雑費		式	1		<p>参考資料 参-4-7</p> <p style="color: red;">記載の修正</p> <p style="color: red;">記載の修正</p>	
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																													
主燃料	軽油	ℓ	$\alpha \times 74$																																																																																																																																																																																														
運転手	(一般)	人	1																																																																																																																																																																																														
損料	運転	h	$\alpha \times 5.7$	(9)欄																																																																																																																																																																																													
損料	供用	日	1.70	(11)欄																																																																																																																																																																																													
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																														
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																													
主燃料	軽油	ℓ	$\alpha \times 19$																																																																																																																																																																																														
運転手	(一般)	人	1																																																																																																																																																																																														
損料	運転	日	1	(9)欄																																																																																																																																																																																													
損料	供用	〃	1.50	(11)欄																																																																																																																																																																																													
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																														
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																													
主燃料	軽油	ℓ	$\alpha \times 101$																																																																																																																																																																																														
運転手	(特殊)	人	1																																																																																																																																																																																														
損料	運転	h	$\alpha \times 5.6$	(9)欄																																																																																																																																																																																													
損料	供用	日	1.75	(11)欄																																																																																																																																																																																													
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																														
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																													
主燃料	軽油	ℓ	$\alpha \times 74$																																																																																																																																																																																														
運転手	(一般)	人	1																																																																																																																																																																																														
損料	運転	h	$\alpha \times 5.7$	(9)欄																																																																																																																																																																																													
損料	供用	日	1.70	(11)欄																																																																																																																																																																																													
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																														
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																													
主燃料	軽油	ℓ	$\alpha \times 28$																																																																																																																																																																																														
運転手	(一般)	人	1																																																																																																																																																																																														
損料(ディストリビュータ)	運転	日	1	(9)欄																																																																																																																																																																																													
損料(ディストリビュータ)	供用	〃	1.50	(11)欄																																																																																																																																																																																													
損料(トラック(普通型))4~4.5t積	運転	h	$\alpha \times 4.30$	(9)欄																																																																																																																																																																																													
損料(トラック(普通型))4~4.5t積	供用	日	1.13	(11)欄																																																																																																																																																																																													
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																														
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																													
主燃料	軽油	ℓ	$\alpha \times 101$																																																																																																																																																																																														
運転手	(特殊)	人	1																																																																																																																																																																																														
損料	運転	h	$\alpha \times 5.6$	(9)欄																																																																																																																																																																																													
損料	供用	日	1.75	(11)欄																																																																																																																																																																																													
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																														

誤	正	該当項	備考																																																																																																																										
<p>3. 機種を選定 切削オーバーレイ工に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3. 1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路面切削</td> <td>路面切削機</td> <td>クローラ式・廃材積込装置付・切削幅2.0m×切削深32cm</td> <td>台</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃材運搬</td> <td>ダンプトラック</td> <td>オンロード・ディーゼル 10t積級</td> <td>〃</td> <td>必要数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路面清掃</td> <td>路面清掃車</td> <td>ブラシ・四輪式ホッパ容量2.5～3.1m³</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>瀝青材料散布</td> <td>ディストリビュータ</td> <td>自走式・タンク容量 2,000～3,000ℓ</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合材敷均し</td> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)ホイール型 舗装幅3.0～8.5m</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">合材締固め</td> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)マカダム・運転質量10～12t・締固め幅2.1m</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)普通型 運転質量8～20t</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振動ローラ(舗装用)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)搭乗・タンデム式・運転質量6～7.5t</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラは賃料とする。</p> <p>4. 編成人員 切削オーバーレイ工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4. 1 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.5</td> <td>7.6</td> <td>9.3</td> </tr> </tbody> </table>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要	路面切削	路面切削機	クローラ式・廃材積込装置付・切削幅2.0m×切削深32cm	台	2		廃材運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積級	〃	必要数		路面清掃	路面清掃車	ブラシ・四輪式ホッパ容量2.5～3.1m ³	〃	1		瀝青材料散布	ディストリビュータ	自走式・タンク容量 2,000～3,000ℓ	〃	1		合材敷均し	アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型(第2次基準値)ホイール型 舗装幅3.0～8.5m	〃	2		合材締固め	ロードローラ	排出ガス対策型(第2次基準値)マカダム・運転質量10～12t・締固め幅2.1m	〃	2		タイヤローラ	排出ガス対策型(第2次基準値)普通型 運転質量8～20t	〃	2		振動ローラ(舗装用)	排出ガス対策型(第2次基準値)搭乗・タンデム式・運転質量6～7.5t	〃	1		土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	1.5	7.6	9.3	<p>3. 機種を選定 切削オーバーレイ工に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3. 1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路面切削</td> <td>路面切削機</td> <td>クローラ式・廃材積込装置付・切削幅2.0m×切削深32cm</td> <td>台</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃材運搬</td> <td>ダンプトラック</td> <td>オンロード・ディーゼル 10t積級</td> <td>〃</td> <td>必要数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路面清掃</td> <td>路面清掃車</td> <td>ブラシ・四輪式ホッパ容量2.5～3.1m³</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>瀝青材料散布</td> <td>ディストリビュータ</td> <td>自走式(トラック架装式)・タンク容量 2,000～3,000ℓ</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>瀝青材料散布</td> <td>トラック(普通型)</td> <td>4～4.5t積</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合材敷均し</td> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)ホイール型 舗装幅3.0～8.5m</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">合材締固め</td> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)マカダム・運転質量10～12t・締固め幅2.1m</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)普通型 運転質量8～20t</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振動ローラ(舗装用)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)搭乗・タンデム式・運転質量6～7.5t</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラは賃料とする。</p> <p>4. 編成人員 切削オーバーレイ工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4. 1 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.5</td> <td>7.6</td> <td>9.3</td> </tr> </tbody> </table>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要	路面切削	路面切削機	クローラ式・廃材積込装置付・切削幅2.0m×切削深32cm	台	2		廃材運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積級	〃	必要数		路面清掃	路面清掃車	ブラシ・四輪式ホッパ容量2.5～3.1m ³	〃	1		瀝青材料散布	ディストリビュータ	自走式(トラック架装式)・タンク容量 2,000～3,000ℓ	〃	1		瀝青材料散布	トラック(普通型)	4～4.5t積	〃	1		合材敷均し	アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型(第2次基準値)ホイール型 舗装幅3.0～8.5m	〃	2		合材締固め	ロードローラ	排出ガス対策型(第2次基準値)マカダム・運転質量10～12t・締固め幅2.1m	〃	2		タイヤローラ	排出ガス対策型(第2次基準値)普通型 運転質量8～20t	〃	2		振動ローラ(舗装用)	排出ガス対策型(第2次基準値)搭乗・タンデム式・運転質量6～7.5t	〃	1		土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	1.5	7.6	9.3	<p>参考資料 参-4-10</p> <p style="color: red;">記載の修正</p> <p style="color: red;">記載の修正</p>	
作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																								
路面切削	路面切削機	クローラ式・廃材積込装置付・切削幅2.0m×切削深32cm	台	2																																																																																																																									
廃材運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積級	〃	必要数																																																																																																																									
路面清掃	路面清掃車	ブラシ・四輪式ホッパ容量2.5～3.1m ³	〃	1																																																																																																																									
瀝青材料散布	ディストリビュータ	自走式・タンク容量 2,000～3,000ℓ	〃	1																																																																																																																									
合材敷均し	アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型(第2次基準値)ホイール型 舗装幅3.0～8.5m	〃	2																																																																																																																									
合材締固め	ロードローラ	排出ガス対策型(第2次基準値)マカダム・運転質量10～12t・締固め幅2.1m	〃	2																																																																																																																									
	タイヤローラ	排出ガス対策型(第2次基準値)普通型 運転質量8～20t	〃	2																																																																																																																									
	振動ローラ(舗装用)	排出ガス対策型(第2次基準値)搭乗・タンデム式・運転質量6～7.5t	〃	1																																																																																																																									
土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																																																																											
1.5	7.6	9.3																																																																																																																											
作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																								
路面切削	路面切削機	クローラ式・廃材積込装置付・切削幅2.0m×切削深32cm	台	2																																																																																																																									
廃材運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積級	〃	必要数																																																																																																																									
路面清掃	路面清掃車	ブラシ・四輪式ホッパ容量2.5～3.1m ³	〃	1																																																																																																																									
瀝青材料散布	ディストリビュータ	自走式(トラック架装式)・タンク容量 2,000～3,000ℓ	〃	1																																																																																																																									
瀝青材料散布	トラック(普通型)	4～4.5t積	〃	1																																																																																																																									
合材敷均し	アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型(第2次基準値)ホイール型 舗装幅3.0～8.5m	〃	2																																																																																																																									
合材締固め	ロードローラ	排出ガス対策型(第2次基準値)マカダム・運転質量10～12t・締固め幅2.1m	〃	2																																																																																																																									
	タイヤローラ	排出ガス対策型(第2次基準値)普通型 運転質量8～20t	〃	2																																																																																																																									
	振動ローラ(舗装用)	排出ガス対策型(第2次基準値)搭乗・タンデム式・運転質量6～7.5t	〃	1																																																																																																																									
土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																																																																											
1.5	7.6	9.3																																																																																																																											

誤					正					該当項	備考
7. 単価表					7. 単価表					参考資料 参-4-13	記載の修正
(1) 切削オーバーレイ工 (2) 100m ² 当り単価表					(1) 切削オーバーレイ工 (2) 100m ² 当り単価表						
名称	形状寸法	単位	数量	摘要	名称	形状寸法	単位	数量	摘要		
土木一般世話役		人	1.5×100/D	表4. 1、 表5. 1	土木一般世話役		人	1.5×100/D	表4. 1、 表5. 1		
特殊作業員		〃	7.6×100/D	〃	特殊作業員		〃	7.6×100/D	〃		
普通作業員		〃	9.3×100/D	〃	普通作業員		〃	9.3×100/D	〃		
路面切削機運転	クローラ式・廃材積込装置付 切削幅 2.0m×切削深 32cm	日	2×100/(D×α)	表3. 1、 表5. 1 機械損料	路面切削機運転	クローラ式・廃材積込装置付 切削幅 2.0m×切削深 32cm	日	2×100/(D×α)	表3. 1、 表5. 1 機械損料		
路面清掃車運転	ブラシ・四輪式 ホoppa容量 2.5~3.1m ³	〃	1×100/(D×α)	〃 機械損料	路面清掃車運転	ブラシ・四輪式 ホoppa容量 2.5~3.1m ³	〃	1×100/(D×α)	〃 機械損料		
ディストリビュータ運転	自走式・タンク容量 2,000~3,000ℓ	〃	1×100/(D×α)	〃 機械損料	ディストリビュータ運転	自走式(トラック架装式)・ タンク容量 2,000~3,000ℓ	〃	1×100/(D×α)	〃 機械損料		
アスファルト フィニッシャ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・ ホイール型 舗装幅 3.0~8.5m	〃	2×100/(D×α)	〃 機械損料	アスファルト フィニッシャ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・ ホイール型 舗装幅 3.0~8.5m	〃	2×100/(D×α)	〃 機械損料		
ロードローラ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・ マカダム・運転質量 10~12 t・ 締固め幅 2.1m	〃	2×100/(D×α)	〃 賃料	ロードローラ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・ マカダム・運転質量 10~12 t・ 締固め幅 2.1m	〃	2×100/(D×α)	〃 賃料		
タイヤローラ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・ 普通型 運転質量 8~20 t	〃	2×100/(D×α)	〃 賃料	タイヤローラ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・ 普通型 運転質量 8~20 t	〃	2×100/(D×α)	〃 賃料		
振動ローラ(舗装用) 運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・ 搭乗・タンデム式・運転質量 6~7.5 t	〃	1×100/(D×α)	〃 賃料	振動ローラ(舗装用) 運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・ 搭乗・タンデム式・運転質量 6~7.5 t	〃	1×100/(D×α)	〃 賃料		
諸雑費		式	1	表6. 1	諸雑費		式	1	表6. 1		
計					計						
(注) 1. D：日当り施工量。 2. 機械運転数量については、1日の作業時間による能力を考慮してDに下記 α を乗じる。 $\alpha = A \div \text{標準作業時間 (8h)}$ (A：作業時間 (h) ※拘束時間から休憩時間 (1時間) を減じた時間) α の値は、小数第4位を四捨五入して小数第3位止めとする。 3. 労務 ^{※1} については、「第1編総則第6章時間的制約を受ける空港土木工事の積算」により労務費を補正するが、機械付労務 ^{※2} については、機械運転数量を補正しているため労務費は補正をしない。					(注) 1. D：日当り施工量。 2. 機械運転数量については、1日の作業時間による能力を考慮してDに下記 α を乗じる。 $\alpha = A \div \text{標準作業時間 (8h)}$ (A：作業時間 (h) ※拘束時間から休憩時間 (1時間) を減じた時間) α の値は、小数第4位を四捨五入して小数第3位止めとする。 3. 労務 ^{※1} については、「第1編総則第6章時間的制約を受ける空港土木工事の積算」により労務費を補正するが、機械付労務 ^{※2} については、機械運転数量を補正しているため労務費は補正をしない。						
※1 土木一般世話役・特殊作業員・普通作業員 ※2 運転手(特殊・一般)					※1 土木一般世話役・特殊作業員・普通作業員 ※2 運転手(特殊・一般)						

誤	正	該当項	備考																																																																																																																																																																																														
<p>2) 路面清掃車 運転1日当り単価表 ブラシ・四輪式ホッパ容量 2.5~3.1m³</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td>α×48</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手</td> <td>(一般)</td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>運転</td> <td>h</td> <td>α×3.7</td> <td>(9)欄</td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>供用</td> <td>日</td> <td>1.70</td> <td>(11)欄</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. α = A ÷ 標準作業時間(8h) (A : 作業時間 (h) ※拘束時間から休憩時間 (1時間) を減じた時間) αの値は、小数第4位を四捨五入して小数第3位止めとする。</p> <p>2. 機械付労務の労務費については補正しない。</p> <p>3. 主燃料の数量の端数処理は、小数第1位を四捨五入して整数止めとする。</p> <p>4. 損料 (運転) の数量の端数処理は、小数第2位を四捨五入して小数第1位止めとする。</p> <p>3) ディストリビュータ 運転1日当り単価表 自走式・タンク容量 2,000~3,000ℓ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td>α×18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手</td> <td>(一般)</td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>運転</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>(9)欄</td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>供用</td> <td>〃</td> <td>1.50</td> <td>(11)欄</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. α = A ÷ 標準作業時間(8h) (A : 作業時間 (h) ※拘束時間から休憩時間 (1時間) を減じた時間) αの値は、小数第4位を四捨五入して小数第3位止めとする。</p> <p>2. 機械付労務の労務費については補正しない。</p> <p>3. 主燃料の数量の端数処理は、小数第1位を四捨五入して整数止めとする。</p> <p>4. 損料 (運転) の数量の端数処理は、小数第2位を四捨五入して小数第1位止めとする。</p> <p>4) アスファルトフィニッシャ 運転1日当り単価表 排出ガス対策型(第2次基準値)ホイール型 舗装幅 3.0~8.5m</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td>α×90</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手</td> <td>(特殊)</td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>運転</td> <td>h</td> <td>α×5.0</td> <td>(9)欄</td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>供用</td> <td>日</td> <td>1.75</td> <td>(11)欄</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. α = A ÷ 標準作業時間(8h) (A : 作業時間 (h) ※拘束時間から休憩時間 (1時間) を減じた時間) αの値は、小数第4位を四捨五入して小数第3位止めとする。</p> <p>2. 機械付労務の労務費については補正しない。</p> <p>3. 主燃料の数量の端数処理は、小数第1位を四捨五入して整数止めとする。</p> <p>4. 損料 (運転) の数量の端数処理は、小数第2位を四捨五入して小数第1位止めとする。</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	主燃料	軽油	ℓ	α×48		運転手	(一般)	人	1		損料	運転	h	α×3.7	(9)欄	損料	供用	日	1.70	(11)欄	諸雑費		式	1		名称	形状寸法	単位	数量	摘要	主燃料	軽油	ℓ	α×18		運転手	(一般)	人	1		損料	運転	日	1	(9)欄	損料	供用	〃	1.50	(11)欄	諸雑費		式	1		名称	形状寸法	単位	数量	摘要	主燃料	軽油	ℓ	α×90		運転手	(特殊)	人	1		損料	運転	h	α×5.0	(9)欄	損料	供用	日	1.75	(11)欄	諸雑費		式	1		<p>2) 路面清掃車 運転1日当り単価表 ブラシ・四輪式ホッパ容量 2.5~3.1m³</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td>α×48</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手</td> <td>(一般)</td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>運転</td> <td>h</td> <td>α×3.7</td> <td>(9)欄</td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>供用</td> <td>日</td> <td>1.70</td> <td>(11)欄</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. α = A ÷ 標準作業時間(8h) (A : 作業時間 (h) ※拘束時間から休憩時間 (1時間) を減じた時間) αの値は、小数第4位を四捨五入して小数第3位止めとする。</p> <p>2. 機械付労務の労務費については補正しない。</p> <p>3. 主燃料の数量の端数処理は、小数第1位を四捨五入して整数止めとする。</p> <p>4. 損料 (運転) の数量の端数処理は、小数第2位を四捨五入して小数第1位止めとする。</p> <p>3) ディストリビュータ 運転1日当り単価表 自走式(トラック架装式)・タンク容量 2,000~3,000ℓ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td>α×28</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手</td> <td>(一般)</td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料(ディストリビュータ)</td> <td>運転</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>(9)欄</td> </tr> <tr> <td>損料(ディストリビュータ)</td> <td>供用</td> <td>〃</td> <td>1.50</td> <td>(11)欄</td> </tr> <tr> <td>損料(トラック(普通型))4~4.5t積</td> <td>運転</td> <td>h</td> <td>α×4.30</td> <td>(9)欄</td> </tr> <tr> <td>損料(トラック(普通型))4~4.5t積</td> <td>供用</td> <td>日</td> <td>1.13</td> <td>(11)欄</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. α = A ÷ 標準作業時間(8h) (A : 作業時間 (h) ※拘束時間から休憩時間 (1時間) を減じた時間) αの値は、小数第4位を四捨五入して小数第3位止めとする。</p> <p>2. 機械付労務の労務費については補正しない。</p> <p>3. 主燃料の数量の端数処理は、小数第1位を四捨五入して整数止めとする。</p> <p>4. 損料 (運転) の数量の端数処理は、小数第2位を四捨五入して小数第1位止めとする。</p> <p>4) アスファルトフィニッシャ 運転1日当り単価表 排出ガス対策型(第2次基準値)ホイール型 舗装幅 3.0~8.5m</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td>α×90</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手</td> <td>(特殊)</td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>運転</td> <td>h</td> <td>α×5.0</td> <td>(9)欄</td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>供用</td> <td>日</td> <td>1.75</td> <td>(11)欄</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. α = A ÷ 標準作業時間(8h) (A : 作業時間 (h) ※拘束時間から休憩時間 (1時間) を減じた時間) αの値は、小数第4位を四捨五入して小数第3位止めとする。</p> <p>2. 機械付労務の労務費については補正しない。</p> <p>3. 主燃料の数量の端数処理は、小数第1位を四捨五入して整数止めとする。</p> <p>4. 損料 (運転) の数量の端数処理は、小数第2位を四捨五入して小数第1位止めとする。</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	主燃料	軽油	ℓ	α×48		運転手	(一般)	人	1		損料	運転	h	α×3.7	(9)欄	損料	供用	日	1.70	(11)欄	諸雑費		式	1		名称	形状寸法	単位	数量	摘要	主燃料	軽油	ℓ	α×28		運転手	(一般)	人	1		損料(ディストリビュータ)	運転	日	1	(9)欄	損料(ディストリビュータ)	供用	〃	1.50	(11)欄	損料(トラック(普通型))4~4.5t積	運転	h	α×4.30	(9)欄	損料(トラック(普通型))4~4.5t積	供用	日	1.13	(11)欄	諸雑費		式	1		名称	形状寸法	単位	数量	摘要	主燃料	軽油	ℓ	α×90		運転手	(特殊)	人	1		損料	運転	h	α×5.0	(9)欄	損料	供用	日	1.75	(11)欄	諸雑費		式	1		<p>参考資料 参-4-15</p> <p style="color: red;">記載の修正</p> <p style="color: red;">記載の修正</p>	
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																													
主燃料	軽油	ℓ	α×48																																																																																																																																																																																														
運転手	(一般)	人	1																																																																																																																																																																																														
損料	運転	h	α×3.7	(9)欄																																																																																																																																																																																													
損料	供用	日	1.70	(11)欄																																																																																																																																																																																													
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																														
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																													
主燃料	軽油	ℓ	α×18																																																																																																																																																																																														
運転手	(一般)	人	1																																																																																																																																																																																														
損料	運転	日	1	(9)欄																																																																																																																																																																																													
損料	供用	〃	1.50	(11)欄																																																																																																																																																																																													
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																														
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																													
主燃料	軽油	ℓ	α×90																																																																																																																																																																																														
運転手	(特殊)	人	1																																																																																																																																																																																														
損料	運転	h	α×5.0	(9)欄																																																																																																																																																																																													
損料	供用	日	1.75	(11)欄																																																																																																																																																																																													
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																														
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																													
主燃料	軽油	ℓ	α×48																																																																																																																																																																																														
運転手	(一般)	人	1																																																																																																																																																																																														
損料	運転	h	α×3.7	(9)欄																																																																																																																																																																																													
損料	供用	日	1.70	(11)欄																																																																																																																																																																																													
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																														
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																													
主燃料	軽油	ℓ	α×28																																																																																																																																																																																														
運転手	(一般)	人	1																																																																																																																																																																																														
損料(ディストリビュータ)	運転	日	1	(9)欄																																																																																																																																																																																													
損料(ディストリビュータ)	供用	〃	1.50	(11)欄																																																																																																																																																																																													
損料(トラック(普通型))4~4.5t積	運転	h	α×4.30	(9)欄																																																																																																																																																																																													
損料(トラック(普通型))4~4.5t積	供用	日	1.13	(11)欄																																																																																																																																																																																													
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																														
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																													
主燃料	軽油	ℓ	α×90																																																																																																																																																																																														
運転手	(特殊)	人	1																																																																																																																																																																																														
損料	運転	h	α×5.0	(9)欄																																																																																																																																																																																													
損料	供用	日	1.75	(11)欄																																																																																																																																																																																													
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																														